岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第461集

# 夫婦石袖高野遺跡発掘調査報告書

めおと いしそで こや

遠野第二ダム建設事業関連遺跡発掘調査

岩手県遠野地方振興局土木部

(財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター

# 夫婦石袖高野遺跡発掘調査報告書

めおと　いし　そで　こ　や

遠野第二ダム建設事業関連遺跡発掘調査

縄文時代早期中葉の土器

縄文時代後期初頭～前葉の土器

巻頭カラー　写真１

土偶

円盤状土製品

巻頭カラー　写真２

# 序

本県には、旧石器時代をはじめとする１万箇所を超す遺跡や貴重な埋蔵文化財が数多く残されております。それらは、地域の風土と歴史が生み出した遺産であり、本県の歴史や文化、伝統を正しく理解するのに欠くことのできない歴史資料です。同時に、それらは県民のみならず国民的財産であり、将来にわたって大切に保存し、活用を図らなければなりません。

一方、豊かな県土づくりには公共事業や社会資本整備が必要ですが、それらの開発にあたっては、環境との調和はもちろんのこと、地中に埋もれその土地とともにある埋蔵文化財保護との調和も求められるところです。

当事業団埋蔵文化財センターは、設立以来、岩手県教育委員会の指導と調整のもとに、開発事業によってやむを得ず消滅する遺跡の緊急発掘調査を行い、その調査の記録を保存をする措置をとってまいりました。

本報告書は、遠野市の遠野第二ダム建設事業に関連して平成15年に発掘調査を実施した夫婦石袖高野遺跡の調査成果をまとめたものです。調査の結果、縄文時代後期初頭から前葉の遺物を中心に、縄文時代後期の土坑などが確認され、同時期の様相を考える上で貴重な資料を提供することができました。

本書が広く活用され、埋蔵文化財についての関心や理解につながると同時にその保護や活用、学術研究、教育活動などに役立てられれば幸いです。

最後になりましたが、発掘調査及び報告書の作成にあたり、ご理解とご協力をいただきました岩手県遠野地方振興局土木部、遠野市教育委員会をはじめとする関係各位に対し、深く感謝の意を表します。

平成16年11月

財団法人　岩手県文化振興事業団
理事長　合　田　　武

# 例　　言

1．本報告書は、岩手県遠野市遠野町第31地割字女男石16－1ほかに所在する夫婦石袖高野遺跡の発掘調査結果を収録したものである。

2．本遺跡の発掘調査は「遠野第二ダム建設」事業に関わる事前の緊急発掘調査である。調査は岩手県教育委員会生涯学習文化課と岩手県遠野地方振興局土木部との協議を経て、財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターが実施した。

3．本遺跡の調査成果の概略は、平成15年度岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第455集「岩手県埋蔵文化財調査略報」等で公表したが、本書の内容を正式な報告とする。

4．本遺跡の岩手県遺跡台帳に登録されている遺跡番号はＭＥ55－1057、調査略号はＭＩＳ－03である。

5．発掘調査期間、調査面積、調査担当者は以下のとおりである。

　平成15年9月1日～11月4日／1,000㎡／北村忠昭・水上明博

6．室内整理期間及び室内整理担当者は以下のとおりである。

　平成16年2月2日～3月31日／北村忠昭

7．野外調査での遺構写真撮影は調査員、遺物写真撮影は当センター福士昭夫が担当した。

8．本報告書の執筆は第Ⅰ章を岩手県遠野地方振興局土木部、その他を北村忠昭が担当した。編集・校正は北村が担当した。

9．出土遺物の鑑定・分析及び業務委託は次の機関に委託した。（敬称略）

　石質鑑定　……花崗岩研究会（代表　矢内桂三）

　火山灰同定　……株式会社　古環境研究所

　基準点測量　……株式会社　イチイ土木コンサルタント

10．発掘調査や整理・報告書の作成は以下の方々に御教示・御協力をいただいた。（敬称略）

　機関：遠野市教育委員会

　個人：小向裕明・佐藤浩彦（遠野市）、神原雄一郎（盛岡市）

11．本報告書に掲載した地図等には、図中に図幅名とスケールを付した。

12．本遺跡から出土した遺物及び調査に関わる資料は、岩手県立埋蔵文化財センターが保管している。

# 凡　例

## 遺構

1．図上で指している北方向は、真北である。

2．遺構図版の縮尺は以下のとおりである。

住居状遺構の平面図・断面図…1/40、土坑類の平面図・断面図・各微細図・遺物分布図…1/50、焼土遺構・炉跡の断面図・平面図・遺物分布図…1/25

3．土層注記で使用した略号及び記号は以下のとおりである。

［粘性・しまり］1：弱・疎　2：弱～中・疎～中　3：中　4：中～強・中～密　5：強・密

［混入物等］△：黒色シルトブロック　▼：黒色シルト粒　◆：黒褐色シルトブロック

●：暗褐色シルトブロック　○：褐色シルトブロック　▽：にぶい黄褐色シルトブロック

☆：黄褐色シルト粒　※：地山ブロック　◎：焼土粒　▲：炭化物粒　□：オレンジ色粒子

■：風化花崗岩粒　◇：雲母　★：石英　YBP：黄褐色パミス　WP：乳白色パミス

4．遺構の推定線は一点鎖線で表記した。また、壁面のオーバーハングにより、見えない下端及び中端は波線で表記した。

5．層位は基本層序にローマ数字、各遺構覆土等にアラビア数字を使用した。

6．土層色調の観察には、農林水産省農林水産技術会議事務局監修『新版標準土色帖』を使用した。

7．遺構図版中の「P」は土器を表している。

## 遺物

1．遺物図版の縮尺は以下のとおりである。

早期の土器・小形の土器…1/2（◎）、大形の土器・文様帯の展開図…1/4（※）、その他の縄文土器…1/3（△）、土製品…2/3（□）、石鏃…3/4（☆）、石鏃以外の剥片石器…2/3（□）、石核石器・礫塊石器…1/2（◎）、石製品…1/1（○）

2．磨石や敲石等の「礫石器」の使用部位の表現は機能毎に網掛け・スクリーントーンを使用している。

## 写真

1．遺物写真の縮尺は基本的に遺物図版に準じているが、写真のみの掲載資料もあり、以下の記号を掲載番号の先頭に付すことで、個々の縮尺の記載を省略している。

○…1/1、☆…3/4、□…2/3、◎…1/2、△…1/3、※…1/4

# 目　次

巻頭カラー写真１
巻頭カラー写真２
序
例言
凡例
報告書抄録

## ＜本文＞

第Ⅰ章　調査に至る経過 …… 1
第Ⅱ章　遺跡の地理的・歴史的環境 …… 2
　第１節　遺跡の地理的環境 …… 2
　　（１）遺跡の位置 …… 2
　　（２）遺跡周辺の地形と地質 …… 2
　　（３）基本層序 …… 4
　第２節　遺跡の歴史的環境 …… 5
第Ⅲ章　野外調査と室内整理 …… 8
　第１節　調査経過 …… 8
　第２節　野外調査 …… 8
　　（１）グリッドの設定 …… 8
　　（２）試掘・粗掘・遺構検出 …… 9
　　（３）遺構の名称 …… 9
　　（４）精査・実測・写真撮影 …… 10
　　（５）遺物の取り上げ …… 10
　第３節　室内整理 …… 10
　　（１）遺構 …… 10
　　（２）遺物 …… 10
　　（３）写真図版 …… 11
第Ⅳ章　遺構と遺物 …… 12
　第１節　概要 …… 12
　第２節　遺構 …… 13
　　（１）住居状遺構 …… 13
　　（２）土坑 …… 14
　　（３）焼土遺構・炉跡 …… 26
　第３節　遺物 …… 29
　　（１）縄文土器 …… 29
　　（２）土製品 …… 30
　　（３）焼成粘土塊 …… 30
　　（４）石器 …… 30
　　（５）石製品 …… 33
　　（６）自然遺物 …… 33
　　（７）陶磁器 …… 33
　　（８）銭貨 …… 33
第Ⅴ章　まとめ …… 62

附編　岩手県遠野市夫婦石袖高野遺跡の
　　火山灰分析 …… 63

## ＜表＞

第１表　周辺の遺跡一覧 …… 7
第２表　土坑観察表（１） …… 15
第３表　土坑観察表（２） …… 16
第４表　焼土遺構・炉跡観察表 …… 26
第５表　グリッド別出土土器重量 …… 29
第６表　石器組成表 …… 33
第７表　自然遺物観察表 …… 33
第８表　銭貨観察表 …… 33
第９表　土器観察表（１） …… 58
第10表　土器観察表（２） …… 59
第11表　土製品観察表 …… 60
第12表　焼成粘土塊観察表 …… 60
第13表　石器・石製品観察 …… 61

## ＜図版＞

第１図　調査区域図 …… 1
第２図　岩手県全図 …… 2
第３図　遺跡の位置 …… 3
第４図　遺跡周辺の地形分類図 …… 3
第５図　基本層序柱状図 …… 4
第６図　周辺の遺跡 …… 6

第 7 図　グリッド設定図 …… 8
第 8 図　トレンチ位置図 …… 9
第 9 図　遺構配置図 …… 12
第10図　住居状遺構 …… 13
第11図　土坑 1 …… 17
第12図　土坑 2 …… 18
第13図　土坑 3 …… 19
第14図　土坑 4 …… 20
第15図　土坑 5 …… 21
第16図　土坑 6 …… 22
第17図　土坑 7 …… 23
第18図　土坑 8 …… 24
第19図　土坑 9 …… 25
第20図　焼土遺構・炉跡 1 …… 27
第21図　焼土遺構・炉跡 2 …… 28
第22図　遺構内出土遺物（土器①） …… 34
第23図　遺構内出土遺物（土器②） …… 35
第24図　遺構内出土遺物（土器③） …… 36
第25図　遺構内出土遺物（土器④） …… 37
第26図　遺構内出土遺物（土器⑤） …… 38
第27図　遺構内出土遺物（土器⑥） …… 39
第28図　遺構内出土遺物（土器⑦） …… 40
第29図　遺構内出土遺物（土器⑧） …… 41
第30図　遺構内出土遺物（土器⑨） …… 42
第31図　遺構内出土遺物（土製品） …… 43
第32図　遺構内出土遺物（石器） …… 44
第33図　遺構外出土遺物（土器①） …… 45
第34図　遺構外出土遺物（土器②） …… 46
第35図　遺構外出土遺物（土器③） …… 47
第36図　遺構外出土遺物（土器④） …… 48
第37図　遺構外出土遺物（土器⑤） …… 49
第38図　遺構外出土遺物（土器⑥） …… 50
第39図　遺構外出土遺物（土器⑦） …… 51
第40図　遺構外出土遺物（土器⑧） …… 52
第41図　遺構外出土遺物（土器⑨） …… 53
第42図　遺構外出土遺物（土器⑩） …… 54
第43図　遺構外出土遺物（土器⑪） …… 55
第44図　遺構外出土遺物（土製品） …… 56
第45図　遺構外出土遺物（石器） …… 57

# ＜写真図版＞

写真図版 1　空撮・刈り払い …… 66
写真図版 2　現況・基本層序 …… 67
写真図版 3　住居状遺構 …… 68
写真図版 4　土坑（1） …… 69
写真図版 5　土坑（2） …… 70
写真図版 6　土坑（3） …… 71
写真図版 7　土坑（4） …… 72
写真図版 8　土坑（5） …… 73
写真図版 9　土坑（6） …… 74
写真図版10　土坑（7） …… 75
写真図版11　土坑（8） …… 76
写真図版12　土坑（9） …… 77
写真図版13　土坑（10） …… 78
写真図版14　土坑（11） …… 79
写真図版15　土坑（12） …… 80
写真図版16　焼土遺構・炉跡（1） …… 81
写真図版17　焼土遺構・炉跡（2） …… 82
写真図版18　遺構内出土遺物（土器①） …… 83
写真図版19　遺構内出土遺物（土器②） …… 84
写真図版20　遺構内出土遺物（土器③） …… 85
写真図版21　遺構内出土遺物（土器④） …… 86
写真図版22　遺構内出土遺物（土器⑤） …… 87
写真図版23　遺構内出土遺物（土器⑥） …… 88
写真図版24　遺構内出土遺物
（土製品・焼成粘土塊） …… 89
写真図版25　遺構内出土遺物（石器①） …… 90
写真図版26　遺構内出土遺物（石器②） …… 91
写真図版27　遺構内出土遺物
（石器③・自然遺物） …… 92
写真図版28　遺構外出土遺物（土器①） …… 93
写真図版29　遺構外出土遺物（土器②） …… 94
写真図版30　遺構外出土遺物（土器③） …… 95
写真図版31　遺構外出土遺物（土器④） …… 96
写真図版32　遺構外出土遺物（土器⑤） …… 97
写真図版33　遺構外出土遺物（土器⑥） …… 98
写真図版34　遺構外出土遺物（土器⑦） …… 99
写真図版35　遺構外出土遺物（土器⑧・
土製品・焼成粘土塊） …… 100
写真図版36　遺構外出土遺物（石器①） …… 101
写真図版37　遺構外出土遺物（石器②） …… 102
写真図版38　遺構外出土遺物（石器③） …… 103
写真図版39　遺構外出土遺物
（石器④・石製品） …… 104
写真図版40　遺構外出土遺物
（自然遺物・陶磁器・銭貨） …… 105

# 第Ⅰ章　調査にいたる経過

夫婦石袖高野（めおといしそでこや）遺跡は、「遠野第二生活貯水池建設事業」の実施に伴い、その事業区域内に存在することから、発掘調査を実施することになったものである。

遠野第二生活貯水池建設事業は、猿ヶ石川上流流域の来内川筋、治水対策事業により昭和32年６月に完成した遠野ダム（県営補助ダム第一号）の下流部に位置し、昭和56年８月の台風15号により来内川が氾濫、遠野市街地で多くの家屋が浸水被害を受けたことから、洪水から貴重な資産を守ることなどを目的とした遠野第二ダム（仮称）を建設するものである。

当事業は平成２年４月に事業の建設採択を受け、調査・設計を行い、平成12年４月には遠野第二ダム地権者会が発足し、翌13年11月に補償基準の妥結を得て、用地解決を図りながら工事着手している。

夫婦石袖高野遺跡は、事業区域上流の機能補償林道予定地であることから、平成12年９月に試掘調査を行い文化財が確認された。発掘調査は、岩手県教育委員会と遠野地方振興局の協議により財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターの受託事業として平成15年９月に着手し10月までの２ヶ月で現地調査を終了している。

（岩手県遠野地方振興局土木部）

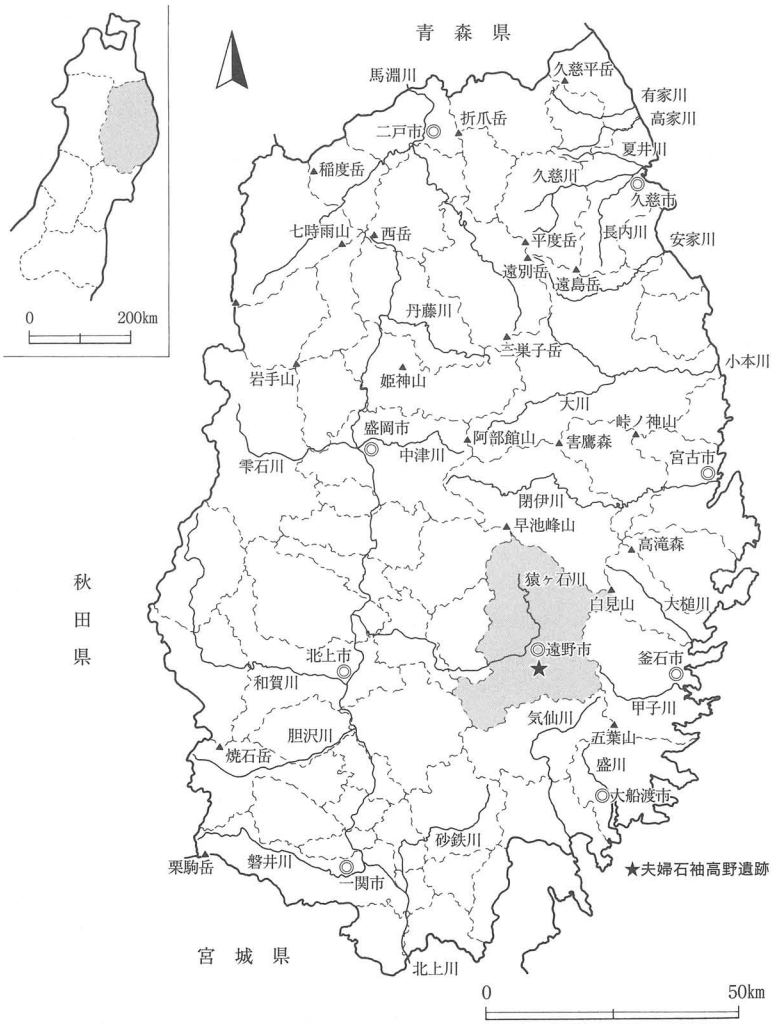
第１図　調査区域図

# 第Ⅱ章　遺跡の地理的・歴史的環境

## 第１節　遺跡の地理的環境

### （１）遺跡の位置

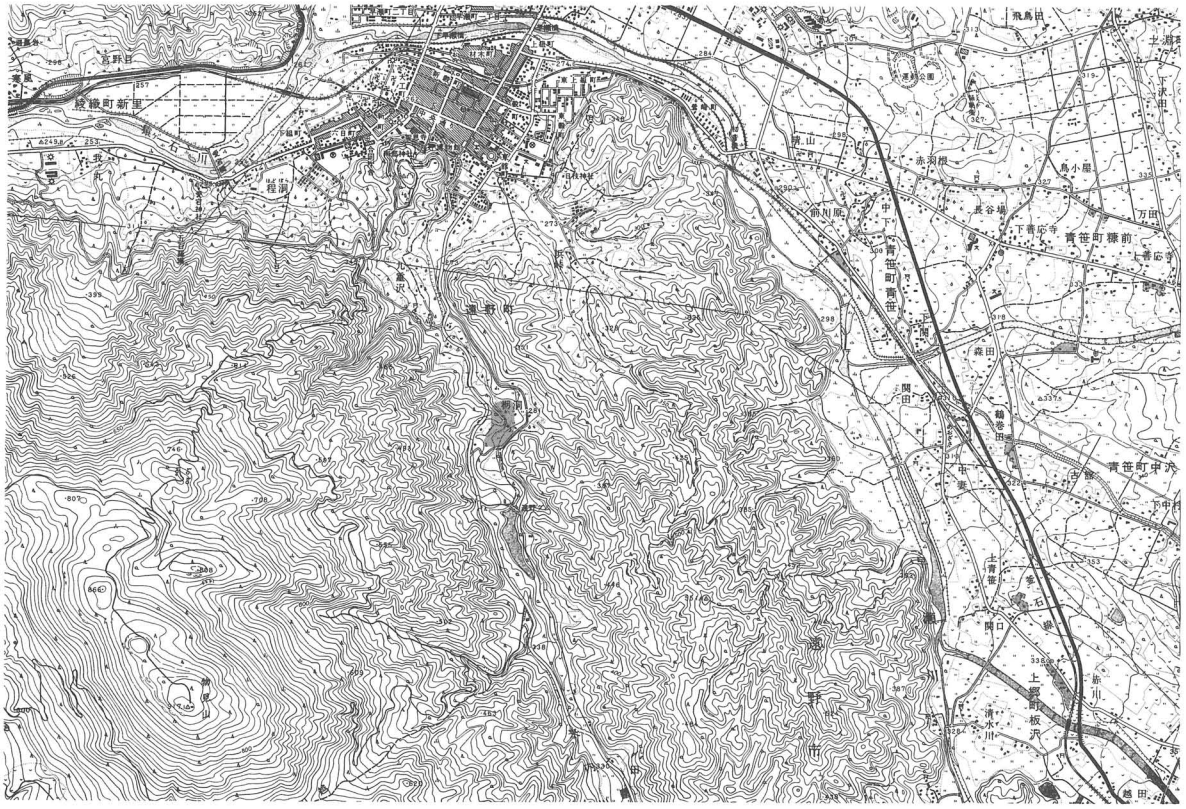
夫婦石袖高野遺跡の所在する遠野市は、岩手県の南東部に位置し、東西約33.5km、南北約38.2km、総面積660.38km²である。北は下閉伊郡川井村、東は上閉伊郡大槌町・釜石市、南は気仙郡住田町、西は上閉伊郡宮守村・江刺市・和賀郡東和町・稗貫郡大迫町の８市町村と接している（第２図）。古来より内陸部と沿岸部を結ぶ中核都市である。本遺跡は、遠野市の南部、ＪＲ釜石線遠野駅から南に約２km離れた遠野市遠野町第31地割地内に所在し、市内を流れる一級河川の北上川水系の猿ヶ石川の支流である来内川の左岸、舌状に張り出した標高285～310ｍの山地の緩斜面上に立地する。国土地理院発行の１：25,000地形図「遠野」ＮＪ－54－14－５－３（一関５号－３）の図幅に含まれ、北緯39度18分51秒、東経141度31分58秒（世界測地系）付近にあたる（第３図）。現況は原野と山林である。




第２図　岩手県全図

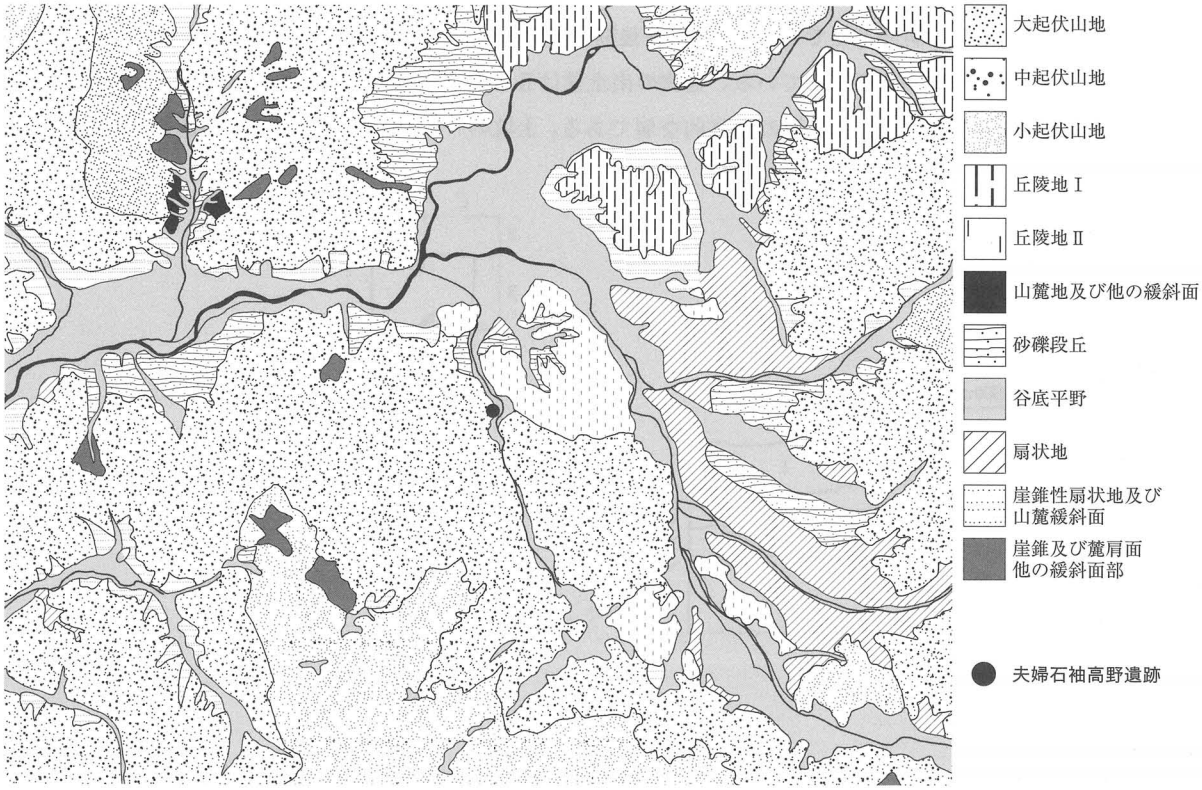
### （２）遺跡周辺の地形と地質

遠野市は、県内を南北にまたがる北上山地の中南部に開けた遠野盆地に位置し、周囲を北上山系最高峰である早池峰山（1914.0ｍ）をはじめ、薬師岳（1644.9ｍ）、大黒森（1079.0ｍ）、一ツ石山（1058.3ｍ）、白見山（1172.6ｍ）、六角牛山（1294.0ｍ）、大峰山（1147.4ｍ）、大開山（1139.2ｍ）、高清水山（1013.9ｍ）、石上山（1038.1ｍ）、大麻部山（1043.6ｍ）、土倉山（1084.3ｍ）、白森山（1339.2ｍ）、小白森（1350.4ｍ）等の1000ｍ級の山々に囲まれている。北上山地は開析隆起準平原で、山地に続く丘陵縁辺部に小規模な段丘と沖積地が見られる。遠野盆地は、薬師岳に源を発する猿ヶ石川とその支流である小烏瀬川・早瀬川・来内川、さらにその支流である河内川・猫川等が北上山地の一部を開析して形成した北上山地内で最も広大な




夫婦石袖高野遺跡　　（遠野 1/25000×50%）

第３図　遺跡の位置




第４図　遺跡周辺の地形分類図

谷底平野である。これらの河川流域には肥沃な土壌を背景に広大な耕地が拓けている。遠野市中央部を流れる猿ヶ石川は西流し、花巻市内で北上川と合流する。

この盆地の主体は中生代白亜紀の「遠野花崗岩体」と呼ばれる岩体で占められるが、盆地の縁辺部では中・古生界の粘板岩や輝緑凝灰岩、石灰岩等も分布する。古生層や中生層は全体的に硬質であるが、主体となる花崗岩類は深層風化が進み、マサ化している。表層では、組織を残すものの、非常にもろい状態である。特に早瀬川流域は、開析が進んでおり、その傾向が著しい。

今回発掘調査を行った夫婦石袖高野遺跡は来内川の左岸に広がる中起伏山地の縁辺部に位置し、調査区は来内川に向かって舌状に張り出した部分にあたる。調査区周辺と来内川との比高差は約10ｍである。遺跡の上流約１㎞には昭和32年に完成した来内ダム（遠野ダム）がある。

### （３）基本層序（第５図、写真図版２）

調査区は丘陵の緩斜面地に位置しており、斜面下方程、基本的には層厚が増している。斜面上方の４Ｃ－19グリッドと斜面下方の３Ｄ－１グリッドの層序を略図化した。調査区の基本層序は以下のとおりである。

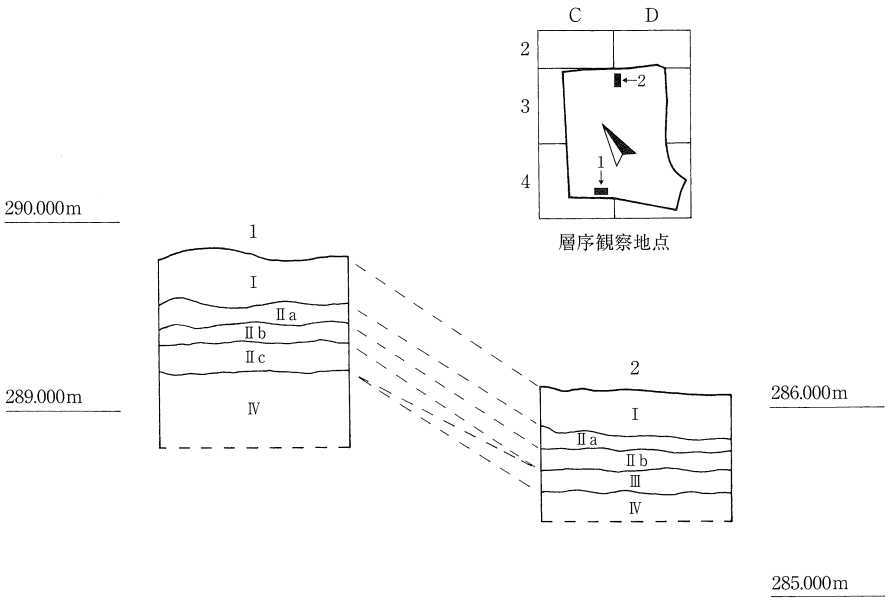
Ⅰ層　黒色土。表土。斜面下方にいく程厚く堆積している傾向が見える。層厚20～30㎝。

Ⅱ層　黒色土～黒褐色土。本来の遺構検出面。３層に細分される。

Ⅱａ層　黒色土～黒褐色土。調査区のほぼ全域で確認される。焼土遺構・炉跡、土坑の一部が本層で確認されている。主に４Ｃグリッドで、ブロック状の明黄褐色パミスが観察される。試料を調査員が採取し、その分析を外部に委託した。分析結果の詳細は附編を参照して頂きたいが、このパミスは十和田中掫浮石（To-Cu）との結果が出された。層厚５～15㎝。

Ⅱｂ層　黒色土～黒褐色土。調査区の西側を中心に確認される。３Ｃ－９・10・13～15では非常に厚く堆積している。Ⅱａ層と比較すると風化した花崗岩粒を多量に含むことから分離した。相対的にはⅡａ層の下位で見られるが、前後関係等詳細は不明である。本層でもⅡａ層と同様、焼土遺構や土坑が確認されている。遺物の出土量はⅡａ層より多い傾向にある。層厚０～20㎝。

Ⅱｃ層　黒褐色土。Ⅱ層とⅢ層の漸移的な層である。土坑の一部が確認されている。遺物はほとんど出




第５図　基本層序柱状図

土していない。層厚０～10㎝。

Ⅲ層　暗茶褐色土。遺構の最終確認面。調査区のほぼ全域で確認される。大半の土坑がⅡ層で確認できず、本層で確認されている。層厚５～10㎝。

Ⅳ層　黄褐色土。今回の調査ではトレンチ・遺構の壁面・底面等で確認されただけで、面的な広がりは確認していない。そのため、層厚は不明である。３Ｃ－18グリッド周辺では非常に浅いところで確認されている。また、この部分では早期の土器（無文）が出土している。

Ⅴ層　礫層。風化した花崗岩の礫層である。大小様々であるが、大きいものでは直径100㎝程になる。層厚不明。

ほとんどの遺構がⅣ層を床面及び底面にしており、これより上位の面を底面とする遺構は51号土坑や焼土遺構等わずかである。遺物はⅠ層からⅣ層まで出土するが、ピークはⅡａ・Ⅱｂ層である。

Ⅱａ層中でブロック状の明黄褐色パミスを検出した。確認できた地域は４Ｃグリッド周辺に限られる。分析の結果、十和田中掫浮石と判断されたが、同一層準の下層から後期の土器が出土しており、二次堆積であることは決定的である。斜面下方の３Ｃ・３Ｄグリッドでは同質のパミスは全く検出されないことから、斜面上方から調査区へ雨水等によって流れ込んだものとは考えにくい。どのような経緯で調査区内で検出されるに至ったか不明であるが、今回の調査区の南西側に広がる平坦面で同質の火山灰が確認される可能性が高いと考えられる。

## 第２節　遺跡の歴史的環境

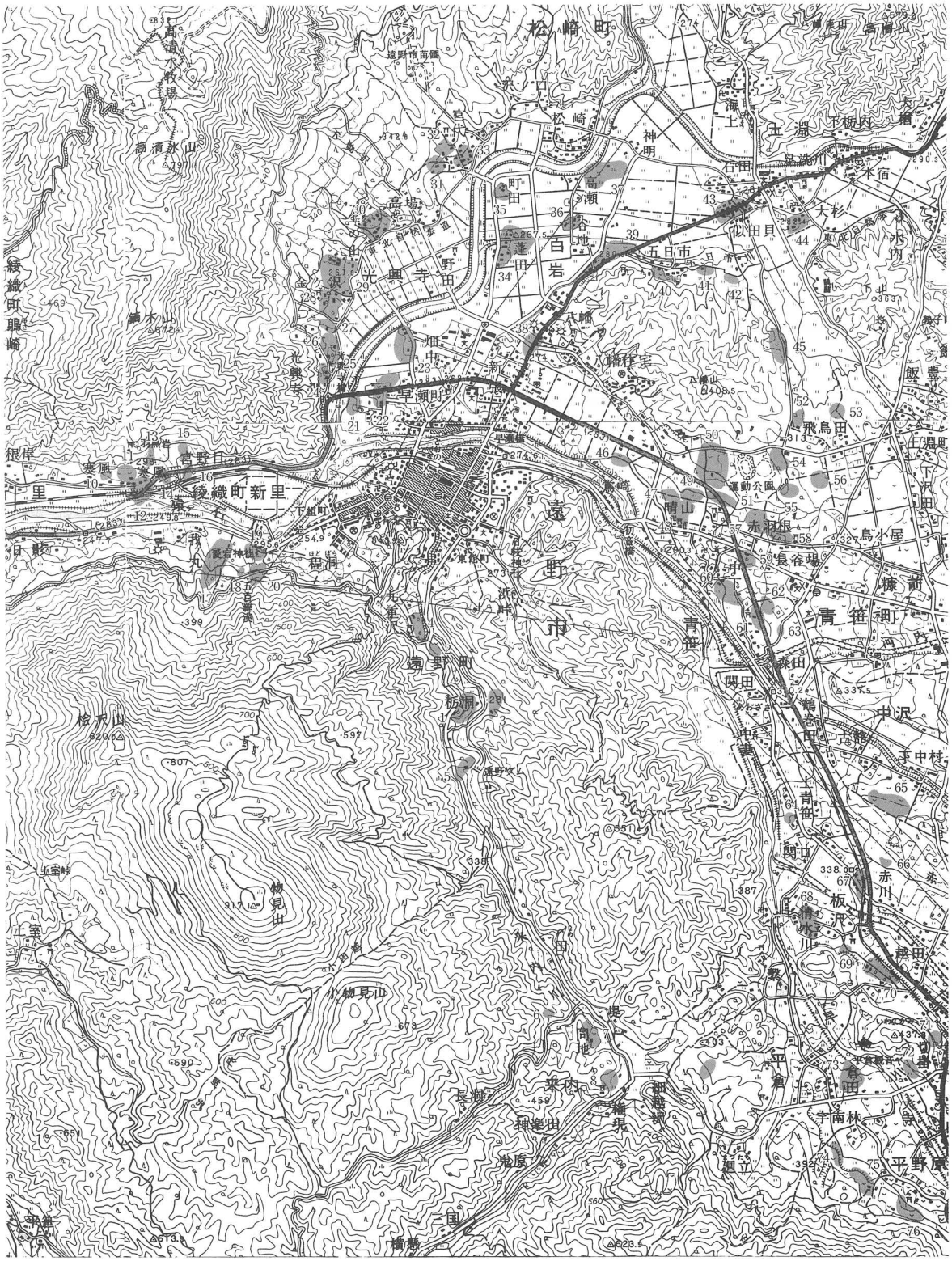
遠野市に所在する遺跡は岩手県教育委員会が作成した「岩手県埋蔵文化財包蔵地一覧（以後遺跡台帳）」(2000）によると321箇所の遺跡が登録されている。種別毎に見ていくと、散布地が全体の７割を占め、その６割弱が縄文時代に属する遺跡である。その他の時代は弥生時代が４遺跡、古代の遺跡が48遺跡、中世の遺跡が４遺跡で、それぞれ２遺跡、15遺跡、２遺跡が縄文時代との複合である。散布地以外では城館跡が２割弱を占めている。集落跡は１割にも満たず、27遺跡で、そのうち19遺跡が縄文時代である。前述以外では洞穴３、寺院跡など３、一里塚２、製鉄跡１である。

これらの遺跡の多くは猿ヶ石川とその支流の河川によって形成された地形に沿って立地している。古代の遺跡が猿ヶ石川流域の沖積地に多く見られるのに対して、縄文時代の遺跡は丘陵地、扇状地の段丘や微高地等に集中している。城館跡は盆地をめぐる丘陵に張り出した裾野に立地している。

以下、時期毎に概観する。

旧石器時代　遺跡台帳に登録されている遺跡は踊鹿Ⅰ遺跡（第６図54）のみであるが、当センターが平成12年に発掘調査を行った権現前遺跡（同53）では後期旧石器時代のナイフ形石器が出土しており、遺跡周囲にも周知されていない遺跡が所在する可能性が考えられる。

縄文時代　156遺跡が登録されている。時期は早期から晩期までみられるが、後･晩期が比較的多い。早･前期の遺跡は猿ヶ石川右岸の新里地区と支流の来内川左岸の栃洞地区に集中して分布する。中期は猿ヶ石川の支流砂小沢川流域や猿ヶ石川上流域の附馬牛地区に分布がみられる。後･晩期になると附馬牛地区や猿ヶ石川の支流早瀬川流域の板沢･平倉地区や小烏瀬川流域の栃内地区、鷹鳥屋川流域の太田地区などに分布域が広がっていく。近年発掘調査事例が増加しているものの、時代を通じて不明な部分が多い。当該期の発掘調査が行われた遺跡には寒風遺跡（古代・近世と複合、昭和56年）、寒風Ⅰ遺跡（第６図12、平成８年）、




（遠野・人首・土淵・大迫 1/50000×85%）

第６図　周辺の遺跡

## 第１表　周辺の遺跡一覧

| No. | 遺跡名 | 種別 | 時代 | 所在地 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 夫婦石袖高野 | 集 | 縄文 | （遠）字夫婦石袖高野 |
| 2 | 栃洞Ⅱ | 集 | 縄文 | （遠）大字九重沢 |
| 3 | 栃洞 | 散 | 縄文 | （遠）字栃洞 |
| 4 | 九重沢 | 集 | 縄文 | （遠）字九重沢 |
| 5 | メ田 | 散 | 縄文 | （遠）字メ田 |
| 6 | 長洞 | 散 | 縄文 | （上）来内字長洞 |
| 7 | 同地 | 散 | 縄文 | （上）来内字同地 |
| 8 | 権現 | 散 | 縄文 | （上）来内字権現 |
| 9 | 細越沢 | 散 | 縄文 | （上）細越沢 |
| 10 | 寒風Ⅱ | 散 | 縄文 | （綾）新里字寒風 |
| 11 | 寒風Ⅲ | 散 | 縄文 | （綾）新里字寒風 |
| 12 | 寒風Ⅰ | 散 | 縄文 | （綾）新里字寒風 |
| 13 | 寒風Ⅳ | 散 | 縄文 | （綾）新里字寒風 |
| 14 | 寒風Ⅴ | 散 | 縄文 | （綾）新里字寒風 |
| 15 | 宮野目Ⅰ | 散 | 縄文 | （綾）新里字宮野目 |
| 16 | 宮野目Ⅱ | 散 | 縄文 | （綾）新里字宮野目 |
| 17 | 新里五器洗場 | 散 | 縄文 | （綾）新里字間木野30地割 |
| 18 | 新里新滝 | 散 | 縄文 | （綾）新里字間木野31地割 |
| 19 | 新里間木野 | 散 | 縄・古 | （綾）新里字間木野30地割<br>（綾）新里字上宮ノ目 |
| 20 | 新里愛宕裏 | 集 | 縄文 | （綾）新里字間木野31地割 |
| 21 | 天神Ⅲ | 散 | 縄文 | （松）光興寺字天神 |
| 22 | 下柳Ⅰ | 散 | | （松）白岩字下柳 |
| 23 | 大柳 | 集 | 縄・古 | （松）白岩字大柳 |
| 24 | 下柳Ⅱ | 散 | 縄文 | （松）白岩字下柳 |
| 25 | 天神Ⅱ | 散 | 縄文 | （松）光興寺字天神 |
| 26 | 天神Ⅳ | 散 | 縄文 | （松）光興寺字天神 |
| 27 | 天神Ⅰ | 散 | 縄文 | （松）光興寺字天神 |
| 28 | 金ヶ沢Ⅱ | 集 | 縄文 | （松）光興寺字金ヶ沢 |
| 29 | 金ヶ沢Ⅰ | 集 | 縄文 | （松）光興寺字金ヶ沢 |
| 30 | 上ノ山 | 散 | 縄・古 | （松）光興寺字上ノ山 |
| 31 | 宮代Ⅰ | 散 | 縄文 | （松）光興寺字宮代 |
| 32 | 宮代Ⅱ | 散 | 縄文 | （松）光興寺字宮代 |
| 33 | 宮代Ⅲ | 散 | 縄文 | （松）光興寺字宮代 |
| 34 | 蓬田 | 集 | 縄・奈・中 | （松）白岩字蓮田 |
| 35 | 町田 | 散 | | （松）白岩字町田 |
| 36 | 谷地 | 散 | 縄文 | （松）駒木字谷地 |
| 37 | 高瀬Ⅰ | 集<br>古墳 | 縄・奈・平 | （松）駒木字高瀬 |
| 38 | 蟻ヶ崎 | 集 | 縄・古 | （松）白岩字蟻ヶ崎 |
| 39 | 土淵谷地 | 散 | 縄文 | （土）土淵字谷地 |
| 40 | 五日市Ⅲ | 散 | 縄文 | （土）五日市 |
| 41 | 五日市Ⅱ | 散 | | （土）五日市 |
| 42 | 五日市Ⅰ | 散 | | （土）五日市 |
| 43 | 下似田貝 | 散 | | （土）土淵字下似田貝 |
| 44 | 下土淵 | 散 | 縄・古 | （土）土淵字大杉 |
| 45 | 向野Ⅱ | 散 | 縄・古 | （土）五日市 |
| 46 | 朴ノ木 | 散 | 縄文 | （松）白岩字朴ノ木 |
| 47 | 晴山Ⅲ | 散 | 縄文 | （青）糠前字千刈田 |
| 48 | 晴山Ⅳ | 散 | 縄文 | （青）糠前字晴山 |
| 49 | 晴山 | 散 | 縄文 | （青）糠前 |
| 50 | 晴山Ⅴ | 散 | | （青）糠前字晴山 |
| 51 | 赤羽根Ⅰ | 散 | 縄文 | （青）糠前字大明神 |
| 52 | 飛鳥田Ⅱ | 散 | 縄文 | （青）糠前字飛鳥田 |
| 53 | 権現前 | 散集 | 旧・縄 | （青）糠前字権現前 |
| 54 | 踊鹿Ⅰ | 散 | 旧石器 | （青）糠前字踊鹿 |
| 55 | 踊鹿Ⅱ | 散 | 縄文 | （青）糠前 |
| 56 | 飛鳥田Ⅰ | 散 | 縄文 | （青）糠前字飛鳥田前 |
| 57 | 赤羽根Ⅱ | 散 | 縄文 | （青）糠前大明神 |
| 58 | 長谷場 | 散 | | （青）糠前字館 |
| 59 | 中下 | 散 | 縄文 | （青）青笹字中下 |
| 60 | 合田 | 散 | | （青）青笹字合田 |
| 61 | 八幡Ⅰ | 散 | 縄文 | （青）青笹字八幡 |
| 62 | 八幡Ⅱ | 散 | 縄文 | （青）青笹字八幡 |
| 63 | 下関 | 散 | 縄文 | （青）青笹字八幡 |
| 64 | 太田 | 散 | 縄・平 | （青）青笹字上青笹 |
| 65 | 鳥居長模Ⅰ | 散 | 縄文 | （青）鳥居長模 |
| 66 | 赤川Ⅱ | 散 | 縄文 | （上）板沢 |
| 67 | 赤川 | 散 | 縄文 | （上）板沢字赤川 |
| 68 | 清水川Ⅰ | 集 | 縄文 | （上）板沢字清水川 |
| 69 | 清水川Ⅱ | 散 | | （上）板沢字清水川 |
| 70 | 越田 | 散 | | （上）板沢字越田 |
| 71 | 切掛 | 散 | 縄文 | （上）板沢字切掛 |
| 72 | 平倉観音 | 散 | 縄文 | （上）平倉字観音 |
| 73 | 地崎 | 集 | 縄文 | （上）平倉字地崎 |
| 74 | 平倉 | 散 | 縄文 | （上）平倉字宇南林 |
| 75 | 平野原 | 散 | 縄文 | （上）平倉字平野原 |
| 76 | 平野原Ⅱ | 散 | 縄文 | （上）平倉字平野原 |

【表中の略号】
種　別　集：集落跡、散：散布地
時　代　旧：旧石器　縄：縄文、奈：奈良、平：平安、古：古代、中：中世
所在地　（遠）：遠野市遠野町、（上）：遠野市上郷町、（綾）：遠野市綾織町、
（松）：遠野市松崎町、（土）：遠野市土淵町、（青）：遠野市青笹町

甲子遺跡（近世と複合、平成９年）、新田Ⅱ遺跡（綾織新田遺跡、平成10～12年）、権現前遺跡（同53、平成12年）、栃洞Ⅱ遺跡（同２、平成14年）、九重沢遺跡（同４、平成14年）等がある。

弥生時代　登録されている遺跡は４遺跡と少ない。４遺跡とも散布地であり、集落の存在は知られていない。早瀬川流域の平倉地区やその支流の猫川流域の佐比内地区等に見られる。当該期の発掘調査が行われた遺跡には宇南田Ⅰ遺跡（平成12年）、平倉観音遺跡（第６図72、平成14年）等がある。

古代　59遺跡が登録されている。そのうち約４割の24遺跡が縄文時代や中世などとの複合遺跡である。猿ヶ石川流域の沖積地に位置する松崎地区や新里地区に分布が集中する。当該期の発掘調査が行われた遺跡には高瀬Ⅰ遺跡（縄文時代・近世と複合、昭和63年・平成元年）、蓬田遺跡（縄文時代と複合、昭和63年）、高瀬Ⅱ遺跡（縄文時代と複合、平成元年）、本宿（平成３・４年）等がある。

中世　47遺跡が登録され、その多くが城館跡である。松崎地区や土淵地区の丘陵裾野や小友地区に分布の集中がみられる。発掘調査が行われた遺跡には篠館跡（中世、平成10・11年）等がある。

遠野盆地は、縄文時代以前は不明であるものの、古くは縄文時代早期から人類活動が活発になされていた地域と考えられる。

【引用・参考文献】

岩手県企画部北上山系開発調査室　1971『北上山系開発地域　土地分類基本調査　遠野』

岩手県教育委員会　2000『岩手県埋蔵文化財包蔵地一覧』

（財）岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター

2004『九重沢遺跡発掘調査報告書　遠野第二ダム建設事業関連遺跡発掘調査』岩埋文調査報告書第435集

2004『栃洞Ⅱ遺跡発掘調査報告書　遠野第二ダム建設事業関連遺跡発掘調査』岩埋文調査報告書第436集

2004『平倉観音遺跡発掘調査報告書　県営ほ場整備猫川左岸地区工事関連遺跡発掘調査』岩埋文調査報告書第448集

遠野市教育委員会

1991『蓮田遺跡　県営圃場整備事業松崎地区関連遺跡発掘調査』岩手県遠野市埋蔵文化財調査報告書第３集

2002『新田Ⅱ遺跡』遠野市埋蔵文化財調査報告書第13集

# 第Ⅲ章　野外調査と室内整理

## 第１節　調査経過

野外調査は９月１日（月）に器材を搬入し、開始する。２日（火）遠野地方振興局土木部及川係長、及川技師が調査範囲確認のため来跡。同日、岩手県教育委員会生涯学習文化課によるトレンチの確認を行うとともに、それに直交するトレンチを６本設定して試掘を開始。８日（月）遠野地方振興局土木部及川係長、及川技師騒音測定のため来跡。同日、試掘の結果をもとに重機による表土掘削を開始（９日まで）。10日（水）株式会社イチイ土木コンサルタントによる基準点設置（11日まで）。10月30日（木）終了確認実施。31日（金）埋め戻しを行う。11月４日（火）撤収作業完了し、調査終了。

室内整理は２月２日（月）整理作業員４名で作業開始。２月第１週目で遺構内の接合を終了。２週目から遺構外の接合と掲載遺物の選別を行う。３月上旬に遺構に関する図版・写真図版終了。同時に遺物の実測と図版作成、遺物写真撮影を開始する。３月31日（水）に遺物・各図面類の収納を行い、整理作業を終了した。

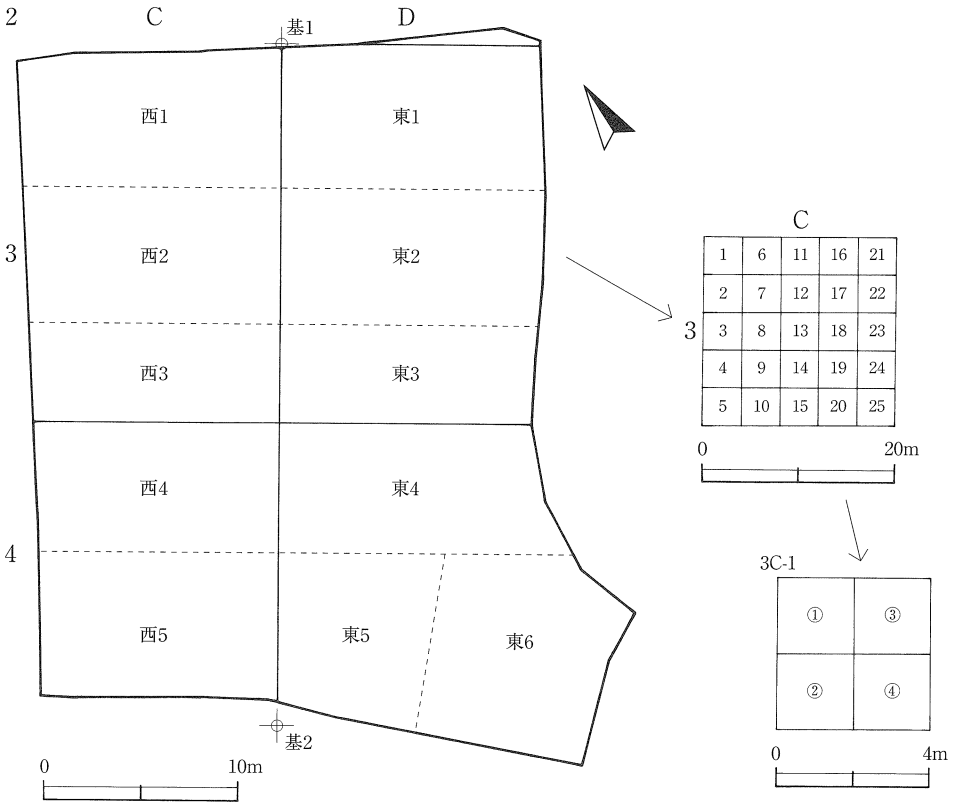
## 第２節　野外調査

### （１）グリッドの設定（第７図）

グリッドの設定は、遺跡の地形に合わせることを念頭におき、基準点１と基準点２を敷設した。

基準点１　X＝-75,890.078　Y＝60,335.687

基準点２　X＝-75,920.170　Y＝60,315.928（世界測地系）




第７図　グリッド設定図

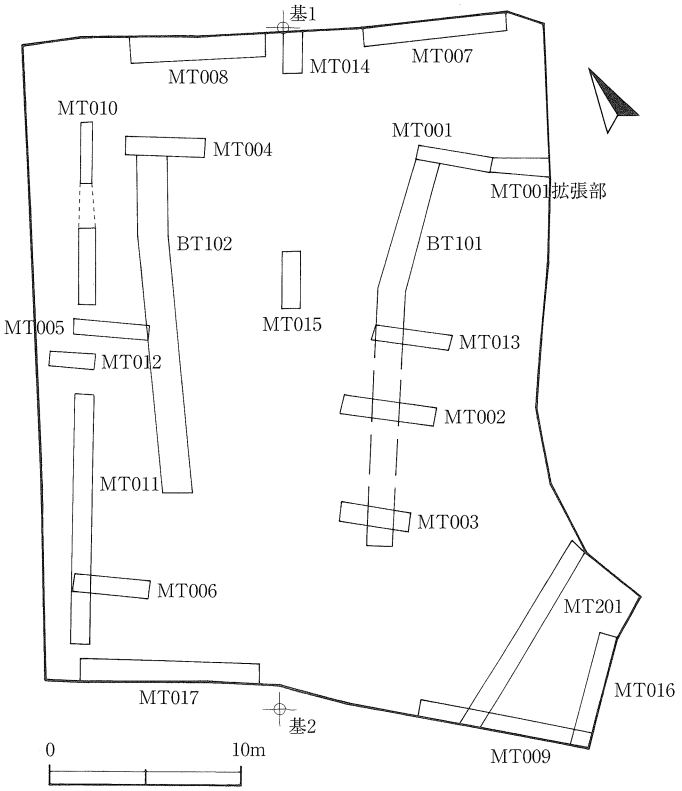
この２点を結んだ線を基準線とし、これに直交・平行する線で遺跡全体を網羅するように20×20ｍを１区画とした大グリッドを設定した。グリッドの名称は、西から東へＡ・Ｂ・Ｃ・Ｄ、北から南へ１・２・３・４として、「３Ｃ」のように表記している。さらにこの大グリッドを４×４ｍの中グリッドで25分割した。名称は北西から南東へ１・２……25となるようにし、「３Ｃ－25」のように表記している。また、中グリッドは必要に応じて２×２ｍの小グリッドで４分割した。名称は北西から南西へ①・②・③・④とした。各グリッドの北西隅の交点にはグリッド名を表記した杭を設置した。なお、今回の調査区は主に３Ｃ・３Ｄ・４Ｃ・４Ｄグリッドに限定されており、各種図面は調査区のみ表記している。

### （２）試掘・粗掘・遺構検出

調査区域の雑物撤去後、岩手県教育委員会生涯学習文化課による２本のトレンチ（ＢＴ101・102：第８図）の確認を行うと同時に、図面上から判断して、これらに直交すると考えられる位置に６本のトレンチ（ＭＴ001～006：同）を設定して、トレンチの確認作業と試掘を開始した。その後、調査区層序を確認するために、調査区の境を中心に大小10本のトレンチ（ＭＴ007～016：同）を設定した。その結果、前述したように層序が確認され、重機と人力を併用して表土の除去を行った。表土の除去が終了した部分から順次、遺構の検出を行った。

### （３）遺構の名称

検出された遺構は、遺構の種別に関係なく、１号から番号を付していった。そのため、精査の結果、欠番となった遺構が存在するが、名称変更せずにそのまま使用した。




第８図　トレンチ位置図

### （4）精査・実測・写真撮影

検出した遺構は径が2ｍ以上のものは4分法、2ｍ未満のものは2分法を原則として用いた。掘削の際には、まず、土層観察用に設定したベルトに従ってサブトレンチを設定し、覆土の堆積状況を確認した。その後、層位毎に、ベルト部分を残して、覆土の除去を行った。

検出された遺構の平面実測は主にトータル・ステーションを使用し、㈱シン技術コンサルの「遺跡管理システム2000」にデータを蓄積すると同時に、データの出力を行い、図の点検・修正を行った。実測図の縮尺は1/20を基本とし、焼土遺構等1/10も併用している。断面図の縮尺も平面図と同様である。

写真撮影は検出状況、覆土断面、完掘状況、遺物出土状況など必要に応じて行った。モノクローム写真には35㎜カメラと中判（6×7㎝）カメラ、カラースライド写真には35㎜カメラを使用して撮影を行っている。また、撮影補助用として、デジタルカメラも使用している。撮影時には撮影状況を記載した「撮影カード」を事前に写し、その後対象遺構・遺物の撮影を行うことによって、整理時の煩雑化を避けた。

### （5）遺物の取り上げ

遺構内の遺物については、覆土の堆積状況を確認後、層位毎に取り上げるよう努めたが、徹底していない。覆土内、底面出土等の一括遺物の一部については微細図や座標データの記録を取ることで出土状況の記録を行っている。遺構外の遺物は基準点設置以前には調査区を東西に分け、さらにそれぞれ5～6分割（東1～東6、西1～西5：第7図参照）した場所毎に取り上げを行い、設置後は、中グリッド単位、層位毎に取り上げを行ったが、これも徹底していない。なお、縄文時代早期の土器や一括遺物など、一部の出土遺物は実測、座標データの記録を行っている。

## 第3節　室内整理

### （1）遺構

本遺跡で検出された遺構は縄文時代の住居状遺構、土坑、焼土遺構・炉跡である。土坑の一部には直径が50㎝前後の柱穴状の土坑も存在するが、単独で存在しているため、土坑に含めて報告する。掲載の順序は住居状遺構→土坑→焼土遺構・炉跡である。遺構配置図は1/20の第2原図を基に、1/200の縮尺図を作成し、仕上がり1/300で掲載した。

本文や遺構の一覧表に掲載した計測値は以下のとおりである。

①主軸方向：基本的には平面形が楕円形基調の場合は長軸方向、方形基調の場合は長辺方向である。

②長径・短径：長径は長軸方向の最大距離、短径は長径に直交する軸で最大距離を計測した。

③深さ：上端で最も高い部分と底面の比高差を計測した。

### （2）遺物

**土器の整理**　土器は取り上げてきた袋毎に4桁の番号を付し、台帳を作成した。この作業と同時に袋毎に重量（ｇ単位：少数第1位を四捨五入）を計測し、台帳に記載した。なお、収納する際に、掲載されない3×3㎝以上の土器片の点数を計上した。これらの出土点数と重量はグリッド・層位毎に集計した。

注記作業は2ヶ月という限られた期間内での整理作業であったため、遺物全点には行っていない。土器は、接合作業中に、①接合が進んで形の把握ができるもの、②口縁部資料及び底部資料、③①・②以外で掲載分としたもの、に限って行った。基本的には遺跡の略号「ＭＩＳ－03」と袋毎の4桁番号「0001」等を注記

するという方法をとった。また、同一袋内で接合する資料には一番大きい土器片に前述の注記を行うと同時に「○・△・□」等の記号を付し、その他の接合した破片資料にはその記号のみを注記するという方法を用いて、作業の効率化・簡略化を図った。

接合作業は遺構内出土土器→遺構外出土土器（３Ｃ→４Ｃ→３Ｄ→４Ｄ）の順で行った。遺構内出土土器はできる限り隣接する遺構やグリッドとの接合作業を試みたが、時間的な制約により、十分には行えていない。各段階の接合作業が終了した時点で、掲載遺物の１次選別を行い、整理番号を付した。その番号は次のとおりである。遺構内の立体土器（口径もしくは底径が1/3以上復元できた土器）：１～、遺構外の立体土器：50～、遺構内の破片土器：101～、遺構外の破片土器：501～。報告書掲載時の掲載番号は、遺構内は１から、遺構外は201から使用している。この段階では選別した点数が多いため、２次選別を行って、特徴の類似しているものは省略する等の作業を行った。２次選別後、実測・拓影図作成作業に移った。土器の実測は外形線と拓本では表現しきれない隆帯や突起等にのみ行い、その他は拓本を採用して作業時間の軽減化を図った。観察表中では各項目で省略した名称を用いており、末尾に示した。

**土製品の整理**　土製品は１点毎袋に遺跡名、取り上げ年月日、出土地点、出土層位を記載して入れ、注記は行っていない。掲載番号は遺構内→遺構外の順に501から使用している。

**石器・石製品の整理**　石器・石製品は１点毎、整理番号を付して台帳に登録した。整理番号は４桁で表記し、遺構内は1001から、遺構外は2001から番号を付している。登録作業後、計測（小数点第３位を四捨五入し、第２位まで記載）、器種の認定、掲載遺物の選別、石質鑑定を行い、実測作業、トレース、図版作成と進めた。

掲載番号は、遺構内は601から、遺構外は701から使用している。

実測は器種毎に実測面の選択を行い、すべて原寸で図化を行った。いわゆる「礫石器」の作業部位の表現は凡例に示したように機能毎に網掛・スクリーントーンを使い分けて行っている。

**その他の出土遺物の整理**　上記以外の出土遺物は粘土焼成塊、貝殻、獣骨、炭化種実、陶磁器、銭貨がある。いずれも１点毎に整理番号を付して台帳に登録した。整理番号は粘土焼成塊が3001～、貝殻・獣骨が4001～、炭化種実が4101～、陶磁器が5001～、銭貨が6001～である。

掲載した遺物の縮尺は各図版にスケールを付したので参照して頂きたい。

### （３）写真図版

野外調査時に撮影した遺構などの写真と室内整理で撮影した遺物写真、当埋蔵文化財センターが保管している空中写真で図版を作成した。写真図版に掲載している遺物の掲載番号は本文、観察表及び図版の掲載番号と一致している。また、遺構の断面写真は基本的に図版の断面と同じ方向から撮影したものである。

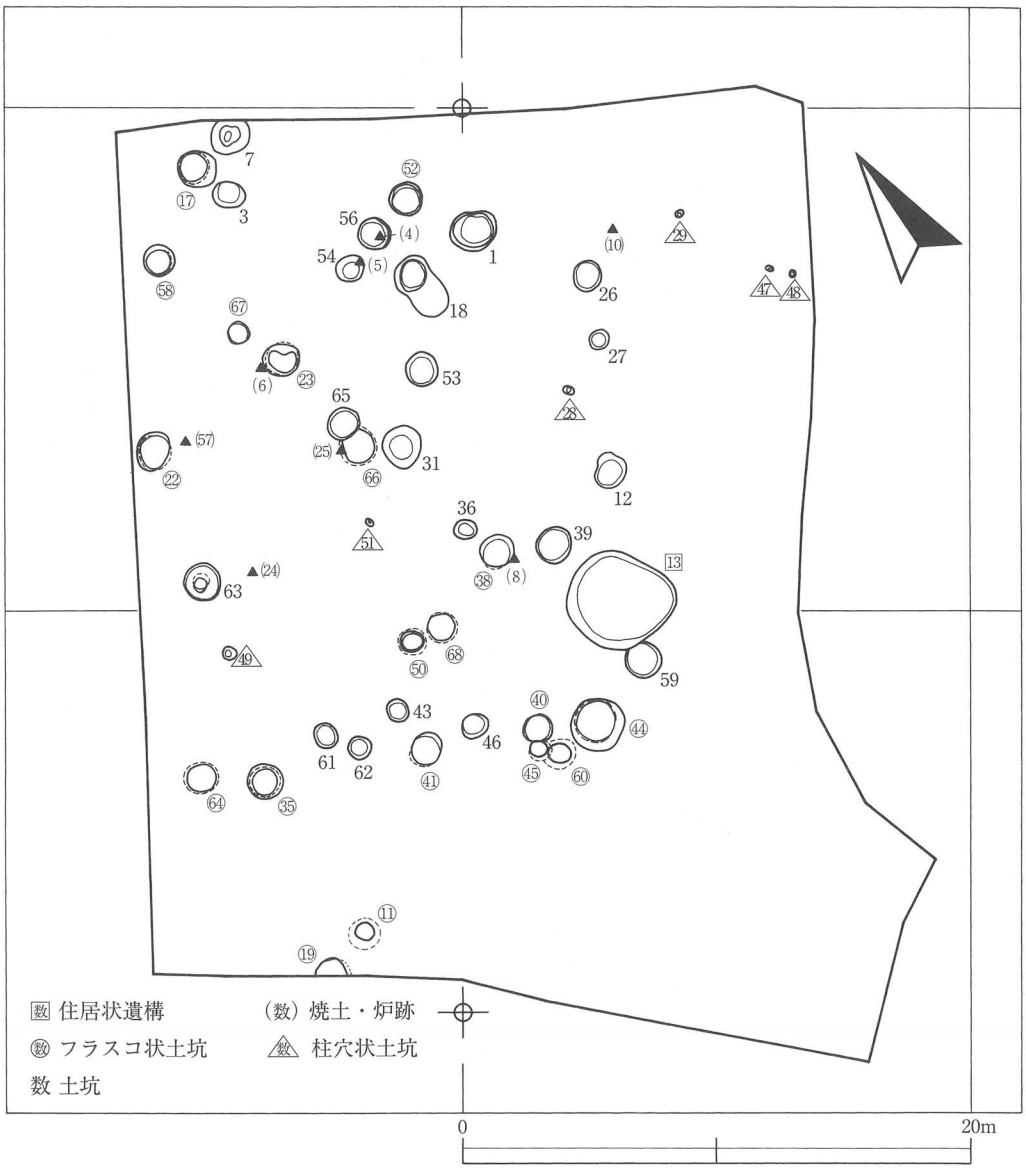
遺物の写真撮影は基本的に次の基準で行った。縄文土器は図化したもの、第２次選別で採用し図化できなかったもののうち、状態の良好な資料及び遺物量の少ない遺構から出土した小破片資料、石器は図化したもの、図化できなかったトゥール類及びその他の代表的なもの、土製品、石製品、粘土焼成塊、貝殻・獣骨、銭貨は全資料、炭化種実、陶磁器は代表的なもの。ただし、紙面の都合上、撮影した遺物全てを掲載しているわけではない。

# 第Ⅳ章　遺構と遺物

## 第１節　概要

野外調査は平成15年９月１日から11月４日の約２箇月間行い、住居状遺構１棟、土坑45基、焼土遺構６基、炉跡２基を検出した。遺構の分布は調査区の北西側（斜面下方：３Ｃグリッド・４Ｃグリッド北側・４Ｄグリッド北西側）に密になり、南東側（斜面上方：４Ｄグリッド）は疎になる傾向がみられる。遺跡の範囲から概観すると、山地縁辺の緩斜面末端部に貯蔵穴を中心とした土坑類が構築されていることとなる。今回の発掘調査では竪穴住居跡は１棟も検出されなかったが、竪穴住居跡を中心とする、集落の中心部はさらに斜面上方の広い平坦面に広がると考えられる。

遺物は縄文土器（早期中葉～後期前葉：後期初頭～前葉中心）、土製品（土偶、円盤状土製品）、石器（石



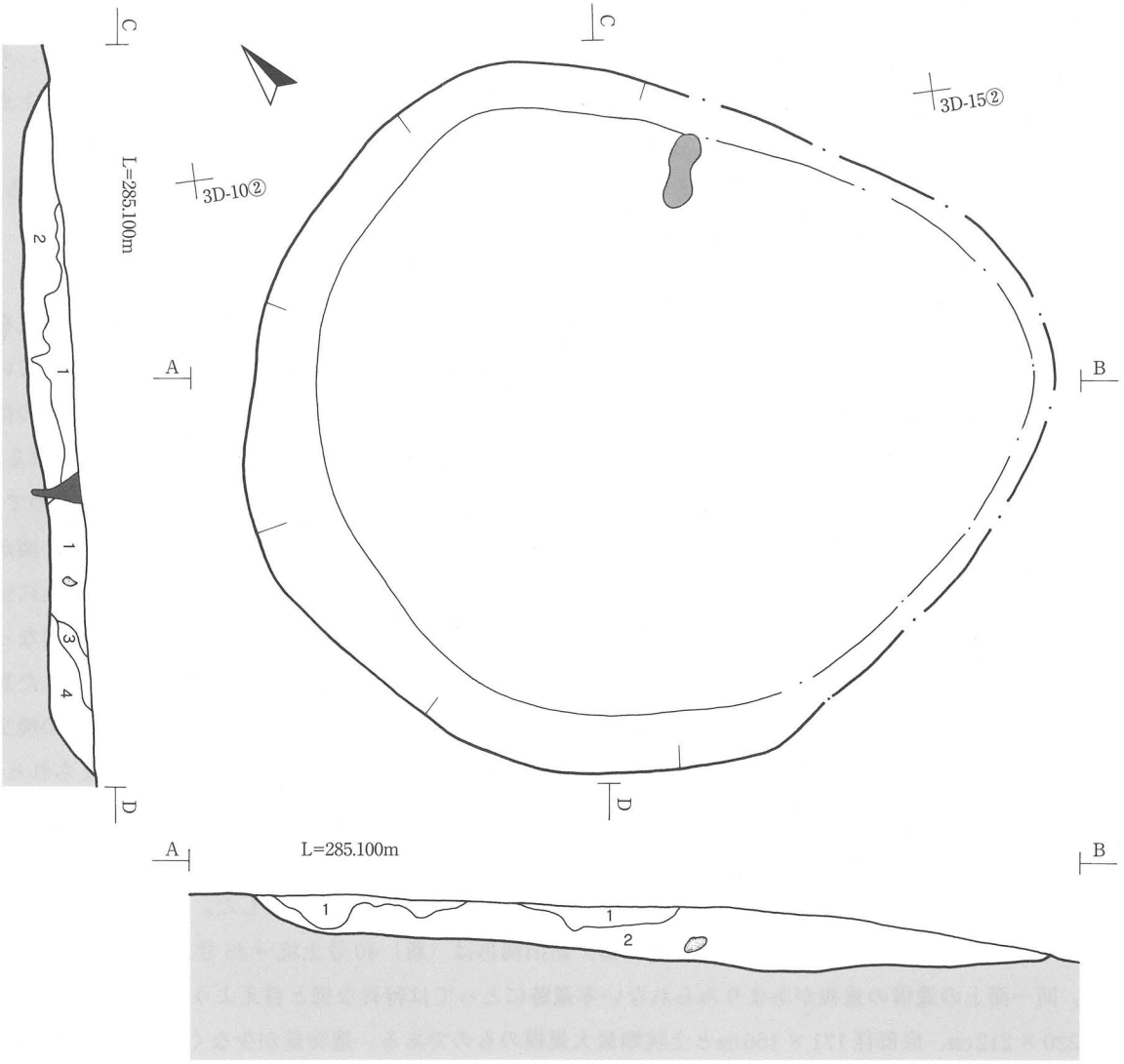

第９図　遺構配置図

鏃・錐形石器・石匙・削器・掻器・篦状石器・楔形石器・調整痕のある剥片・微細剥離痕のある剥片・剥片・砕片・石核・原石・磨製石斧・磨石・凹石・敲石・素材礫・礫)、石製品、焼成粘土塊、陶器、磁器、銭貨、自然遺物等が出土している。出土量については第３表～第６表を参照して頂きたい。遺物は第３節で、遺構内・遺構外出土に関係なく、一括して記載している。

## 第２節　遺構

### （１）住居状遺構

形状は竪穴住居に似るが炉や規則的な柱穴の配置が見られない遺構である。１棟を確認した。




13号住居状遺構

| | 色　調 | 土　質 | 粘 | し | 混入物等 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 10YR2/1　黒 | シルト | 1 | 1 | |
| 2 | 10YR2/2　黒褐 | シルト | 1 | 3 | |
| 3 | 10YR2/3　黒褐 | シルト | 4 | 3 | YBP混入 |
| 4 | 10YR2/2　黒褐 | シルト | 1 | 1 | |

0　2m

第10図　住居状遺構

13号住居状遺構

**遺構**（第10図、写真図版３）３Ｄ－10・４Ｄ－６グリッドに位置し、Ⅱａ層上面で黒色シルトの円形プランが検出された。本遺構は59号土坑と重複しているが、上端の極一部の重複であるため、新旧関係は不明である。南東側が後世の掘削によって失われているため判然としないが、確認された部分から判断すると、規模は長径440cm、短径395cm、平面形は円形もしくは楕円形を呈すると考えられる。確認面からの深さは最も深い部分で36.0cmである。覆土は４層に分層され、Ⅱ層起源の黒褐色シルトを主体とする。堆積はレンズ状を呈し、自然堆積と考えられる。壁面を確認できたのは西側の約1/2で、底面からゆるやかに立ち上がる。底面は東側に若干傾斜しており、ゆるやかな凹凸がみられる。貼り床は確認されなかった。東側の壁際で焼土を１基検出した。40cm×17cmの範囲に非常に薄い焼土層が形成されている。柱穴や炉は検出されなかった。

**遺物**（１～８・601～605第22・32図、写真図版18・25）縄文土器、石器、礫が出土したが、覆土下位から床面にかけてから出土した１を除き、ほとんどが覆土中からの出土である。縄文土器は49点が出土し、そのうち、８点を掲載した。すべて後期初頭から前葉の土器で、単節斜縄文のものが多い。石器は石匙１点（601）、剥片２点（602・603）、砕片１点（604）、礫２点が出土した。

**時期**　床面出土の遺物が少ないため断定はできないが、縄文時代後期初頭から前葉に属すると考えられる。

## （２）土坑

調査区のほぼ全域から45基の土坑が検出された。前述のとおり、土坑、フラスコ状土坑、柱穴状土坑を一括して扱う。土坑は調査区の南側を除く区域から検出されたが、中でも北側の３Ｃグリッドに密集している。これらの土坑の所属時期は遺物が少ないものやまったくないものもみられ、断定しがたいが、遺物の伴うものや各土坑の検出面から出土する遺物から判断すると、大半は縄文時代後期初頭から前葉と考えられる。

個々の遺構の観察事項や出土遺物については、紙面の都合上、第２表・第３表の観察表にまとめたので、ここでは代表的なもののみ触れるとする。１号土坑は平面形が楕円形を呈する土坑で、３層及び３層上面から後期初頭から前葉の縄文土器が出土した。また、底面のほぼ中央にブロック状の礫があり、その直上に12の土器が内面を上にして置かれた様にして出土している。遺物の出土状況や形状等が他の土坑類とは異なっており、墓壙等、機能（用途）の異なる遺構と考えられる。18号土坑は平面形が中央部のややくびれた長楕円形を呈する土坑で、覆土中位～下位、特に北側の２層下位～４層上位で多くの後期初頭から前葉の縄文土器が出土した。土層の堆積は人為堆積で、遺構の廃絶後、黒褐色土とともに廃棄したものと考えられる。23号土坑は本遺跡で、開口部から底部までの深さが約122cmと最も深い、断面形がフラスコ状をした土坑である。39号土坑は平面形が円形を呈する土坑である。合計３kg強の遺物が各層から出土し、土坑類では最も遺物が出土した遺構である。この他に、円盤状土製品や石皿、砥石なども出土した。40号土坑・45号土坑・60号土坑は３基の土坑が重複したものである。新旧関係は（新）40号土坑→45号土坑→60号土坑である。同一面上の遺構の重複があまりみられない本遺跡にとっては特異な例と言えよう。44号土坑は開口部径220×212cm、底部径171×166cmと土坑類最大規模のものである。遺物量が少なく、断定はできないが、縄文時代後期初頭から前葉に属すると考えられる。53号土坑は39号土坑、18号土坑に次いで遺物量の多かった土坑である。約２kgの出土量で、中心となるのは後期初頭から前葉の縄文土器である。

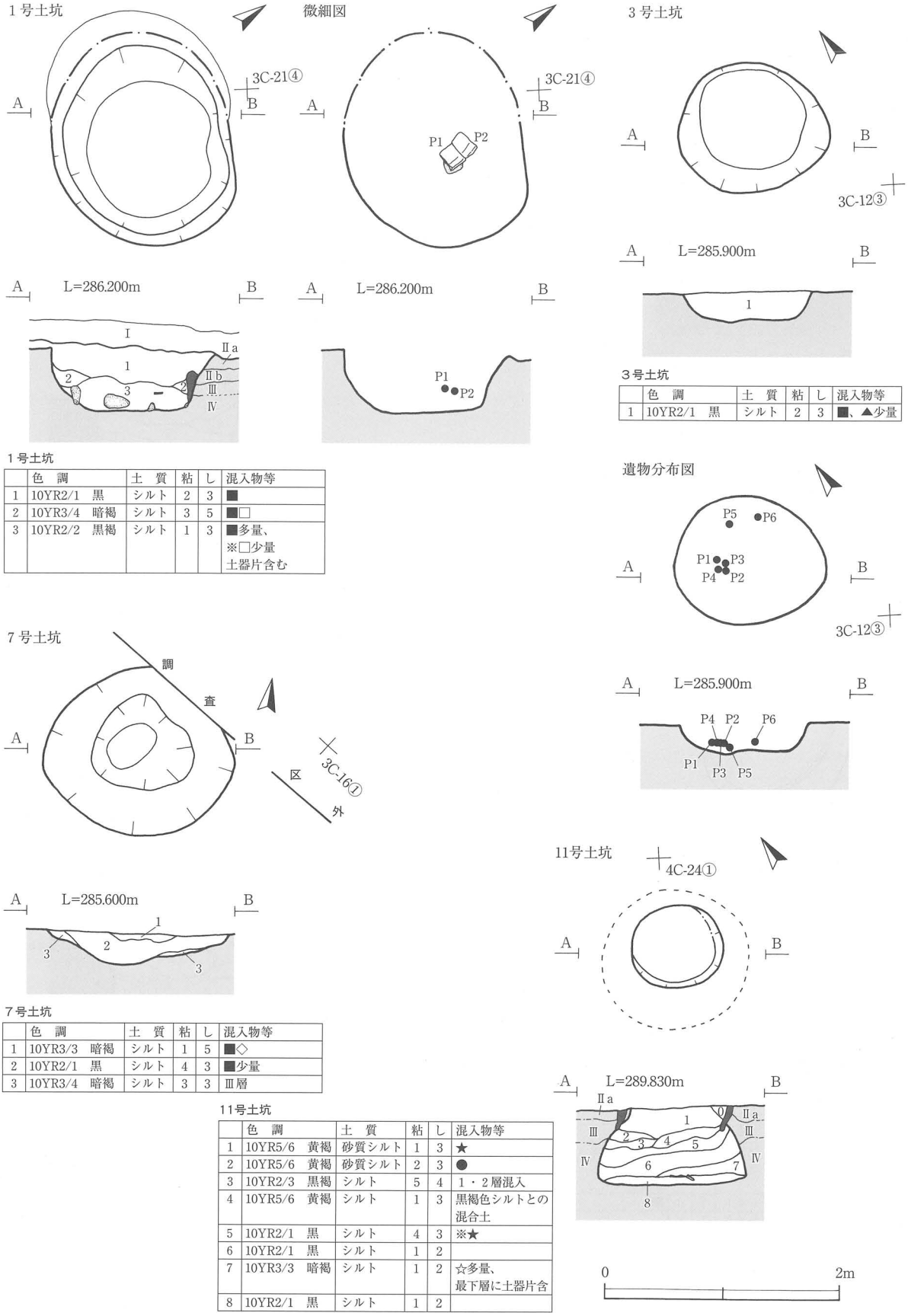
## 第２表　土坑観察表（１）

| 遺構番号 | 位置 | 検出面・底面 | 規模(cm) | 開口部 底部 | 開口部 深さ | 形状 平断 | 覆土 | 出土遺物（上段：出土量、下段：掲載遺物） | 重複関係 | 時期 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| １号 | ３Ｃ－22～３Ｄ－２ | Ⅱａ・Ⅳ | (188)×156 | 117×110 | 83.4 | Ｂ・Ⅲ | ３層。人為堆積？<br>上位は黒色シルト、<br>下位は黒褐色シルト主体。 | 縄文土器：74点、1885ｇ。石器：５点、161.3ｇ。<br>縄文土器（９～16）、石器（606～609） | | （縄）後期初頭～前葉 |
| ３号 | ３Ｃ－11 | Ⅱａ・Ⅳ | 130×113 | 92×85 | 38.4 | Ａ・Ⅲ | 黒色シルトの単層。人為堆積。<br>土器片、炭化物含む。 | 縄文土器：34点、653ｇ。<br>縄文土器（17～19）、土製品（501） | | （縄）後期初頭～前葉 |
| ７号 | ３Ｃ－11 | Ⅱａ・Ⅳ | 166×(146) | 44×40 | 34.3 | Ａ・Ⅳ | ３層。自然堆積。<br>黒色シルト主体。 | なし | | （縄）後期以降 |
| 11号 | ４Ｃ－19・24 | Ⅱａ・Ⅳ | 79×72 | 126×120 | 68.4 | Ａ・Ⅰ | ８層。人為堆積。<br>上位は黄褐色砂質シルト、<br>下位は黒色シルト主体。 | 縄文土器：29点、843ｇ。<br>縄文土器（20～26） | | （縄）後期初頭～前葉 |
| 12号 | ３Ｄ－９ | Ⅱａ・Ⅳ | 144×124 | 97×96 | 49.3 | Ａ・Ⅳ | ６層。人為堆積？<br>黒色シルト主体。 | 縄文土器：18点、204ｇ。石器：１点、1.18ｇ。<br>縄文土器（27～29）、土製品（502）、石器（610） | | （縄）後期 |
| 17号 | ３Ｃ－11 | Ⅱａ・Ⅳ | (162)×(152) | (117)×(126) | 89.6 | Ａ・Ⅰ | ８層。人為堆積。<br>黒色シルト、黒褐色<br>シルト主体。 | 縄文土器：８点、139ｇ。<br>縄文土器（30～33） | | （縄）後期 |
| 18号 | ３Ｃ－22・23 | Ⅱａ・Ⅳ | 262×156 | 102×103 | 88.8 | Ｃ・Ⅵ | ５層。人為堆積。<br>黒褐色シルト主体。<br>遺物多量含む。 | 縄文土器：104点、2572ｇ。石器：５点、90.79ｇ。<br>縄文土器（34～46）、土製品（503）、石器（611～614） | | （縄）後期初頭～前葉 |
| 19号 | ４Ｃ－19 | Ⅲ・Ⅳ | 直径120cm前後 | 直径140cm前後 | 54.1 | Ａ・Ⅰ | 11層。人為堆積。<br>黒褐色シルト主体。 | 縄文土器：17点、128ｇ。石器：１点、2.22ｇ。<br>縄文土器（47）、石器（615） | | （縄）後期以降 |
| 22号 | ３Ｃ－９・14 | Ⅲ・Ⅳ | (161)×(135) | 144×123 | 79.3 | Ａ・Ⅰ | ４層。人為堆積。<br>黒色シルト、<br>黒褐色シルト主体。 | 縄文土器：27点、677ｇ。石器：３点、17.98ｇ。<br>縄文土器（48～52）、石器（616～618） | | （縄）後期以降 |
| 23号 | ３Ｃ－18 | Ⅲ・Ⅳ | (147)×(127) | 135×128 | 121.6 | Ａ・Ⅰ | 12層。人為堆積。<br>上位や中位は黒色シルトや黒褐色<br>シルト、下位は暗褐色シルト主体。 | 縄文土器：21点、328ｇ。石器：１点、27.02ｇ。<br>縄文土器（53～56）、石器（619） | ６焼→23土 | （縄）後期以降 |
| 26号 | ３Ｄ－７ | Ⅱｃ・Ⅳ | 122×112 | 102×92 | 28.8 | Ａ・Ⅱ | ２層。自然堆積。<br>黒褐色シルト主体。 | 縄文土器：35点、434ｇ。石器：１点、1.6ｇ。<br>縄文土器（57～61）、石器（620） | | （縄）後期 |
| 27号 | ３Ｄ－８ | Ⅱｃ・Ⅴ | 82×78 | 54×56 | 23.6 | Ａ・Ⅲ | ２層。自然堆積。<br>上位は黒褐色シルト、<br>下位は暗褐色シルト主体。 | なし | | （縄）後期？ |
| 28号 | ３Ｄ－８ | Ⅱｃ・Ⅳ | 48×38 | 18×25 | 19.6 | Ａ・Ⅱ | ２層。自然堆積。<br>黒褐色シルト主体。 | 縄文土器：３点、11ｇ。 | | （縄）後期以降 |
| 29号 | ３Ｄ－12 | Ⅱｂ・Ⅳ | 33×32 | 16×16 | 36.9 | Ａ・Ⅱ | 黒褐色シルトの単層。<br>自然堆積。 | 縄文土器：11点、190ｇ。<br>縄文土器（62～63） | | （縄）後期前葉 |
| 31号 | ３Ｃ－24 | Ⅱｂ・Ⅳ | 172×152 | 94×97 | 70.0 | Ａ・Ⅲ | ５層。人為堆積。<br>黒褐色シルト主体。<br>３層、４層に遺物含む。 | 縄文土器：48点、602ｇ。石器：２点、803.76ｇ。<br>縄文土器（64～67）、土製品（504）、石器（621） | | （縄）後期 |
| 35号 | ４Ｃ－12・17 | Ⅱａ・Ⅳ | (142)×(142) | 121×121 | 56.1 | Ａ・Ⅰ | ６層。自然堆積。<br>黒褐色シルト主体。 | 縄文土器：18点、233ｇ。石器：１点、32.69ｇ。<br>縄文土器（68～70） | | （縄）後期初頭～前葉 |
| 36号 | ３Ｃ－25・３Ｄ－５ | Ⅲ・Ⅲ | 96×78 | 63×56 | 42.1 | Ｂ・Ⅲ | ４層。人為堆積。<br>黒褐色シルト主体。<br>土器片含む。 | 縄文土器：19点、293ｇ。石器：２点、10.48ｇ。<br>縄文土器（71～74）、土製品（505・506）、石器（622・623） | | （縄）後期前葉 |
| 38号 | ３Ｄ－５ | Ⅲ・Ⅳ | (138)×(127) | 123×107 | 72.6 | Ａ・Ⅴ | ４層。人為堆積。<br>黒褐色シルト主体。<br>３層下位、４層に土器片含む。 | 縄文土器：34点、1064ｇ。<br>縄文土器（75～83）、土製品（507）、焼成粘土塊（551） | ８炉→38土 | （縄）後期初頭～前葉 |
| 39号 | ３Ｄ－５・９ | Ⅲ・Ⅳ | (145.5)×(137) | 120×118 | 64.7 | Ａ・Ⅲ | ３層。人為堆積→自然堆積。<br>黒色シルト主体。 | 縄文土器：126点、2997ｇ。石器：８点、949.93ｇ。<br>縄文土器（84～90）、土製品（508・509）、石器（624～629） | | （縄）後期前葉 |
| 40号 | ４Ｄ－２ | Ⅲ・Ⅳ | (117)×116 | (112)×99 | 49.8 | Ａ・Ⅰ？ | ３層。自然堆積？<br>上位は黒色シルト、<br>下位は褐色砂質シルト主体。 | 縄文土器：17点、200ｇ。<br>縄文土器（91～93） | 40土→45土 | （縄）後期初頭～前葉 |
| 41号 | ４Ｃ－22 | Ⅲ・Ⅳ | 138×123 | 120×117 | 62.6 | Ａ・Ⅴ | ５層。人為堆積。<br>黒褐色シルト、黒色シルト主体。<br>３層に土器片含む。 | 縄文土器：53点、875ｇ。石器：４点、405.04ｇ。<br>縄文土器（94～101）、石器（630～632） | | （縄）後期初頭～前葉 |
| 43号 | ４Ｃ－21・22 | Ⅱｂ・Ⅳ | 94×(87) | 71×66 | 32.5 | Ａ・Ⅲ | ２層。人為堆積？<br>黒褐色シルト主体。 | 縄文土器：10点、424ｇ。石器：３点、40.03ｇ。<br>縄文土器（102～104）、石器（633・634） | | （縄）後期初頭～前葉 |
| 44号 | ４Ｄ－６・７ | Ⅱａ・Ⅳ | 220×212 | 171×166 | 88.3 | Ａ・Ⅰ | ８層。自然堆積。上位は黒褐色シルト、<br>中位は暗褐色シルト、<br>下位は黒褐色シルト主体。 | 縄文土器：14点、170ｇ。石器：３点、304.88ｇ。<br>縄文土器（105・106）、石器（635） | | （縄）後期初頭～前葉 |
| 45号 | ４Ｄ－２ | Ⅲ・Ⅳ | 71×(62) | 92×(79) | 55.6 | Ａ・Ⅰ | 人為堆積。<br>黒色シルト主体。 | 縄文土器：14点、267ｇ。<br>縄文土器（107） | 40土→45土→60土 | （縄）後期初頭 |
| 46号 | ４Ｄ－２ | Ⅲ・Ⅳ | 111×95 | 88×74 | 34.7 | Ａ・Ⅲ | 自然堆積？<br>黒褐色シルト主体。 | 縄文土器：９点、187ｇ。石器：１点、5.09ｇ。<br>縄文土器（108・109）、石器（636） | | （縄）後期初頭～前葉 |
| 47号 | ３Ｄ－17 | Ⅳ・Ⅳ | 29×23 | 15×13 | 18.6 | Ｂ・Ⅲ | 人為堆積。<br>黒褐色シルトの単層。 | なし | | 不明 |

## 第３表　土坑観察表（２）

| 遺構番号 | 位置 | 検出面・底面 | 規模（cm） | 開口部 底部 | 開口部 深さ | 形状 平 | 形状 断 | 覆土 | 出土遺物（上段：出土量、下段：掲載遺物） | 重複関係 | 時期 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 48号 | ３Ｄ－17 | Ⅳ・Ⅳ | 28×27 | 17×18 | 17.5 | A | Ⅲ | ３層。人為堆積？<br>黒褐色シルト主体。 | なし | | 不明 |
| 49号 | ４Ｃ－11 | Ⅱｂ・Ⅳ | 59×49 | 31×29 | 51.5 | B | Ⅱ | ４層。人為堆積？<br>黒褐色シルト主体。 | なし | | （縄）後期？ |
| 50号 | ４Ｃ－21 | Ⅱｂ・Ⅳ | 98×84 | 114×104 | 77.0 | A | Ⅰ | ３層。自然堆積？<br>上位は黒褐色シルト、<br>下位は黒色シルト主体。 | 縄文土器：41点、1092ｇ。石器：１点、55.53ｇ。<br>縄文土器（110～112）、石器（637） | | （縄）後期初頭～前葉 |
| 51号 | ３Ｃ－25 | Ⅱｃ・Ⅲ | 直径35cm前後 | 直径14cm前後 | 42.6 | （A） | Ⅱ | 人為堆積。<br>黒色シルトの単層。 | なし | | （縄）後期以前 |
| 52号 | ３Ｃ－21・22 | Ⅲ・Ⅳ | 137×131 | 110×103 | 58.9 | A | Ⅵ | ３層。人為堆積？<br>黒褐色シルト主体。 | 縄文土器：16点、385ｇ。<br>縄文土器（113・114） | | （縄）後期初頭～前葉 |
| 53号 | ３Ｃ－23 | Ⅱａ・Ⅳ | 139×128 | 107×96 | 90.1 | A | Ⅱ | ４層。人為堆積。<br>黒褐色シルト主体。 | 縄文土器：76点、1921ｇ。石器：15点、194.11ｇ。<br>縄文土器（115～126）、土製品（510）、<br>石器（638～651） | | （縄）後期前葉 |
| 54号 | ３Ｃ－17 | Ⅱａ・Ⅳ | 116×105 | 67×63 | 38.6 | A | Ⅳ | ４層。自然堆積。<br>上位は黒褐色シルト、<br>下位は褐色シルト主体。 | 縄文土器：15点、364ｇ。石器：１点、2.43ｇ。<br>縄文土器（127～129）、<br>焼成粘土塊（552・553）、石器（652） | ５焼→54土 | （縄）後期初頭～前葉 |
| 56号 | ３Ｃ－17・22 | Ⅱａ・Ⅳ | 131×124 | 97×101 | 63.1 | A | Ⅱ | ４層。人為堆積。<br>黒褐色シルト主体。 | 縄文土器：54点、1629ｇ。石器：６点、46.59ｇ。<br>縄文土器（130～139）、土製品（511・512）、<br>石器（653～657） | ４焼→56土 | （縄）後期前葉 |
| 58号 | ３Ｃ－７・12 | Ⅱａ・Ⅳ | 129×124 | 105×102 | 70.0 | A | Ⅰ | ４層。自然堆積？<br>黒褐色シルト主体。 | 縄文土器：35点、1307ｇ。石器：１点、5.52ｇ。<br>縄文土器（140～142）、焼成粘土塊（554）、<br>石器（658） | | （縄）後期前葉 |
| 59号 | ４Ｄ－６ | Ⅱａ・Ⅲ | 144×140 | 117×127 | 25.6 | A | Ⅲ | ４層。人為堆積？<br>黒褐色シルト、暗褐色シルト<br>で構成される。 | 縄文土器：16点、193ｇ。<br>縄文土器（143） | 13住状新旧不明 | （縄）後期初頭～前葉 |
| 60号 | ４Ｄ－２・７ | Ⅲ・Ⅳ | 95×90 | 136×117 | 60.1 | A | Ⅰ | ７層。自然堆積？<br>黒褐色シルト主体。 | 縄文土器：18点、411ｇ。石器３点、577.80ｇ。<br>縄文土器（144・145）、土製品（513・514）、<br>石器（659・660） | 45土→60土 | （縄）後期前葉 |
| 61号 | ４Ｃ－17 | Ⅲ・Ⅳ | 104×89 | 79×69 | 34.8 | A | Ⅲ | ２層。自然堆積？<br>黒褐色シルト主体。 | 縄文土器：２点、11ｇ。 | | （縄）後期 |
| 62号 | ４Ｃ－17・22 | Ⅲ・Ⅳ | 92×91 | 68×69 | 30.5 | A | Ⅲ | ３層。人為堆積。<br>黒褐色シルト主体。 | 縄文土器：２点、403ｇ。<br>縄文土器（146・147） | | （縄）後期前葉 |
| 63号 | ３Ｃ－15 | Ⅲ・Ⅳ | 154×141 | 63×64 | 126.0 | A | Ⅵ | ６層。自然堆積？<br>黒褐色シルト主体。 | 縄文土器：９点、163ｇ。石器：１点、74.28ｇ。<br>縄文土器（148～151） | | （縄）後期前葉 |
| 64号 | ４Ｃ－12 | Ⅲ・Ⅳ | 120×115 | 115×113 | 66.0 | A | Ⅰ？ | ２層。自然堆積？<br>暗褐色シルト主体。 | 縄文土器：５点、118ｇ。石器：１点、1.42ｇ。<br>石器（661） | | （縄）後期 |
| 65号 | ３Ｃ－19 | Ⅲ・Ⅳ | 132×116 | 110×99 | 44.1 | A | Ⅱ | ５層。自然堆積→人為堆積。<br>上位は黒褐色シルト、<br>中位は暗褐色シルト、<br>下位は灰黄褐色シルト主体。 | 縄文土器：22点、413ｇ。<br>石器：４点、4134.74ｇ。<br>縄文土器（152～155）、石器（662・663） | 65土→66土 | （縄）後期前葉 |
| 66号 | ３Ｃ－19・24 | Ⅲ・Ⅳ | (130)×124 | 135×126 | 65.7 | A | Ⅰ | ６層。人為堆積？<br>上位は灰黄褐色シルト、<br>中位は黒褐色シルト、<br>下位は暗褐色シルト主体。 | 縄文土器：11点、96ｇ。石器：１点、181.75ｇ。<br>縄文土器（156・157）、石器（664） | 25焼・65土→66土 | （縄）後期初頭～前葉 |
| 67号 | ３Ｃ－13 | Ⅲ・Ⅳ | 88×81 | 73×81 | 48.5 | A | Ⅳ | ２層。人為堆積。<br>上位は黒褐色シルト、<br>下位は暗褐色シルトで構成。 | 縄文土器：８点、249ｇ。石器：１点、164.92ｇ。<br>縄文土器（158～160）、石器（665） | | （縄）後期初頭～前葉 |
| 68号 | ４Ｃ－21 | Ⅲ・Ⅳ | 108×102 | 124×122 | 70.4 | A | Ⅰ | ７層。人為堆積？<br>上位はにぶい黄褐色シルト、<br>下位は黒褐色シルト主体。 | 縄文土器：19点、284ｇ。<br>縄文土器（161～163） | | （縄）後期初頭～前葉 |

【記号・略号等】
〔規　　模〕（　　）は推定値　長径×短径
〔形　　状〕平：平面形　Ａ：円形　Ｂ：楕円形　Ｃ：その他
断：断面形　Ⅰ：フラスコ状　開口部長径＜底部長径　オーバーハング
Ⅱ：ビーカー状　開口部長径≒底部長径　底部平坦
Ⅲ：逆台形状　開口部長径＞底部長径
Ⅳ：Ｕ字状　開口部長径≒底部長径　底部皿状
Ⅴ：平行四辺形　開口部長径≒底部長径　一部オーバーハング
Ⅵ：その他
〔重複関係〕住状：住居状遺構、土：土坑、焼：焼土遺構、炉：炉跡
〔時　　期〕（縄）：縄文時代




1号土坑

| | 色　調 | 土　質 | 粘 | し | 混入物等 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 10YR2/1　黒 | シルト | 2 | 3 | ■ |
| 2 | 10YR3/4　暗褐 | シルト | 3 | 5 | ■□ |
| 3 | 10YR2/2　黒褐 | シルト | 1 | 3 | ■多量、<br>※□少量<br>土器片含む |

3号土坑

| | 色　調 | 土　質 | 粘 | し | 混入物等 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 10YR2/1　黒 | シルト | 2 | 3 | ■、▲少量 |

7号土坑

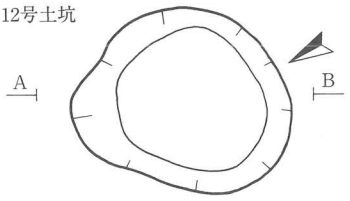
| | 色　調 | 土　質 | 粘 | し | 混入物等 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 10YR3/3　暗褐 | シルト | 1 | 5 | ■◇ |
| 2 | 10YR2/1　黒 | シルト | 4 | 3 | ■少量 |
| 3 | 10YR3/4　暗褐 | シルト | 3 | 3 | Ⅲ層 |

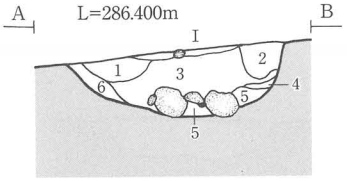
11号土坑

| | 色　調 | 土　質 | 粘 | し | 混入物等 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 10YR5/6　黄褐 | 砂質シルト | 1 | 3 | ★ |
| 2 | 10YR5/6　黄褐 | 砂質シルト | 2 | 3 | ● |
| 3 | 10YR2/3　黒褐 | シルト | 5 | 4 | 1・2層混入 |
| 4 | 10YR5/6　黄褐 | シルト | 1 | 3 | 黒褐色シルトとの混合土 |
| 5 | 10YR2/1　黒 | シルト | 4 | 3 | ※★ |
| 6 | 10YR2/1　黒 | シルト | 1 | 2 | |
| 7 | 10YR3/3　暗褐 | シルト | 1 | 2 | ☆多量、<br>最下層に土器片含 |
| 8 | 10YR2/1　黒 | シルト | 1 | 2 | |

第11図　土坑1

12号土坑

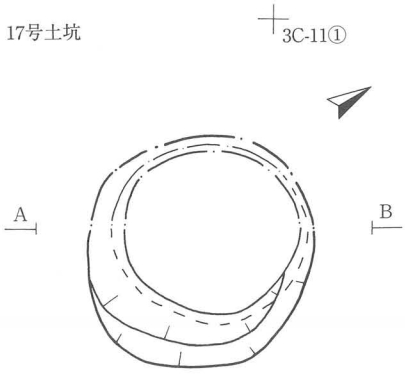


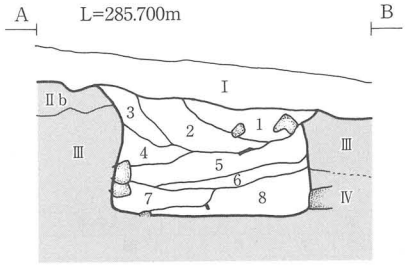




12号土坑

| | 色　調 | 土　質 | 粘 | し | 混入物等 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 10YR2/2　黒褐 | シルト | 1 | 3 | ● |
| 2 | 10YR2/3　黒褐 | シルト | 1 | 5 | |
| 3 | 10YR2/1　黒 | シルト | 2 | 3 | ■<br>土器片含む |
| 4 | 10YR5/6　黄褐 | シルト | 1 | 3 | |
| 5 | 10YR2/1　黒 | シルト | 1 | 5 | |
| 6 | 10YR2/3　黒褐 | シルト | 1 | 3 | ■ |

17号土坑

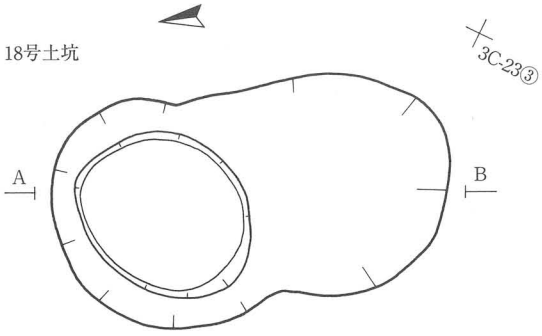


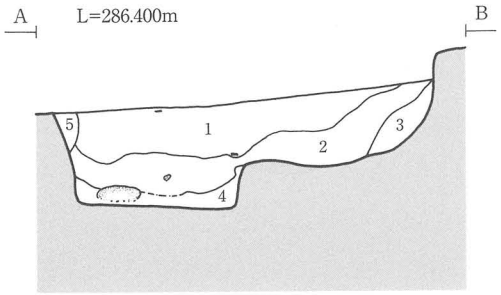




17号土坑

| | 色　調 | 土　質 | 粘 | し | 混入物等 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 10YR2/2　黒褐 | シルト | 1 | 3 | ■ |
| 2 | 10YR2/2　黒褐 | シルト | 1 | 4 | ■※ |
| 3 | 10YR3/3　暗褐 | シルト | 1 | 3 | ■◆ |
| 4 | 10YR2/1　黒 | シルト | 2 | 3 | ■※ |
| 5 | 10YR2/3　黒褐 | シルト | 1 | 2 | ■△●※、▲少量 |
| 6 | 10YR2/1　黒 | シルト | 3 | 3 | ■ |
| 7 | 10YR2/2　黒褐 | シルト | 1 | 3 | 褐色砂質シルトとの混合土、■ |
| 8 | 10YR2/1　黒 | シルト | 1 | 3 | ■○ |

18号土坑

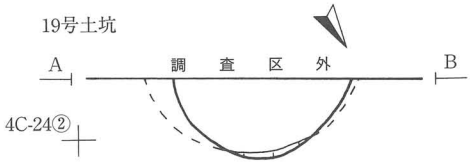


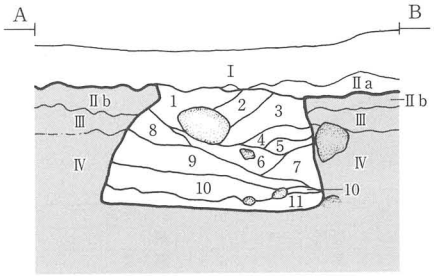




18号土坑

| | 色　調 | 土　質 | 粘 | し | 混入物等 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 10YR2/2　黒褐 | シルト | 2 | 3 | |
| 2 | 10YR3/2　黒褐 | シルト | 2 | 3 | 赤褐色粘土混入 |
| 3 | 10YR3/3　暗褐 | シルト | 1 | 3 | ■<br>粘土混入 |
| 4 | 10YR4/4　褐 | シルト | 1 | 3 | ■ |
| 5 | 10YR2/2　黒褐 | シルト | 1 | 2 | |

19号土坑



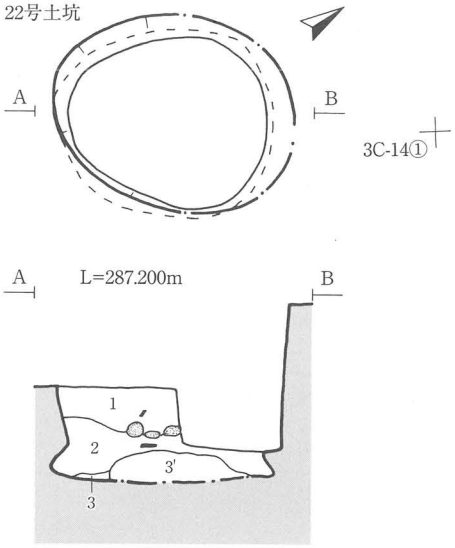

19号土坑

| | 色　調 | 土　質 | 粘 | し | 混入物等 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 10YR2/1　黒 | シルト | 1 | 1 | ■◇ |
| 2 | 10YR2/2　黒褐 | シルト | 1 | 1 | ■○◇ |
| 3 | 10YR2/1　黒 | シルト | 1 | 3 | ■◎▲◇ |
| 4 | 10YR5/4　にぶい黄褐 | 砂質シルト | 1 | 1 | ■△ |
| 5 | 10YR2/2　黒褐 | シルト | 4 | 5 | ■、YBP 混入 |
| 6 | 10YR3/1　黒褐 | シルト | 1 | 1 | ■◎▲◇ |
| 7 | 10YR2/2　黒褐 | シルト | 4 | 5 | ■☆ |
| 8 | 10YR2/2　黒褐 | シルト | 3 | 3 | ■※ |
| 9 | 10YR2/2　黒褐 | シルト | 4 | 3 | ■※ |
| 10 | 10YR3/1　黒褐 | シルト | 4 | 3 | ■※▲◇ |
| 11 | 10YR2/2　黒褐 | シルト | 4 | 2 | ■○◇ |

0　　2m

第 12 図　土坑２

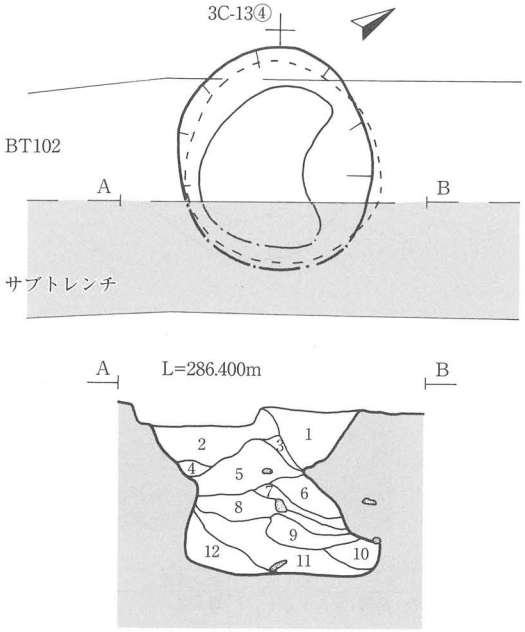
22号土坑




22号土坑

| | 色　調 | 土　質 | 粘 | し | 混入物等 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 10YR3/1　黒褐 | シルト | 1 | 2 | ■ |
| 2 | 10YR2/1　黒 | シルト | 1 | 2 | ■ |
| 3 | 10YR4/3　にぶい黄褐 | シルト | 1 | 2 | ■が主体 |
| 4 | 10YR4/3　にぶい黄褐 | シルト | 1 | 2 | ■が主体 |

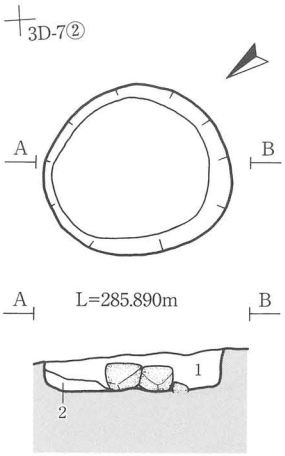
23号土坑




23号土坑

| | 色　調 | 土　質 | 粘 | し | 混入物等 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 10YR3/2　黒褐 | シルト | 1 | 4 | ■ |
| 2 | 10YR2/1　黒 | シルト | 1 | 3 | ■微量 |
| 3 | 10YR4/3　にぶい黄褐 | シルト | 1 | 3 | ■が主体 |
| 4 | 10YR4/3　にぶい黄褐 | シルト | 1 | 3 | ■が主体 |
| 5 | 10YR3/2　黒褐 | シルト | 1 | 3 | ■ |
| 6 | 10YR4/3　にぶい黄褐 | シルト | 1 | 2 | ■が主体 |
| 7 | 10YR2/3　黒褐 | シルト | 1 | 2 | ■微量 |
| 8 | 10YR3/4　暗褐 | シルト | 1 | 2 | ■多量 |
| 9 | 10YR2/3　黒褐 | シルト | 1 | 2 | ■微量 |
| 10 | 10YR3/2　黒褐 | シルト | 2 | 2 | ■微量 |
| 11 | 10YR3/4　暗褐 | シルト | 1 | 3 | ■ |
| 12 | 10YR3/3　暗褐 | シルト | 2 | 3 | ■ |

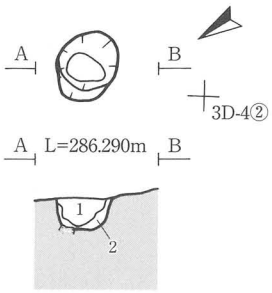
26号土坑




26号土坑

| | 色　調 | 土　質 | 粘 | し | 混入物等 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 10YR3/1　黒褐 | シルト | 1 | 3 | ■▲少量 |
| 2 | 10YR2/3　黒褐 | シルト | 1 | 4 | ※微量 |

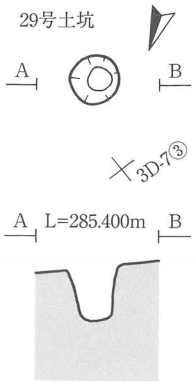
28号土坑



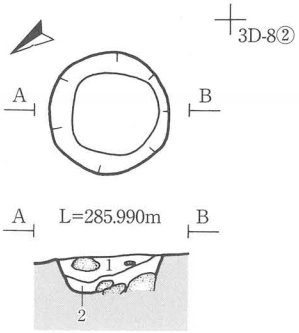

28号土坑

| | 色　調 | 土　質 | 粘 | し | 混入物等 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 10YR2/3　黒褐 | シルト | 1 | － | ■ |
| 2 | 10YR3/3　暗褐 | シルト | 1 | － | ■多量 |

29号土坑




27号土坑

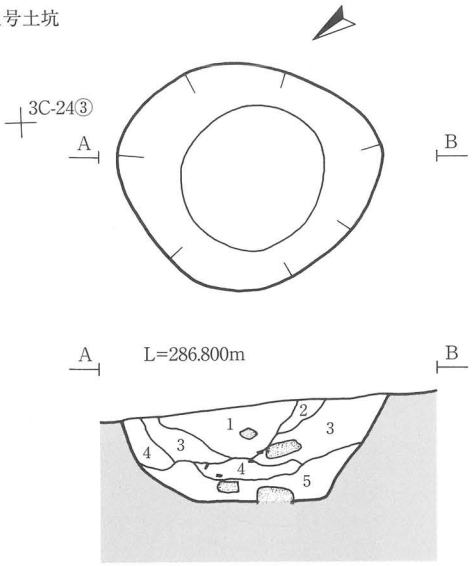



27号土坑

| | 色　調 | 土　質 | 粘 | し | 混入物等 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 10YR2/2　黒褐 | シルト | 1 | － | ■ |
| 2 | 10YR3/3　暗褐 | シルト | 1 | － | ■ |

第13図　土坑３

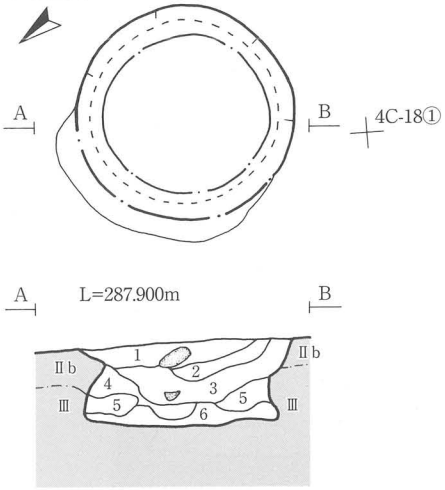
31号土坑




31号土坑

| | 色　調 | 土　質 | 粘 | し | 混入物等 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 10YR2/2　黒褐 | シルト | 4 | 3 | ■多量、※<br>土器片含む |
| 2 | 10YR2/1　黒 | シルト | 1 | 1 | |
| 3 | 10YR2/1　黒 | シルト | 1 | 5 | ■少量、礫（大）<br>下層に土器片含む |
| 4 | 10YR3/2　黒褐 | シルト | 4 | 3 | ■少量<br>土器片含む |
| 5 | 10YR2/3　黒褐 | シルト | 1 | 3 | ■・礫（大）多量、<br>※少量 |

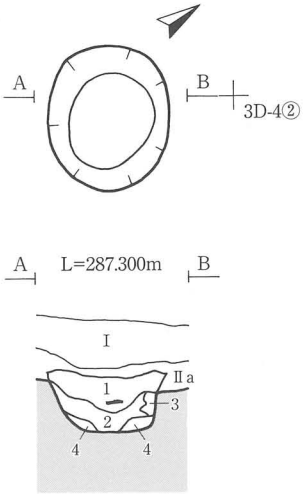
35号土坑




35号土坑

| | 色　調 | 土　質 | 粘 | し | 混入物等 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 10YR2/2　黒褐 | シルト | 1 | 1 | ■、礫 |
| 2 | 10YR3/1　黒褐 | シルト | 1 | 3 | ■▲ |
| 3 | 10YR3/2　黒褐 | シルト | 1 | 3 | ■、礫 |
| 4 | 10YR3/2　黒褐 | シルト | 1 | 5 | ■※ |
| 5 | 10YR2/2　黒褐 | シルト | 1 | 5 | ■ |
| 6 | 10YR2/2　黒褐 | シルト | 1 | 5 | ■※ |

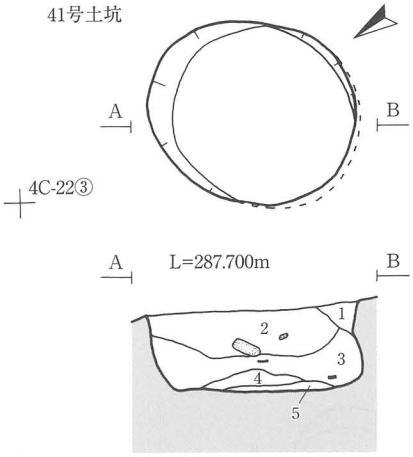
36号土坑




36号土坑

| | 色　調 | 土　質 | 粘 | し | 混入物等 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 10YR3/2　黒褐 | シルト | 1 | 3 | ■<br>土器片含む |
| 2 | 10YR2/3　黒褐 | シルト | 1 | 3 | ■<br>土器片含む |
| 3 | 10YR2/3　黒褐 | シルト | 1 | 3 | ※ |
| 4 | 10YR5/4　にぶい黄褐 | シルト | 1 | 4 | 地山崩落土 |

41号土坑



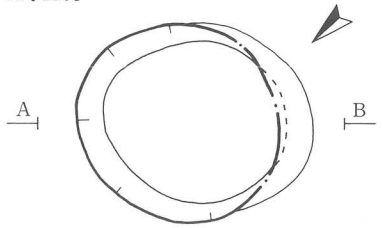

41号土坑

| | 色　調 | 土　質 | 粘 | し | 混入物等 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 10YR3/3　暗褐 | シルト | 1 | 1 | ■微量 |
| 2 | 10YR2/1　黒 | シルト | 1 | 3 | ■ |
| 3 | 10YR3/1　黒褐 | シルト | 1 | 3 | 土器片含む |
| 4 | 10YR5/4　にぶい黄褐 | シルト | 1 | 2 | ■が主体 |
| 5 | 10YR3/2　黒褐 | シルト | 1 | 2 | ■ |

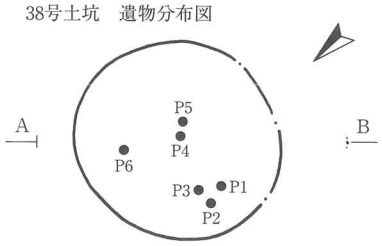
0　2m

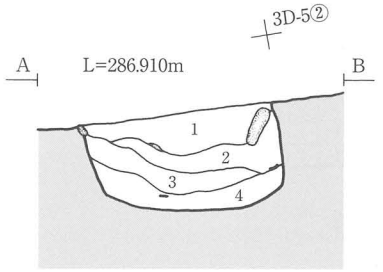
第14図　土坑4

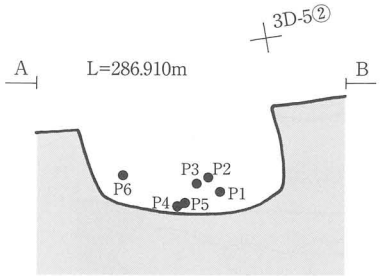
38号土坑




38号土坑　遺物分布図



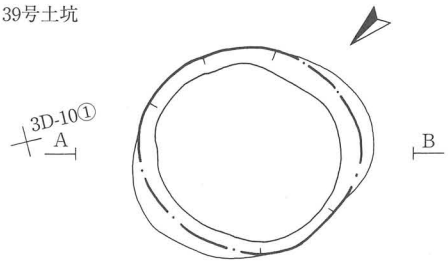



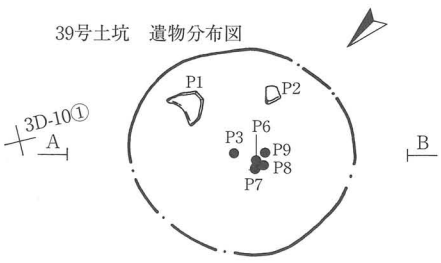

38号土坑

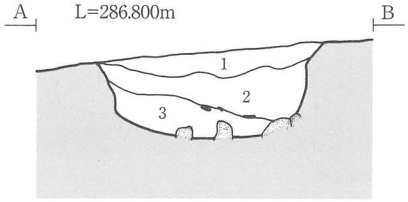
| | 色　調 | 土　質 | 粘 | し | 混入物等 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 10YR2/3　黒褐 | シルト | 1 | 2 | ■少量、▲微量 |
| 2 | 10YR3/3　暗褐 | シルト | 1 | 3 | ■ |
| 3 | 10YR3/1　黒褐 | シルト | 1 | 3 | ■微量<br>最下層に土器片含む |
| 4 | 10YR2/3　黒褐 | シルト | 1 | 3 | ■ |

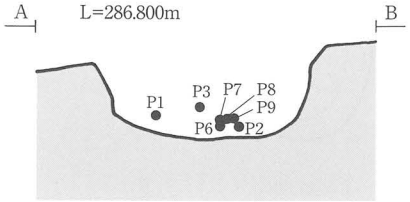
39号土坑




39号土坑　遺物分布図

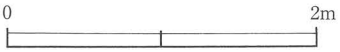


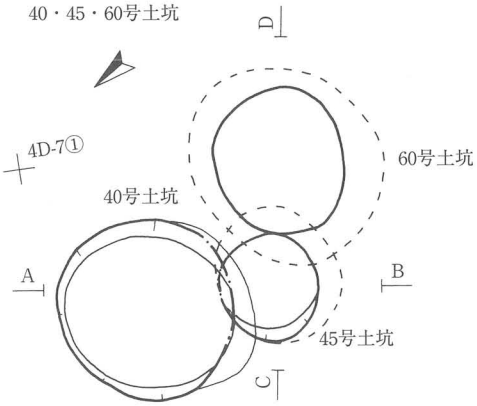

39号土坑

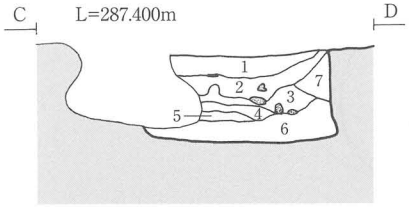
| | 色　調 | 土　質 | 粘 | し | 混入物等 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 10YR2/1　黒 | シルト | 1 | 1 | ■<br>径３～５㎝の礫 |
| 2 | 10YR2/2　黒褐 | シルト | 1 | 3 | ■、▲少量 |
| 3 | 10YR2/1　黒 | シルト | 1 | 2 | ■※<br>最下層に土器片含 |




第15図　土坑５

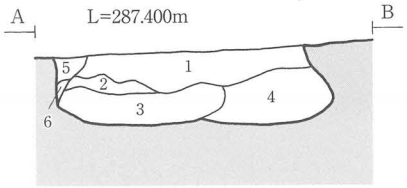
40・45・60号土坑




40・45・60号土坑　C－D

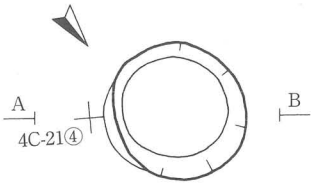
| | 色　調 | 土　質 | 粘 | し | 混入物等 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 10YR2/3　黒褐 | シルト | 1 | 3 | ▲ |
| 2 | 10YR3/3　暗褐 | シルト | 1 | 3 | |
| 3 | 10YR3/2　黒褐 | シルト | 1 | 3 | ■ |
| 4 | 10YR2/2　黒褐 | シルト | 1 | 3 | |
| 5 | 10YR2/2　黒褐 | シルト | 1 | 3 | |
| 6 | 10YR3/1　黒褐 | シルト | 1 | 3 | ■ |
| 7 | 10YR4/3　にぶい黄褐 | シルト | 1 | 3 | 明黄褐色砂 |

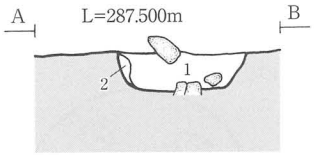



40・45・60号土坑　A－B

| | 色　調 | 土　質 | 粘 | し | 混入物等 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 10YR2/1　黒 | シルト | 1 | 3 | ■ |
| 2 | 10YR2/1　黒 | シルト | 1 | 2 | ■▲ |
| 3 | 10YR4/4　褐 | 砂質シルト | 1 | 2 | ■ |
| 4 | 10YR1.7/1　黒 | シルト | 3 | 5 | ■●※<br>〔45号土坑覆土〕 |
| 5 | 10YR2/1　黒 | シルト | 1 | 1 | Ⅱa層の崩落土 |
| 6 | 10YR3/3　暗褐 | 砂質シルト | 1 | 1 | Ⅲ層の崩落土 |

43号土坑

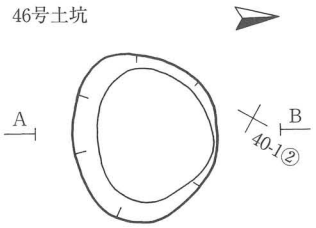


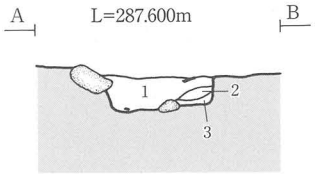




43号土坑

| | 色　調 | 土　質 | 粘 | し | 混入物等 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 10YR2/2　黒褐 | シルト | 1 | 2 | ○、礫 |
| 2 | 10YR2/3　黒褐 | シルト | 1 | 3 | ○ |

46号土坑

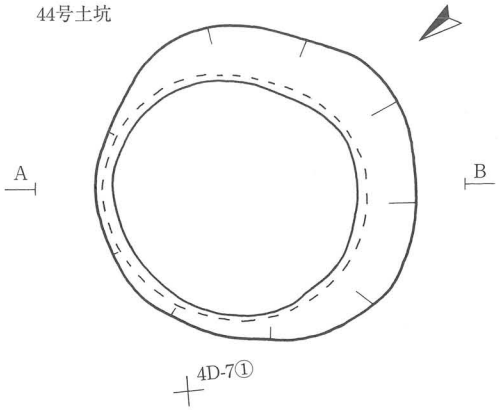


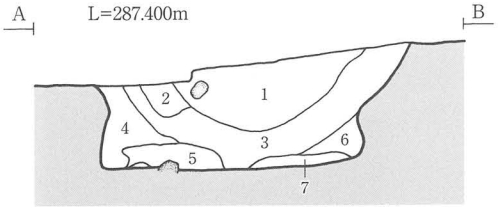




46号土坑

| | 色　調 | 土　質 | 粘 | し | 混入物等 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 10YR2/2　黒褐 | シルト | 1 | 1 | ■<br>土器片含む |
| 2 | 10YR2/1　黒 | シルト | 1 | 1 | |
| 3 | 10YR4/4　褐 | シルト | 1 | 1 | ■が主体 |

44号土坑



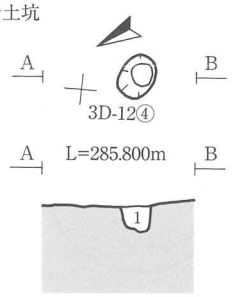

44号土坑

| | 色　調 | 土　質 | 粘 | し | 混入物等 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 10YR2/3　黒褐 | シルト | 2 | 5 | |
| 2 | 10YR4/4　褐 | シルト | 1 | 3 | ■ |
| 3 | 10YR3/3　暗褐 | シルト | 2 | 3 | |
| 4 | 10YR3/1　黒褐 | シルト | 2 | 3 | |
| 5 | 10YR2/2　黒褐 | シルト | 2 | 3 | |
| 6 | 10YR4/3　暗褐 | シルト | 2 | 2 | |
| 7 | 10YR4/4　褐 | シルト | 2 | 2 | |
| 8 | 10YR4/4　褐 | シルト | 1 | 1 | |

0　2m

第16図　土坑6

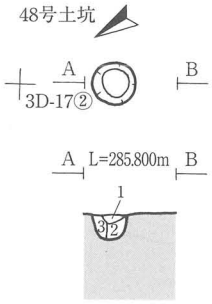
47号土坑




47号土坑

| | 色　調　6 | 土　質 | 粘 | し | 混入物等 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 10YR2/2　黒褐 | シルト | 1 | 1 | ☆▼ |

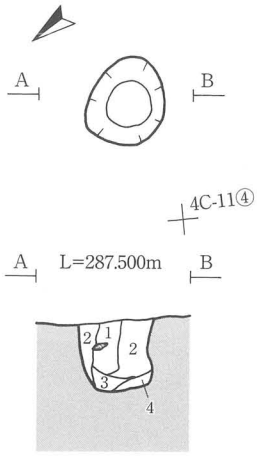
48号土坑




48号土坑

| | 色　調 | 土　質 | 粘 | し | 混入物等 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 10YR2/3　黒褐 | シルト | 1 | 5 | |
| 2 | 10YR2/2　黒褐 | シルト | 1 | 5 | |
| 3 | 10YR2/2　黒褐 | シルト | 1 | 2 | ☆ |

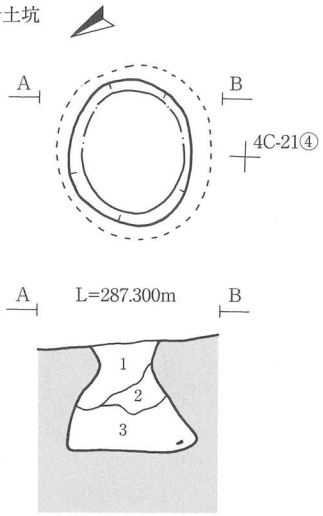
49号土坑




49号土坑

| | 色　調 | 土　質 | 粘 | し | 混入物等 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 10YR3/1　黒褐 | シルト | 1 | 2 | ■ |
| 2 | 10YR2/2　黒褐 | シルト | 1 | 3 | ■ |
| 3 | 10YR2/3　黒褐 | シルト | 1 | 3 | ■※ |
| 4 | 10YR3/3　暗褐 | シルト | 1 | 3 | ■※ |

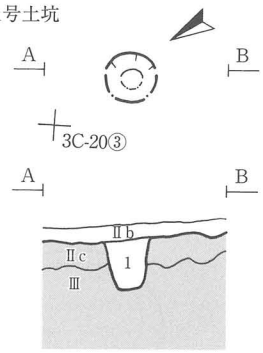
50号土坑




50号土坑

| | 色　調 | 土　質 | 粘 | し | 混入物等 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 10YR3/2　黒褐 | シルト | 1 | 1 | ■微量 |
| 2 | 10YR2/3　黒褐 | シルト | 1 | 2 | ■微量 |
| 3 | 10YR2/1　黒 | シルト | 1 | 2 | ■ |

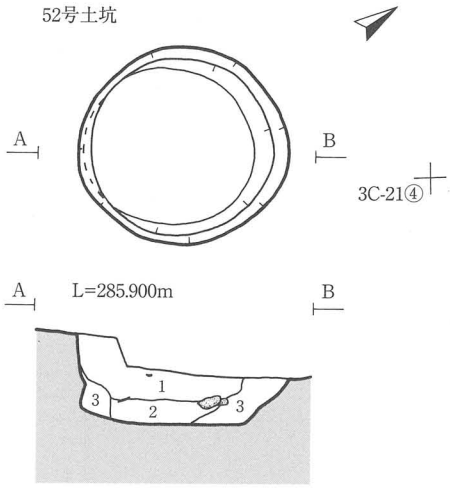
51号土坑




51号土坑

| | 色　調 | 土　質 | 粘 | し | 混入物等 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 10YR2/1　黒 | シルト | 1 | 3 | ■多量、※ |

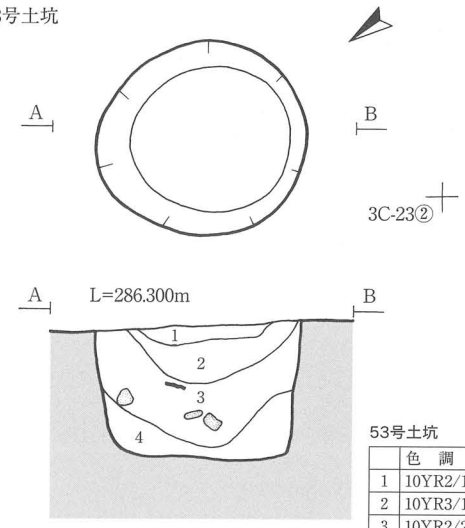
52号土坑




52号土坑

| | 色　調 | 土　質 | 粘 | し | 混入物等 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 10YR3/1　黒褐 | シルト | 1 | 3 | ■<br>土器片含む |
| 2 | 10YR3/2　黒褐 | シルト | 1 | 3 | ■<br>土器片含む |
| 3 | 10YR2/3　黒褐 | シルト | 1 | 3 | ■※微量 |

53号土坑



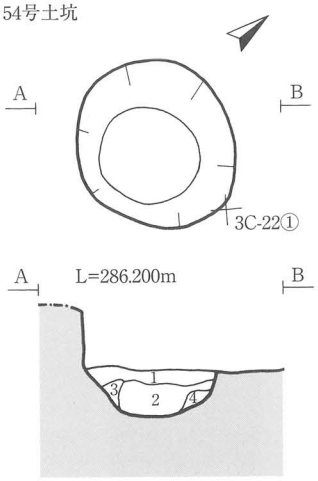

53号土坑

| | 色　調 | 土　質 | 粘 | し | 混入物等 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 10YR2/1　黒 | シルト | 1 | 2 | |
| 2 | 10YR3/1　黒褐 | シルト | 1 | 3 | ■※ |
| 3 | 10YR2/2　黒褐 | シルト | 1 | 3 | ■ |
| 4 | 10YR2/1　黒 | シルト | 1 | 3 | ■ |

0　2m

第 17 図　土坑７

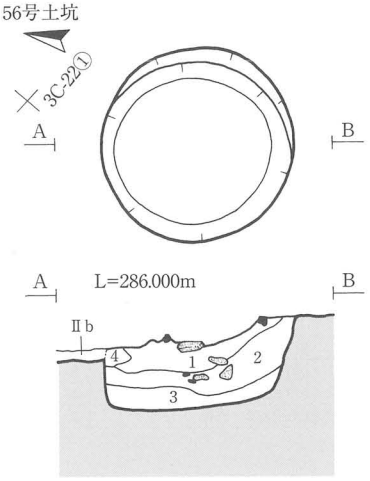
54号土坑




54号土坑

| | 色　調 | 土　質 | 粘 | し | 混入物等 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 10YR2/3　黒褐 | シルト | 1 | 5 | ■ |
| 2 | 10YR4/4　褐 | シルト | 1 | 5 | ■ |
| 3 | 10YR5/6　黄褐 | シルト | 1 | 1 | ■ |
| 4 | 10YR6/8　明黄褐 | シルト | 1 | 3 | ■ |

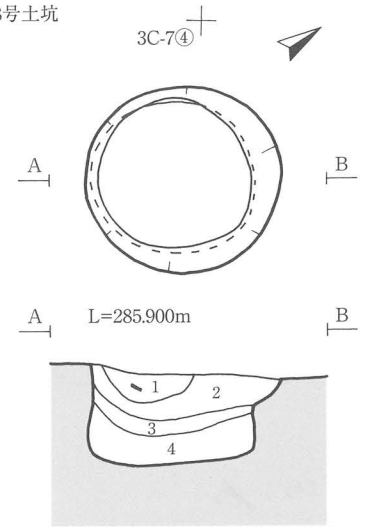
56号土坑




56号土坑

| | 色　調 | 土　質 | 粘 | し | 混入物等 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 10YR3/2　黒褐 | シルト | 3 | 1 | ■▲<br>土器片含む |
| 2 | 10YR2/2　黒褐 | シルト | 3 | 1 | ■ |
| 3 | 10YR2/3　黒褐 | シルト | 3 | 1 | ■ |
| 4 | 10YR2/1　黒 | シルト | 3 | 1 | ■ |

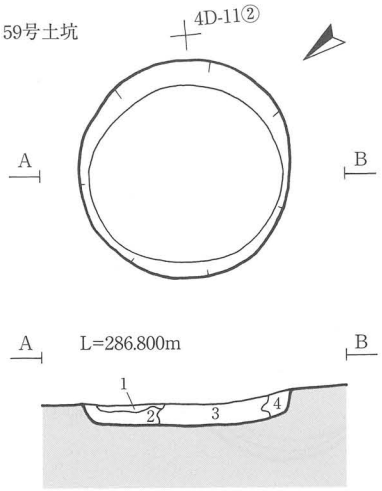
58号土坑




58号土坑

| | 色　調 | 土　質 | 粘 | し | 混入物等 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 10YR2/2　黒褐 | シルト | 1 | 1 | ■ |
| 2 | 10YR2/1　黒 | シルト | 3 | 3 | |
| 3 | 10YR2/2　黒褐 | シルト | 3 | 3 | ■ |
| 4 | 10YR2/2　黒褐 | シルト | 3 | 3 | ■ |

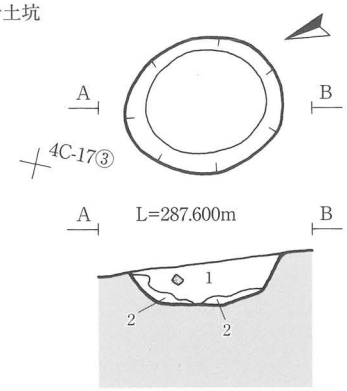
59号土坑




59号土坑

| | 色　調 | 土　質 | 粘 | し | 混入物等 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 10YR2/3　黒褐 | シルト | 2 | 3 | ● |
| 2 | 10YR2/2　黒褐 | シルト | 3 | 3 | ● |
| 3 | 10YR3/3　暗褐 | シルト | 2 | 3 | |
| 4 | 10YR3/4　暗褐 | シルト | 2 | 3 | 暗褐色砂混入 |

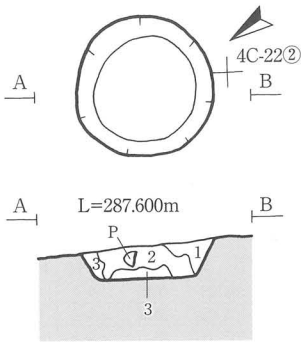
61号土坑




61号土坑

| | 色　調 | 土　質 | 粘 | し | 混入物等 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 10YR2/2　黒褐 | シルト | 1 | 3 | ■○ |
| 2 | 10YR4/3　にぶい黄褐 | シルト | 3 | 3 | |

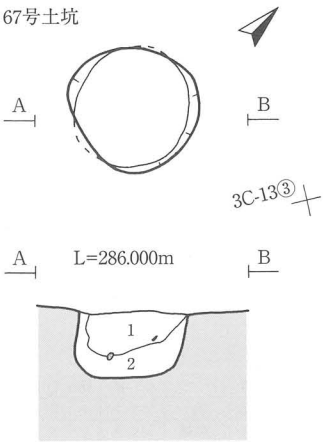
62号土坑




62号土坑

| | 色　調 | 土　質 | 粘 | し | 混入物等 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 10YR2/3　黒褐 | シルト | 3 | 3 | |
| 2 | 10YR2/2　黒褐 | シルト | 3 | 3 | 土器片含む |
| 3 | 10YR3/3　暗褐 | シルト | 3 | 3 | |

67号土坑



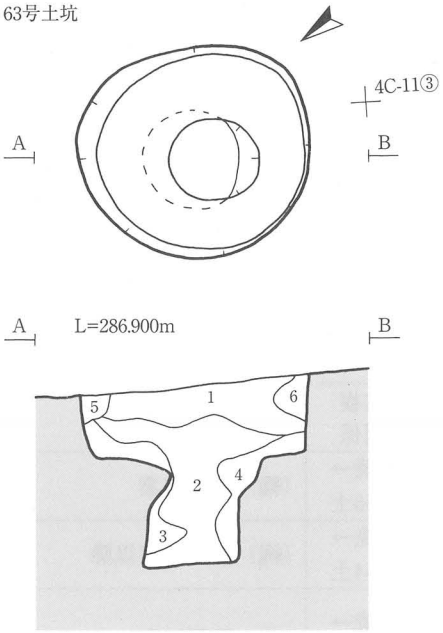

67号土坑

| | 色　調 | 土　質 | 粘 | し | 混入物等 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 10YR2/3　黒褐 | シルト | 1 | 3 | ■ |
| 2 | 10YR3/3　暗褐 | シルト | 1 | 3 | |

0　2m

第18図　土坑8

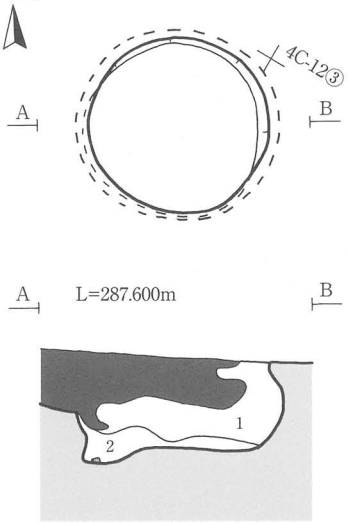
63号土坑




63号土坑

| | 色　調 | 土　質 | 粘 | し | 混入物等 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 10YR2/3　黒褐 | シルト | 1 | 3 | ■ |
| 2 | 10YR3/2　黒褐 | シルト | 1 | 3 | ■ |
| 3 | 10YR5/4　にぶい黄褐 | シルト | 1 | 1 | |
| 4 | 10YR3/3　暗褐 | シルト | 3 | 3 | |
| 5 | 10YR4/3　褐 | シルト | 1 | 1 | |
| 6 | 10YR3/3　暗褐 | シルト | 1 | 3 | ■ |

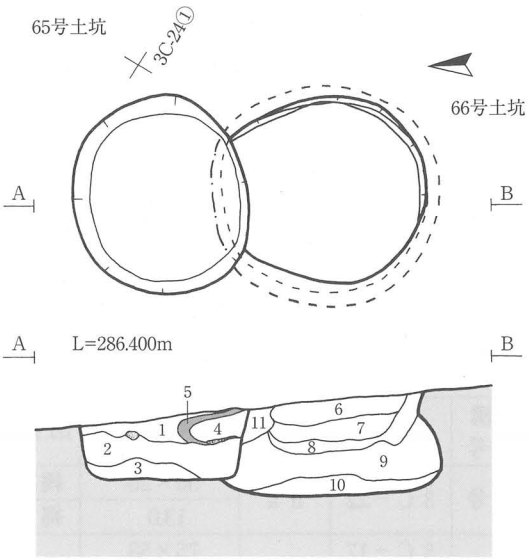
64号土坑




64号土坑

| | 色　調 | 土　質 | 粘 | し | 混入物等 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 10YR3/3　暗褐 | シルト | 1 | 3 | WP混入 |
| 2 | 10YR2/3　黒褐 | シルト | 1 | 3 | |

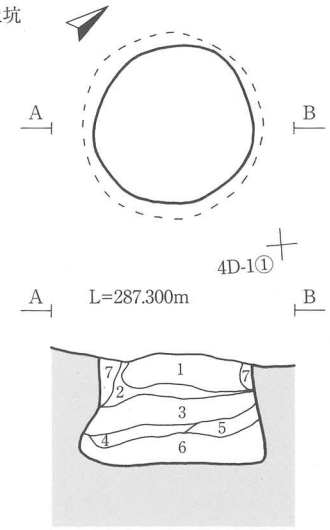
65号土坑




65・66号土坑

| | 色　調 | 土　質 | 粘 | し | 混入物等 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 10YR2/3　黒褐 | シルト | 1 | 3 | |
| 2 | 10YR3/3　暗褐 | シルト | 1 | 3 | ■ |
| 3 | 10YR4/2　灰黄褐 | シルト | 1 | 3 | ■ |
| 4 | 10YR3/2　黒褐 | シルト | 1 | 3 | ■ |
| 5 | 10YR4/8　赤褐 | シルト | 1 | 3 | 焼土 |
| 6 | 10YR4/2　灰黄褐 | シルト | 1 | 3 | |
| 7 | 10YR4/4　褐 | シルト | 1 | 3 | |
| 8 | 10YR3/2　黒褐 | シルト | 1 | 3 | |
| 9 | 10YR2/3　黒褐 | シルト | 1 | 3 | |
| 10 | 10YR3/3　暗褐 | シルト | 1 | 3 | ◎ |
| 11 | 10YR3/3　暗褐 | シルト | 1 | 3 | |

68号土坑




68号土坑

| | 色　調 | 土　質 | 粘 | し | 混入物等 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 10YR4/3　にぶい黄褐 | シルト | 3 | 3 | |
| 2 | 10YR3/2　黒褐 | シルト | 1 | 3 | |
| 3 | 10YR4/3　にぶい黄褐 | シルト | 1 | 3 | |
| 4 | 10YR3/2　黒褐 | シルト | 3 | 3 | |
| 5 | 10YR3/2　黒褐 | シルト | 3 | 3 | ▽ |
| 6 | 10YR2/2　黒褐 | シルト | 3 | 3 | ■ |
| 7 | 10YR3/2　黒褐 | シルト | 3 | 3 | |

0　2m

第19図　土坑９

### （3）焼土遺構・炉跡

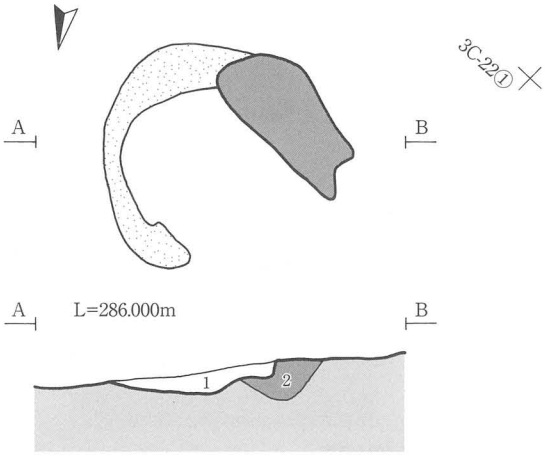
調査区の北側、主に3Cグリッドから8基の焼土遺構・炉跡が検出された。8号及び10号炉跡は焼土とともに、礫の配置が確認できたため、炉跡と判断して報告する。検出面は24号焼土遺構・25号焼土遺構がⅡb層で、それ以外はⅡa層である。遺構の構築された時期は住居状遺構や土坑と比較すると新しいものが多いと思われる。遺物の伴う10号炉跡で縄文時代後期初頭から前葉で、他の遺構は古くても縄文時代後期前葉のものである。全体的に根攪乱の影響を大きく受けている遺構が多く、一見するとブロック状になっているものもみられる。各遺構の詳細は一覧表にしてまとめた。

**第4表　焼土遺構・炉跡観察表**

| 遺構番号 | 位置 | 検出面 | 規模 | 焼土範囲 / 層厚 | 出土遺物 上段：出土量 / 下段：掲載遺物 | 重複関係 | 時期 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 4号 | 3C－22 | Ⅱa | 56×25 | 13.0 | 縄文土器：6点、94g。<br>縄文土器（216） | 4焼→56土 | （縄）後期前葉 |
| 5号 | 3C－17・22 | Ⅱa | 75×53 | 8.0 | なし | 5焼→54土 | （縄）後期前葉以降 |
| 6号 | 3C－13・18 | Ⅱa | 121×81 | 16.0 | 縄文土器：1点、12g。<br>石器：1点、1.46g。<br>石器（666） | 6焼→23土 | （縄）後期以降 |
| 8号 | 3D－5 | Ⅱa | 73×62 | 4.0 | 縄文土器：4点、45g。<br>縄文土器（165） | 8炉→38土 | （縄）後期前葉以降 |
| 10号 | 3D－7 | Ⅱa | 72×51 | 10.0 | 縄文土器：9点、227g。<br>縄文土器（166～168） | | （縄）後期初頭～前葉 |
| 24号 | 3C－15 | Ⅱb | 58×31 | 8.0 | なし | | 不明 |
| 25号 | 3C－19 | Ⅱb | 42×39 | 9.0 | 縄文土器：6点、62g。<br>縄文土器（169） | 25焼→66土 | （縄）後期前葉 |
| 57号 | 3C－14 | Ⅱa | 110×42 | 5.0 | なし | | 不明 |

【　略号等　】
〔規　　模〕　長径×短径　単位：cm
〔重複関係〕　土：土坑、焼・炉：焼土遺構・炉跡

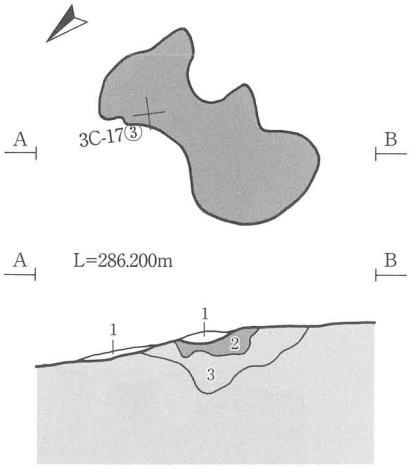
４号焼土遺構




４号焼土遺構

| | 色　調 | 土　質 | 粘 | し | 混入物等 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 10YR2/2　黒褐 | シルト | 1 | 1 | |
| 2 | 7.5YR4/4　褐 | シルト | 1 | 3 | 焼土 |

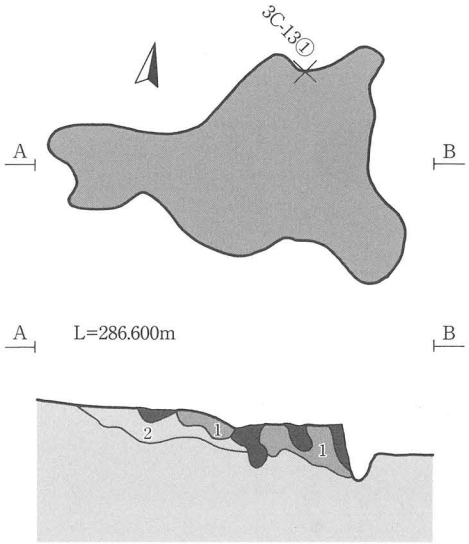
５号焼土遺構




５号焼土遺構

| | 色　調 | 土　質 | 粘 | し | 混入物等 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 10YR2/2　黒褐 | シルト | 1 | 3 | 焼土ブロック混入 |
| 2 | 7.5YR5/8　明褐 | シルト | 1 | 5 | 焼土 |
| 3 | 10YR2/3　黒褐 | シルト | 1 | 4 | |

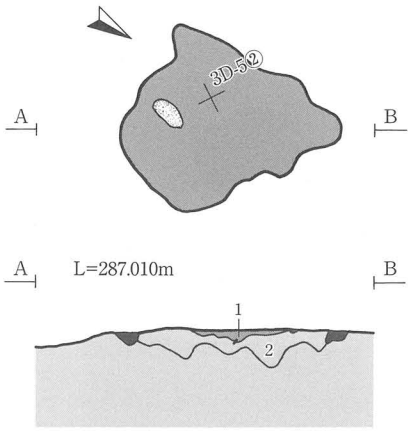
６号焼土遺構




６号焼土遺構

| | 色　調 | 土　質 | 粘 | し | 混入物等 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 5YR4/8　赤褐 | シルト | 1 | 5 | 焼土 |
| 2 | 7.5YR3/2　暗褐 | シルト | 1 | 2 | 層理面は<br>赤化している |

８号炉跡



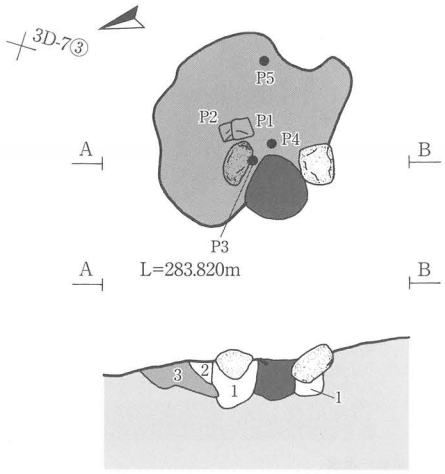

８号炉跡

| | 色　調 | 土　質 | 粘 | し | 混入物等 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 7.5YR4/4　褐 | シルト | 1 | 5 | 焼土<br>土器片含む |
| 2 | 7.5YR2/3　極暗褐 | シルト | 1 | 5 | |

0　1m

第20図　焼土遺構・炉跡１

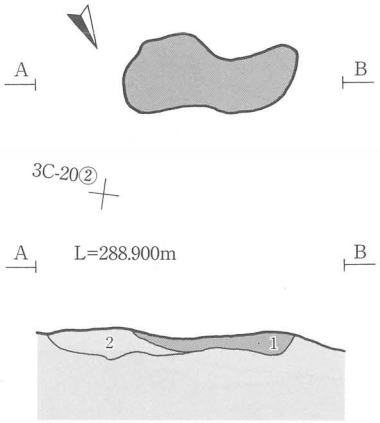
10号炉跡




10号炉跡

| | 色　調 | 土　質 | 粘 | し | 混入物等 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 10YR2/2　黒褐 | シルト | 1 | 3 | 掘り方 |
| 2 | 10YR2/2　黒褐 | シルト | 1 | 1 | ◎ |
| 3 | 7.5YR4/6　褐 | シルト | 1 | 5 | 焼土 |

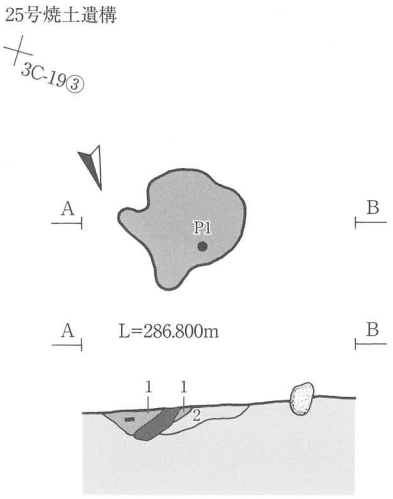
24号焼土遺構



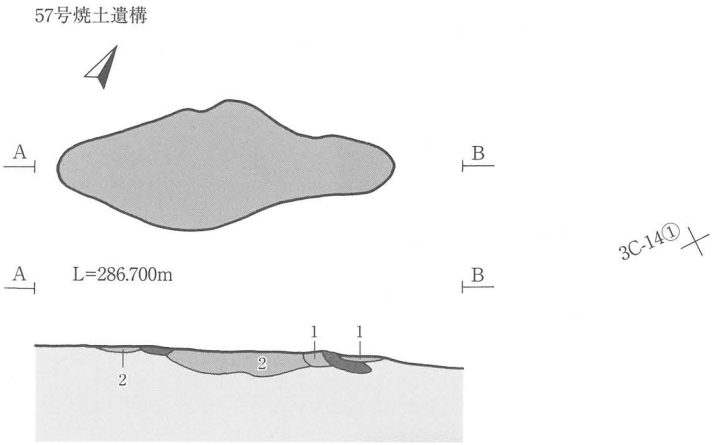

24号焼土遺構

| | 色　調 | 土　質 | 粘 | し | 混入物等 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 5YR4/6　赤褐 | シルト | 1 | 3 | 焼土 |
| 2 | 7.5YR4/6　褐 | シルト | 1 | 3 | |

25号焼土遺構




57号焼土遺構




25号焼土遺構

| | 色　調 | 土　質 | 粘 | し | 混入物等 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 5YR4/8　赤褐 | シルト | 1 | 3 | 焼土<br>土器片含む |
| 2 | 10YR3/3　暗褐 | シルト | 1 | 3 | |

57号焼土遺構

| | 色　調 | 土　質 | 粘 | し | 混入物等 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 5YR3/6　暗赤褐 | シルト | 1 | 1 | 焼土 |
| 2 | 5YR3/3　暗赤褐 | シルト | 1 | 2 | 焼土、● |

第21図　焼土遺構・炉跡２

## 第３節　遺物

### （１）縄文土器（第22～30・33～43図、写真図版18～23・28～35）

縄文土器は中コンテナ12箱分、点数にして4821点（約４×４㎝以上）、重量にして約91kg分が出土した。遺構内出土土器はほとんどが土坑類、特に１号土坑、18号土坑、39号土坑、53号土坑、56号土坑などに集中している。遺構外出土土器はⅡａ層・Ⅱｂ層、３Ｃ－14グリッド及びその周囲、３Ｄ－17グリッドから出土したものが多い（第５表）。

早期中葉の貝殻沈線文系土器群から後期前葉の十腰内Ⅰ式併行期の土器が出土しているが、主体となる時期は早期中葉と後期初頭から後期前葉である。早期中葉の土器は破片資料のみで器形全体を窺える資料はないが、同時期の類例から判断すると、尖底もしくは丸底の深鉢を主体とし、口縁部は平縁と波状縁がある。器体外面の文様は258のような口縁部から胴部にかけて貝殻による圧痕文・押引き文・沈線などを横位展開するものと、206や225のように口縁に対して直角に貝殻による圧痕文を連続して施文し、平行沈線で文様帯を区画するもの、さらに264のように多段にわたって文様帯を持つものとに大きく２分される。また、条痕文のみの土器や無文の土器もみられる。

後期初頭から後期前葉の土器は深鉢を主体とし、鉢、台付鉢、壺や小形の土器がみられる。器形は胴部でふくらみ、口縁部上部でわずかに屈曲し、口縁部上端が外反するものや胴部が直線的に開きながら立ち上がり、口縁部で大きく外反するもの、口縁部の屈曲部からほぼ垂直もしくは外傾気味に立ち上がるものなどがある。口縁部は平縁と波状縁がみられ、波状縁は４単位もしくは６単位のものが多い。文様は口縁部から胴部上半に集中しており、磨消手法や充填手法を用いた入組文や沈線による文様が横位に展開している。また、273のように波状口縁の頭頂部から垂直に隆帯を施し、隆帯を挟んで左右対象に沈線で施文しているものもみられる。319のように外面全体に文様が施文されるものは珍しい。地文には単節の斜縄文が多用される。縄文のみの土器は口縁部上端に無文帯を持ち、屈曲部に原体圧痕がなされるものが多い。鉢や壺などは地文のみのものが多い。また、小形の土器は全体に無文のものが多い。

**第５表　グリッド別出土土器重量**　　単位：ｇ

| | C | | | | D | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2 | | | 65 | | | | | | |
| 3 | | 658 | 217 | 458 | 210 | 199 | 543 | 92 | |
| | | 643 | 1478 | 276 | 360 | 169 | 225 | 4857 | |
| | 46 | 1750 | 994 | 797 | 512 | 2066 | 174 | 782 | |
| | 39 | 5051 | 2581 | 478 | 863 | 79 | 156 | 350 | |
| | | 3206 | 373 | 806 | 1645 | 176 | 264 | 39 | |
| 4 | | 45 | 142 | 1126 | 256 | 1265 | 547 | | |
| | | 265 | 415 | 1018 | 1092 | 801 | 66 | 143 | |
| | | 61 | 44 | 530 | 45 | 1131 | 71 | | |
| | | 152 | 71 | 3 | 126 | 286 | 58 | 2078 | |
| | | | | | | | | | |

100ｇ未満
100ｇ以上500ｇ未満
500ｇ以上1000ｇ未満
1000ｇ以上5000ｇ未満
5000ｇ以上

### （2）土製品（第31・44図、写真図版24・35）

**土偶（505・521・522）**　全資料掲載した。505は上半身と下半身が接合したものである。座像で、左腕は曲げ左膝につけ、右腕は伸ばし顎につけている。521・522は左脚のみの資料である。3点とも外面に装飾は施されていない。

**鐸形土製品（523）**　1点出土した。頂部のみの資料で貫通孔を有する。

**円盤状土製品（501～504・506～509・511～514・524～538）**　27点出土した。土器片を素材とし、その周縁を打ち欠いて、成形している。一部の資料では研磨して整形している。地文のみのものや無文のものが多い。

**不明土製品（510・539）**　2点出土した。2点とも外面に装飾はされておらず、雑な作りである。

### （3）焼成粘土塊（写真図版24・35）

551～554、561・562の計6点を掲載した。表面にはナデの痕跡が観察されるものが多い。

### （4）石器（第32・45図、写真図版25～27・36～39）

**石鏃（616・701～704）**　扁平でほぼ左右対称、尖頭部と幅広な基部をもつ小形の石器である。両面とも入念に調整が施されているものが多い。基部形状及び茎の有無で分類すると、平基無茎鏃1点(701)、凹基無茎鏃1点（702)、平基有茎鏃1点（703)、円基鏃2点（616・704）である。5点のうち欠損しているものは2点である。

**錐形石器(705～709)**　素材剥片の一部に調整によって錐状の刃部を作出した石器である。つまみ部が作出されているものや棒状のものはなく、すべて剥片の一部に刃部を作出しているものである。刃部の調整を素材剥片の両面に施している場合は刃部の断面形は菱形(705・706)を、片面に施している場合は三角形(707～709）を呈している。刃部の稜が磨滅していると同時に刃部に微細な剥離痕が観察されるものが多い。

**石匙（601・710）**　両側縁から抉りを入れることで作り出されたつまみ部とつまみ部とは異なる側縁に刃部を有する石器である。縦形1点（601)、横形1点（710）である。601は素材剥片のバルブが残置されるなど素材剥片の剥離面を広く残しており、粗製の石匙という印象を受ける。710は先端が細くなっている刃部の両側縁は稜が磨滅するとともに、微細な剥離痕が観察され、錐としての用途も想定される。

**削器（606・630・711～714）**　主に剥片の側縁に緩斜度の連続した調整で刃部を作出している石器である。多くのものは素材剥片の一側縁に刃部を作出しているが、606のようにほぼ全周に調整を施して刃部を作出しているものもある。調整は背面側に施されるものが多い。606は背面の広い範囲に礫面が残っており、剥片剥離工程の初期段階の剥片を素材としている。

**掻器（638・715・716）**　主に素材剥片の端部に急斜度の調整で刃部を作出している石器である。638・715は刃部のみ、716はほぼ全周に調整が施される。638など刃部に微細な剥離痕が観察されるものもみられる。

715は形態的な特徴は石匙に非常に近いが、素材剥片の端部側を欠損しており、つまみ部の有無が不明なため本類に含めた。716は他と比較すると小形の掻器である。裏面全面に調整を施して平坦化している。

**篦状石器（717～721）**　平面形が撥形もしくは楕円形を呈し、端部に刃部を有する石器を篦状石器とした。717は本類最大のものである。両面とも入念に調整が施されている。718は本類の他の石器と比較すると厚さのあるものである。素材剥片の剥離面がほとんど残っていないが、全体的に調整は粗い。719は円礫から剥離した横長剥片を素材とし、素材剥片の長軸の一端に刃部を作出している。調整は刃部と刃部に接する一側縁に限られ、素材の剥離面を広く残している。720は素材剥片の背面に刃部を作出している。刃部の調整は背面に限られるが、基部は腹面にも調整が施されている。721は基部のみの資料である。

**楔形石器（607・624・639・640・722～726）**　向い合う縁辺部に相対する剥離痕を有する石器である。607・639・722など多くの石器に両極技法に特徴的な対向する二辺に微細な剥離痕が観察される。断面形は凸レンズ状を呈するものが多く、楔の用法が推定される。

**調整痕のある剥片（617・622・631・636・641・642・727～741）**　上記以外の石器で、剥片の一部に調整が施されているものである。727～730は腹面右側縁に、641・731・732は腹面両側縁に、617・636・733は腹面端部側に、622・631・734・735は背面右側縁に、736は背面左側縁に、642・737は背面端部側に調整が施されている。734は頭部側の一部しか残っていないため、本類に含めたが、調整の施されている部分には微細な剥離痕も観察され、スクレイパー的な機能を有していたと考えられる。740は片面のほぼ全面に礫面を残し、もう一方の面は偶発的な割れによるものか、打点や剥離の方向の不明瞭な剥離面で覆われている。側縁に調整が施されているため本類に含めた。

**微細剥離痕のある剥片（621・742～748）**　素材の一部に調整痕ではない、微細な剥離痕が観察される石器である。742は腹面端部に、743・744は背面左側縁に、745・746は背面右側縁に、747は背面端部に微細な剥離痕が観察される。748は背面左側縁や右側縁下部に微細な剥離痕が観察される。621は背面端部と腹面右側縁下部に微細な剥離痕が観察される。

**剥片（602・603・608～613・615・618～620・623・625～627・632～634・637・643～650・652～659・661・666・749～802）**　石核や石器（トゥール類）から剥離されたもので、調整痕、微細な剥離痕の観察されない石器である。観察表の背面の項目はⅠ類が背面を構成する剥離面が主に腹面と同一方向の剥離面で構成されるもの、Ⅱ類が主に腹面と反対方向の剥離面で構成されるもの、Ⅲ類が対向する剥離面で構成されるもの、Ⅳ類が直交する剥離面があるものである。643・749は黒曜石製の剥片である。黒曜石製の石器はこの２点のみである。743は礫面が残っており、転礫から剥離されたものと考えられる。613は全体の形状は不明なため剥片に含めたが、片面に擦痕が観察され、磨製石斧の胴部片と考えられる。上記以外のものについては写真・観察表を参照して頂きたい。

**砕片（603・614・803・804）**　平面の大きさが1.5×1.5㎝以下の剥片類である。出土点数は少ない。

**石核（805～808）**　剥片を剥離したと考えられる石器である。805・806はサイコロ状の石核である。2点とも剥片剥離はあまり行われておらず、作業面以外の広い部分に礫面を残している。807はやや扁平な石核である。打面を頻繁に転移させながら剥片剥離を行っている。

**原石（809）**　石器の石材として利用されている石で、人為的な剥離痕を有していないものである。

**磨製石斧（810～812）**　研磨による斧状の刃部をもつ石器である。3点とも定角式の磨製石斧である。810・811は基部の幅が最小で、刃部もしくは刃部付近に最大幅をもつ撥状の形態をしている。両面とも入念に研磨調整が施され、体部の擦痕は主に器長に対して右下がりになっている。810の刃部は使用によると思われる剥離面が広く観察される。811は810と比較すると小形のもので、基部側を欠損している。刃部には刃部に直交する擦痕（使用痕）とともに光沢痕が観察される。812は刃部側を欠損している。上記2点と同様体部の擦痕は主に器長に対して右下がりになっている。

**＜磨石・凹石・敲石＞**　自然礫を利用して「磨る・潰す・敲く」といった機能を有する石器群である。各機能を複合して有するものが多く、使用頻度の高いと考えられる器種の名称をつけて分類した。
**磨石（813～821）**　813・814は楕円形の礫を利用した磨石である。使用面は2面である。815は楕円形の礫を利用した磨石である。使用面は4面で、使用面と使用面の間には明瞭な稜が形成されている。816はやや扁平な円形の礫を利用した磨石である。使用面は1面である。817は約1/2の残存であるが、残存部から判断すると円形もしくは楕円形の礫を利用した磨石と考えられる。使用面は1面である。818は方形状の礫を利用した磨石である。使用面は1面である。819～821は擦痕の観察される礫破砕片である。
**凹石（822）**　822は扁平で細長い板状の礫の広い2面に敲打による凹部が観察される石器である。片面には敲打に先行する擦痕が観察され、磨石としての機能も有していたと考えられる。
**敲石（665・823・824）**　665は掌に収まる位の大きさの円礫を利用したもので、長軸両端に敲打痕が観察される。823は棒状の礫を、824は断面形が三角形状を呈する礫を利用したもので、突端一ヶ所に敲打痕が観察される。

**石皿（628）**　大形の礫の一面もしくは二面に、広範囲にわたって、磨面や敲打痕が観察される石器である。本遺跡からは628のみの出土である。2点が接合した。扁平な礫を利用しており、使用面は1面である。

**砥石（629）**　629は棒状の礫を利用した砥石である。部分的であるが、研磨痕が観察される。

**素材礫（825～828）**　明瞭な使用痕跡のない礫であるが、磨石や敲石などの礫塊石器の素材となりうるものを一括した。

**礫（605・635・651・660・662～664・829～833）**　660はブロック状の礫である。若干であるが、赤化しており、火を受けたと考えられる。664は棒状の礫である。平坦な一面を除いて黒色の付着物が観察される。662は扁平で縦長の、663は棒状の礫である。擦痕や敲打痕は観察されないが、形状に注目して報告する。この他に、火を受けた痕跡のある礫が遺構内から1点、遺構外から4点の計5点出土している。

第６表　石器組成表

| 出土層位／器種 | 石鏃 | 錐形 | 石匙 | 削器 | 掻器 | 箆状 | 楔形 | ＲＦ・ＵＦ | 剥片・砕片 | 石核 | 磨斧 | 磨石類 | 石皿 | 砥石 | 他 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 遺構内 | 1 | | 1 | 2 | 1 | | 4 | 7 | 42 | | | 1 | 1 | 1 | 22 | 83 |
| Ⅲ | | 1 | | | | 1 | | 1 | 2 | | | 1 | | | | 6 |
| Ⅱａ～Ⅲ | | | | | | 1 | | 3 | 11 | 1 | | 2 | | | 3 | 21 |
| Ⅱｃ | | | | | | | | | 4 | | | | | | | 4 |
| Ⅱｂ | | | | | | 1 | | 1 | 15 | | 2 | | | | 2 | 21 |
| Ⅱａ | 3 | 3 | | 2 | 1 | 2 | 3 | 16 | 52 | 1 | 1 | 5 | | | 6 | 95 |
| Ⅱａ～Ⅱｃ | | | | | | | 1 | | 3 | 1 | | | | | 2 | 7 |
| Ⅰ～Ⅱａ | | 1 | | 1 | | | | 1 | 3 | | | | | | 4 | 10 |
| Ⅰ | | | | | | | 1 | 2 | 24 | 1 | | 3 | | | 4 | 35 |
| 排土等 | 1 | | 1 | 1 | 1 | | | | 3 | | | 1 | | | 1 | 9 |
| 計 | 5 | 5 | 2 | 6 | 3 | 5 | 9 | 31 | 159 | 4 | 3 | 13 | 1 | 1 | 44 | 291 |

（５）石製品（第45図、写真図版39）

**有孔石製品(834)**　834は両面からの穿孔による孔部を有する石製品である。素材の凹凸はあるものの表面は全面平滑になっている。遺構外からの出土である。

（６）自然遺物（写真図版40）

**貝（901）**　１点のみ出土した。縁辺の一部には鋭利な部分が観察され、刃器としての用途が想定されるため、報告した。種類等は不明である。

**獣骨(902～906)**　５点出土した。Ⅰ層から出土したものが多く、時期を限定することはできなかった。

第７表　自然遺物観察表

| 掲載番号 | 整理番号 | 種類 | 出土地点・層位 | 重量（ｇ） | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 901 | 4001 | 貝 | ３Ｄ・Ⅱａ | 7.22 | |
| 902 | 4002 | 獣骨 | 西３・排土一括 | 11.52 | |
| 903 | 4003 | 獣骨 | ＢＴ102・Ⅰ | 11.29 | |
| 904 | 4004 | 獣骨 | 西１・Ⅰ | 13.72 | |
| 905 | 4005 | 獣骨 | ＭＴ013・Ⅰ | 20.06 | |
| 906 | 4006 | 獣骨 | 東２・Ⅱａ | 2.10 | |

（７）陶磁器（写真図版40）

**磁器(911～918)**　21点の破片資料が出土した。その多くはⅠ層や攪乱からの出土である。そのうち８点を写真掲載とした。911～915は肥前産、916は瀬戸産と考えられる資料である。

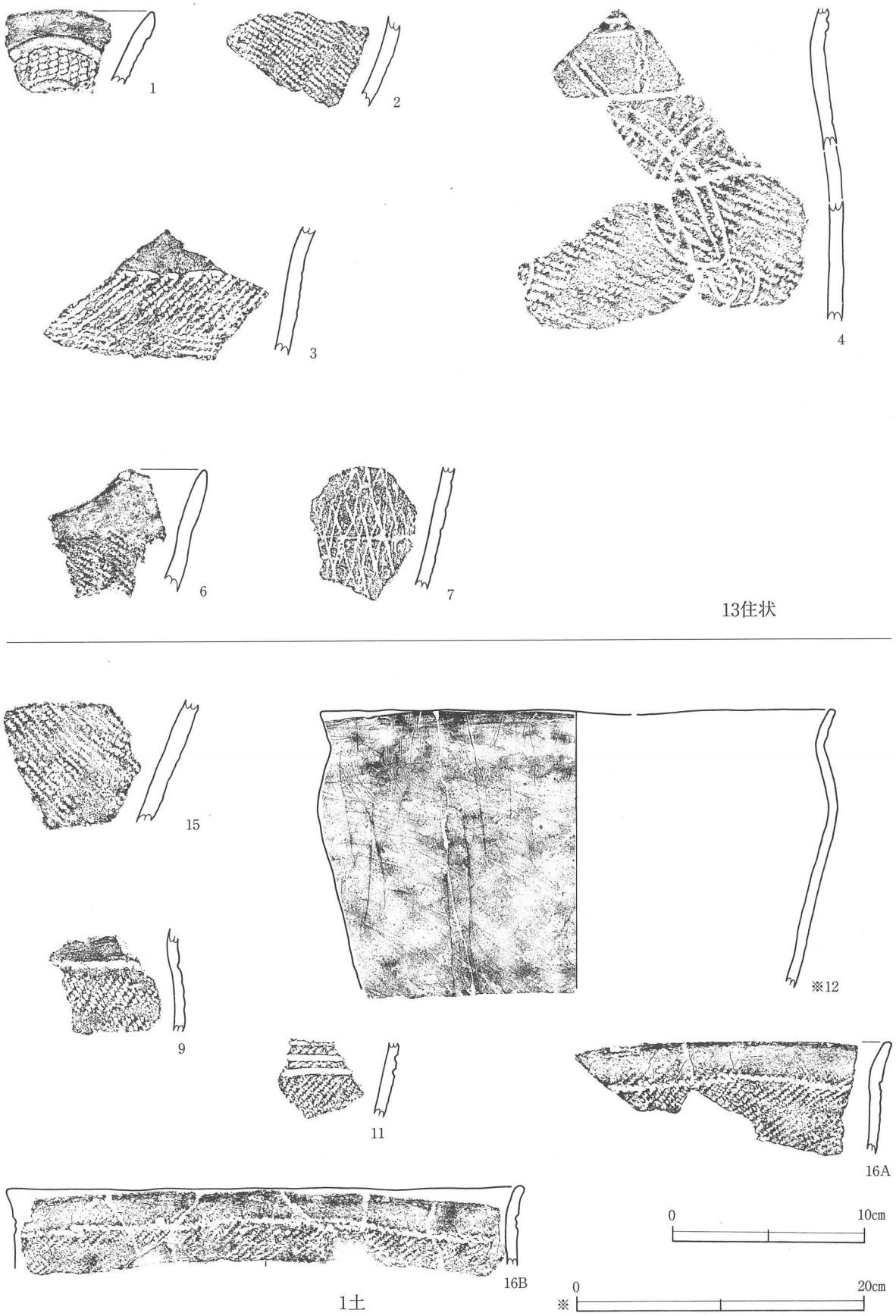
**陶器(919～930)**　20点の破片資料が出土した。磁器と同様、Ⅰ層や攪乱からの出土資料が多い。そのうち12点を写真掲載とした。919は美濃産、920～922・929は肥前産、923は大堀相馬産、924～926は相馬産、928は在地産と考えられる資料である。

（８）銭貨（写真図版40）

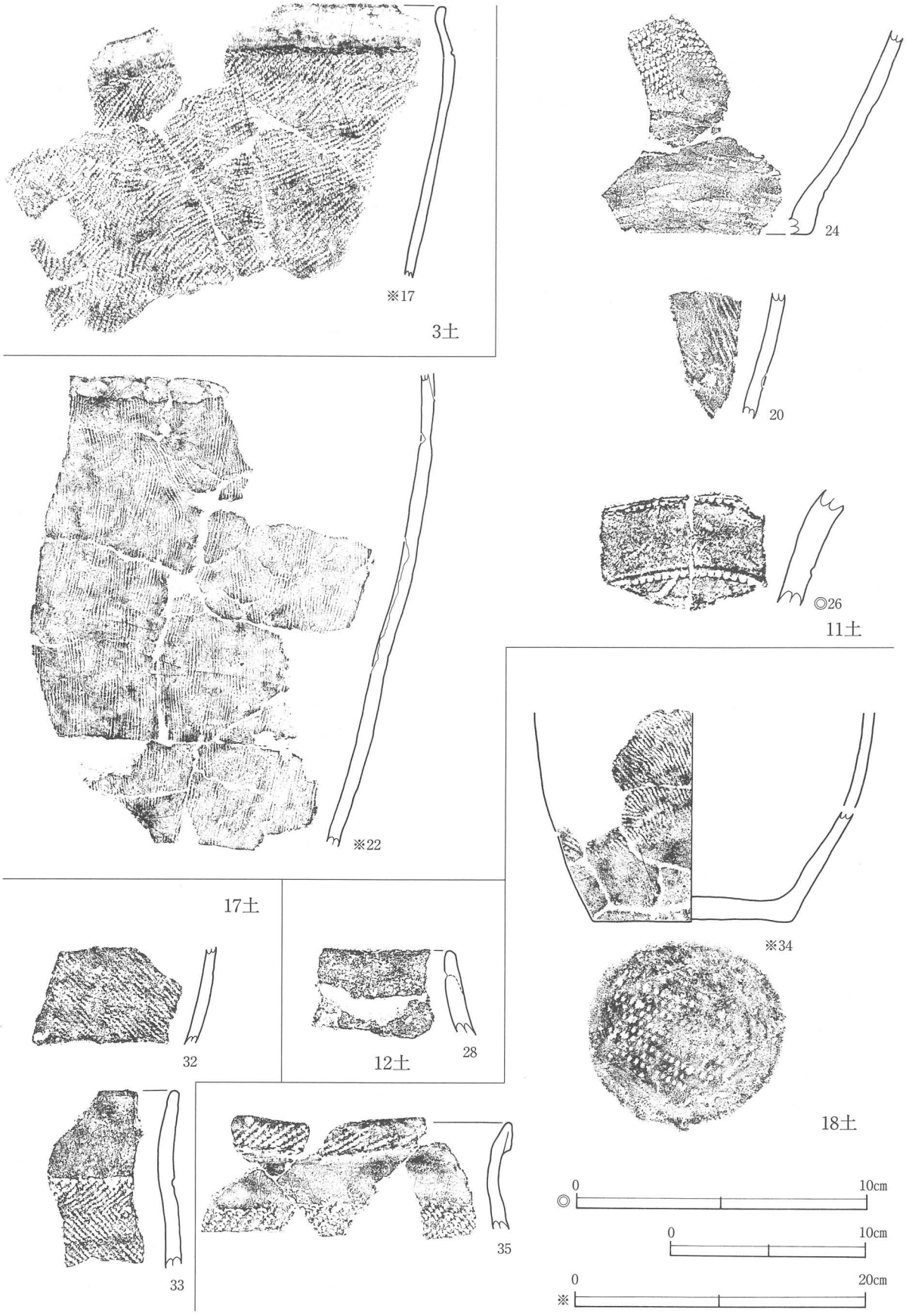
951～953の３点出土した。Ⅰ層から出土したものが多い。953はⅠ層直下のⅡｂ層から出土した。951の寛永通寶以外は判読できず、無文銭の可能性がある。

第８表　銭貨観察表

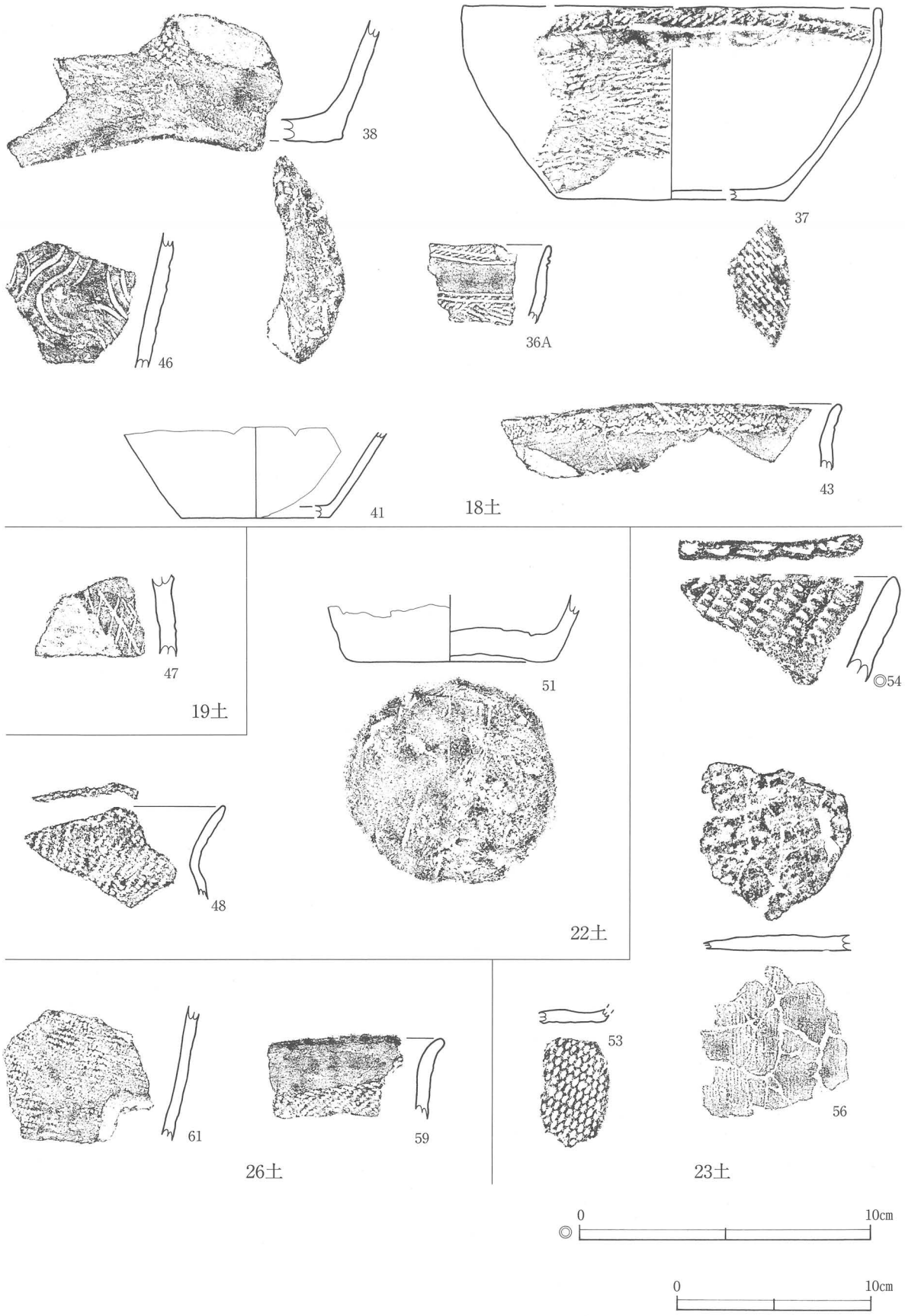
| 掲載番号 | 整理番号 | 種類 | 出土地点・層位 | 重量（ｇ） | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 951 | 4001 | 寛永通寶 | ４Ｄ・Ⅰ | 2.78 | 新寛永？ |
| 952 | 4002 | 不明 | ＢＴ102・Ⅰ | 6.47 | |
| 953 | 4003 | 不明 | ４Ｃ－12・Ⅱｂ | 3.44 | |



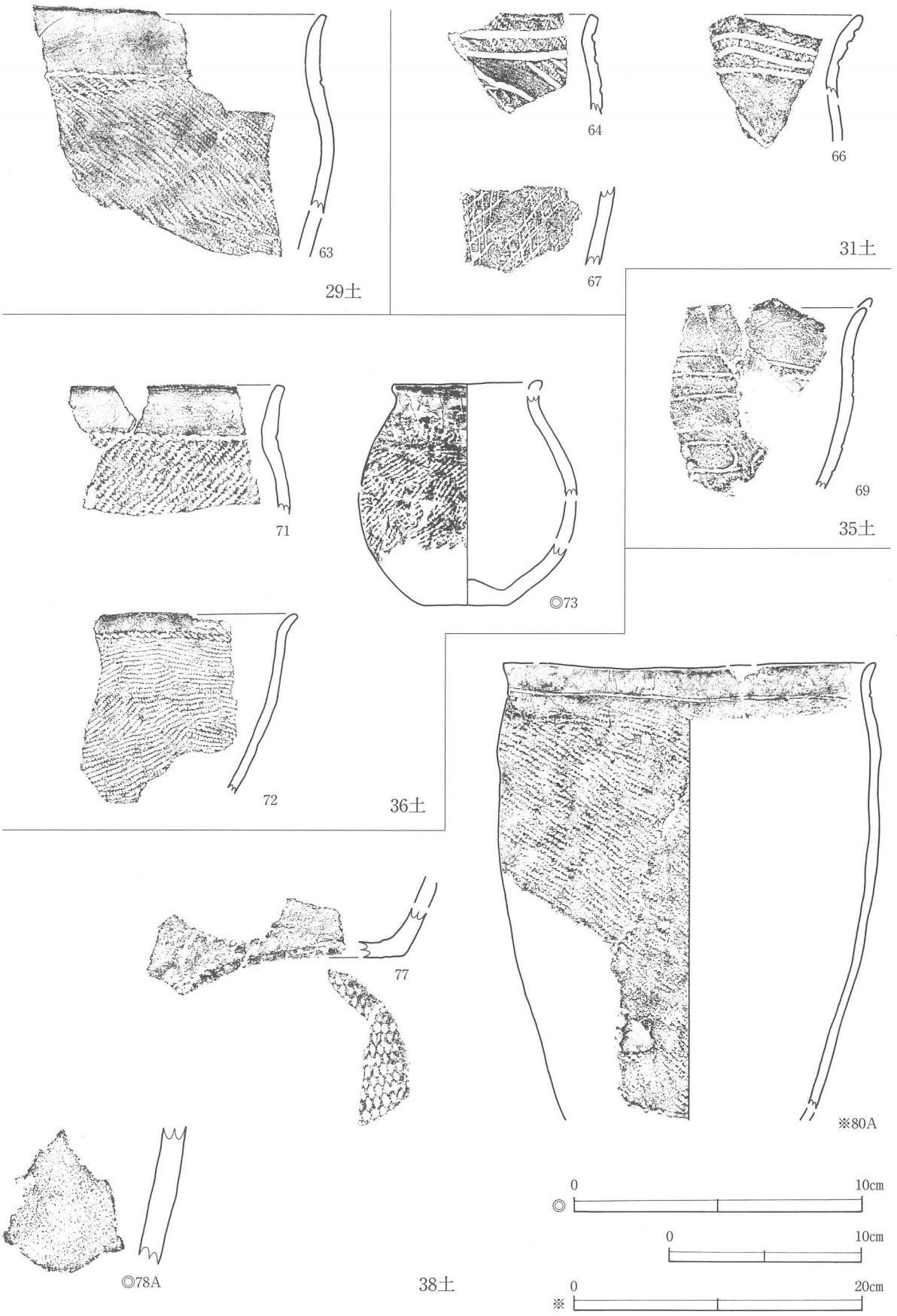

第 22 図　遺構内出土遺物（土器①）



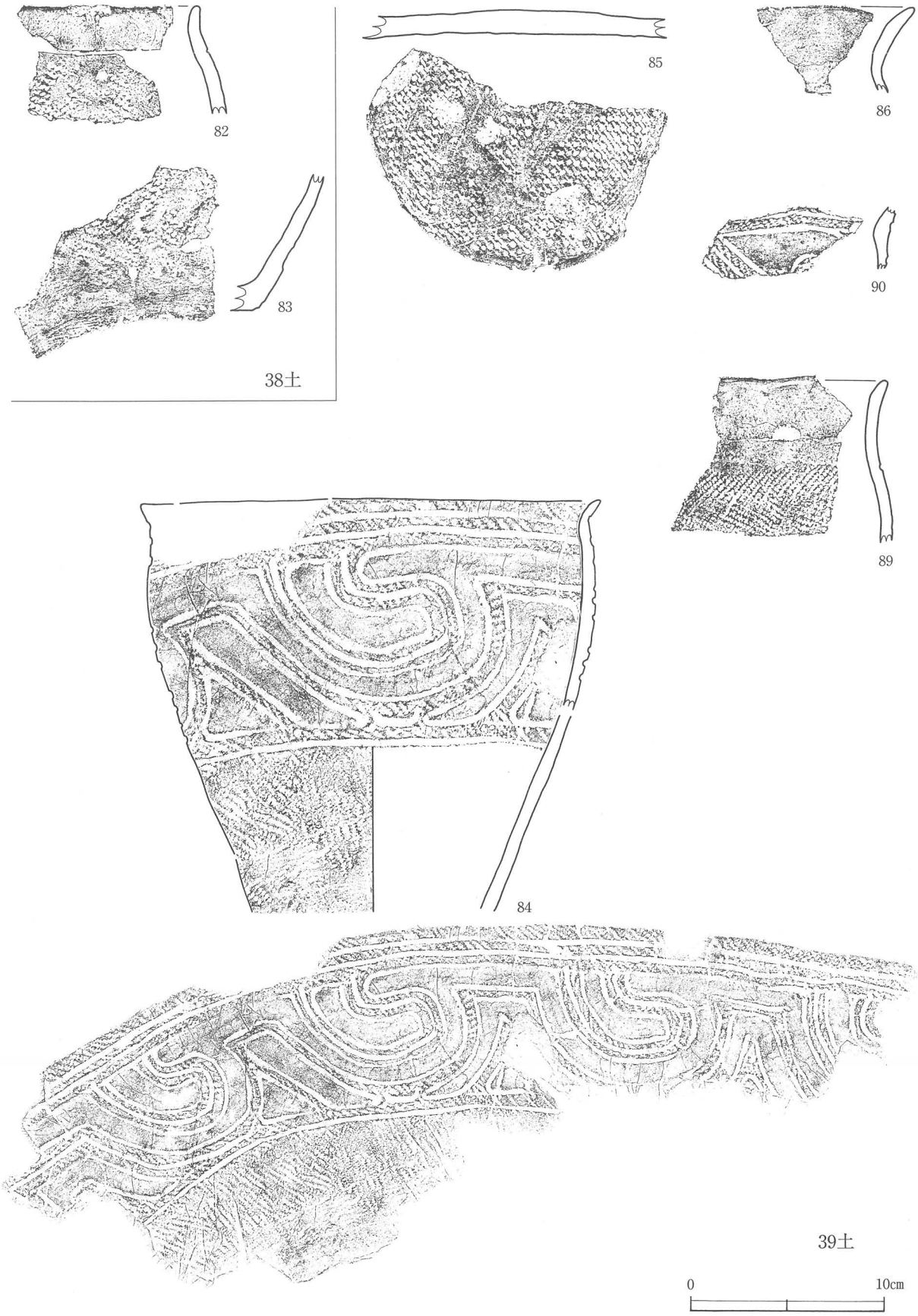

第23図　遺構内出土遺物（土器②）



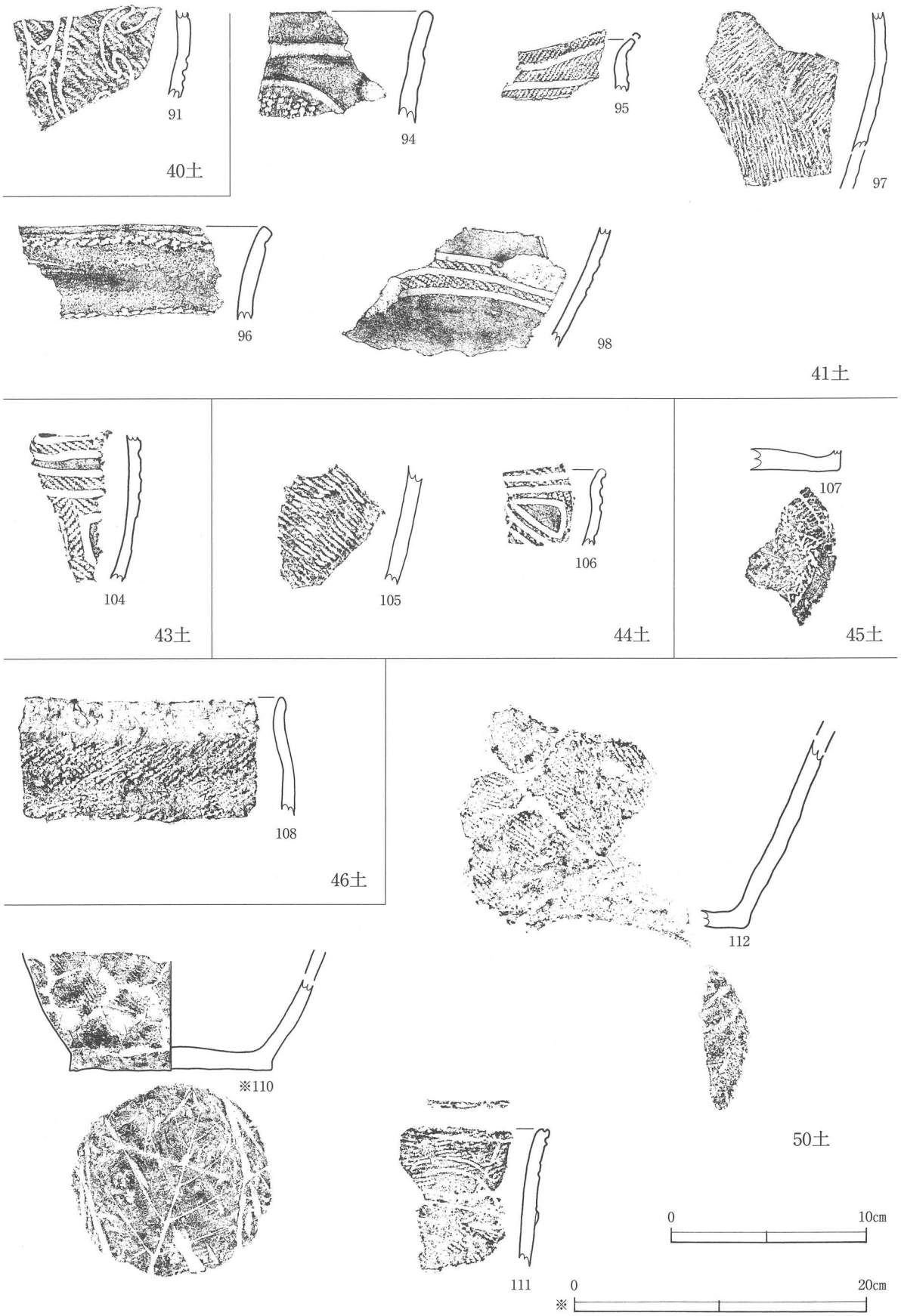

第24図　遺構内出土遺物（土器③）



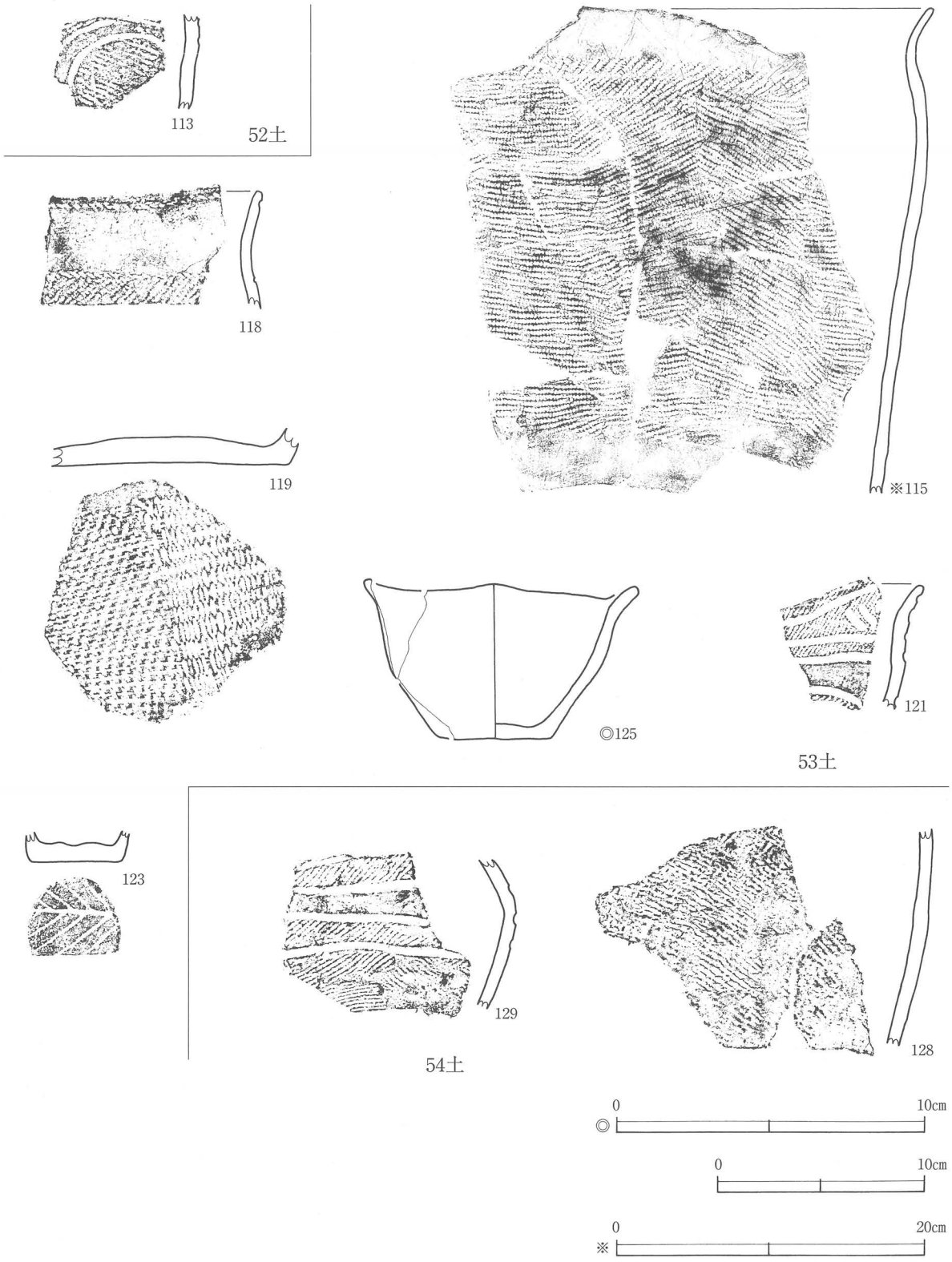

第25図　遺構内出土遺物（土器④）



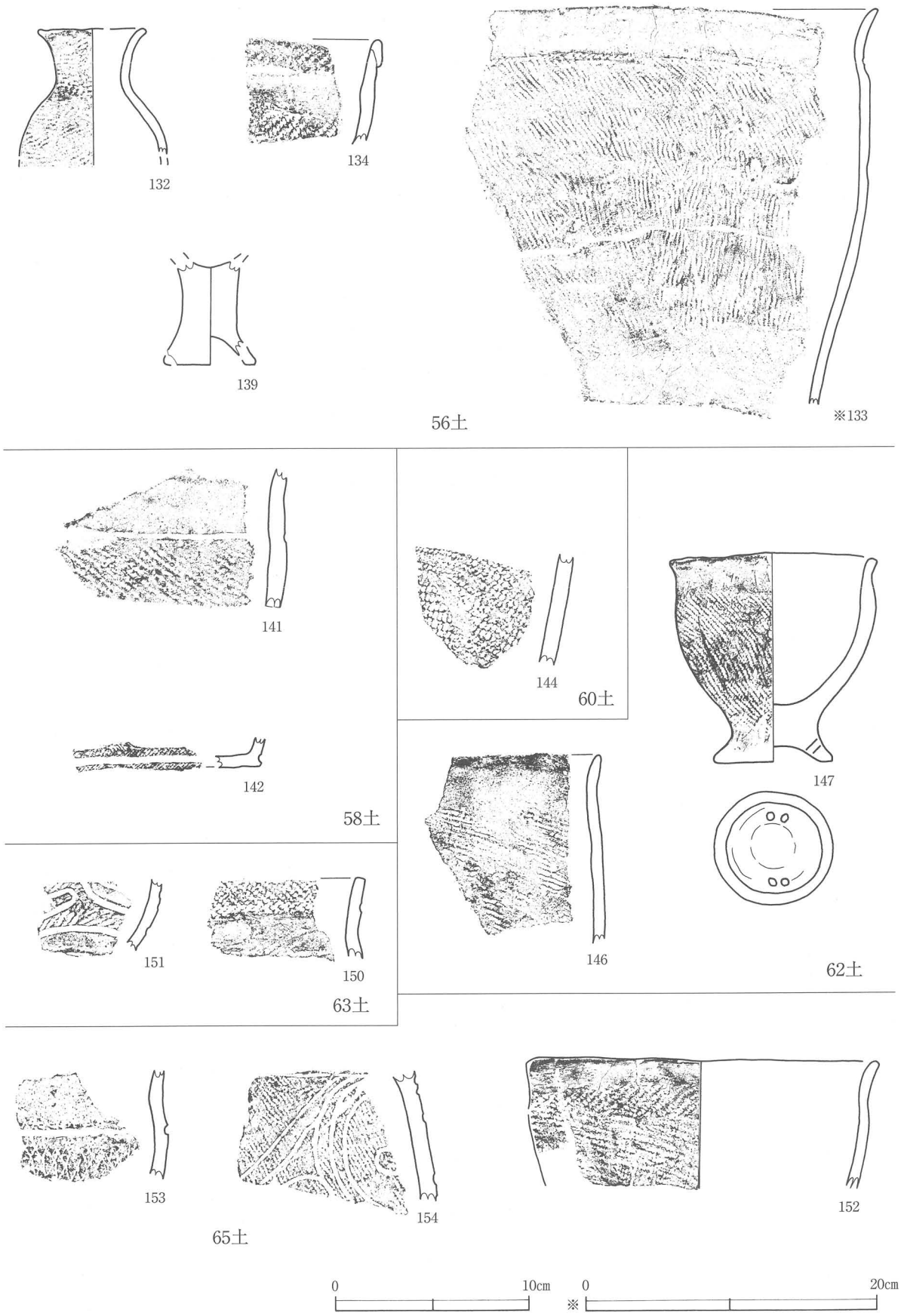

第 26 図　遺構内出土遺物（土器⑤）



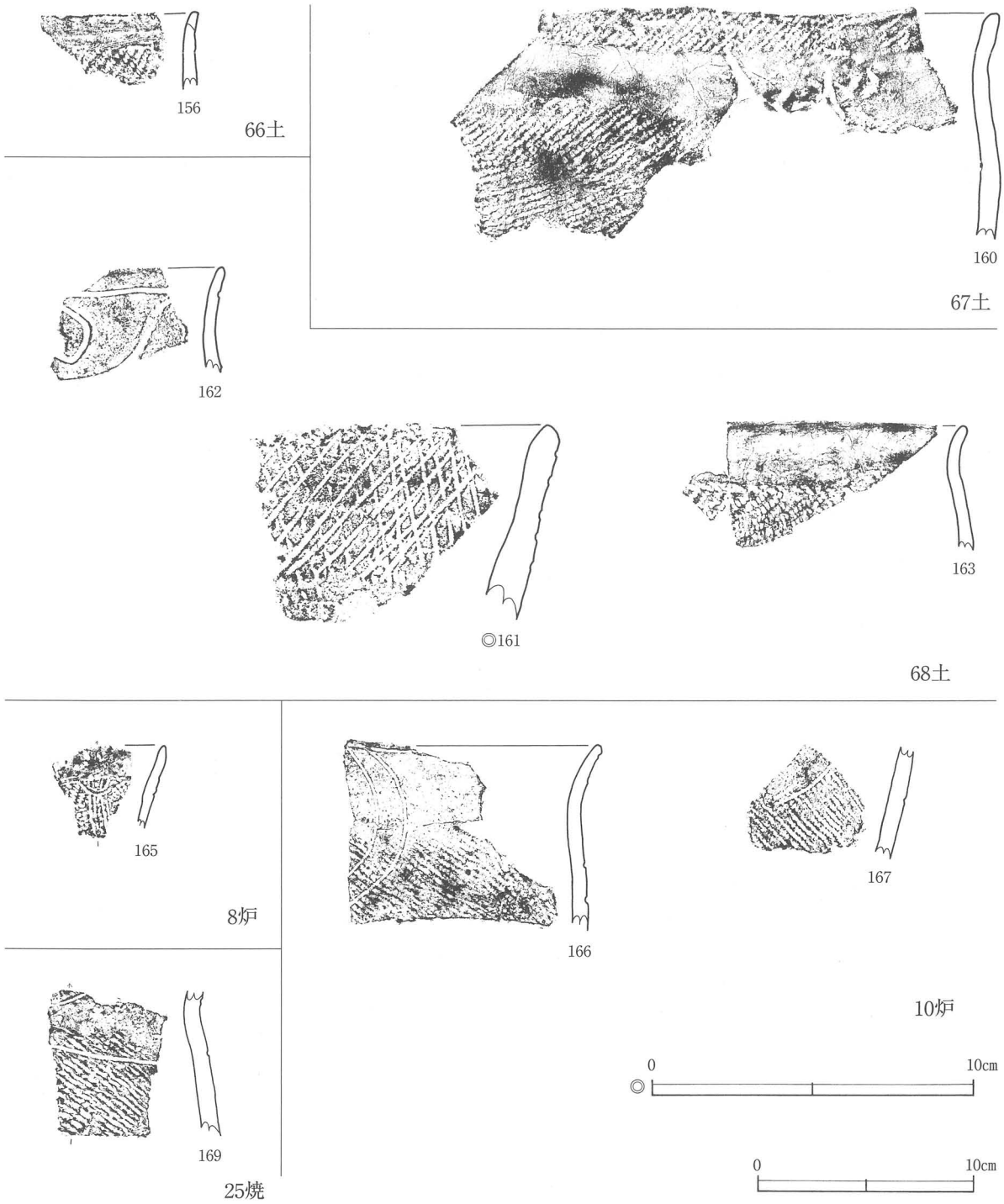

第27図　遺構内出土遺物（土器⑥）



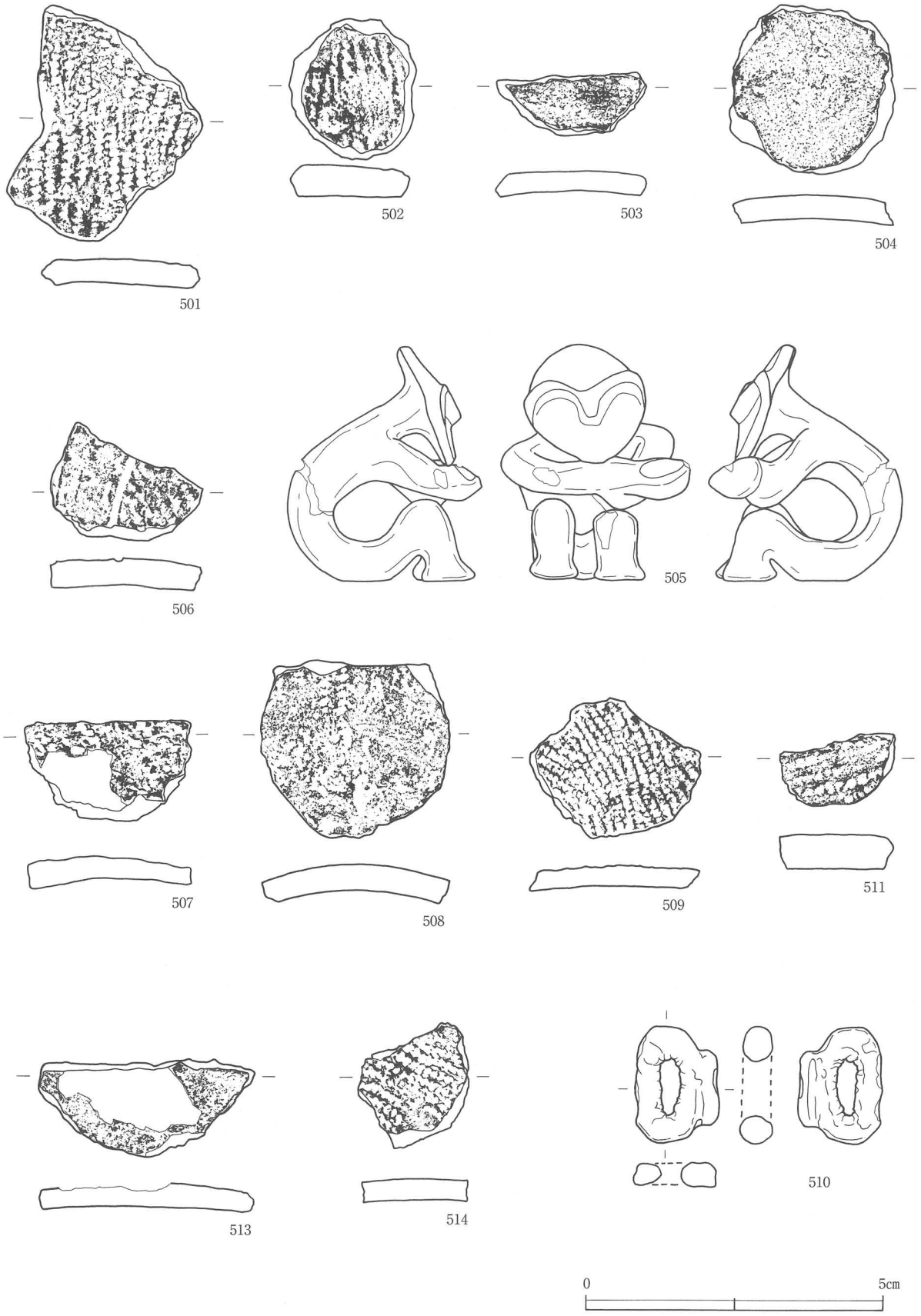

第 28 図　遺構内出土遺物（土器⑦）



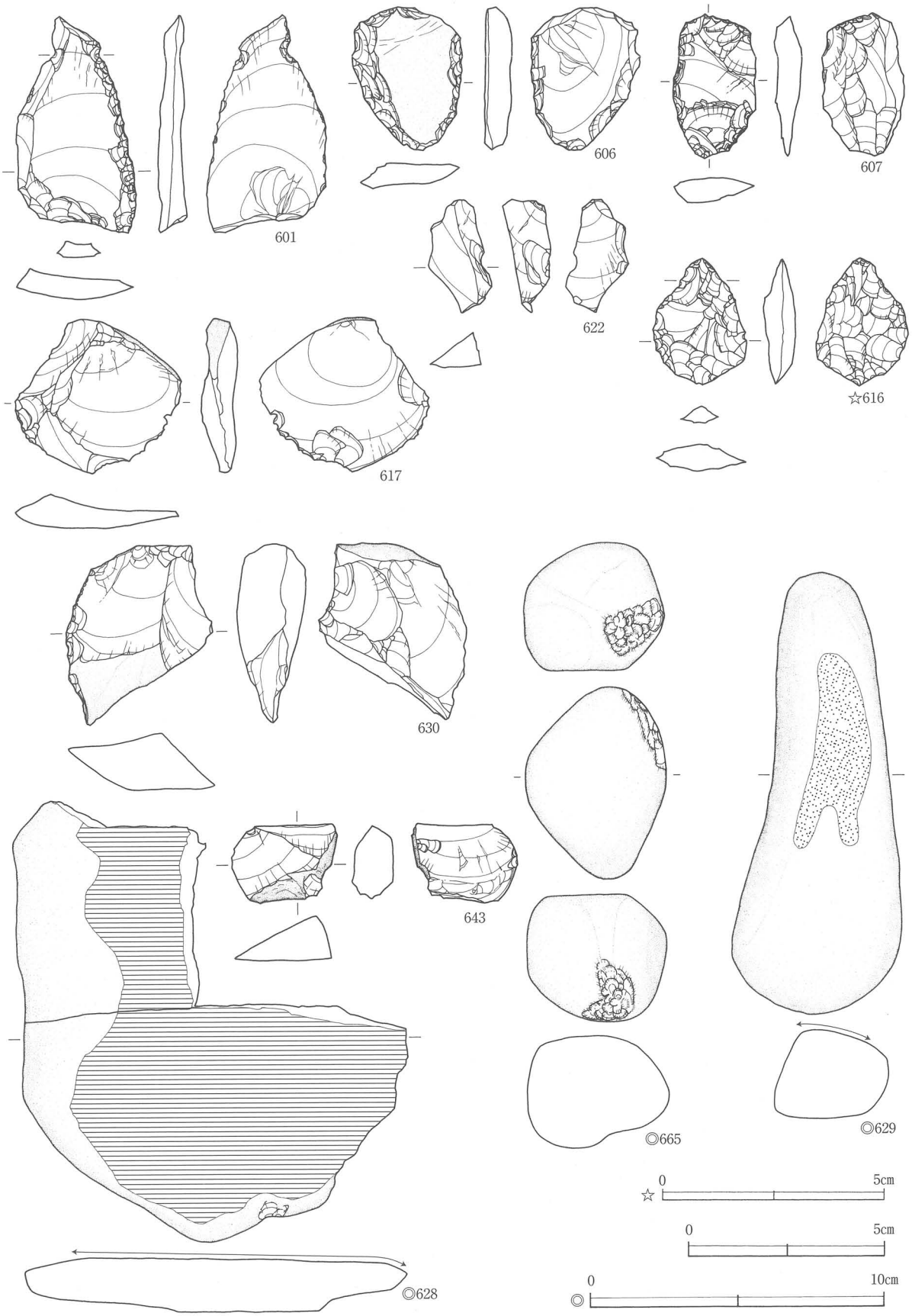

第29図　遺構内出土遺物（土器⑧）



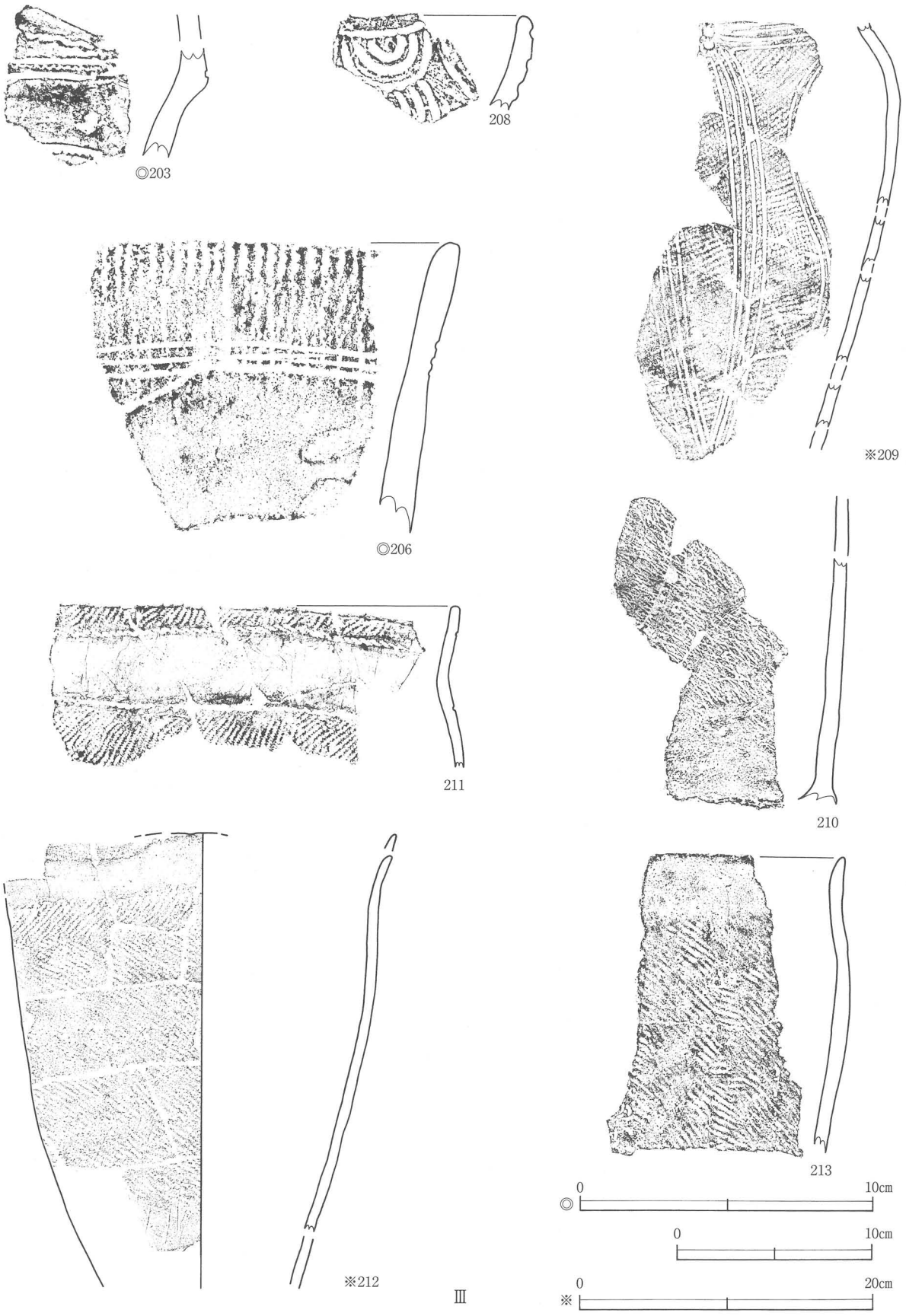

第 30 図　遺構内出土遺物（土器⑨）



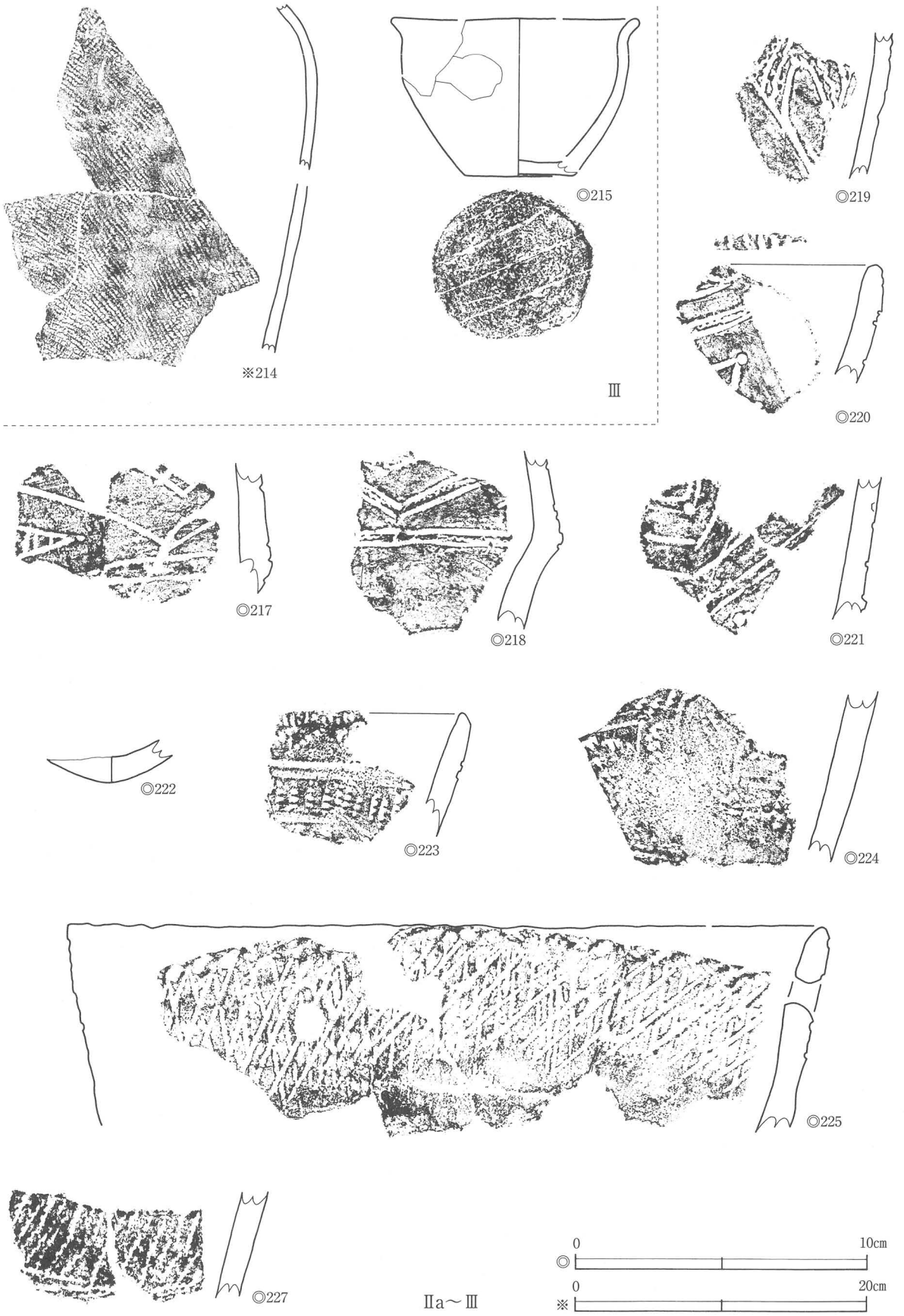

第31図　遺構内出土遺物（土製品）



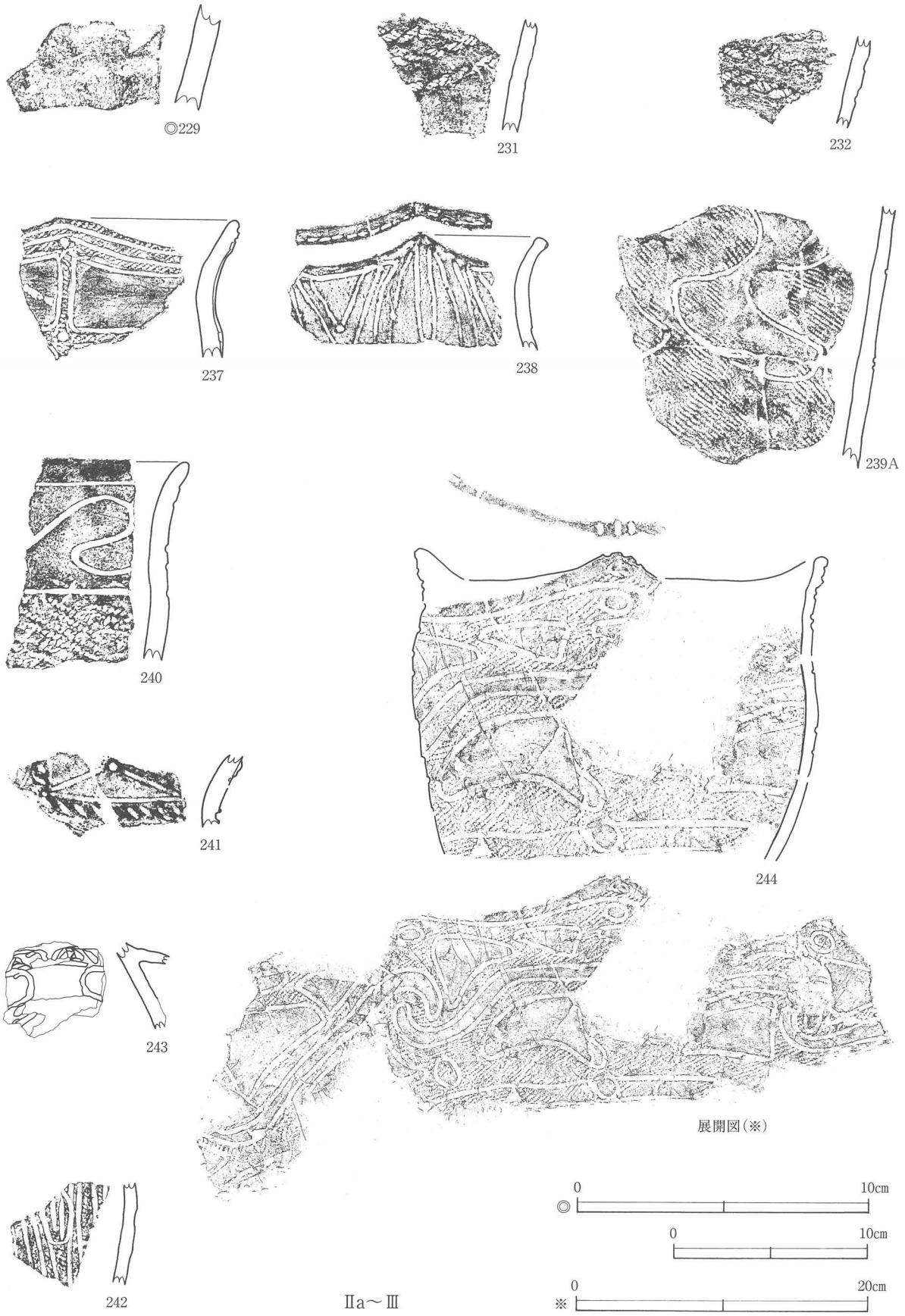

第 32 図　遺構内出土遺物（石器）



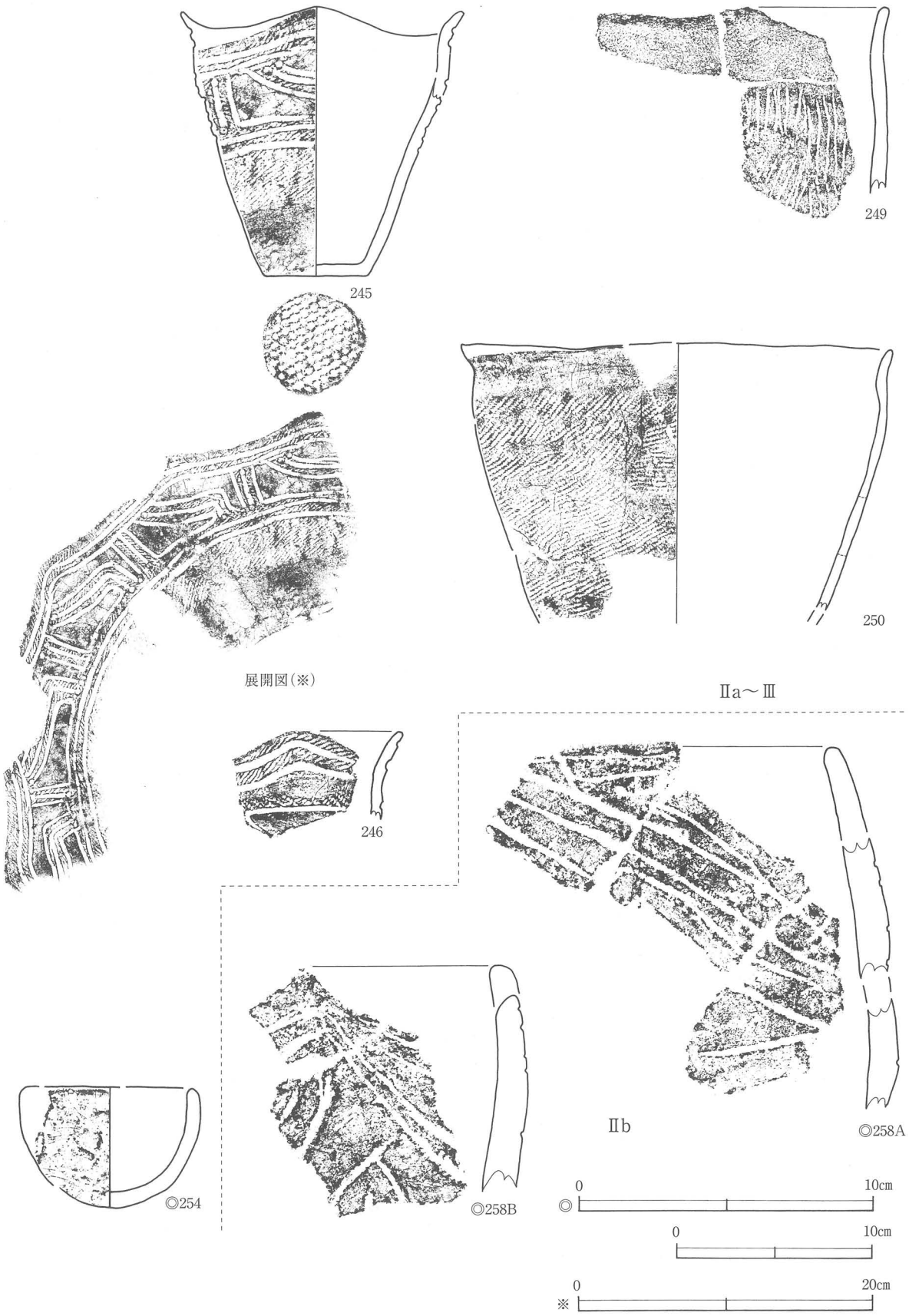

第33図　遺構外出土遺物（土器①）



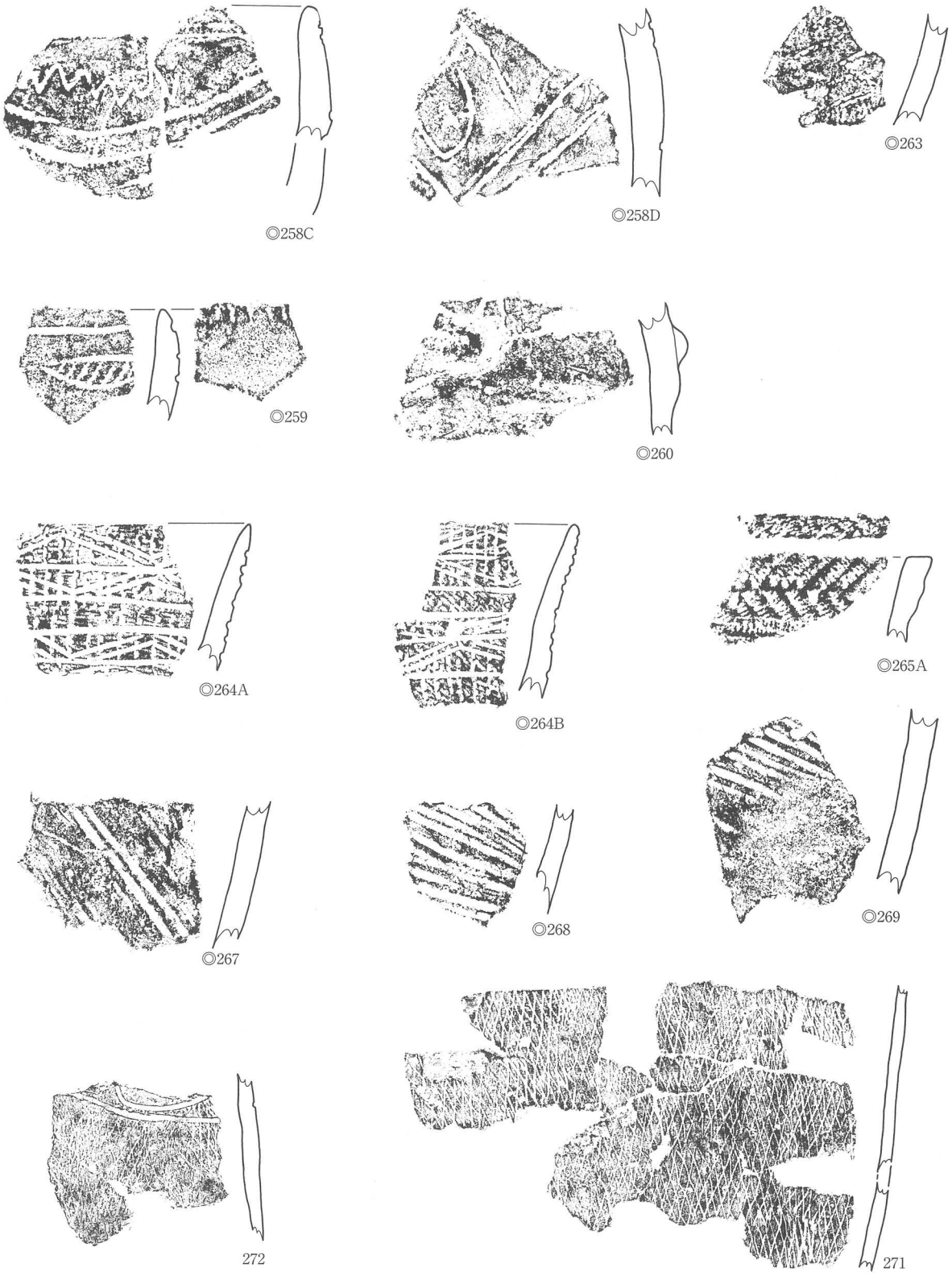

第34図　遺構外出土遺物（土器②）



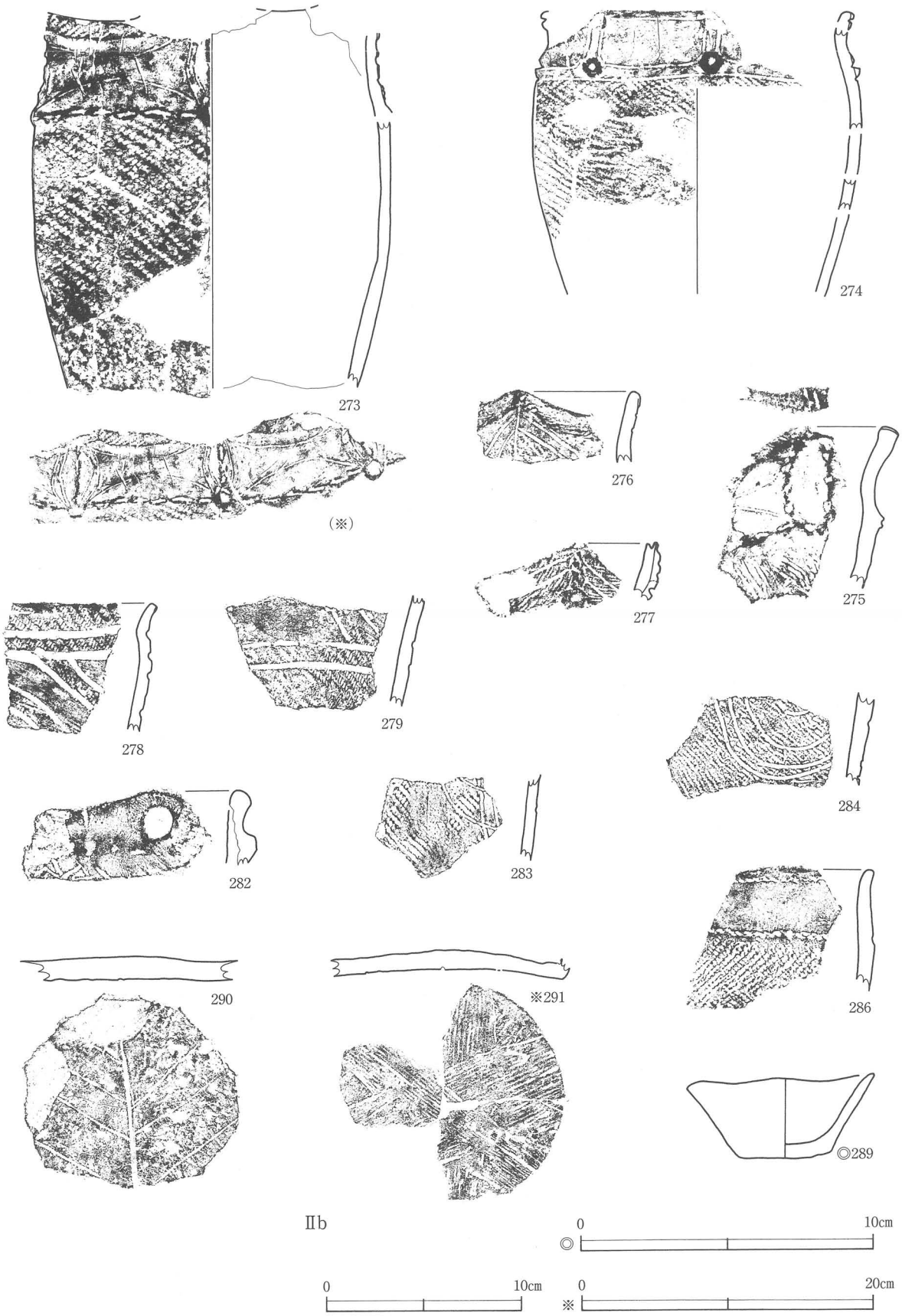

第35図　遺構外出土遺物（土器③）




第36図　遺構外出土遺物（土器④）



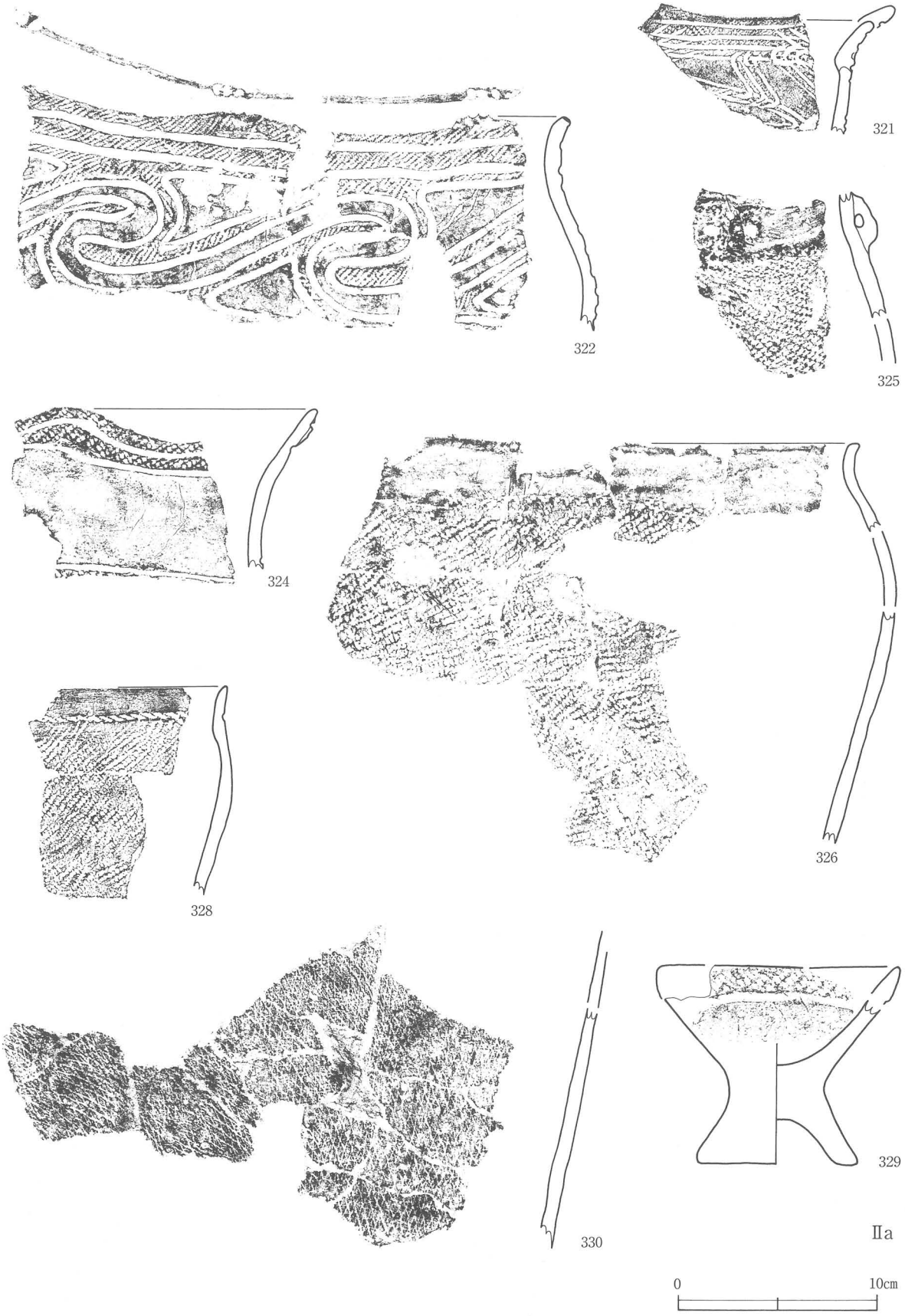

第37図　遺構外出土遺物（土器⑤）



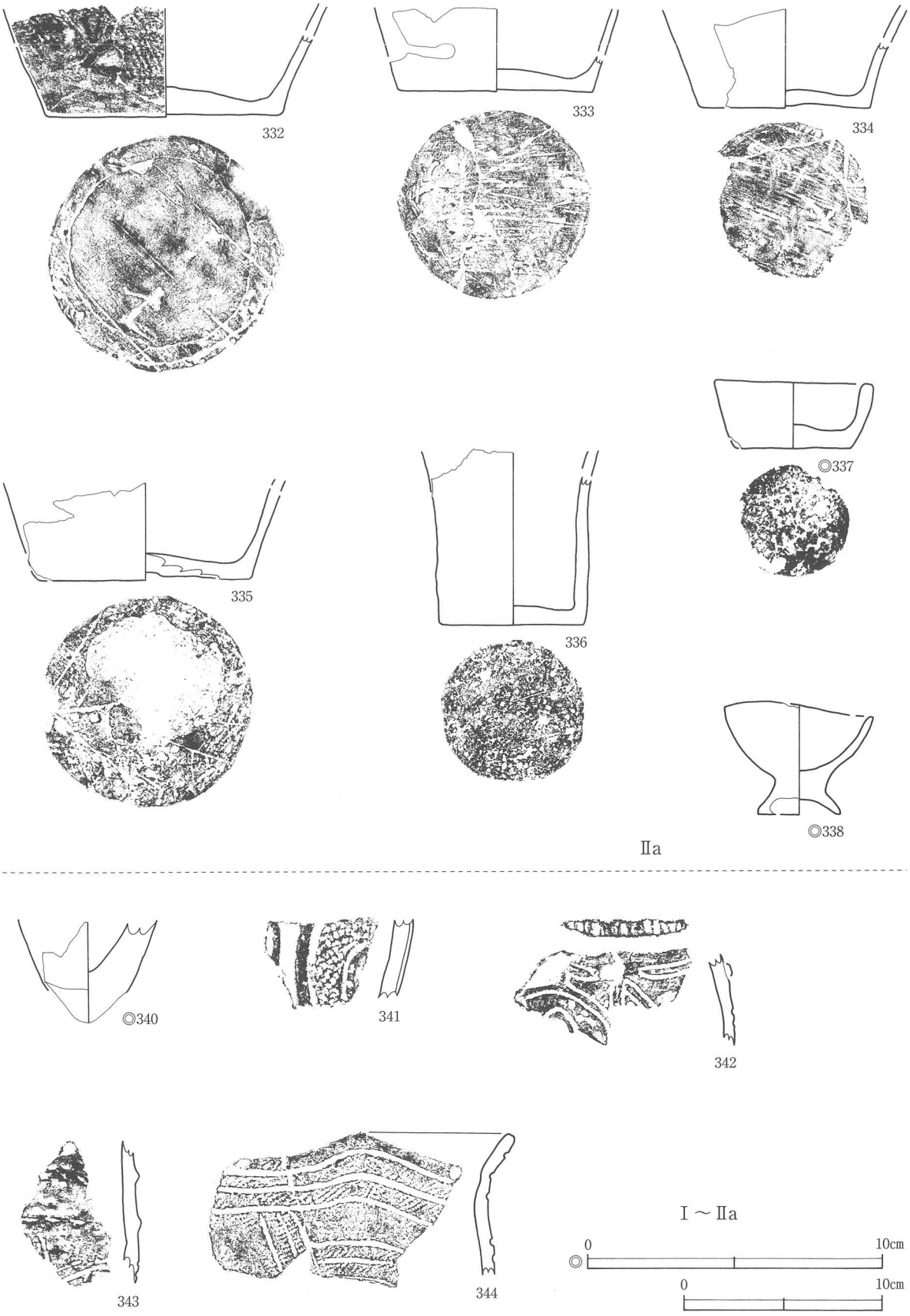

第38図　遺構外出土遺物（土器⑥）

第 39 図　遺構外出土遺物（土器⑦）

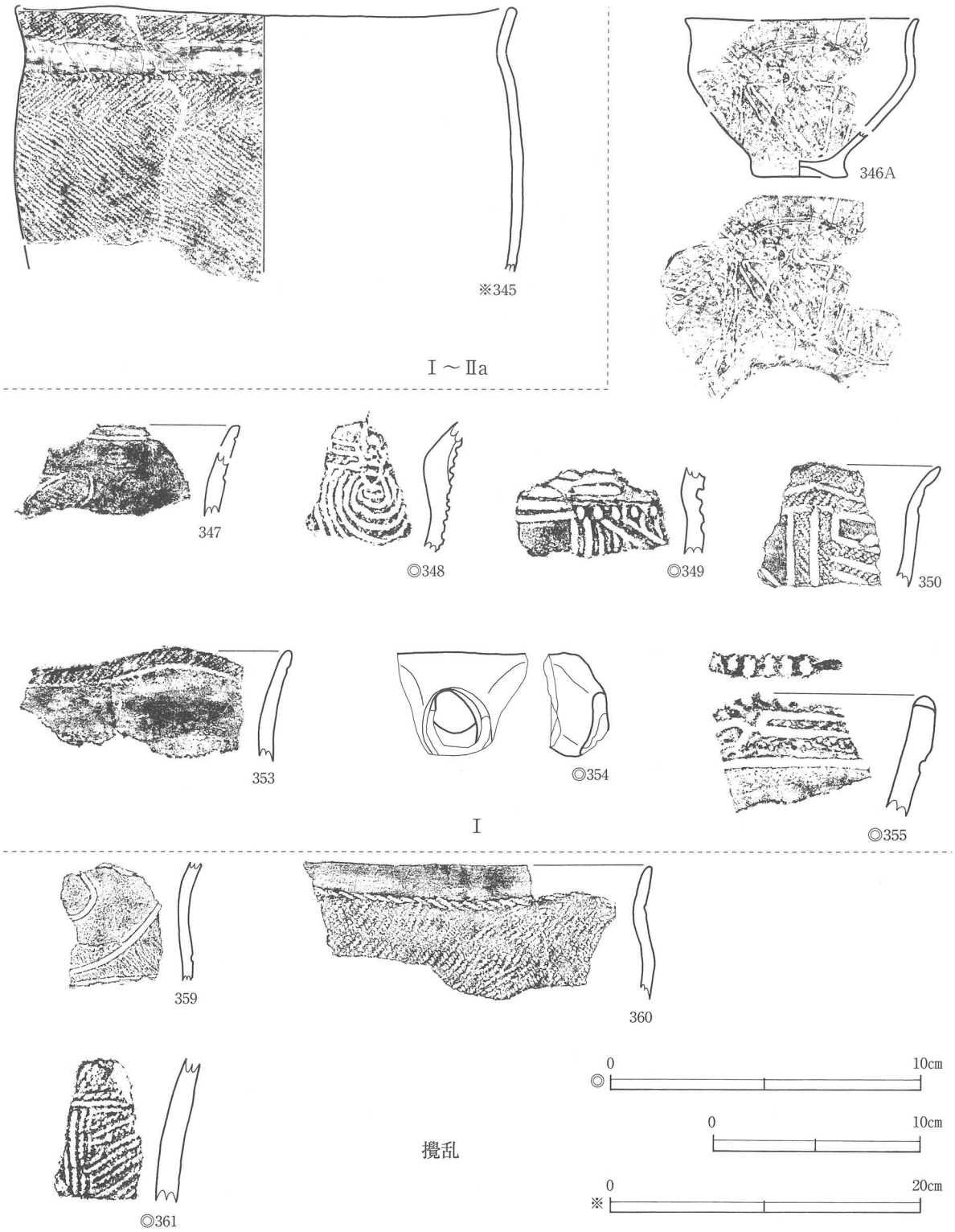
第40図　遺構外出土遺物（土器⑧）



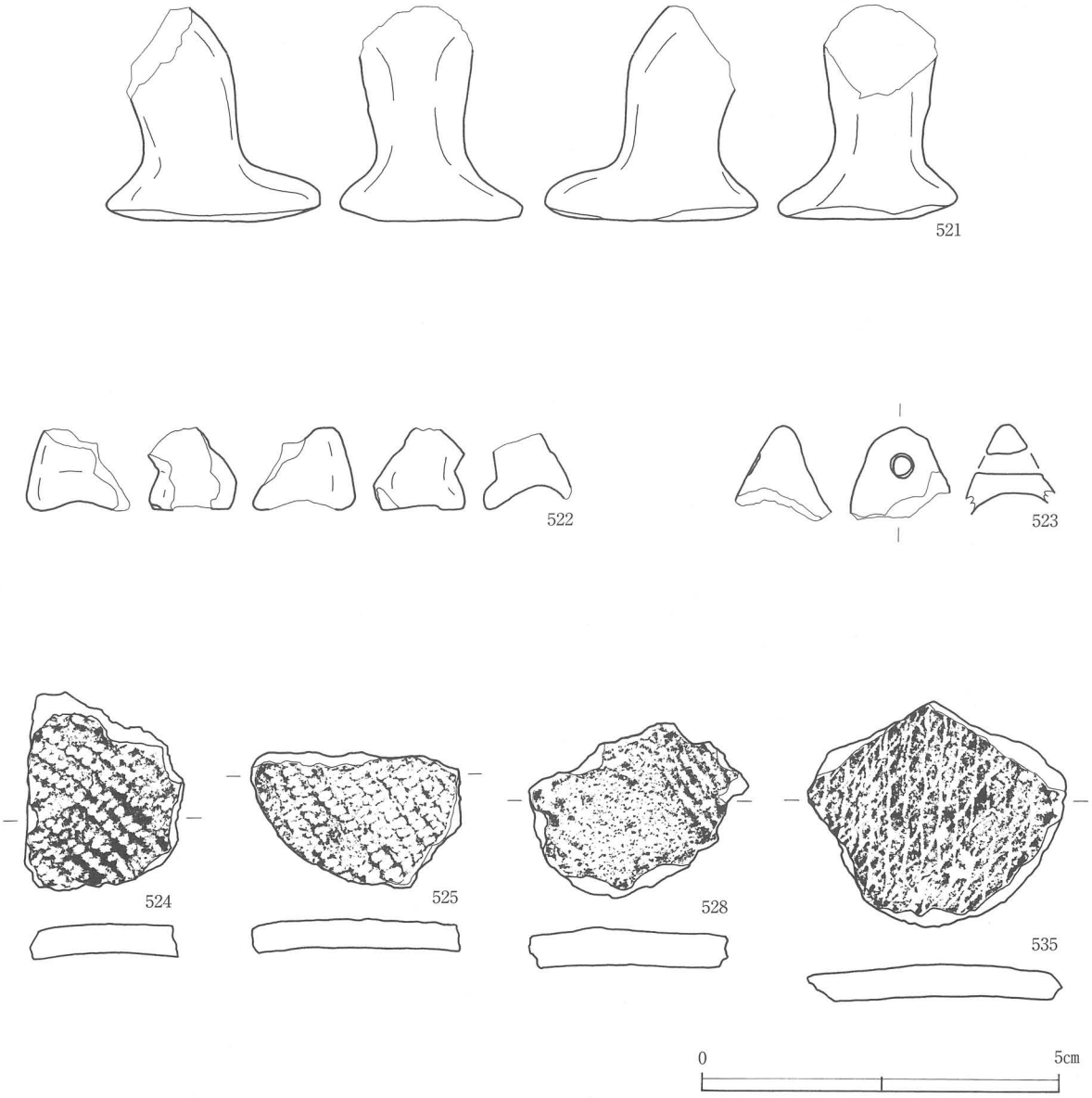

第41図　遺構外出土遺物（土器⑨）



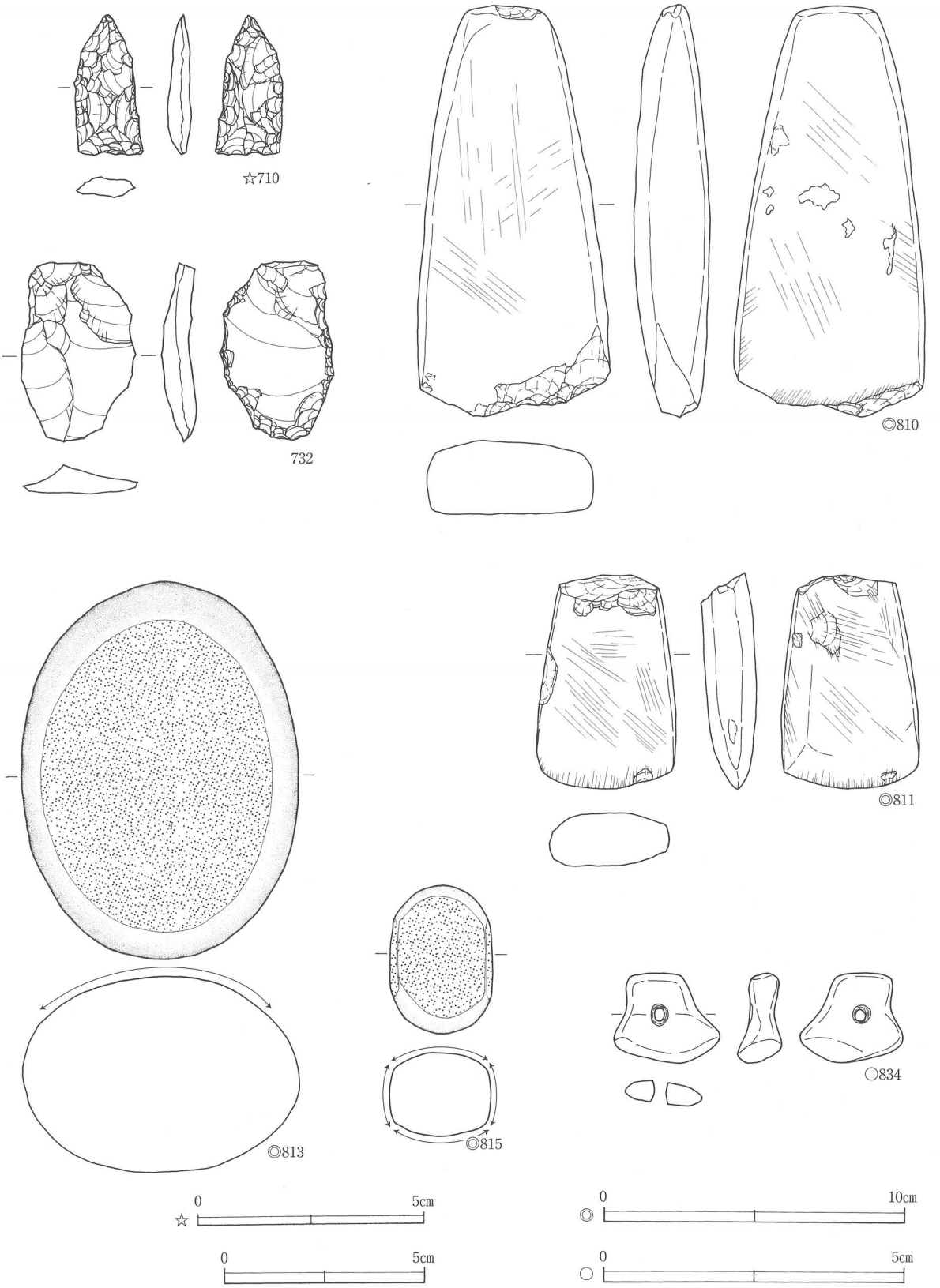

第 42 図　遺構外出土遺物（土器⑩）




第43図　遺構外出土遺物（土器⑪）




第44図　遺構外出土遺物（土製品）




第 45 図　遺構外出土遺物（石器）

## 第９表　土器観察表（１）

| 掲載番号 | 出土地点・層位 | 器種 | 部位 | 文様の特徴等 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 13住状・覆下～床 | 深？ | 口 | 縄文：ＲＬタテ　手法：磨消 |
| 2 | 13住状・西べ２層 | 深 | 胴 | 縄文：ＬＲヨコ |
| 3 | 13住状・１層上 | 深？ | 口頸 | 縄文：Ｌヨコ+Ｌタテ（閉じた端） |
| 4 | 13住状・１層上 | 深 | 頸胴 | 縄文：ＬＲタテ　線描：沈線（曲線） |
| 5 | 13住状・１層上 | 深？ | 胴 | 縄文のみ |
| 6 | 13住状・南べ１層 | 深 | 口 | 縄文：Ｌタテ？　口端：無文 |
| 7 | 13住状・南べ１層 | 深 | 胴 | 単軸絡条体第５類 |
| 8 | 13住状・北べ１層 | 深？ | 胴 | 沈線主体（曲線） |
| 9 | １土・３層 | 深？ | 口頸 | 縄文：ＬＲヨコ　頸部：縄文圧痕（ＬＲ） |
| 10 | １土・３層 | 深？ | 胴 | 磨消手法 |
| 11 | １土・３層 | 深？ | 胴 | 縄文：ＬＲヨコ　描線：沈線 |
| 12 | １土・３層上（Ｐ１・２） | 深 | 口胴 | 無文 |
| 13Ａ | １土・３層上 | 深？ | 口 | 沈線主体（曲線） |
| 13Ｂ | １土・３層上 | 深？ | 胴 | 沈線主体（曲線） |
| 14 | １土・３層上 | 深？ | 口 | 沈線主体（平行） |
| 15 | １土・３層上 | 深 | 胴 | 地文：ＬＲタテ |
| 16Ａ | １土・１層 | 深 | 口頸 | 縄文：ＬＲヨコ　頸部：縄文圧痕（ＬＲ） |
| 16Ｂ | １土・１層・３層・覆 | 深 | 口頸 | 縄文：ＬＲヨコ　頸部：縄文圧痕（ＬＲ） |
| 17 | ３土・覆土中～下<br>（Ｐ１～６）・南覆・べ | 鉢 | 口胴 | 縄文：ＬＲヨコ・ナナメ<br>頸部：縄文圧痕（ＬＲ） |
| 18 | ３土・覆中 | 深？ | 胴 | 縄文のみ |
| 19 | ３土・ベルト | 深？ | 底 | 網代痕 |
| 20 | 11土・底面直上 | 深 | 胴 | 単軸絡条体第１類 |
| 21 | 11土・８層中位 | 深？ | 底 | 木葉痕 |
| 22 | 11土・８層中位～上位 | 深 | 胴 | 単軸絡条体第１類 |
| 23 | 11土・８層上位 | 深？ | 底 | 撚糸文（１種） |
| 24 | 11土・７層下位 | 深 | 胴底 | 縄文：ＬＲタテ→ヨコ　底部直上：無文 |
| 25 | 11土・南側３層 | ？ | 胴 | 沈線主体（山形） |
| 26 | 11土・覆土 | 深 | 胴 | 貝殻腹縁圧痕文 |
| 27 | 12土・３層 | 深？ | 口 | 沈線主体（曲線） |
| 28 | 12土・３層 | 深？ | 口 | 無文 |
| 29 | 12土・３層上位 | 深？ | 胴 | 磨消手法 |
| 30 | 17土・５層上位 | 深？ | 胴 | 縄文のみ |
| 31 | 17土・５層上位 | 深？ | 胴 | 縄文のみ |
| 32 | 17土・覆土下位 | 深？ | 胴 | 縄文：ＬＲタテ？ |
| 33 | 17土・１層 | 深 | 口胴 | 羽状（ＬＲタテ+ＬＲヨコ） |
| 34 | 18土・北２層下<br>～４層上位・覆 | 深 | 底 | 縄文：ＬＲタテ？　外底面：網代痕 |
| 35 | 18土・北２層下<br>～４層上・覆中・覆 | 深？ | 口胴 | 口縁：折り返し、縄文（ＬＲヨコ）<br>頸部：無文　縄文：ＬＲヨコ（閉じた端） |
| 36Ａ | 18土・北２層下<br>～４層上 | 深 | 口胴 | 縄文：Ｌヨコ、Ｌタテ　線描：沈線　手法：磨消 |
| 36Ｂ | 18土・２層上 | 深 | 頸胴 | 縄文：Ｌヨコ、Ｌタテ　線描：沈線　手法：磨消 |
| 37 | 18土・北２層下～４層上・<br>覆土、東１・Ⅰ層、<br>３Ｃ-19・Ⅱａ層 | 鉢 | 口底 | 縄文：ＬナナメＬ？　口端：縄文（ＬＲヨコ）、<br>折り返し　底部直上：無文　外底面：網代痕 |
| 38 | 18土・南２層上 | 深 | 底 | 縄文：ＬＲタテ　底部直上：無文<br>外底面：網代痕　内面：スス付着 |
| 39 | 18土・２層上 | 深？ | 口 | 縄文+縄文圧痕 |
| 40 | 18土・覆土中 | 深？ | 胴 | 沈線主体+ボタン状？貼付 |
| 41 | 18土・覆土中 | 鉢？ | 底 | 無文 |
| 42 | 18土・覆土上 | 深？ | 口 | 沈線主体（平行） |
| 43 | 18土・覆土・覆土上 | 深？ | 口 | 縄文：ＲＬヨコ　頸部：縄文圧痕（ＲＬ）２条、無文 |
| 44 | 18土・覆土 | 深？ | 口 | 口縁端部に縄文+肥厚 |
| 45 | 18土・覆土 | 深？ | 口頸 | 縄文のみ、折返口縁+縄文 |
| 46 | 18土・覆土 | 深？ | 胴 | 線描：沈線 |
| 47 | 19土・北２層 | 深？ | 胴 | 単軸絡条体第５類 |
| 48 | 22土・覆土 | 深 | 口頸 | 縄文：ＬＲヨコ |
| 49 | 22土・覆土 | 深？ | 口 | 縄文のみ |
| 50 | 22土・覆土 | 深？ | 口 | 縄文+縄文圧痕 |
| 51 | 22土・覆土 | 深 | 底 | |
| 52 | 22土・覆土 | 深？ | 胴 | 沈線主体（多様） |
| 53 | 23土・覆土上 | 深？ | 底 | 外底面：網代痕？ |
| 54 | 23土・覆土 | 深 | 口 | 貝殻押し引き文　口唇：貝殻圧痕？ |
| 55 | 23土・覆土 | 深？ | 口 | 縄文→沈線（平行） |
| 56 | 23土・覆土 | 深？ | 底？ | |
| 57 | 26土・底面 | 深？ | 底 | 無文 |
| 58 | 26土・覆土 | 深？ | 口 | 縄文→沈線（平行） |
| 59 | 26土・覆土 | 深 | 口 | 縄文：ＬＲヨコ　頸部：縄文圧痕（ＬＲ） |
| 60 | 26土・覆土 | 深？ | 胴 | 縄文→沈線（平行） |
| 61 | 26土・覆土 | 深 | 胴 | 縄文：ＬＲタテ |
| 62 | 29土・覆土中 | 深？ | 胴 | 縄文のみ |
| 63 | 29土・覆土中・覆土 | 深 | 口胴 | 縄文：ＲＬヨコ？　頸部：縄文圧痕（ＲＬ） |
| 64 | 31土・２層 | 深 | 口 | 縄文：ＲＬヨコ　線描：沈線　手法：磨消 |
| 65 | 31土・１層 | 深 | 口胴 | 縄文：ＲＬヨコ　線描：沈線　手法：磨消 |
| 66 | 31土・覆土 | 深 | 口 | 縄文：ＲＬヨコ　線描：沈線　手法：磨消 |
| 67 | 31土・覆土 | 深？ | 胴 | 単軸絡条体第５類 |
| 68 | 35土・２層 | 深？ | 胴 | 縄文のみ（細） |
| 69 | 35土・１層 | 深 | 口胴 | 線描：沈線 |
| 70 | 35土・１層 | 深？ | 胴 | 網目状撚糸文 |
| 71 | 36土・覆土、39土・覆土 | 深？ | 口頸 | 縄文：ＬＲヨコ　頸部：縄文圧痕（ＬＲ）<br>口端：無文 |
| 72 | 36土・覆土 | 鉢？ | 口胴 | 縄文：ＬＲナナメ・ヨコ<br>頸部：縄文圧痕（ＬＲ） |
| 73 | 36土・覆土 | 鉢 | 口底 | 縄文：ＬＲヨコ・ナナメ　外底面：無文 |
| 74 | 36土・覆土 | 深？ | 胴 | 縄文のみ |
| 75 | 38土・底面直上 | 深 | 胴 | 沈線主体（曲線） |
| 76Ａ | 38土・底面直上 | 深 | 胴 | 圧痕？ |
| 76Ｂ | 38土・１～２層 | 深 | 胴 | 圧痕？ |
| 77 | 38土・底面直上 | 深 | 底 | 底部直上：無文　外底面：網代痕？ |
| 78Ａ | 38土・底面直上 | 深 | 胴 | 無文 |
| 78Ｂ | 38土・底面直上 | 深 | 胴 | 無文 |
| 79 | 38土・３層 | 深？ | 胴 | 磨消手法 |
| 80Ａ | 38土・２層下～４層上<br>（Ｐ１・２・３・６）、<br>３Ｄ－４・Ⅱｂ・Ⅱａ～Ⅲ | | 口胴 | 縄文：ＬＲタテ　頸部：沈線（一条） |
| 80Ｂ | 38土・４層（Ｐ４）・<br>１～２層 | 深 | 胴 | 縄文のみ |
| 80Ｃ | 38土・４層（Ｐ５） | 深 | 胴 | 縄文のみ |
| 81 | 38土・１～２層 | 深？ | 口 | 沈線+ボタン状？貼り付け |
| 82 | 38土・１～２層 | 深？ | 口頸 | 縄文：ＬＲタテ　頸部：沈線 |
| 83 | 38土・南覆土・底面直上 | | 底 | 縄文：ＬＲタテ　底部直上：無文 |
| 84 | 39土・底面上～３層<br>（Ｐ1・2・7~9）・覆土 | 深 | 口底 | 縄文：ＲＬヨコ　線描：沈線<br>手法：磨消　装飾：刺突 |
| 85 | 39土・３層上（Ｐ３） | 深 | 底 | 外底面：網代痕 |
| 86 | 39土・３層 | 壷？ | 口頸 | 無文 |
| 87 | 39土・２層 | 深？ | 口頸 | 縄文→沈線（平行） |
| 88 | 39土・覆土下 | 深？ | 底 | 無文、外底面：網代痕？ |
| 89 | 39土・不明 | 深？ | 口胴 | 羽状（ＬＲヨコ+ＬＲタテ）<br>頸部：縄文圧痕（ＬＲ） |
| 90 | 39土・不明 | 深？ | 頸 | 縄文：ＲＬ　線描：沈線　手法：充填 |
| 91 | 40土・覆土 | 深 | 胴 | 縄文：Ｌタテ　線描：沈線 |
| 92 | 40土・覆土 | 深？ | 胴 | 木目状撚糸文 |
| 93 | 40土・不明 | 深 | 胴 | 無文 |
| 94 | 41土・覆土下 | 深 | 口 | 縄文：ＲＬＲ？　線描：沈線　手法：充填？ |
| 95 | 41土・覆土下 | 深？ | 口 | 縄文：ＬＲヨコ　線描：沈線 |
| 96 | 41土・覆土下 | 深？ | 口 | 頸部・口端：縄文圧痕（ＲＬ）　頸部：無文 |
| 97 | 41土・覆土下 | 深？ | 胴 | 撚糸文 |
| 98 | 41土・覆土上 | 鉢？ | 胴 | 縄文：ＲＬヨコ　線描：沈線　手法：磨消 |
| 99 | 41土・覆土 | 深？ | 口 | 縄文→ナデ |
| 100 | 41土・覆土 | 深？ | 胴 | 磨消手法 |
| 101 | 41土・覆土 | 深？ | 胴 | 木目状撚糸文 |
| 102 | 43土・覆土 | 深？ | 口 | 口縁端部肥厚+縄文 |
| 103 | 43土・覆土 | 深？ | 口 | 縄文（口縁端部） |
| 104 | 43土・覆土 | 深？ | 胴 | 縄文：ＲＬヨコ・タテ　線描：沈線　手法：磨消 |
| 105 | 44土・１層 | 深 | 胴 | 縄文：Ｌタテ |
| 106 | 44土・覆土 | 深？ | 口胴 | 縄文：ＲＬ？　線描：沈線　手法：磨消 |
| 107 | 45土・覆土 | 深？ | 底 | 外底面：木葉痕？→再調整？ |
| 108 | 46土・覆土 | 深？ | 口胴 | 縄文：ＬＲタテ・ナナメ　口端：無文 |
| 109 | 46土・覆土 | 深？ | 口頸 | 縄文のみ、磨滅著しい |
| 110 | 50土・３層・覆土上 | 深 | 胴底 | 縄文：ＲヨコＲ？　外底面：木葉痕 |
| 111 | 50土・覆土上 | 深 | 口胴 | 縄文：ＬＲタテ？　線描：沈線<br>手法：磨消　帯状貼り付け |
| 112 | 50土・覆土上 | 深 | 胴底 | 縄文：ＬＲタテ？　外底面：木葉痕？ |
| 113 | 52土・覆土 | 深？ | 胴 | 縄文：ＬＲタテ　線描：沈線　手法：磨消 |
| 114 | 52土・覆土 | 深？ | 胴 | 撚糸文 |
| 115 | 53土・３層・覆土 | 深 | 口底 | 縄文：ＬＲヨコ・タテ　底部直上：無文 |
| 116 | 53土・２層 | 深？ | 口 | 口唇部縄文圧痕 |
| 117 | 53土・２層 | 深？ | 胴 | 羽状縄文（異方向） |
| 118 | 53土・１層 | 深 | 口頸 | 縄文：ＬＲヨコ<br>頸部・口端：縄文圧痕（ＬＲ）　口縁：無文 |
| 119 | 53土・覆土下 | 深 | 底 | 外底面：網代痕？２種 |
| 120 | 53土・覆土 | 深？ | 口 | 沈線　口縁端部縄文圧痕 |
| 121 | 53土・覆土 | 深 | 口胴 | 縄文：ＬＲヨコ　線描：沈線　手法：磨消 |
| 122 | 53土・覆土 | 深？ | 口頸 | 縄文→沈線（平行） |
| 123 | 53土・覆土 | 鉢？ | 底 | 外底面：木葉痕 |
| 124 | 53土・覆土 | 壷？ | 胴 | 縄文のみ |
| 125 | 53土・覆土 | 壷 | 口底 | 縄文のみ<br>外底面：無文 |
| 126 | 53土・覆土 | 鉢？ | 口胴 | 無文 |
| 127 | 54土・覆土 | 深？ | 口 | 無文 |
| 128 | 54土・覆土 | 深？ | 胴 | 縄文のみ |
| 129 | 54土・覆土 | 鉢？ | 胴 | 縄文：ＬＲヨコ・ナナメ？<br>線描：沈線　手法：磨消 |
| 130 | 56土・底面 | 深？ | 胴 | 縄文：ＲＬヨコ　線描：沈線　手法：磨消 |
| 131 | 56土・底面 | 深？ | 胴 | 縄文のみ |
| 132 | 56土・底面 | 壷 | 口胴 | 縄文：ＬＲ？ |
| 133 | 56土・１層上・<br>底面・覆土 | 深 | 口底 | 縄文：ＲＬ　頸部：縄文圧痕（ＲＬ）<br>底部直上：無文 |
| 134 | 56土・１層上 | 深 | 口 | 縄文：ＬＲヨコ　口縁：無文<br>口端：帯状貼り付け+縄文（ＬＲ） |
| 135 | 56土・覆土 | 深？ | 口 | 口縁端部肥厚+縄文 |
| 136 | 56土・覆土 | 深？ | 底 | 網代痕 |
| 137 | 56土・覆土 | 深？ | 胴 | 縄文→沈線（平行） |
| 138 | 56土・覆土 | 深？ | 胴 | 沈線主体 |
| 139 | 56土・覆土 | 鉢？ | 底 | 無文 |
| 140 | 58土・１層 | 深？ | 口頸 | 縄文+縄文圧痕（頸部） |
| 141 | 58土・１層 | 深 | 頸胴 | 縄文：ＬＲ？　頸部：沈線　口端：無文 |
| 142 | 58土・覆土 | 深？ | 底 | 羽状（ＬＲタテ+ＬＲヨコ）<br>底部直上：沈線　外底面：無文 |
| 143 | 59土・覆土 | 深？ | 胴 | 木目状撚糸文 |
| 144 | 60土・南覆土中 | 深 | 胴 | 縄文：ＬＲタテ |
| 145 | 60土・覆土 | 深？ | 口 | 縄文→沈線（両） |
| 146 | 62土・覆土 | 深 | 口胴 | 縄文：Ｒタテ　口端：無文 |
| 147 | 62土・覆土 | 台 | 口底 | 縄文：ＬＲタテ　口端：無文<br>底部側面：穿孔（２個２対） |
| 148 | 63土・覆土中 | 深？ | 胴 | 縄文のみ |
| 149 | 63土・覆土 | 深？ | 頸 | 沈線主体 |
| 150 | 63土・覆土 | 深？ | 口頸 | 口端：縄文圧痕（ＲＬ）＋縄文（ＲＬヨコ） |
| 151 | 63土・覆土 | 鉢？ | 胴 | 縄文：Ｌヨコ　線描：沈線　手法：磨消 |
| 152 | 65土・１層・覆土 | 深 | 口胴 | 縄文：ＬＲヨコ、ＬＲタテ・ナナメ |
| 153 | 65土・覆土 | 深 | 頸 | 単軸絡条体第５類　頸部：沈線 |
| 154 | 65土・覆土、<br>３Ｃ－19・Ⅱａ～Ⅲ | 深？ | 胴 | 縄文：ＬＲタテ　線描：沈線 |
| 155 | 65土・覆土 | 深？ | 胴 | 縄文のみ |
| 156 | 66土・４層 | 深 | 口頸 | 縄文：ＬＲヨコ　口縁：貼付？ |
| 157 | 66土・１層 | 深？ | 胴 | 沈線主体 |
| 158 | 67土・２層 | 深？ | 頸 | 縄文+縄文圧痕 |
| 159 | 67土・１層 | 深？ | 頸 | 縄文+縄文圧痕 |
| 160 | 67土・覆土 | 深 | 口胴 | 縄文：ＬＲヨコ　頸部：無文 |
| 161 | 68土・覆土 | 深 | 口 | 沈線主体（網目状）　口唇：圧痕 |
| 162 | 68土・覆土 | 深 | 口 | 線描：沈線（曲線） |
| 163 | 68土・覆土 | 深 | 口頸 | 縄文：ＬＲヨコ　頸部：縄文圧痕（ＬＲ） |
| 164 | ４焼・焼成面 | 深？ | 口頸 | 沈線主体（平行） |
| 165 | ８炉・焼成面 | 深 | 口胴 | 縄文：ＬＲ？　口縁：沈線（半截竹管） |
| 166 | 10炉・Ｐ１・２・５ | 深？ | 口胴 | 縄文：ＬＲタテ　線描：沈線 |
| 167 | 10炉・焼成面 | 深？ | 胴 | 縄文：ＬＲタテ？　線描：沈線 |
| 168 | 10炉・焼成面 | 深？ | 胴 | 縄文のみ |
| 169 | 25焼・Ｐ１ | 深？ | 頸胴 | 縄文：Ｌ？タテ　線描：沈線（曲線） |

【略号】
＜出土地点・層位＞　住状：住居状遺構、土：土坑、焼：焼土遺構、炉：炉跡
床：床面、覆：覆土、べ：ベルト、下：下位、中：中位、上：上位、
西：西側、南：南側、北：北側
＜器種＞　深：深鉢、台：台付鉢　　＜部位＞　口：口縁部、胴：胴部、頸：頸部、底：底部

## 第10表　土器観察表（２）

| 掲載番号 | 出土地点・層位 | 器種 | 部位 | 文様の特徴等 |
|---|---|---|---|---|
| 201 | ３Ｃ－18・Ⅳ | 深 | 胴 | 無文 |
| 202 | ３Ｃ－18・Ⅳ | 深 | 胴 | 無文 |
| 203 | ４Ｄ－１・Ⅲ | 深 | 胴 | 貝殻腹縁圧痕文（鋸歯状沈線） |
| 204 | ３Ｄ－５・Ⅲ | 深 | 胴 | 貝殻腹縁圧痕文（鋸歯状沈線） |
| 205 | ３Ｄ－５・Ⅲ | 深 | 胴 | 貝殻腹縁圧痕文（鋸歯状沈線） |
| 206 | ３Ｃ－18・Ⅲ、不明 | 深 | 口胴 | 貝殻腹縁圧痕文　線描：沈線（平行） |
| 207 | ４Ｃ－22・Ⅲ | 深 | 底 | 無文 |
| 208 | ＭＴ012・Ⅲ | 鉢？ | 口 | 縄文：Ｒ？　線描：沈線 |
| 209 | 東５・Ⅲ、東５・Ⅰ、<br>４Ｄ－６・11・Ⅱａ、<br>３Ｄ－８・Ⅱａ | 深 | 胴 | 縄文：ＬＲナナメ　線描：沈線 |
| 210 | ４Ｃ－22・Ⅲ、<br>４Ｃ－23・Ⅰ、<br>４Ｃ－22・Ⅱａ | 深 | 胴底 | 単軸絡条体第５類　底部直上：無文 |
| 211 | ３Ｄ－11・Ⅲ、東１・Ⅱａ | 深 | 口胴 | 縄文：ＬＲヨコ　口縁：縄文圧痕（ＬＲ、２条）<br>頸部：無文 |
| 212 | ３Ｃ－15・Ⅲ、58土・１層、<br>53土・覆土、３Ｃ－14・Ⅰ | 深 | 口底 | 縄文：ＬＲタテ＋ＬＲヨコ　口端：無文 |
| 213 | ３Ｄ－５・Ⅲ | 深 | 口胴 | 縄文：ＲＬヨコ？　口端：無文 |
| 214 | ３Ｃ－15・Ⅲ | 深 | 胴 | 縄文：ＬＲタテ |
| 215 | ４Ｄ－６・Ⅲ、<br>４Ｄ－11・Ⅱａ～Ⅲ | 鉢 | 口底 | 無文 |
| 216 | ４Ｄ－８・Ⅱｂ～Ⅲ | 深 | 口 | 貝殻腹縁圧痕文 |
| 217 | ４Ｄ－３・Ⅱａ～Ⅲ<br>東５・Ⅱａ | 深 | 胴 | 貝殻背縁圧痕文　線描：沈線 |
| 218 | ４Ｄ－２・Ⅱａ～Ⅲ | 深 | 胴 | 貝殻腹縁圧痕文（鋸歯状沈線） |
| 219 | ４Ｃ－19・Ⅱａ～Ⅲ | 深 | 胴 | 貝殻腹縁圧痕文（鋸歯状沈線）　装飾：刺突 |
| 220 | ４Ｄ－２・Ⅱａ～Ⅲ | 深 | 口 | 貝殻腹縁圧痕文（鋸歯状沈線）　装飾：刺突（竹管）<br>口唇部：貝殻圧痕 |
| 221 | ４Ｃ－21・Ⅱａ～Ⅲ | 深 | 胴 | 貝殻腹縁圧痕文（鋸歯状沈線）　装飾：刺突 |
| 222 | ４Ｃ－21・Ⅱａ～Ⅲ | 深 | 底 | 無文 |
| 223 | ４Ｃ－14・Ⅱａ～Ⅲ | 深 | 口 | 貝殻腹縁連続押し引き文　沈線<br>口端：貝殻押し引き文（斜位）　口唇：撚糸原体圧痕 |
| 224 | ４Ｃ－14・Ⅱａ～Ⅲ | 深 | 胴 | 貝殻腹縁圧痕文　線描：沈線 |
| 225 | ４Ｃ－21・Ⅱａ～Ⅲ、<br>３Ｄ－５・Ⅱａ、<br>３Ｃ－25・Ⅱａ～Ⅲ | 深 | 口 | 線描：沈線（タテ・ナナメ）　口唇：撚糸原体圧痕 |
| 226 | ４Ｄ－１・Ⅱａ～Ⅲ | 深 | 口 | 貝殻腹縁圧痕文　線描：沈線（平行・山形） |
| 227 | ３Ｃ－25・Ⅱａ～Ⅲ | 深 | 胴 | 貝殻腹縁圧痕文（矢羽根状） |
| 228 | ４Ｃ－21・Ⅱａ～Ⅲ | 深 | 胴 | 貝殻腹縁圧痕文 |
| 229 | ４Ｄ－14・Ⅱａ～Ⅲ | 深 | 胴 | 無文 |
| 230 | ４Ｃ－21・Ⅱａ～Ⅲ | 深 | 胴 | 無文 |
| 231 | ４Ｃ－13・Ⅱａ～Ⅲ | 深 | 胴 | 不整撚糸文　繊維含む |
| 232 | ４Ｃ－22・Ⅱａ～Ⅲ | 深 | 胴 | 不整撚糸文　繊維含む |
| 233 | ４Ｃ－21・Ⅱａ～Ⅲ | 深 | 胴 | 不整撚糸文、繊維含む |
| 234 | ４Ｃ－16・Ⅱａ～Ⅲ、<br>４Ｃ－22・Ⅱａ | 深 | 胴 | 縄文：ＲＬヨコ　繊維含む |
| 235 | ４Ｃ－21・Ⅱａ～Ⅲ | 深 | 胴 | 縄文、繊維含む |
| 236 | ４Ｃ－21・Ⅱａ～Ⅲ | 深 | 口 | 口唇部押圧、繊維含む |
| 237 | ４Ｄ－11・Ⅱａ～Ⅲ | 深 | 口頸 | 縄文：ＬＲ　線描：沈線　手法：充填　装飾：刺突 |
| 238 | ４Ｄ－６・Ⅱａ～Ⅲ | 深 | 口頸 | 線描：沈線　装飾：刺突（円形・竹管）<br>口唇：隆帯＋刺突（竹管） |
| 239Ａ | ４Ｃ－17・Ⅱａ～Ⅲ | 深 | 胴 | 縄文：ＲＬヨコ　線描：沈線（曲線） |
| 239Ｂ | ４Ｃ－17・Ⅱａ～Ⅲ | 深 | 胴 | 縄文：ＲＬヨコ　線描：沈線（曲線） |
| 239Ｃ | ４Ｃ－17・Ⅱａ～Ⅲ | 深 | 胴 | 縄文：ＲＬヨコ　線描：沈線（曲線） |
| 240 | 調査区東側・Ⅱａ～Ⅲ | 深 | 口胴 | 縄文：ＬＲタテ　線描：沈線（太）　口縁部文様帯 |
| 241 | ３Ｄ－２・Ⅱａ～Ⅲ | 深 | 胴 | 縄文：ＬＲタテ？　線描：沈線<br>装飾：隆帯＋刺突、円形貼付＋刺突 |
| 242 | ３Ｄ－４・Ⅱａ～Ⅲ | 深 | 胴 | 縄文：ＬＲタテ　線描：沈線（太・浅） |
| 243 | ４Ｄ－19・Ⅱａ～Ⅲ | 深？ | 頸 | 線描：沈線　装飾：刺突　把手状突起 |
| 244 | ３Ｄ－３・Ⅱａ～Ⅲ、<br>東２・Ⅰ～Ⅱａ、<br>３Ｃ－23・Ⅱａ | 深 | 口胴 | 縄文：ＲＬヨコ　線描：沈線　手法：磨消<br>口縁：波状、４単位　口唇：刻み（３単位） |
| 245 | ３Ｃ－19・Ⅱａ～Ⅲ | 深 | 略完 | 縄文：ＬＲ　線描：沈線　手法：充填<br>装飾：刺突（竹管）　口縁：波状、４単位 |
| 246 | ３Ｃ－14・Ⅱａ～Ⅲ | 深 | 口頸 | 縄文：ＲＬヨコ　線描：沈線<br>手法：磨消　口端：Ｌヨコ？ |
| 247 | ４Ｄ－２・Ⅱａ～Ⅲ | 深？ | 胴 | 磨消手法 |
| 248 | ３Ｃ－25・Ⅱａ～Ⅲ | 深？ | 口胴 | 磨消手法、刺突（円形） |
| 249 | ＭＴ003・Ⅱａ～Ⅲ | 深 | 口胴 | 単軸絡条体第１類 |
| 250 | 東４・Ⅱａ～Ⅲ | 深 | 口胴 | 縄文：ＬＲヨコ？ |
| 251 | ４Ｄ－２・Ⅱａ～Ⅲ | 深？ | 口胴 | 縄文のみ、頸部無文 |
| 252 | ３Ｃ－15・Ⅱａ～Ⅲ | 深？ | 口胴 | 縄文のみ、頸部無文 |
| 253 | ４Ｃ－21・Ⅱａ～Ⅲ | 深？ | 胴 | 縄文 |
| 254 | ３Ｃ－15・Ⅱａ～Ⅲ | 鉢 | 口底 | 無文 |
| 255Ａ | ４Ｄ－２・Ⅱａ～Ⅲ | 深 | 口 | 無文 |
| 255Ｂ | ４Ｄ－２・Ⅱａ～Ⅲ | 深 | 胴 | 無文 |
| 256 | ３Ｃ－19・Ⅱａ～Ⅲ | 深？ | 口 | 無文 |
| 257 | 東５・Ⅱａ～Ⅲ | 深？ | 胴底 | 無文 |
| 258Ａ | ４Ｄ－８・Ⅱｂ | 深 | 胴 | 貝殻腹縁圧痕文（鋸歯状沈線） |
| 258Ｂ | ４Ｄ－８・Ⅱｂ | 深 | 口 | 貝殻腹縁圧痕文（鋸歯状沈線） |
| 258Ｃ | ４Ｄ－８・Ⅱｂ、<br>東５・Ⅱａ | 深 | 胴 | 貝殻腹縁圧痕文（鋸歯状沈線）　線描：沈線（Ｓ字状） |
| 258Ｄ | ４Ｄ－８・Ⅱｂ | 深 | 胴 | 貝殻腹縁圧痕文（鋸歯状沈線） |
| 259 | ４Ｄ－７・Ⅱｂ | 深 | 口 | 貝殻背縁圧痕文　線描：沈線　口縁部裏面：貝殻背縁圧痕 |
| 260 | ４Ｄ－８・Ⅱｂ | 深 | 胴 | 貝殻腹縁圧痕文（鋸歯状沈線）　装飾：突起 |
| 261 | ４Ｄ－８・Ⅱｂ | 深 | 胴 | 貝殻腹縁圧痕文、沈線 |
| 262 | ４Ｄ－８・Ⅱｂ | 深 | 胴 | 貝殻腹縁圧痕文 |
| 263 | ４Ｄ－８・Ⅱｂ | 深 | 胴 | 貝殻腹縁圧痕文 |
| 264Ａ | ４Ｄ－８・Ⅱｂ | 深 | 口 | 貝殻腹縁圧痕文　線描：沈線（平行・山形） |
| 264Ｂ | ４Ｄ－８・Ⅱｂ | 深 | 口 | 貝殻腹縁圧痕文　線描：沈線（平行・山形） |
| 265Ａ | ４Ｄ－９・Ⅱｂ | 深 | 口頸 | 単軸絡条体側面圧痕（羽状）<br>頸部：単軸絡条体側面圧痕？　口唇：単軸絡条体側面圧痕 |
| 265Ｂ | ４Ｄ－９・Ⅱｂ | 深 | 口頸 | 単軸絡条体側面圧痕（羽状）　口唇：単軸絡条体側面圧痕 |
| 266 | ３Ｃ－25・Ⅱｂ | 深 | 胴 | 貝殻腹縁圧痕文 |
| 267 | ４Ｄ－８・Ⅱｂ | 深 | 胴 | 貝殻条痕文 |
| 268 | ４Ｄ－９・Ⅱｂ | 深 | 胴 | 貝殻条痕文 |
| 269 | ４Ｄ－８・Ⅱｂ | 深 | 胴 | 貝殻条痕文 |
| 270 | ４Ｄ－１・Ⅱｂ | 深 | 胴 | 無文 |
| 271 | ４Ｄ－９・Ⅱｂ | 深 | 胴 | 単軸絡条体第５類 |
| 272 | 西・Ⅱｂ | 深 | 胴 | 単軸絡条体第５類　線描：沈線 |
| 273 | ３Ｃ－17・Ⅱｂ、<br>西１・Ⅰ | 深 | 口胴 | 縄文：ＬＲタテ　線描：沈線　装飾：隆帯＋刺突（竹管）<br>口端：縄文（ＬＲヨコ）　口縁：波状、６単位 |
| 274 | ３Ｃ－15・Ⅱｂ、<br>66土・覆土 | 深 | 口胴 | 縄文：ＬＲタテ？　線描：沈線<br>装飾：円形貼付＋刺突（竹管）　頸部：沈線 |
| 275 | ４Ｄ－１・Ⅱｂ | 深 | 口胴 | 縄文：Ｌ　線描：沈線（細）　口頸：隆帯＋刺突（竹管）<br>口唇：刻み |
| 276 | 西５・Ⅱｂ | 深 | 口 | 縄文：Ｌタテ　線描：沈線　手法：磨消<br>口端：隆帯＋縄文（Ｌ） |
| 277 | ３Ｃ－21・Ⅱｂ | 深 | 口 | 縄文：ＬＲ　装飾：円形貼付＋刺突　口縁：粘土貼付＋沈線 |
| 278 | ３Ｄ－５・Ⅱｂ | 深 | 口胴 | 縄文：ＲＬヨコ　線描：沈線　手法：磨消　口縁：折り返し |
| 279 | ３Ｃ－15・Ⅱｂ | 深 | 胴 | 縄文：ＲＬヨコ　線描：沈線（太）　手法：磨消 |
| 280 | ３Ｃ－21・Ⅱｂ | 深？ | 口 | 磨消手法 |
| 281 | 西・Ⅱｂ | 深？ | 口頸 | 磨消手法 |
| 282 | ３Ｃ－13・Ⅱｂ | 深 | 口 | 線描：沈線（山形）　口縁：波状、突起、押圧 |
| 283 | ３Ｃ－21・Ⅱｂ | 深？ | 胴 | 縄文：ＬＲタテ　線描：沈線（細） |
| 284 | ３Ｃ－17・Ⅱｂ | 深 | 胴 | 縄文：ＬＲタテ　線描：沈線（曲線） |
| 285 | ３Ｃ－21・Ⅱｂ | 深？ | 口 | 沈線主体、押し引き、折り返し口縁 |
| 286 | ３Ｄ－５・Ⅱｂ | 深 | 口胴 | 羽状（ＬＲタテ＋ＬＲヨコ）　頸部：縄文圧痕（ＬＲ）<br>口縁：無文　口端：縄文圧痕（ＬＲ） |
| 287 | ３Ｄ－５・Ⅱｂ | 深？ | 口胴 | 縄文＋縄文圧痕（頸部）、口縁無文 |
| 288 | ３Ｃ－19・Ⅱｂ | 壺？ | 口胴 | 縄文のみ |
| 289 | ３Ｃ－13・Ⅱｂ | 鉢 | 略完 | 無文 |
| 290 | 東６・Ⅱｂ | 深 | 底 | 外底面：木葉痕 |
| 291 | ３Ｃ－21・Ⅱｂ、<br>１土・覆土最上、<br>43土・覆土 | 深 | 底 | 外底面：綱代痕 |
| 292 | ３Ｃ－13・Ⅱａ～Ⅱｂ | 深？ | 胴 | 連続刺突（円形） |
| 293 | 東５・Ⅱａ<br>東４－５・Ⅰ～Ⅱａ | 深 | 口 | 貝殻腹縁圧痕文（鋸歯状沈線）　線描：沈線（Ｓ字状） |
| 294 | 西・Ⅱａ | 深 | 胴 | 貝殻腹縁圧痕文（鋸歯状沈線）　装飾：刺突　裏面：沈線 |
| 295 | 東５・Ⅱａ | 深 | 胴 | 貝殻腹縁圧痕文→沈線 |
| 296 | ３Ｄ－15・Ⅱａ | 深 | 口 | 線描：沈線　口端：貝殻腹縁連続押し引き文 |
| 297 | 東・Ⅱａ | 深 | 胴 | 貝殻腹縁圧痕文（矢羽根状） |
| 298 | 東５・Ⅱａ、<br>４Ｄ－８・Ⅱｂ | 深 | 胴 | 貝殻腹縁圧痕文　線描：沈線（平行・山形） |
| 299 | 西６・Ⅱａ | 深 | 口頸 | 不整撚糸文　繊維含む |
| 300 | ４Ｃ・Ⅱａ | 深 | 胴 | 縄文：ＲＬヨコ　口縁：不整撚糸文　繊維含む |
| 301 | ４Ｃ・Ⅱａ | 深 | 胴 | 縄文：ＲＬヨコ　繊維含む |
| 302 | 東５・Ⅱａ | 深 | 口頸 | 縄文：ＲＬタテ　線描：隆帯　手法：充填 |
| 303 | ３Ｃ－20・Ⅱａ | 深 | 口 | 線描：沈線　手法：磨消？　装飾：刺突 |
| 304 | 東５・Ⅱａ | 深 | 口 | 線描：沈線 |
| 305 | ３Ｄ－８・Ⅱａ、56土・Ｐ１ | 深 | 胴 | 縄文：ＬＲナナメ　線描：沈線 |
| 306 | ３Ｃ－11・Ⅱａ | 深 | 口胴 | 縄文：ＬＲタテ　線描：沈線（細）　口縁：突起 |
| 307 | ３Ｃ－22・Ⅱａ | 深？ | 胴 | 線描：沈線　装飾：円形貼付＋刺突 |
| 308 | ３Ｃ－13・Ⅱａ | 深 | 口 | 線描：沈線 |
| 309 | ４Ｃ－22・Ⅱａ | 深 | 口 | 沈線主体 |
| 310 | ＭＴ014・Ⅱａ | 壺？ | 胴 | 縄文：ＬＲタテ　線描：沈線 |
| 311 | 東３・Ⅱａ | 深 | 口胴 | 縄文：Ｌタテ？　線描：沈線　装飾：刺突 |
| 312 | ３Ｄ－７・Ⅱａ | 深？ | 胴 | 縄文：ＬＲタテ　線描：沈線 |
| 313 | ３Ｄ－５・Ⅱａ | 深？ | 口頸 | 線描：沈線　裏面：沈線　口唇：沈線 |
| 314 | ３Ｃ－15・Ⅱａ | 深 | 胴 | 縄文：Ｌヨコ　線描：沈線（太） |
| 315 | ３Ｃ－17・Ⅱａ | 深 | 口胴 | 縄文：ＬＲタテ　口縁：貼付＋沈線、波状 |
| 316 | ３Ｃ－23・Ⅱａ | 深？ | 口頸 | 縄文→沈線（平行）、口唇部縄文 |
| 317 | ３Ｄ－17・Ⅱａ | 深？ | 口頸 | 縄文→沈線（浅）、<br>波状口縁頂上部に刻み |
| 318 | ３Ｃ－15・Ⅱａ | 台？ | 脚 | 縄文：Ｌ・Ｒ？　線描：沈線　手法：充填　装飾：刺突 |
| 319 | ３Ｄ－17・Ⅱａ | 深 | 略完 | 縄文：ＲＬ　線描：沈線　手法：磨消<br>口縁：６単位、波状　外底面：木葉痕 |
| 320 | ＭＴ010・Ⅱａ | 深？ | 口頸 | 縄文：ＲＬヨコ　線描：沈線　装飾：刺突 |
| 321 | ３Ｃ－14・Ⅱａ | 深 | 口胴 | 縄文：ＲＬヨコ　線描：沈線　手法：磨消<br>装飾：刺突　口縁：波状 |
| 322 | ３Ｄ－17・Ⅱａ | 深 | 口胴 | 縄文：ＬＲ　線描：沈線　手法：充填？<br>口唇：刻み（３単位） |
| 323 | ３Ｄ－17・Ⅱａ | 深？ | 口頸 | 磨消手法 |
| 324 | 西２・Ⅱａ | 深 | 口頸 | 縄文：ＬＲ？　線描：沈線　口縁：無文<br>口端：貼付＋縄文（ＬＲ） |
| 325 | ３Ｄ－１・Ⅱａ | 壺？ | 口胴 | 縄文：ＬＲタテ　装飾：隆帯＋縄文圧痕（ＬＲ）<br>把手状の隆帯 |
| 326 | ３Ｃ－14・Ⅱａ | 鉢？ | 口胴 | 縄文：ＬＲヨコ |
| 327 | 西４・Ⅱａ | 深？ | 口頸 | 縄文のみ、頸部：無文 |
| 328 | ３Ｃ－24・Ⅱａ | 深？ | 口胴 | 縄文：ＬＲヨコ　頸部：縄文圧痕（ＬＲ） |
| 329 | 不明・Ⅱａ | 台 | 略完 | 折り返し口縁＋縄文、沈線、胴部：無文 |
| 330 | ３Ｃ－14・Ⅱａ、<br>３Ｃ－13・Ⅱａ～Ⅱｂ、<br>ＭＴ014・Ⅱａ　・ | 深 | 胴 | 単軸絡条体第５類 |
| 331 | ４Ｄ－５・Ⅱａ | 深？ | 胴 | 網目状撚糸文→沈線 |
| 332 | ３Ｃ－12・Ⅱａ、<br>58土・検・１層・覆土 | 深 | 底 | 縄文のみ |
| 333 | ３Ｃ－14・Ⅱａ | 深？ | 底 | |
| 334 | ３Ｄ－17・Ⅱａ | 深 | 底 | |
| 335 | ＭＴ012・Ⅱａ | 深？ | 底 | 木葉痕 |
| 336 | ３Ｃ－14・Ⅱａ | 鉢？ | 胴底 | 無文、外底面：？ |
| 337 | ３Ｃ－23・Ⅱａ | 鉢 | 略完 | 無文 |
| 338 | ３Ｄ－５・Ⅱａ | 台 | 口底 | 無文 |
| 339 | ３Ｄ－17・Ⅱａ | 深？ | 口 | 縄文、隆帯（粘土紐） |
| 340 | ４Ｃ－21・Ⅰ～Ⅱａ | 深 | 底 | 無文 |
| 341 | 東５・Ⅰ～Ⅱａ | 深 | 胴 | 縄文：ＬＲ　線描：沈線、隆帯　手法：充填 |
| 342 | 東５・Ⅰ～Ⅱａ、東１・Ⅱａ | 壺？ | 胴 | 線描：沈線　装飾：突起　つなぎ目に刻み |
| 343 | ４Ｃ－21・Ⅰ～Ⅱａ | 深 | 頸胴 | 沈線主体　隆帯＋刺突（竹管） |
| 344 | ３Ｃ－24・Ⅰ～Ⅱａ | 深 | 口胴 | 縄文：ＬＲ　線描：沈線　手法：充填？ |
| 345 | 西３・Ⅰ～Ⅱａ、<br>３Ｃ－22・Ⅱａ | 深 | 口胴 | 縄文：ＬＲタテ　頸部：無文<br>口縁：縄文圧痕（ＬＲ、２条）、縄文（ＬＲヨコ） |
| 346Ａ | 東５・Ⅰ、東５・Ⅱａ、<br>東５・Ⅲ | 鉢 | 口底 | 縄文→沈線＋刺突 |
| 346Ｂ | 東・ＭＴ010・東５・Ⅰ、<br>東５・Ⅲ | 鉢 | 口胴 | 縄文→沈線＋刺突 |
| 347 | ３Ｃ－14・Ⅰ | 深 | 口頸 | 縄文：？　線描：沈線　手法：充填？ |
| 348 | 西３・Ⅰ | 深？ | 胴 | 線描：沈線　装飾：隆帯＋刻み、刺突 |
| 349 | ＭＴ010・Ⅰ | 深？ | 胴 | 線描：沈線　装飾：刺突　頸部：刺突（円形、竹管） |
| 350 | 西３・Ⅰ | 深？ | 口 | 縄文：ＬＲ　線描：沈線　手法：充填 |
| 351 | 西１・Ⅰ | 深 | 胴 | 磨消手法、刺突 |
| 352 | 東６・Ⅰ | 壺？ | 胴 | 磨消手法 |
| 353 | 西１・Ⅰ、<br>３Ｃ－16・Ⅱａ～Ⅲ | 深 | 口頸 | 口縁：無文　口端：縄文圧痕（ＬＲ）＋縄文（ＬＲ） |
| 354 | 西４・Ⅰ | 注口 | 注口 | 縄文：ＬＲ？ |
| 355 | ＭＴ008・Ⅰ | 鉢？ | 口 | 縄文：ＬＲヨコ　線描：沈線　口唇：縄文圧痕 |
| 356 | 西３・Ⅰ | 深？ | 口頸 | 無文、波状口縁の口唇部：刻み |
| 357 | ４Ｄ－３・７・８・Ⅰ | 深？ | 胴 | 縄文→隆帯 |
| 358 | 西３・Ⅰ | 鉢？ | 口胴 | 無文 |
| 359 | ４Ｃ－23・撹乱 | 深 | 胴 | 単軸絡条体第５類　線描：沈線（曲線） |
| 360 | 不明・撹乱 | 深 | 口胴 | 縄文：ＬＲヨコ　頸部：縄文圧痕（ＬＲ） |
| 361 | 西５・撹乱 | 深 | 胴 | 縄文：ＲＬ？（半置半転？） |

【略号】
＜出土地点・層位＞　土：土坑
＜器種＞　深：深鉢、台：台付鉢
＜部位＞　口：口縁部、頸：頸部、胴：胴部、底：底部

## 第11表　土製品観察表

| 掲載番号 | 整理番号 | 出土地点・層位 | 器種 | 部位 | 文様の特徴等 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 501 | 3101 | ３土・北覆土中 | 円盤 | | 縄文：ＲＬ | 未製品 |
| 502 | 3122 | 12土・覆土中 | 円盤 | | 縄文：Ｌ？ | |
| 503 | 3121 | 18土・南側覆土上位 | 円盤 | | 無文 | 半欠け |
| 504 | 3134 | 31土・５層 | 円盤 | | 無文 | |
| 505 | 3123 | 36土・覆土 | 土偶 | 略完 | 無文 | ２点接合 |
| 506 | 3102 | 36土・覆土 | 円盤 | | 縄文：Ｌ？　線描：沈線 | |
| 507 | 3120 | 38土・４層 | 円盤 | | 縄文：ＬＲ | 半欠け |
| 508 | 3126 | 39土・２層 | 円盤 | | 縄文：ＲＬ | |
| 509 | 3103 | 39土・不明 | 円盤 | | 縄文：ＬＲ？ | |
| 510 | 3104 | 53土・覆土 | 不明 | | 無文 | |
| 511 | 3129 | 56土・覆土 | 円盤 | | 縄文：ＬＲ | 半欠け |
| 512 | 3162 | 56土・覆土 | 円盤 | | 縄文：ＬＲ　線描：沈線 | 半欠け |
| 513 | 3124 | 60土・覆土 | 円盤 | | 無文 | 半欠け |
| 514 | 3133 | 60土・覆土 | 円盤 | | 縄文：ＬＲ | 欠け |
| 521 | 3118 | ３Ｃ－24・Ⅱａ | 土偶 | 脚 | 無文 | 左脚 |
| 522 | 3105 | ＭＴ010・Ⅱｂ | 土偶 | 脚 | 無文 | 左脚？ |
| 523 | 3119 | 西３・Ⅰ | 鐸形？ | 紐？ | 無文 | |
| 524 | 3106 | 西３・Ⅰ | 円盤 | | 縄文：ＬＲ | 半欠け |
| 525 | 3110 | ３Ｃ－19・Ⅱａ～Ⅲ | 円盤 | | 縄文：ＬＲ | 半欠け |
| 526 | 3112 | 西２・Ⅰ | 円盤 | | 縄文：ＬＲ | 半欠け |
| 527 | 3117 | 東５・Ⅱａ～Ⅲ | 円盤 | | 縄文：ＬＲ | 半欠け |
| 528 | 3107 | 東４・Ⅱａ | 円盤 | | 縄文：ＬＲ？ | 器面磨滅 |
| 529 | 3108 | ４Ｄ－６・Ⅱａ～Ⅲ | 円盤 | | 縄文：ＬＲ？ | 磨滅著しい |
| 530 | 3125 | ３Ｃ－14・Ⅰ | 円盤 | | 縄文：ＬＲ？ | 半欠け |
| 531 | 3130 | ３Ｄ－17・Ⅱａ～Ⅲ | 円盤 | | 縄文：ＬＲ？　穿孔（未貫通） | 半欠け |
| 532 | 3163 | ３Ｄ－17・Ⅱａ | 円盤 | | 縄文：ＬＲ？ | 半欠け |
| 533 | 3128 | ４Ｄ－６・Ⅱａ | 円盤 | | 縄文？ | 半欠け |
| 534 | 3109 | ３Ｃ－21・Ⅱｂ | 円盤 | | 羽状（ＬＲタテ+ＬＲヨコ） | |
| 535 | 3115 | ３Ｃ－13・Ⅱｂ | 円盤 | | 単軸絡条体第５類 | 1/3欠け |
| 536 | 3116 | 東５・Ⅱａ～Ⅲ | 円盤 | | 無文 | 半欠け |
| 537 | 3127 | ３Ｃ－16・Ⅱａ～Ⅲ | 円盤 | | 無文 | 半欠け |
| 538 | 3111 | ＭＴ013・排土一括 | 円盤 | | 無文 | 1/3残存 |
| 539 | 3113 | 西３・Ⅰ | 不明 | | 無文 | |

## 第12表　焼成粘土塊観察表

| 掲載番号 | 整理番号 | 出土地点・層位 | 器種 | 部位 | 文様の特徴等 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 551 | 3001 | 38土・２層下～４層上 | 焼成粘土塊 | | | |
| 552 | 3131 | 54土・覆土 | 焼成粘土塊 | | | |
| 553 | 3132 | 54土・覆土 | 焼成粘土塊 | | | |
| 554 | 3002 | 58土・１層 | 焼成粘土塊 | | | |
| 561 | 3003 | 東５・Ⅰ～Ⅱａ | 焼成粘土塊 | | | |
| 562 | 3004 | ３Ｃ－14・Ⅱａ | 焼成粘土塊 | | | |

## 第13表　石器・石製品観察表

| 掲載番号 | 器種 | 出土地点・層位 | 石質 | 長さ(cm) | 幅(cm) | 厚さ(cm) | 重量(g) | 背面 | 素材 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 601 | 石匙 | 13住状・Ｑ１覆土上 | 頁岩 | 5.68 | 3.04 | 0.73 | 9.44 | Ⅲ | 縦 | |
| 602 | 剥片 | 13住状・南ベ１層 | 頁岩 | (2.31) | (2.40) | 1.06 | 9.35 | Ⅰ | － | |
| 603 | 砕片 | 13住状・Ｑ３覆土下 | 頁岩 | 1.11 | 1.14 | 0.38 | 0.31 | Ⅰ | | |
| 604 | 剥片 | 13住状・南ベ最上 | 頁岩 | (1.43) | (2.21) | (0.50) | 1.23 | － | － | |
| 605 | 礫 | 13住状・南ベ１層 | 花崗岩 | 9.80 | 7.61 | 3.21 | 358.21 | － | － | |
| 606 | 削器 | １土・３層 | 頁岩 | 3.28 | 3.43 | 0.78 | 8.10 | － | 横 | |
| 607 | 楔形 | １土・覆土最上位 | 頁岩 | 3.65 | 2.09 | 0.69 | 5.70 | － | 横 | |
| 608 | 剥片 | １土・覆土一括 | 頁岩 | (5.03) | 5.41 | 0.63 | 13.62 | Ⅲ | － | |
| 609 | 剥片 | １土・３層 | 頁岩 | (6.85) | 6.71 | (2.37) | 100.79 | － | － | |
| 610 | 剥片 | 12土・東側覆土最上位 | 頁岩 | 1.87 | 1.72 | 0.43 | 1.18 | Ⅰ | | |
| 611 | 剥片 | 18土・北２層下～４層上 | 砂岩 | (9.50) | 3.04 | (1.22) | 26.40 | Ⅰ | 縦 | |
| 612 | 剥片 | 18土・覆土中位 | 珪質頁岩 | (1.97) | (2.73) | (0.87) | 3.46 | Ⅳ | － | |
| 613 | 剥片 | 18土・覆土中位 | ホルン | 3.49 | 2.38 | 0.47 | 4.44 | － | － | |
| 614 | 砕片 | 18土・南側覆土上 | 頁岩 | (1.39) | (1.24) | (1.09) | 2.42 | － | － | |
| 615 | 剥片 | 19土・３層壁際 | 赤色頁岩 | (2.24) | (1.74) | (0.78) | 2.22 | Ⅳ | － | |
| 616 | 石鏃 | 22土・覆土一括 | 頁岩 | 2.86 | 2.09 | 0.72 | 3.42 | － | － | |
| 617 | ＲＦ | 22土・覆土一括 | 頁岩 | 3.94 | 4.35 | 0.89 | 12.02 | Ⅳ | 貝 | |
| 618 | 剥片 | 22土・覆土一括 | 頁岩 | 2.46 | 2.37 | 0.61 | 2.54 | Ⅳ | | |
| 619 | 剥片 | 23土・覆土一括 | 頁岩 | 4.98 | 3.18 | 1.83 | 27.02 | Ⅳ | 縦 | |
| 620 | 剥片 | 26土・覆土一括 | 赤色頁岩 | 1.70 | 1.87 | 0.79 | 1.60 | Ⅰ | 貝 | |
| 621 | ＵＦ | 31土・覆土一括 | 頁岩 | (2.97) | (3.04) | (0.73) | 4.88 | Ⅰ | × | |
| 622 | ＲＦ | 36土・覆土一括 | 頁岩 | (2.99) | (1.60) | (0.98) | 3.02 | Ⅰ | － | |
| 623 | 剥片 | 36土・覆土一括 | 頁岩 | (3.22) | (2.73) | (1.12) | 7.46 | Ⅳ | 縦 | |
| 624 | 楔形 | 39土・覆土一括 | 頁岩 | 2.46 | 1.79 | 0.63 | 2.63 | － | － | |
| 625 | 剥片 | 39土・覆土一括 | 頁岩 | (2.25) | (1.14) | (0.95) | 1.53 | － | － | |
| 626 | 剥片 | 39土・覆土一括 | 赤色頁岩 | (1.67) | (1.51) | (0.92) | 2.18 | － | － | |
| 627 | 剥片 | 39土・覆土一括 | 頁岩 | (2.03) | 1.22 | (0.32) | 0.52 | Ⅰ | 縦 | |
| 628 | 石皿 | 39土・３層 | 砂岩 | (15.50) | (13.20) | (1.90) | 520.67 | － | － | |
| 629 | 砥石 | 39土・覆土一括 | 砂岩 | 15.26 | 5.73 | 3.17 | 399.84 | － | － | |
| 630 | 削器 | 41土・覆土中位 | 頁岩 | (4.28) | (4.17) | 1.64 | 21.31 | Ⅰ | － | |
| 631 | ＲＦ | 41土・覆土一括 | 玉髄 | (2.20) | (3.55) | (0.95) | 5.07 | － | － | |
| 632 | 剥片 | 41土・覆土一括 | 頁岩 | (3.51) | (1.83) | (0.95) | 4.31 | － | － | |
| 633 | 剥片 | 43土・覆土最上位 | 頁岩 | (3.86) | (3.69) | (0.67) | 6.35 | Ⅲ | － | |
| 634 | 剥片 | 43土・覆土最上位 | ホルン | (3.74) | (1.64) | (0.34) | 1.68 | － | － | |
| 635 | 礫 | 44土・覆土一括 | ホルン | 5.98 | 5.11 | 3.32 | 138.64 | － | － | |
| 636 | ＲＦ | 46土・覆土一括 | 頁岩 | 2.84 | 3.39 | 0.74 | 5.09 | Ⅳ | 横 | |
| 637 | 剥片 | 50土・覆土一括 | その他 | 6.61 | 7.06 | 1.88 | 55.53 | Ⅲ | 横 | |
| 638 | 掻器 | 53土・２層 | 頁岩 | 2.16 | 2.40 | 1.01 | 6.42 | Ⅰ | 縦 | 切断 |
| 639 | 楔形 | 53土・３層 | 玉髄 | 3.35 | 2.65 | 1.24 | 10.17 | － | － | |
| 640 | 楔形 | 53土・覆土一括 | 頁岩 | 4.05 | 4.73 | 1.49 | 24.22 | － | 横 | |
| 641 | ＲＦ | 53土・覆土一括 | 頁岩 | (3.32) | (3.94) | (1.04) | 11.18 | Ⅲ | × | |
| 642 | ＲＦ | 53土・覆土一括 | 珪質頁岩 | 2.91 | (3.77) | 1.48 | 10.64 | Ⅰ | 横 | |
| 643 | 剥片 | 53土・覆土一括 | 黒曜石 | (2.03) | (2.76) | (1.17) | 5.36 | Ⅰ | － | 転石 |
| 644 | 剥片 | 53土・覆土一括 | 珪質頁岩 | (2.95) | (2.77) | (1.71) | 3.52 | Ⅰ | － | |
| 645 | 剥片 | 53土・覆土一括 | 頁岩 | (3.03) | (5.02) | (1.08) | 13.46 | Ⅰ | － | |
| 646 | 剥片 | 53土・覆土一括 | 頁岩 | 5.13 | 5.40 | 2.20 | 53.53 | Ⅳ | 貝 | |
| 647 | 剥片 | 53土・覆土一括 | 頁岩 | 1.68 | 1.66 | 0.49 | 1.01 | Ⅳ | | |
| 648 | 剥片 | 53土・覆土一括 | 頁岩 | (2.56) | (2.01) | (0.53) | 1.57 | Ⅳ | － | |
| 649 | 剥片 | 53土・覆土一括 | 頁岩 | 2.98 | 2.28 | 0.91 | 4.74 | Ⅳ | 縦 | |
| 650 | 剥片 | 53土・覆土一括 | 頁岩 | 4.45 | 5.93 | 1.42 | 32.41 | － | 横 | |
| 651 | 礫 | 53土・覆土下位 | 頁岩 | 3.11 | 3.02 | 2.26 | 13.61 | － | － | ▲ |
| 652 | 剥片 | 54土・覆土一括 | 頁岩 | 2.15 | 2.82 | 0.48 | 2.43 | Ⅳ | 横 | |
| 653 | 剥片 | 56土・覆土一括 | 玉髄 | 3.59 | 3.12 | 0.88 | 7.74 | Ⅰ | 縦 | |
| 654 | 剥片 | 56土・覆土一括 | 頁岩 | 2.02 | 1.91 | 0.71 | 2.03 | Ⅰ | 貝 | |
| 655 | 剥片 | 56土・覆土一括 | 頁岩 | 3.14 | 3.09 | 0.96 | 4.95 | Ⅳ | | |
| 656 | 剥片 | 56土・覆土一括 | 砂岩 | (5.56) | (5.63) | (2.27) | 27.44 | Ⅳ | － | |
| 657 | 剥片 | 56土・覆土一括 | 頁岩 | (1.90) | (2.14) | (0.94) | 3.65 | － | － | |
| 658 | 剥片 | 58土・覆土一括 | 頁岩 | 2.43 | 4.11 | 0.92 | 5.52 | Ⅰ | 横 | |
| 659 | 剥片 | 60土・覆土一括 | 頁岩 | (4.42) | (3.91) | (0.69) | 9.71 | － | － | ▲ |
| 660 | 礫 | 60土・南側覆土中位 | 花崗岩 | 11.62 | 5.85 | 3.51 | 366.54 | － | － | ▲ |
| 661 | 剥片 | 64土・覆土一括 | 赤色頁岩 | 1.75 | 2.02 | 0.51 | 1.42 | Ⅳ | 横 | |
| 662 | 礫 | 65土・覆土一括 | ホルン | 19.76 | 5.51 | 1.77 | 297.98 | － | － | |
| 663 | 礫 | 65土・覆土一括 | 砂岩 | 16.21 | 3.78 | 2.86 | 281.91 | － | － | |
| 664 | 礫 | 66土・１層 | ホルン | 16.81 | 3.01 | 2.18 | 181.75 | － | － | ▲ |
| 665 | 敲石 | 67土・覆土一括 | 花崗岩 | 6.73 | 4.91 | 4.35 | 164.92 | － | － | |
| 666 | 剥片 | ６焼・焼成面 | 頁岩 | (1.97) | (1.44) | (0.55) | 1.46 | － | × | |
| 701 | 石鏃 | ４Ｄ－３・８・Ⅱａ | 頁岩 | 3.10 | 1.41 | 0.50 | 2.50 | － | － | |
| 702 | 石鏃 | ＢＴ102・排土一括 | 頁岩 | (1.93) | (1.38) | 0.24 | 0.37 | － | － | |
| 703 | 石鏃 | ＢＴ101・Ⅱａ | 頁岩 | (2.00) | 1.33 | (0.31) | 0.63 | － | － | |
| 704 | 石鏃 | ３Ｄ－17・Ⅱａ | 頁岩 | 3.01 | 2.48 | 0.93 | 5.92 | － | － | |
| 705 | 錐形 | 西４・Ⅱａ | 頁岩 | 2.69 | 1.10 | 0.34 | 1.15 | － | 縦 | |
| 706 | 錐形 | ４Ｄ－８・Ⅲ | 頁岩 | 4.91 | 4.46 | 2.16 | 27.67 | － | － | |
| 707 | 錐形 | ４Ｄ－１・Ⅱａ | 頁岩 | 3.11 | 2.46 | 0.70 | 3.79 | － | 横 | |
| 708 | 錐形 | ３Ｄ－17・Ⅱａ | 頁岩 | 2.27 | 1.24 | 0.42 | 0.99 | － | 縦 | |
| 709 | 錐形 | ４Ｄ－７・Ⅰ～Ⅱａ | 頁岩 | 4.41 | 4.36 | 1.05 | 8.24 | Ⅰ | 縦 | |
| 710 | 石匙 | ＢＴ102・排土一括 | 頁岩 | (3.03) | (3.41) | (0.77) | 3.43 | － | － | |
| 711 | 削器 | ３Ｃ－24・Ⅰ～Ⅱａ | 玉髄 | 2.32 | 1.49 | 0.63 | 1.88 | － | 縦 | |
| 712 | 削器 | 東２・Ⅱａ | 頁岩 | (4.26) | (2.15) | 1.12 | 8.20 | Ⅰ | 横 | |
| 713 | 削器 | ３Ｄ－17・Ⅱａ | 頁岩 | (5.87) | (3.34) | 1.09 | 19.35 | Ⅰ | 縦 | |
| 714 | 削器 | ＢＴ101・排土一括 | 頁岩 | (4.13) | (2.93) | 0.93 | 11.97 | Ⅰ | 縦 | |
| 715 | 掻器 | ＢＴ102・排土一括 | 頁岩 | (4.52) | (7.63) | (1.46) | 51.62 | Ⅰ | 縦 | |
| 716 | 掻器 | ３Ｄ－17・Ⅱａ | 頁岩 | 1.54 | 2.19 | 0.62 | 1.55 | － | × | |
| 717 | 箆状 | ３Ｃ－19・Ⅱａ | 頁岩 | 10.25 | 4.26 | 1.79 | 74.05 | － | － | |
| 718 | 箆状 | ４Ｄ－３・８・Ⅱａ | 頁岩 | 6.95 | 3.21 | 1.96 | 44.71 | － | － | |
| 719 | 箆状 | ４Ｄ－７・Ⅲ | 頁岩 | 7.30 | 3.43 | 1.81 | 42.66 | Ⅰ | 横 | |
| 720 | 箆状 | ４Ｃ－18・Ⅱ～Ⅲ | 頁岩 | 6.39 | 2.58 | 1.13 | 21.02 | － | － | |
| 721 | 箆状 | ３Ｄ－15・Ⅱｂ | 頁岩 | (4.41) | (3.18) | (1.32) | 13.44 | － | － | |
| 722 | 楔形 | ４Ｄ－７・Ⅱａ | 頁岩 | 2.28 | 1.85 | 0.93 | 3.90 | － | － | |
| 723 | 楔形 | ４Ｄ－２・７・Ⅱａ | 頁岩 | 3.50 | 3.68 | 1.74 | 22.83 | － | － | |
| 724 | 楔形 | ４Ｄ－６・Ⅱａ～Ⅱｃ | 頁岩 | (1.51) | (2.24) | (0.57) | 1.34 | － | － | |
| 725 | 楔形 | ３Ｃ－19・Ⅱａ | 頁岩 | 1.58 | 2.07 | 0.81 | 2.33 | － | － | |
| 726 | 楔形 | ＭＴ013・Ⅰ | 頁岩 | 2.64 | (1.76) | (0.61) | 1.26 | － | － | |
| 727 | ＲＦ | ３Ｃ－19・Ⅱａ | 頁岩 | (1.99) | (2.94) | (1.03) | 5.26 | Ⅰ | － | |
| 728 | ＲＦ | ３Ｄ－17・Ⅱａ | 頁岩 | (3.29) | (2.65) | (1.21) | 9.51 | Ⅰ | 縦 | |
| 729 | ＲＦ | ＭＴ010・Ⅱａ | 頁岩 | 3.45 | (2.20) | (0.81) | 4.16 | － | 縦 | |
| 730 | ＲＦ | ４Ｄ－２・Ⅱａ～Ⅲ | 頁岩 | (4.78) | (5.57) | (1.49) | 35.73 | Ⅰ | 横 | |
| 731 | ＲＦ | ４Ｃ－21・Ⅰ～Ⅱａ | 頁岩 | 3.25 | 3.83 | 1.28 | 14.76 | － | 横 | |
| 732 | ＲＦ | ３Ｃ－19・Ⅱａ | 頁岩 | 3.95 | 2.49 | 0.74 | 5.79 | Ⅰ | 縦 | |
| 733 | ＲＦ | ３Ｃ－19・Ⅱａ | 珪質頁岩 | 2.90 | 2.86 | 0.75 | 5.53 | Ⅰ | － | |
| 734 | ＲＦ | ４Ｃ－17・Ⅱａ | 頁岩 | (2.33) | (2.92) | 1.04 | 7.44 | － | － | |
| 735 | ＲＦ | ３Ｄ－17・Ⅱａ | 頁岩 | (2.23) | (3.52) | (0.73) | 4.54 | Ⅲ | － | |
| 736 | ＲＦ | ＢＴ101・Ⅱａ | 頁岩 | (1.82) | (2.58) | (0.91) | 4.21 | Ⅰ | － | |
| 737 | ＲＦ | ４Ｄ－８・Ⅲ | 頁岩 | (3.27) | (2.56) | (2.73) | 4.14 | Ⅰ | － | |
| 738 | ＲＦ | ３Ｄ－17・Ⅱａ | 頁岩 | (3.22) | (3.60) | (1.02) | 8.66 | Ⅰ | － | |
| 739 | ＲＦ | 西５・Ⅱａ | 頁岩 | (1.31) | (1.97) | (0.36) | 0.78 | － | － | |
| 740 | ＲＦ | ４Ｄ－８・Ⅱａ～Ⅲ | ホルン | 7.28 | 4.46 | (0.89) | 30.41 | － | － | |
| 741 | ＲＦ | ３Ｄ－13・Ⅱａ | 頁岩 | (1.88) | (0.93) | (0.54) | 0.92 | － | － | |
| 742 | ＵＦ | 不明・Ⅱａ | 頁岩 | 2.17 | 3.12 | 0.74 | 3.63 | － | 横 | ■ |
| 743 | ＵＦ | ４Ｄ・Ⅰ | 頁岩 | 2.12 | 2.16 | 0.35 | 1.13 | Ⅳ | 横 | |
| 744 | ＵＦ | ４Ｃ－13・Ⅱａ～Ⅲ | 頁岩 | 1.88 | 3.10 | 0.78 | 3.35 | Ⅰ | 横 | |
| 745 | ＵＦ | 西２・Ⅱａ | 頁岩 | 3.07 | 2.24 | 0.61 | 2.77 | Ⅰ | 縦 | |
| 746 | ＵＦ | ＭＴ001・Ⅰ | 頁岩 | (2.55) | (3.61) | (1.46) | 10.46 | Ⅰ | － | |
| 747 | ＵＦ | ３Ｃ－14・Ⅱａ | 頁岩 | 3.46 | 5.53 | 0.64 | 6.37 | Ⅰ | 横 | |
| 748 | ＵＦ | ４Ｃ－16・Ⅱｂ | 頁岩 | (4.18) | (3.45) | (0.83) | 5.60 | Ⅰ | 縦 | |
| 749 | 剥片 | ４Ｃ－21・Ⅱａ～Ⅲ | 黒曜石 | (1.33) | (1.79) | (0.44) | 0.92 | Ⅰ | － | |
| 750 | 剥片 | ３Ｄ－５・Ⅱｂ | 玉髄 | 2.00 | 0.89 | 0.35 | 0.63 | Ⅰ | 縦 | |
| 751 | 剥片 | ＭＴ003・Ⅱａ | 頁岩 | (5.57) | (2.93) | (1.26) | 8.21 | Ⅰ | 縦 | |
| 752 | 剥片 | ３Ｃ－19・Ⅱｂ | 頁岩 | (2.24) | (4.09) | (1.30) | 8.83 | Ⅰ | 横 | |
| 753 | 剥片 | ＭＴ010・Ⅱａ | 赤色頁岩 | (4.44) | (3.16) | (1.20) | 2.15 | Ⅰ | 縦 | |
| 754 | 剥片 | ３Ｄ－17・Ⅱａ | 頁岩 | 1.92 | 2.23 | 0.59 | 2.08 | Ⅰ | 横 | |
| 755 | 剥片 | ３Ｃ－13・Ⅱｂ | 頁岩 | 1.38 | 1.42 | 0.49 | 0.59 | Ⅰ | 横 | |
| 756 | 剥片 | ＭＴ006・Ⅰ | 玉髄 | 1.59 | 1.68 | 0.49 | 0.73 | Ⅰ | 横 | |
| 757 | 剥片 | ４Ｄ－12・Ⅱａ～Ⅱｃ | 頁岩 | 1.42 | 2.13 | 0.44 | 0.84 | Ⅰ | 横 | |
| 758 | 剥片 | ３Ｄ－９・Ⅰ | 砂岩 | 7.35 | 5.41 | 1.88 | 65.89 | Ⅰ | 縦 | |
| 759 | 剥片 | ４Ｄ－６・Ⅱｃ | 頁岩 | 3.04 | (4.17) | (0.89) | 9.79 | Ⅰ | 横 | |
| 760 | 剥片 | ４Ｄ－６・Ⅱｃ | 頁岩 | (3.86) | 3.26 | (0.31) | 2.55 | Ⅰ | | |
| 761 | 剥片 | 東２・Ⅰ | 頁岩 | (1.79) | (1.98) | (0.51) | 1.33 | Ⅰ | 縦 | |
| 762 | 剥片 | ３Ｄ－13・Ⅱａ | 頁岩 | (1.43) | (1.85) | 0.55 | 0.88 | Ⅰ | 横 | |
| 763 | 剥片 | ３Ｃ－15・Ⅱａ | 頁岩 | (2.36) | (3.19) | (0.46) | 2.12 | Ⅰ | 横 | |
| 764 | 剥片 | ３Ｃ－18・Ⅱａ | 頁岩 | 2.24 | 1.35 | 0.58 | 1.03 | Ⅰ | 縦 | |
| 765 | 剥片 | ＭＴ010・Ⅱａ | 頁岩 | (2.23) | (2.50) | (0.64) | 2.83 | Ⅰ | 横 | |
| 766 | 剥片 | ４Ｃ－12・Ⅱｂ | 頁岩 | (2.15) | (2.36) | (0.23) | 0.70 | Ⅰ | | |
| 767 | 剥片 | ３Ｃ－14・Ⅱａ | 頁岩 | (2.60) | (2.11) | (0.60) | 2.16 | Ⅰ | － | |
| 768 | 剥片 | ３Ｄ－17・Ⅱａ | 頁岩 | 2.77 | 3.03 | 0.63 | 4.51 | Ⅰ | 横 | |
| 769 | 剥片 | ３Ｄ－17・Ⅱａ | 頁岩 | 1.70 | 2.11 | 0.68 | 1.82 | Ⅰ | 横 | |
| 770 | 剥片 | ４Ｃ－23・Ⅱａ | 頁岩 | (2.93) | (4.02) | (0.36) | 3.00 | Ⅰ | － | |
| 771 | 剥片 | ３Ｃ－14・Ⅱａ～Ⅲ | 頁岩 | 5.08 | 5.58 | 1.47 | 19.03 | Ⅰ | | |
| 772 | 剥片 | ３Ｃ－17・Ⅱｂ | 頁岩 | (1.56) | (1.52) | (0.51) | 0.84 | Ⅰ | | |
| 773 | 剥片 | ３Ｃ－19・Ⅱａ | 頁岩 | (1.58) | (1.53) | (0.56) | 1.03 | Ⅱ | － | |
| 774 | 剥片 | ３Ｃ－15・Ⅱａ | 頁岩 | (3.17) | (2.23) | (0.71) | 4.98 | Ⅱ | 縦 | |
| 775 | 剥片 | ４Ｄ－６・Ⅱａ～Ⅱｃ | 頁岩 | (1.51) | (1.99) | (0.45) | 0.80 | Ⅲ | × | |
| 776 | 剥片 | ４Ｄ－３・８・Ⅱａ | 頁岩 | (3.12) | (3.00) | (1.12) | 7.34 | Ⅲ | × | |
| 777 | 剥片 | ３Ｄ－17・Ⅱａ | 頁岩 | 3.35 | 2.30 | 0.78 | 4.02 | Ⅲ | 縦 | |
| 778 | 剥片 | ３Ｃ－19・Ⅱａ～Ⅲ | 頁岩 | 3.32 | 2.33 | 1.07 | 5.96 | Ⅲ | 縦 | |
| 779 | 剥片 | ３Ｃ－18・Ⅱａ | 頁岩 | 5.68 | 4.44 | 1.42 | 18.41 | Ⅲ | 縦 | |
| 780 | 剥片 | ４Ｃ・Ⅱａ | 玉髄 | (2.21) | (3.37) | (0.88) | 3.73 | Ⅳ | 横 | |
| 781 | 剥片 | ３Ｄ－５・Ⅱａ | 頁岩 | (1.76) | 3.02 | 1.28 | 5.08 | Ⅳ | × | |
| 782 | 剥片 | ３Ｃ－19・Ⅱａ | 頁岩 | 1.61 | 2.06 | 0.95 | 2.58 | Ⅳ | 横 | 両極 |
| 783 | 剥片 | 不明・Ⅱａ | 頁岩 | (3.08) | (2.17) | (0.87) | 5.86 | Ⅳ | 縦 | |
| 784 | 剥片 | 不明・Ⅱａ | 頁岩 | 2.12 | 2.53 | 0.52 | 2.23 | Ⅳ | 横 | |
| 785 | 剥片 | 西３・Ⅱａ | 頁岩 | 1.96 | 1.59 | 0.46 | 1.12 | Ⅳ | 縦 | |
| 786 | 剥片 | ３Ｃ－19・Ⅱａ | 頁岩 | 3.82 | 4.40 | 0.89 | 11.82 | Ⅳ | 横 | |
| 787 | 剥片 | ３Ｃ－14・Ⅱｂ | 頁岩 | 2.61 | 1.73 | 0.52 | 1.13 | Ⅳ | 縦 | |
| 788 | 剥片 | 西３・Ⅰ | 珪質頁岩 | 1.92 | 2.46 | 0.42 | 1.58 | Ⅳ | 横 | |
| 789 | 剥片 | 東５・Ⅰ～Ⅱａ | 頁岩 | 1.92 | 1.59 | 0.73 | 1.76 | Ⅳ | 縦 | |
| 790 | 剥片 | ４Ｄ－17・Ⅱａ～Ⅲ | 頁岩 | 8.88 | 8.08 | 3.16 | 141.38 | Ⅳ | － | |
| 791 | 剥片 | ４Ｄ－２・７・Ⅱａ | 頁岩 | (2.25) | (2.73) | (1.04) | 3.78 | Ⅳ | － | |
| 792 | 剥片 | 東５・Ⅱａ | 頁岩 | 1.90 | 2.45 | 1.14 | 3.74 | Ⅳ | － | |
| 793 | 剥片 | ４Ｄ－２・Ⅱａ～Ⅲ | 頁岩 | 4.67 | 2.91 | 0.83 | 7.29 | Ⅳ | 縦 | |
| 794 | 剥片 | ＭＴ001・Ⅰ～Ⅱａ | 頁岩 | 1.68 | 1.17 | 0.36 | 0.45 | Ⅳ | | |
| 795 | 剥片 | ３Ｃ－14・Ⅱａ | 頁岩 | 2.71 | 3.68 | 0.72 | 5.01 | Ⅳ | 横 | |
| 796 | 剥片 | 東５・Ⅰ | 頁岩 | 2.13 | (2.70) | 0.98 | 4.27 | Ⅳ | 横 | |
| 797 | 剥片 | ４Ｃ－13・Ⅱａ～Ⅲ | 頁岩 | 4.82 | 1.31 | 0.63 | 2.15 | Ⅳ | 縦 | |
| 798 | 剥片 | 不明・Ⅱａ | 頁岩 | (1.89) | (2.96) | (0.58) | 1.82 | Ⅳ | － | |
| 799 | 剥片 | ３Ｃ－15・Ⅱａ～Ⅲ | 赤色頁岩 | 1.70 | 2.27 | 0.69 | 1.70 | － | 横 | |
| 800 | 剥片 | ４Ｄ－19・Ⅱａ～Ⅲ | 頁岩 | (2.13) | (2.04) | (0.64) | 1.91 | － | 縦 | |
| 801 | 剥片 | 不明・Ⅱａ | 頁岩 | (2.31) | (2.68) | (0.53) | 2.03 | － | × | |
| 802 | 剥片 | ３Ｄ－９・Ⅰ | 頁岩 | 3.59 | 3.95 | 1.63 | 12.73 | － | 横 | |
| 803 | 砕片 | 東２・Ⅱａ | 頁岩 | (1.19) | (1.48) | (0.25) | 0.38 | Ⅰ | － | |
| 804 | 砕片 | 排土一括 | 頁岩 | 1.22 | 1.21 | 0.19 | 0.22 | Ⅰ | | |
| 805 | 石核 | ＭＴ010・Ⅰ | 頁岩 | 2.44 | 3.57 | 2.52 | 21.94 | － | － | |
| 806 | 石核 | ４Ｄ－19・Ⅱａ～Ⅲ | 玉髄 | 2.95 | 1.82 | 2.10 | 13.15 | － | － | |
| 807 | 石核 | 不明・Ⅱａ | 赤色頁岩 | 3.21 | 3.04 | 1.64 | 14.75 | － | － | |
| 808 | 石核 | ３Ｃ－15・Ⅱａ～Ⅱｃ | 赤色頁岩 | 2.27 | 1.94 | 1.15 | 5.42 | － | × | 両極 |
| 809 | 原石 | ３Ｄ－５・Ⅱｂ | 頁岩 | 5.75 | 3.45 | 2.79 | 55.01 | － | － | |
| 810 | 磨斧 | ３Ｃ－19・Ⅱｂ | 蛇紋岩 | (10.17) | 4.68 | 1.90 | 165.80 | － | － | |
| 811 | 磨斧 | ３Ｃ－20・Ⅱｂ | 蛇紋岩 | (5.26) | 3.44 | (1.33) | 42.96 | － | － | |
| 812 | 磨斧 | ３Ｃ－23・Ⅱａ | 砂岩 | (7.79) | (4.45) | (2.39) | 127.43 | － | － | |
| 813 | 磨石 | 東６・Ⅰ | 閃緑岩 | 12.52 | 9.25 | 6.49 | 1232.11 | － | － | 残Ａ |
| 814 | 磨石 | ３Ｃ－17・Ⅱａ | ホルン | 9.80 | 7.98 | 3.51 | 436.86 | － | － | 残Ａ |
| 815 | 磨石 | ３Ｃ－17・Ⅱａ | 砂岩 | 4.99 | 3.44 | 2.83 | 81.23 | － | － | 残Ａ |
| 816 | 磨石 | ３Ｃ－19・Ⅱａ | ホルン | 5.49 | 4.74 | 2.55 | 95.27 | － | － | |
| 817 | 磨石 | ３Ｃ－19・Ⅱａ | 安山岩 | (9.23) | (6.36) | (3.60) | 178.70 | － | － | 残Ｂ |
| 818 | 磨石 | ＭＴ016・Ⅰ | 砂岩 | 9.25 | 4.07 | 2.15 | 129.78 | － | － | 残Ａ |
| 819 | 磨石 | ４Ｄ－17・Ⅱａ～Ⅲ | 凝灰岩 | (4.41) | (5.44) | (5.23) | 129.08 | － | － | 残Ｃ |
| | | | | | | | | | | ▲ |
| 820 | 磨石 | ＭＴ013・Ⅰ | 細閃 | (4.18) | (3.85) | (1.04) | 14.60 | － | － | 残Ｃ |
| 821 | 磨石 | 不明・撹乱 | 頁岩 | (2.78) | (2.99) | (1.26) | 13.87 | － | － | 残Ｃ |
| 822 | 凹石 | ４Ｄ－12・Ⅱａ～Ⅲ | 頁岩 | (14.10) | (5.41) | (2.61) | 290.85 | － | － | |
| 823 | 敲石 | ４Ｄ－13・Ⅲ | 頁岩 | 15.86 | 4.36 | 2.52 | 289.14 | － | － | |
| 824 | 敲石 | ３Ｃ－13・Ⅱａ | 花崗岩 | 10.83 | 6.12 | 4.88 | 361.14 | － | － | |
| 825 | 素材剥 | ＭＴ004・Ⅱａ | 頁岩 | 3.66 | 3.75 | 2.88 | 44.79 | － | － | |
| 826 | 素材剥 | ３Ｃ－13・Ⅱａ～Ⅲ | 砂岩 | 5.82 | 3.60 | 2.92 | 93.07 | － | － | |
| 827 | 素材剥 | ３Ｃ－13・Ⅱａ | 花崗岩 | 8.31 | 7.22 | 2.32 | 196.26 | － | － | |
| 828 | 素材剥 | ３Ｄ－17・Ⅱａ | 花崗岩 | 9.30 | 6.53 | 4.43 | 338.64 | － | － | |
| 829 | 礫 | 西１・Ⅱａ | 砂岩 | 1.28 | 1.18 | 0.42 | 0.81 | － | － | |
| 830 | 礫 | ４Ｃ－21・Ⅱａ～Ⅲ | 凝灰岩 | 2.48 | 2.03 | 1.46 | 5.68 | － | － | ▲ |
| 831 | 礫 | ４Ｄ－17・Ⅱａ～Ⅲ | 砂岩 | 7.99 | 3.82 | 1.34 | 25.77 | － | － | ▲ |
| 832 | 礫 | 東５・Ⅰ | 頁岩 | 3.61 | 3.03 | 2.81 | 28.25 | － | － | ▲ |
| 833 | 礫 | ３Ｄ－１・Ⅱａ | 砂岩 | 4.41 | 4.68 | 1.95 | 22.32 | － | － | ▲ |
| 834 | 有孔 | ３Ｃ－18・Ⅱａ | 頁岩 | 1.93 | 2.30 | 1.00 | 4.53 | － | － | |

【略号】
＜出土地点・層位＞　住状：住居状遺構、土：土坑、焼：焼土遺構、炉：炉跡
上：上位、下：下位、南：南側、ベ：ベルト
＜石質＞　ホルン：ホルンフェルス、細閃：細粒閃緑岩、斜砂岩：斜長石砂岩、ペグ：ペグマタイト、玉髄：玉髄(瑪瑙)
＜備考＞　残：残存率、Ａ：完形、Ｂ：1/2～1/4、Ｃ：1/4未満、▲：被熱、■：黒色付着物

# 第Ⅴ章　まとめ

今回の発掘調査で検出された遺構・出土した遺物の主な時代・時期は縄文時代早期中葉と後期初頭から前葉の２時期である。この時期の調査成果を中心に列記し、まとめとする。

（１）縄文時代早期中葉に関しては、包含層や遺構の覆土中から物見台式や吹切沢式等の土器が出土しているが、その中に264Ａ・Ｂ、265等、南東北を中心とする大寺式・常世式に類似すると考えられる土器が見られる点に本遺跡の特徴がある。同時期と考えられる遺構が検出されなかったため、詳細は今後の調査成果を待たねばならないが、少なくとも福島県を中心とする南東北との交流が窺える貴重な資料と言えよう。

（２）縄文時代後期初頭から前葉に関しては、門前式や南境式等の土器が出土するとともに、少なくとも39基の土坑が検出された。この土坑の多くは断面形がフラスコ状を呈した、フラスコ状土坑である。この土坑は貯蔵用の施設と考えられている遺構であり、まとまって検出されたことを考えると、竪穴住居跡等の居住空間は確認されなかったが、本調査区が当該期の集落の一部であると判断して良かろう。

（３）集落の中心となる竪穴住居などの構築物は本調査区の南西側に広がる緩斜面に存在すると考えられる。

【引用・参考文献】

（財）岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター

1982『寒風遺跡発掘調査報告書国道283号線道路改良工事関連遺跡発掘調査』岩埋文調査報告書第43集（註）

1991『高瀬Ⅰ遺跡発掘調査報告書猿ヶ石川中小河川改修関連発掘調査』岩埋文調査報告書第155集

2000『篠館跡発掘調査報告書一般国道283号仙人峠道路改築事業関連遺跡発掘調査』岩埋文調査報告書第353集

2002『権現前遺跡発掘調査報告書ほ場整備（飯豊地区）事業関連遺跡発掘調査』岩埋文調査報告書第384集

2002『岩手県埋蔵文化財発掘調査略報（平成13年）』岩埋文調査報告書第397集

2003『岩手県埋蔵文化財発掘調査略報（平成14年）』岩埋文調査報告書第423集

2004『九重沢遺跡発掘調査報告書遠野第二ダム建設事業関連遺跡発掘調査』岩埋文調査報告書第435集

2004『栃洞Ⅱ遺跡発掘調査報告書遠野第二ダム建設事業関連遺跡発掘調査』岩埋文調査報告書第436集

2004『平倉観音遺跡発掘調査報告書県営ほ場整備猫川左岸地区工事関連遺跡発掘調査』岩埋文調査報告書第448集

遠野市教育委員会

1991『蓮田遺跡県営圃場整備事業松崎地区関連遺跡発掘調査』岩手県遠野市埋蔵文化財調査報告書第３集

1991『高瀬Ⅱ遺跡－猿ヶ石川中小河川改修事業に伴う埋蔵文化財発掘調査－』
遠野市埋蔵文化財調査報告書第４集

1994『本宿遺跡－遠野市立土淵中学校建設に伴う遺跡発掘調査－』遠野市埋蔵文化財調査報告書第７集

1997『寒風Ⅰ遺跡－遠野道の駅整備事業関連遺跡発掘調査－』遠野市埋蔵文化財調査報告書第10集

1998『甲子遺跡県営担い手育成基盤事業関連遺跡発掘調査（赤沢川地区第11号委託）』
遠野市埋蔵文化財調査報告書第11集

2002『新田Ⅱ遺跡』遠野市埋蔵文化財調査報告書第13集

註　岩埋文調査報告書は岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書の略である。

# 附編　岩手県遠野市夫婦石袖高野遺跡の火山灰分析

株式会社古環境研究所

## 1．調査分析の目的

東北地方北部岩手県域には、十和田、岩手、秋田駒ヶ岳、焼石岳、鳴子など東北地方の火山のほか、洞爺、三瓶、御岳、姶良、阿蘇など遠方の火山に由来するテフラ（火山砕屑物、いわゆる火山灰）が数多く認められる。テフラの中には、噴出年代が明らかにされている指標テフラがあり、これらとの層位関係を遺跡で求めることで、遺構の構築年代や遺物包含層の堆積年代を知ることができるようになっている。そこで、夫婦石袖高野遺跡において発掘調査担当者により採取されたテフラ試料について、テフラ組成分析と屈折率測定を行って、試料に含まれるテフラの起源についての記載を行うことになった。

## 2．テフラ組成分析

### （1）分析試料と分析方法

試料を対象として、火山ガラス比分析と重鉱物組成分析を合わせたテフラ組成分析を行った。分析の手順は次の通りである。

1）試料10gを秤量。

2）超音波洗浄装置により泥分を除去。

3）恒温乾燥器により80°Cで乾燥。

4）分析篩により1/4～1/8㎜の粒子を篩別。

5）偏光顕微鏡下で250粒子を観察し、火山ガラスの形態色調別比率を求める（火山ガラス比分析）。

6）偏光顕微鏡下で重鉱物250粒子を観察し、重鉱物組成を明らかにする（重鉱物組成分析）。

### （2）分析結果

分析結果をダイヤグラムにして図1に、火山ガラス比と重鉱物組成の内訳を表1と表2に示す。試料に含まれる火山ガラスは、量が多い順に、スポンジ状に発泡した軽石型（10.8%）、繊維束状に発泡した軽石型（4.4%）、分厚い中間型（2.4%）、平板状のいわゆるバブル型（無色透明、2.0%）である。一方、重鉱物としては、量が多い順に斜方輝石（41.2%）、磁鉄鉱（21.2%）、角閃石（16.0%）、黒雲母（11.2%）、単斜輝石（7.6%）が含まれている。

## 3．屈折率測定

### （1）測定試料と測定方法

テフラ試料を対象として、位相差法（新井、1972）をもとに開発された温度変化型屈折率測定装置（古澤地質調査事務所製作、MAIOT）により、屈折率測定を行った。

### （2）測定結果

試料に含まれる火山ガラスの屈折率（n）は、1.508-1.512である。

## 4．考察

現地において層相を観察できなかったことから、詳細についての情報不足は否めないものの、屈折率測定の対象となった試料に含まれる火山ガラスは、その形態や屈折率などから、約5,500年前*1に十和田火山か

ら噴出した十和田中掫テフラ（To-Cu、大池ほか、1966、早川、1983、福田、1986、町田・新井、1992）に由来する可能性が高いと考えられる。

## 5．まとめ

夫婦石袖高野遺跡で検出送付された試料について、テフラ組成分析と屈折率測定を行った。その結果、試料には十和田中掫テフラ（To-Cu、約5,500年前*1）に由来するテフラ粒子が多く含まれていると考えられる。

＊1　放射性炭素（$^{14}C$）年代．町田・新井（2003）によれば、To-Cuの暦年較正年代は約6,000年前と記載されている。

文献

新井房夫（1972）斜方輝石・角閃石の屈折率によるテフラの同定－テフロクロノロジーの基礎的研究。第四紀研究、11、p.254-269。

福田友之（1986）考古学からみた「中掫軽石」の降下年代。弘前大学考古学研究、3、p.4-15。

早川由紀夫（1983）十和田火山中掫テフラ層の分布、粒度組成、年代。火山、第2集、28、p.263-273。

町田　洋・新井房夫（1992）火山灰アトラス。東京大学出版会、276p。

町田　洋・新井房夫（2003）新編火山灰アトラス。東京大学出版会、336p。

町田　洋・新井房夫・森脇　広（1981）日本海を渡ってきたテフラ。科学、51、p.562-569。

大池昭二・中川久夫・七崎　修・松山　力・米倉伸之（1966）馬淵川中・下流沿岸の段丘と火山灰。第四紀研究、5、p.29-35。

### 附表1　火山ガラス比分析

| bw (cl) | bw (pb) | bw (br) | md | pm (sp) | pm (fb) | その他 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 5 | 0 | 0 | 6 | 27 | 11 | 201 | 250 |

数字は粒子数．bw：バブル型、md：中間型、pm：軽石型、cl：無色透明、pb：淡褐色、br：褐色、sp：スポンジ状、fb：繊維束状．

### 附表2　重鉱物組成分析結果

| ol | opx | cpx | ho | bi | mt | その他 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 0 | 103 | 19 | 40 | 28 | 53 | 7 | 250 |

数字は粒子数．ol：カンラン石、opx：斜方輝石、cpx：単斜輝石、ho：角閃石、bi：黒雲母、mt：磁鉄鉱．

# 写　真　図　版

空撮・現況・層序等　：1・2
縄文時代他　遺構写真：3～17
　　遺物写真：18～40

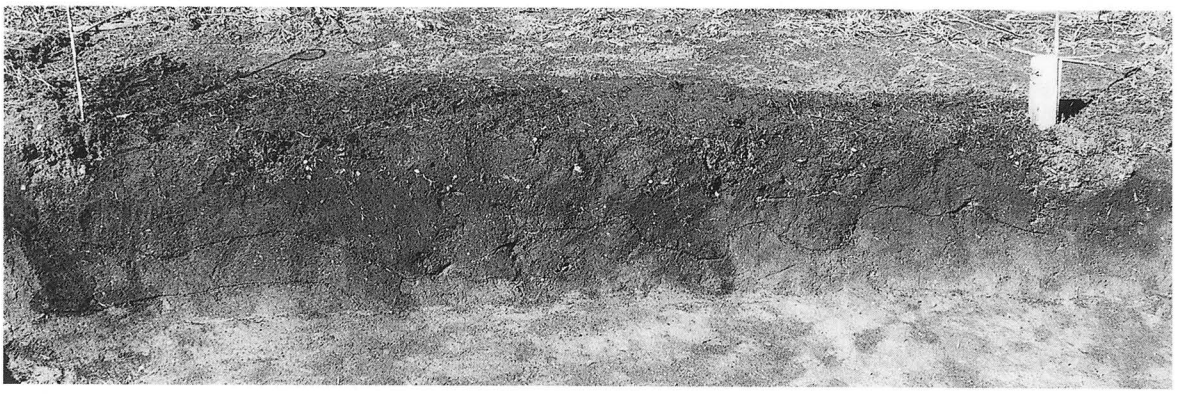
遺跡遠景

刈り払い後

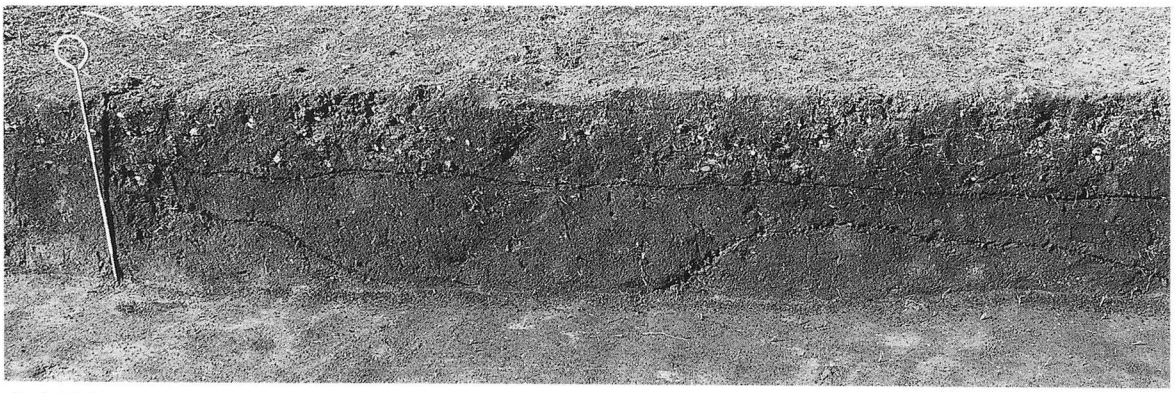
写真図版１　空撮・刈り払い

遺跡現況

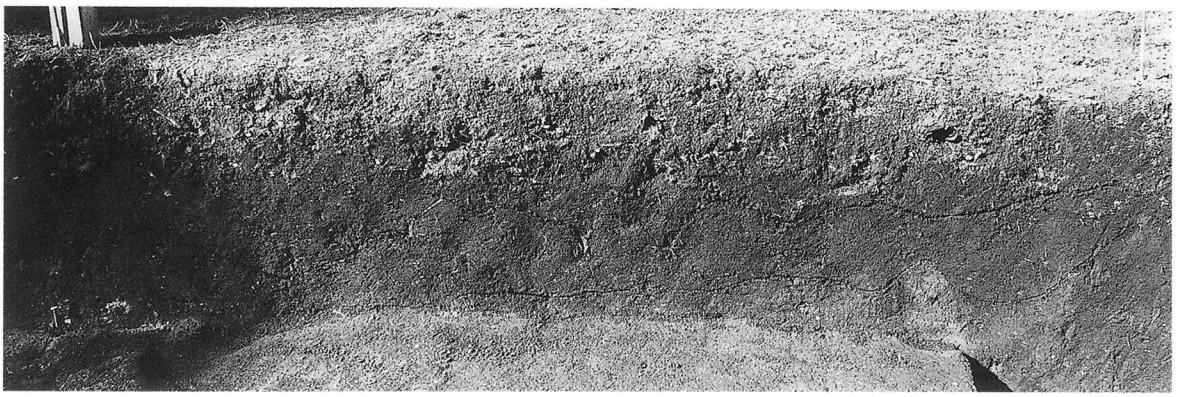
遺跡現況



基本層序 1

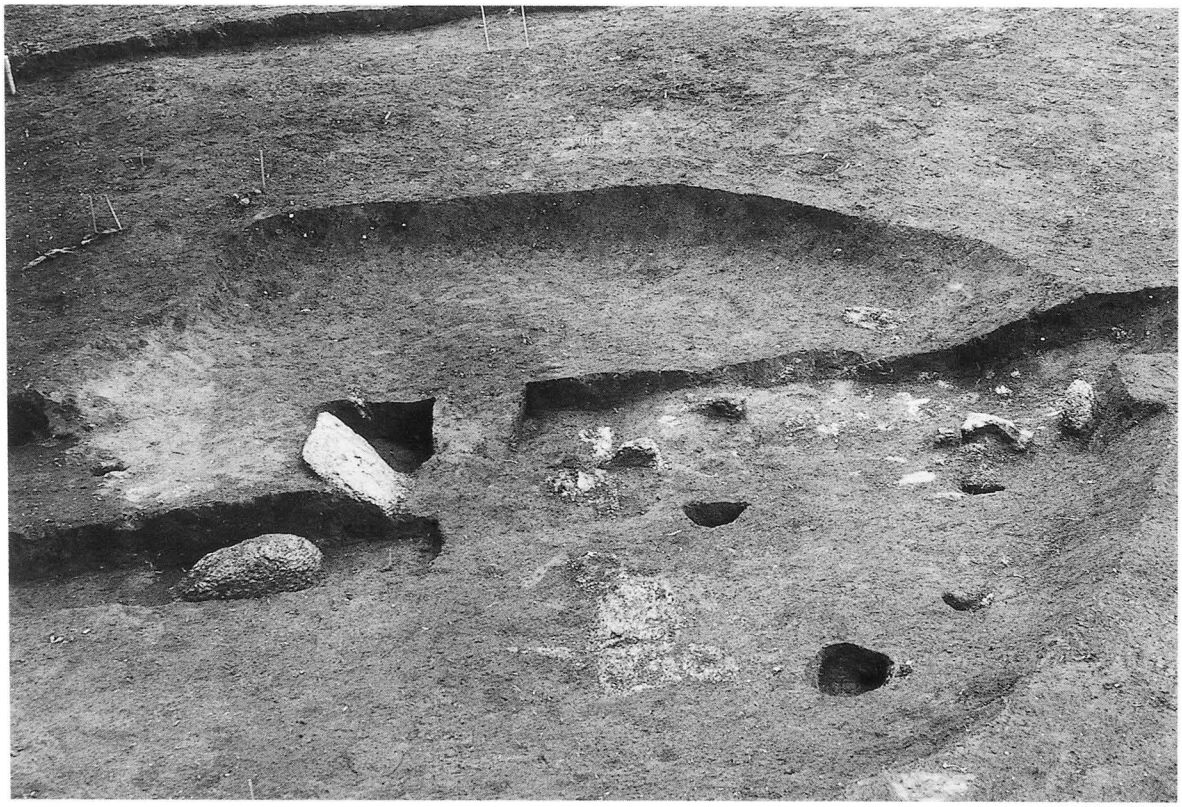


基本層序 2

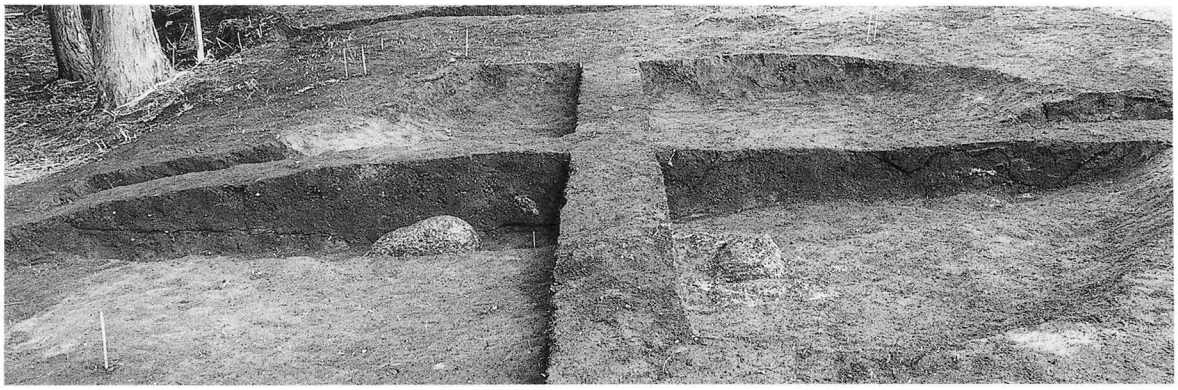


基本層序 3

写真図版２　現況・基本層序



平面

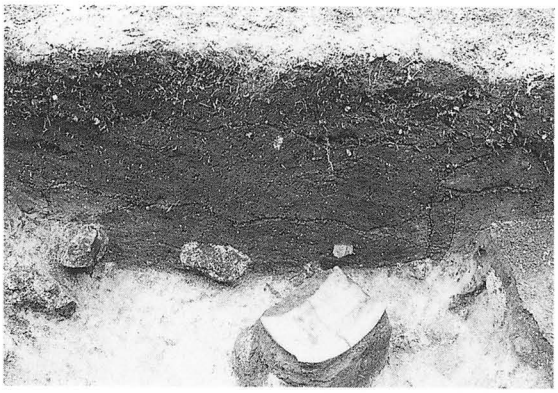


断面（北東から）

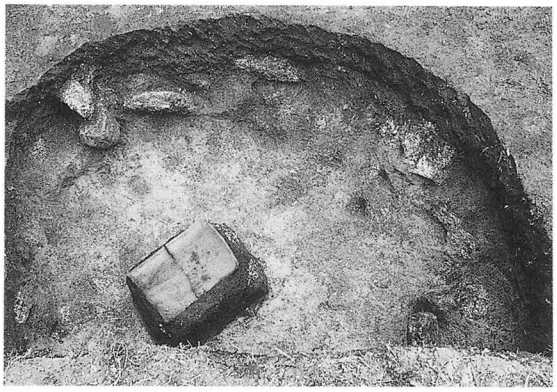
13号住居状遺構　　断面

写真図版３　住居状遺構

1号土坑　平面

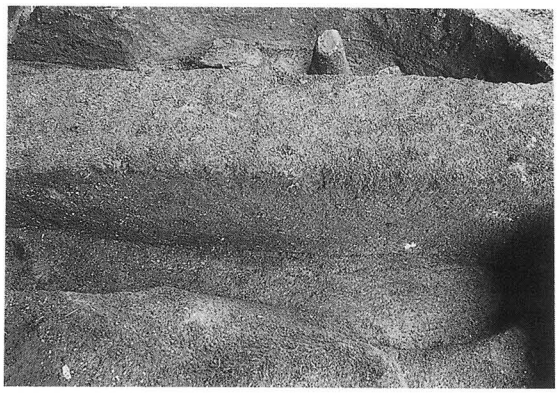


断面

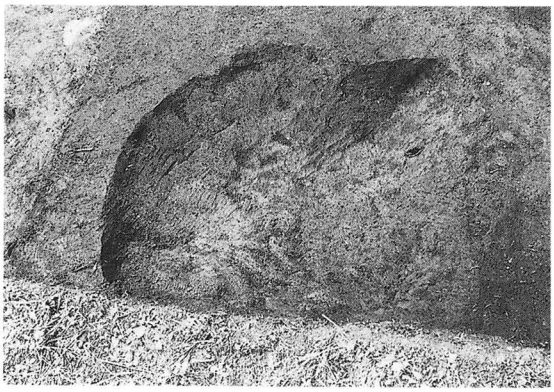


遺物出土状況

3号土坑　平面



断面



7号土坑　平面

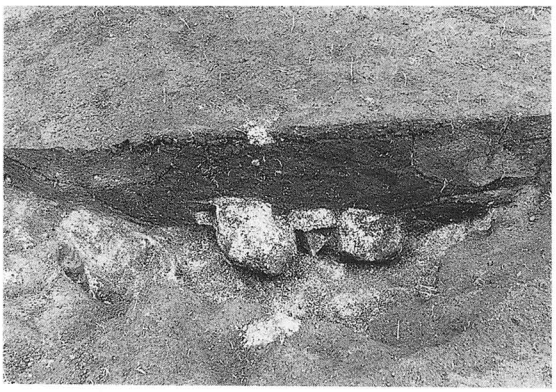
断面

写真図版４　土坑（１）

11号土坑　平面

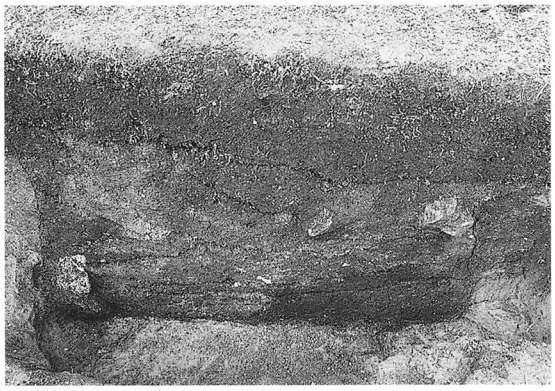
断面

12号土坑　平面

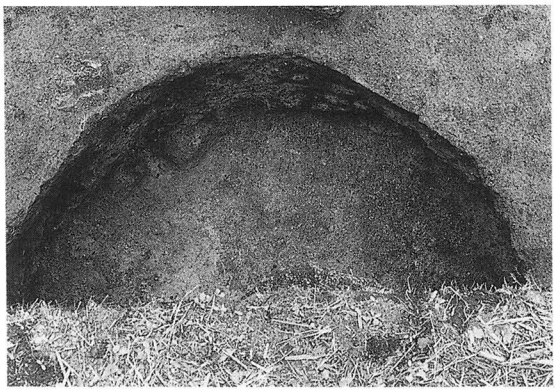


断面

17号土坑　平面



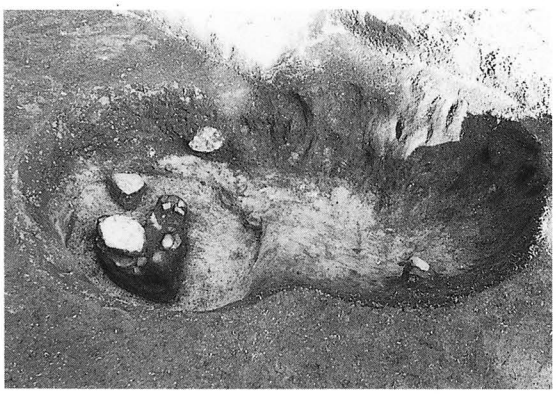
断面



19号土坑　平面

断面

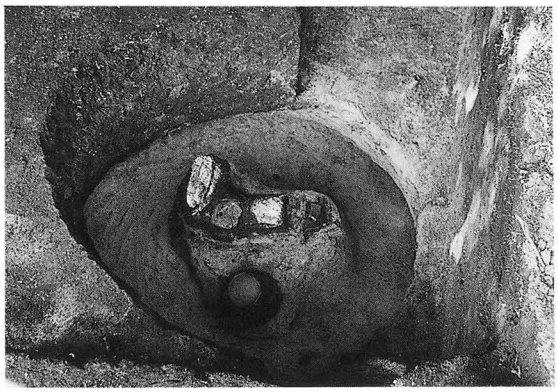
写真図版５　土坑（２）



平面

遺物出土状況

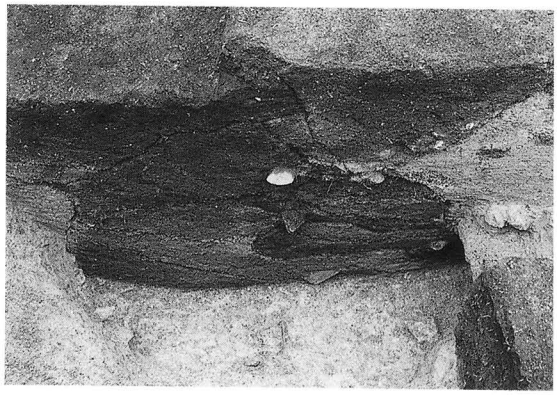
18号土坑　　断面



22号土坑　　平面

断面

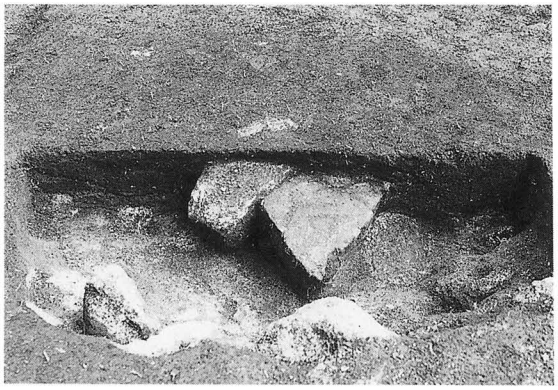
23号土坑　　平面



断面

写真図版６　土坑（３）

26号土坑　平面

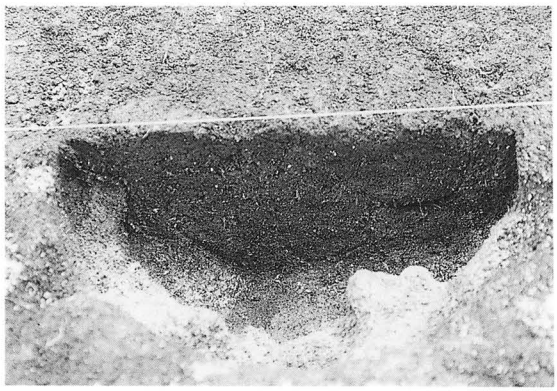


断面

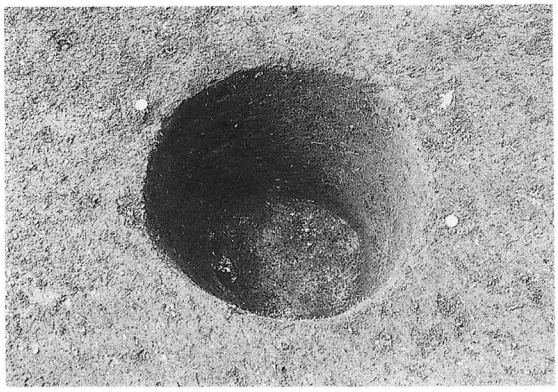
27号土坑　平面

断面

28号土坑　平面



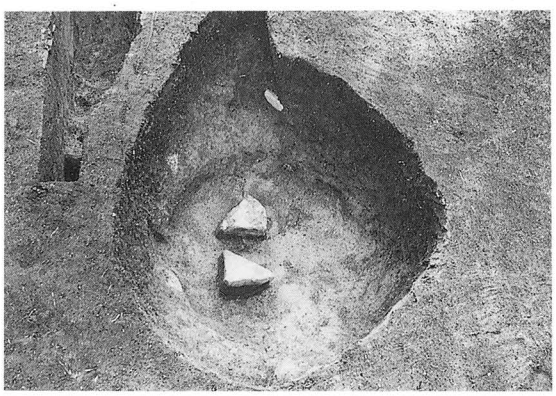
断面



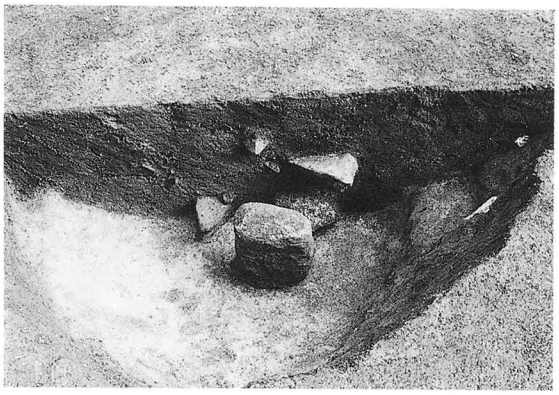
29号土坑　平面

断面

写真図版７　土坑（４）



31号土坑　平面

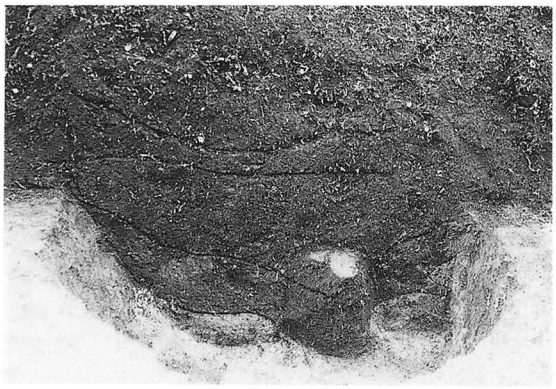


断面

35号土坑　平面

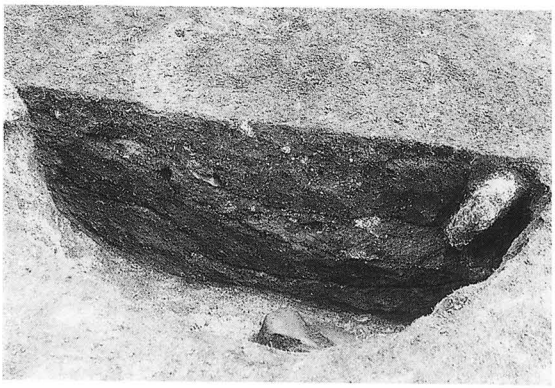
断面

36号土坑　平面



断面

38号土坑　平面

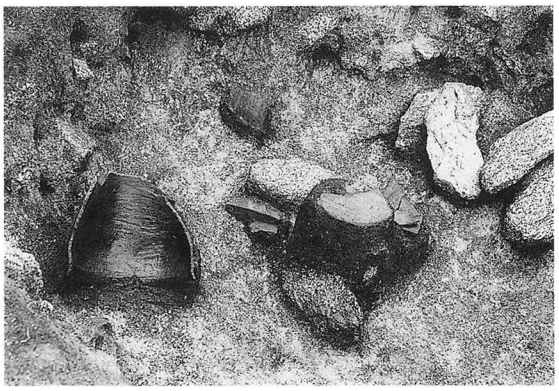


断面

写真図版８　土坑（５）

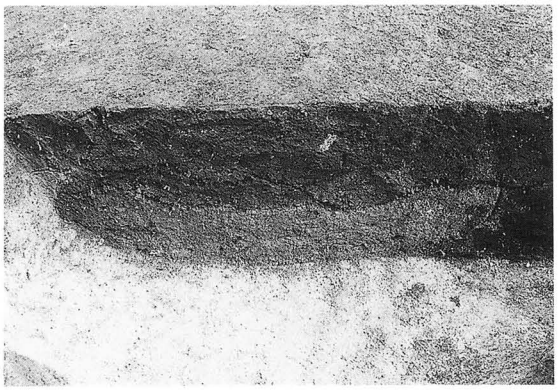
39号土坑　平面

断面



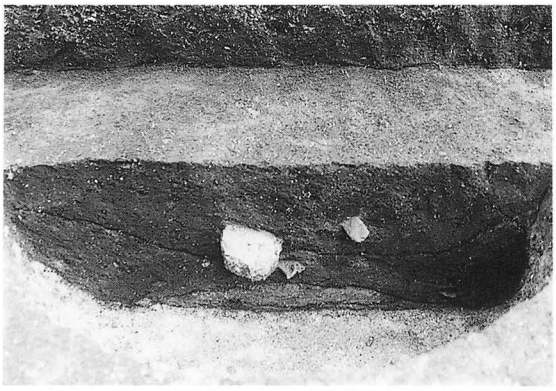
遺物出土状況

40号土坑　平面



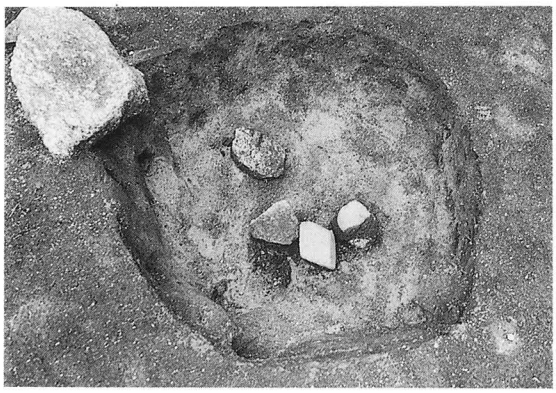
断面

41号土坑　平面



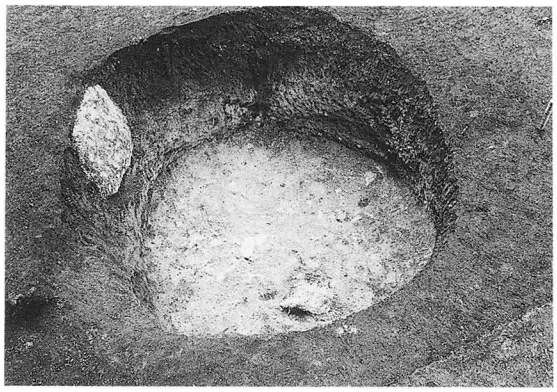
断面

写真図版９　土坑（６）



43号土坑　平面

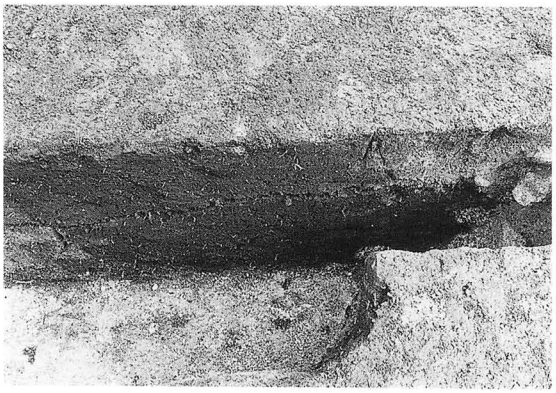
断面



44号土坑　平面

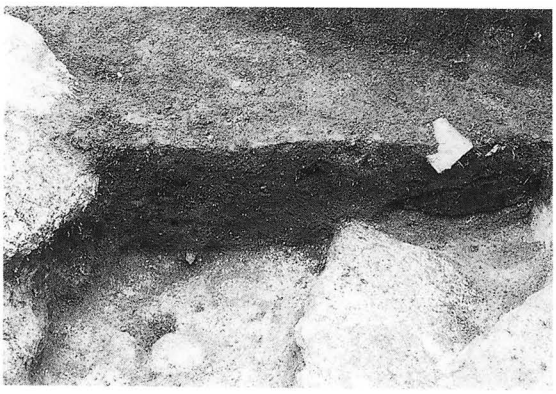
断面

45号土坑　平面



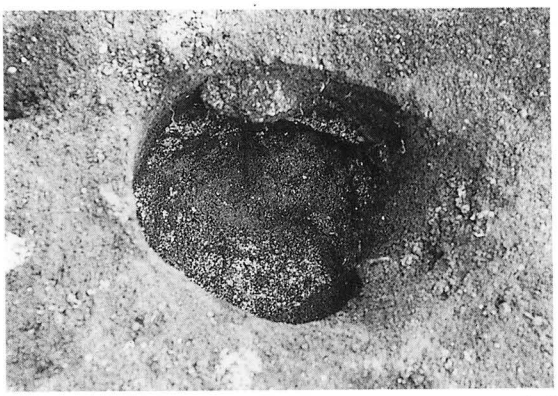
断面

46号土坑　平面

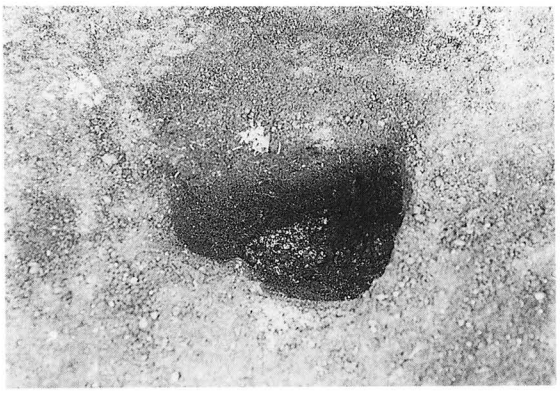


断面

写真図版 10　土坑（7）

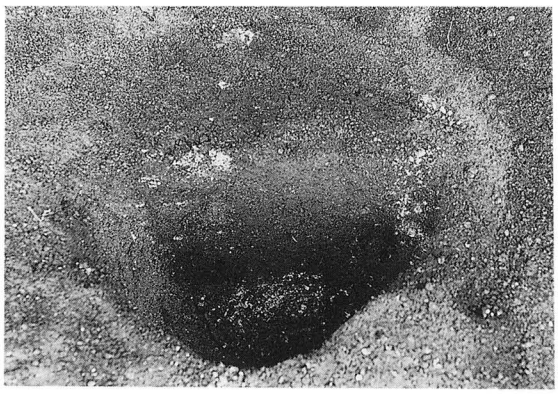


47号土坑　平面



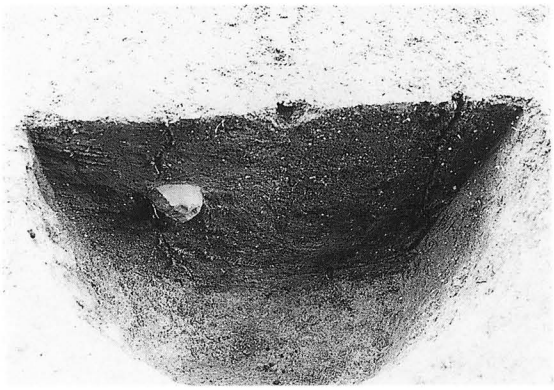
断面

48号土坑　平面

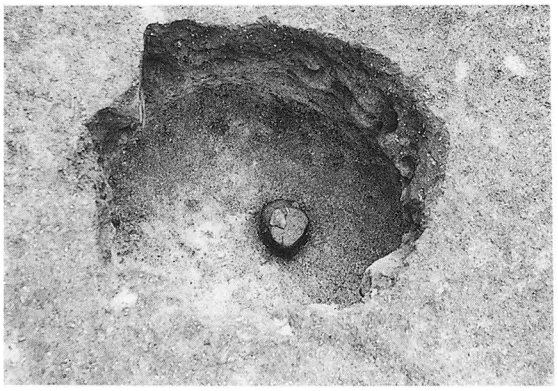


断面

49号土坑　平面



断面

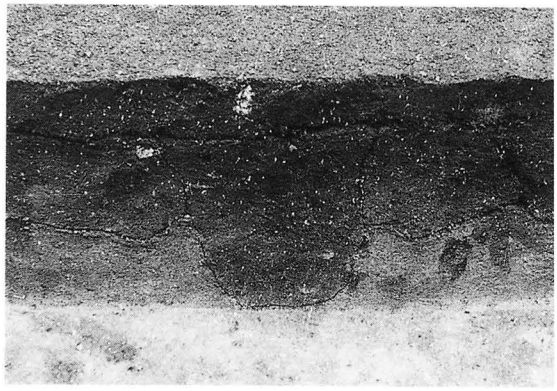


50号土坑　平面

断面

写真図版 11　土坑（8）

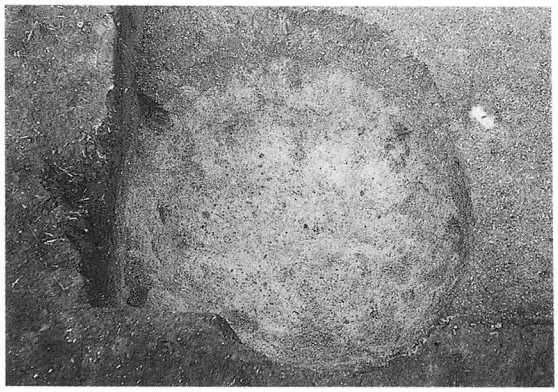
51号土坑　平面



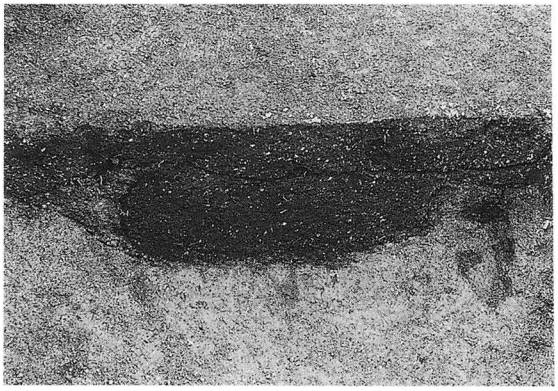
断面

52号土坑　平面

断面

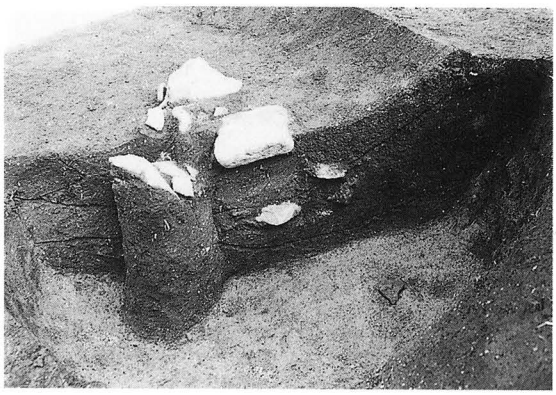


54号土坑　平面



断面

56号土坑　平面



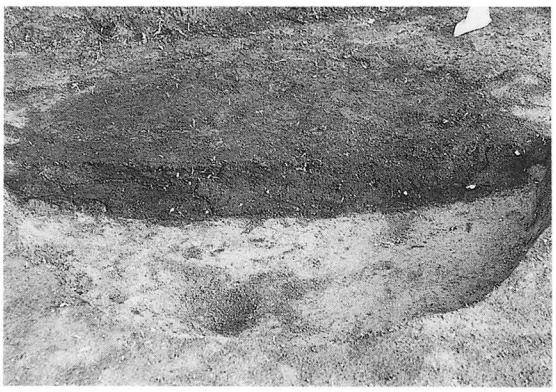
断面

写真図版 12　土坑（9）

58号土坑　平面

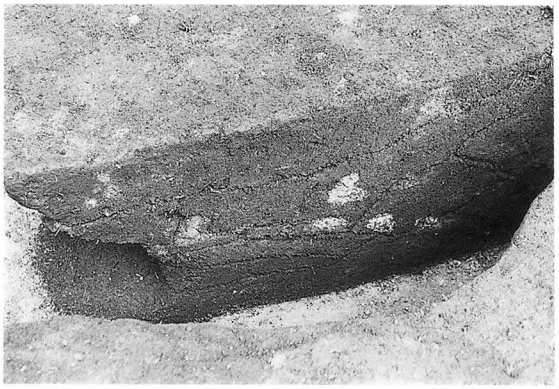
断面

59号土坑　平面



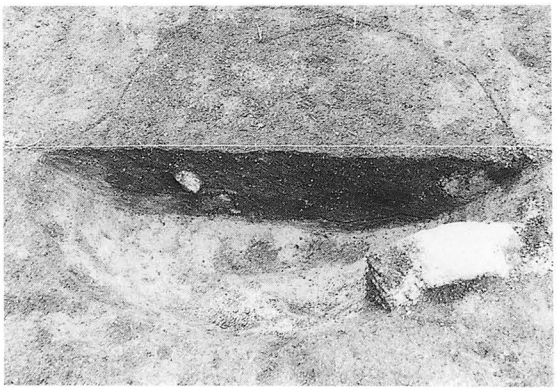
断面

60号土坑　平面



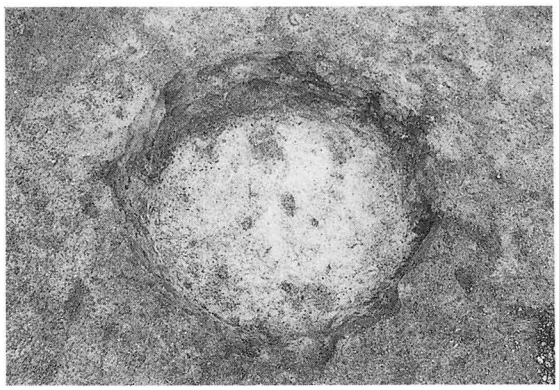
断面

61号土坑　平面

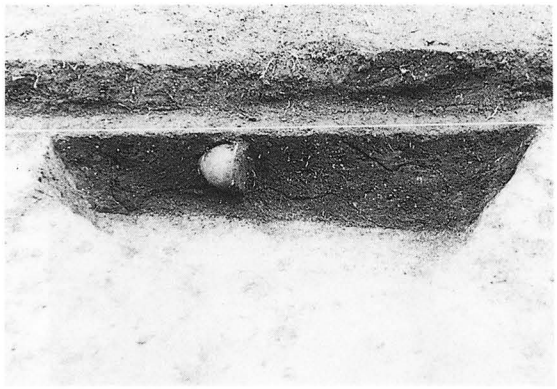


断面

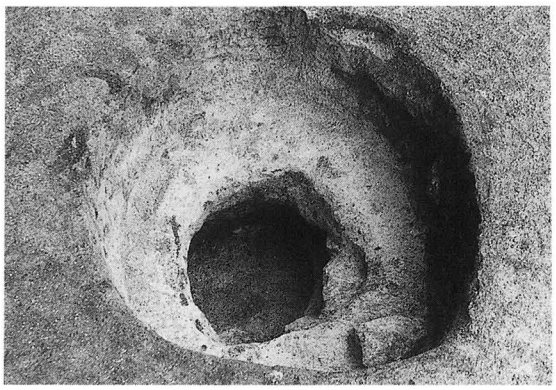
写真図版 13　土坑（10）



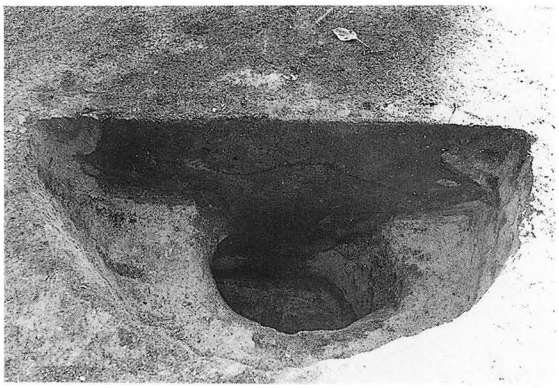
62号土坑　平面



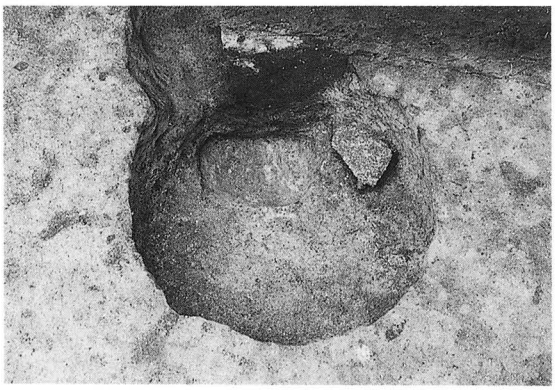
断面



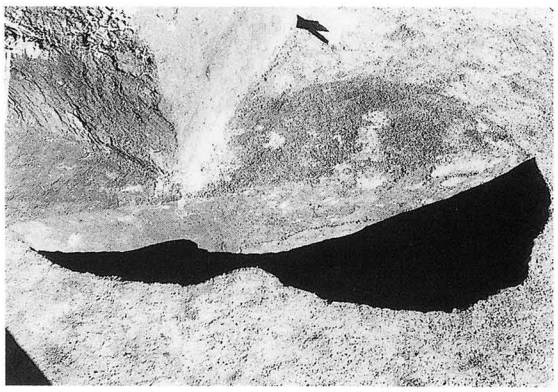
63号土坑　平面



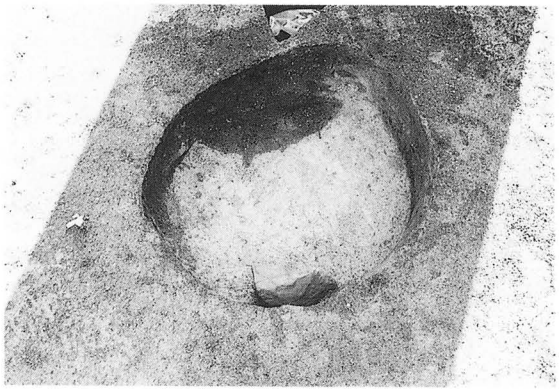
断面



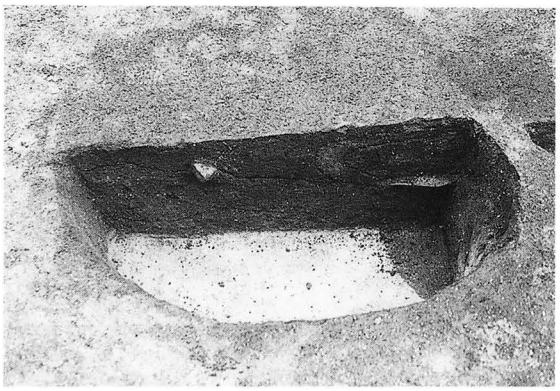
64号土坑　平面



断面



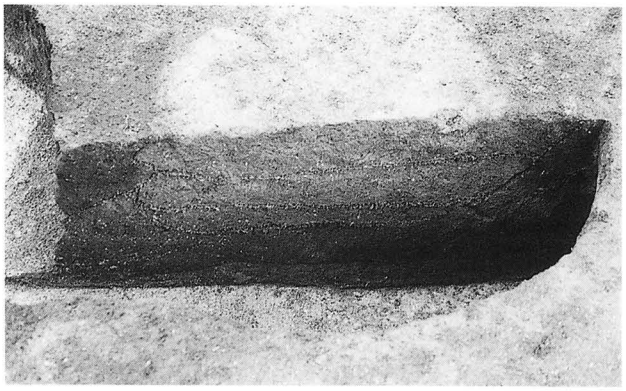
65号土坑　平面



断面

写真図版 14　土坑（11）

66号土坑　平面

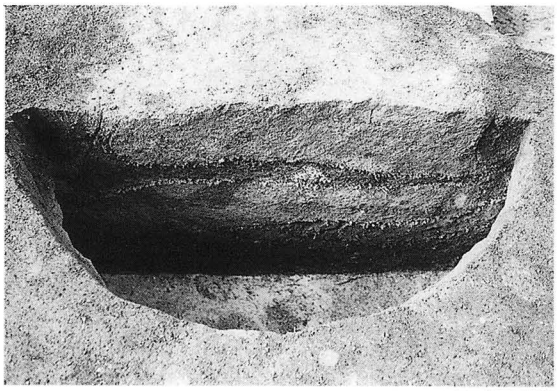


断面

67号土坑　平面

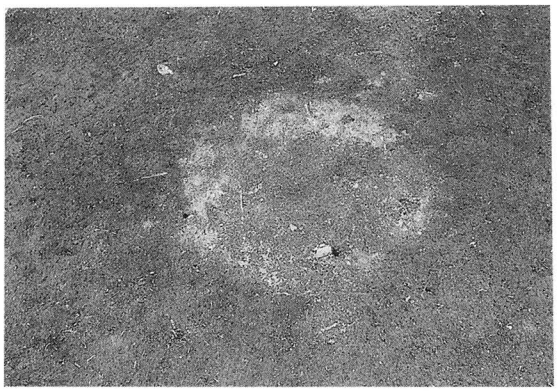
断面

68号土坑　平面



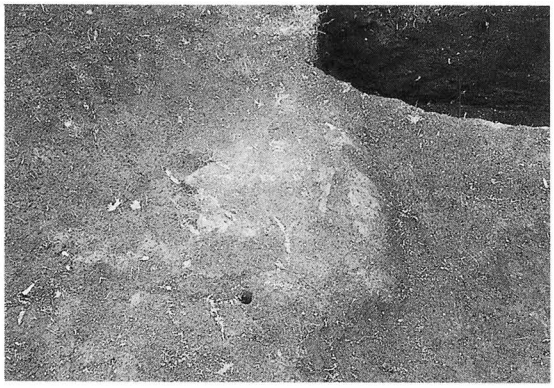
断面

写真図版 15　土坑（12）

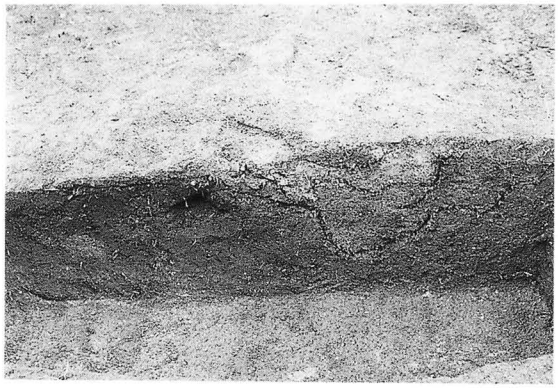


4 号焼土遺構　平面

断面



5 号焼土遺構　平面



断面

6 号焼土遺構　平面

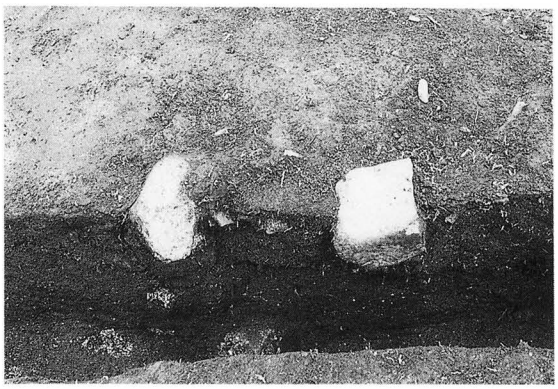
断面

8 号炉跡　平面

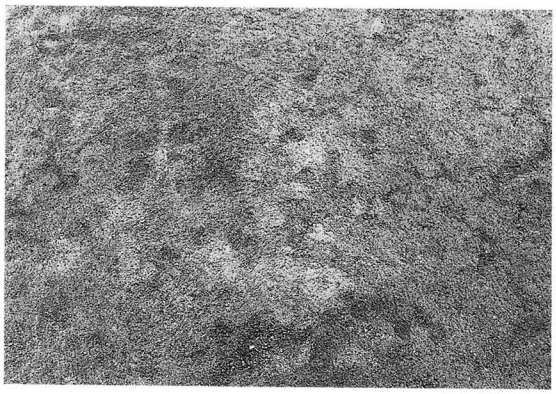
断面

写真図版 16　焼土遺構・炉跡（1）

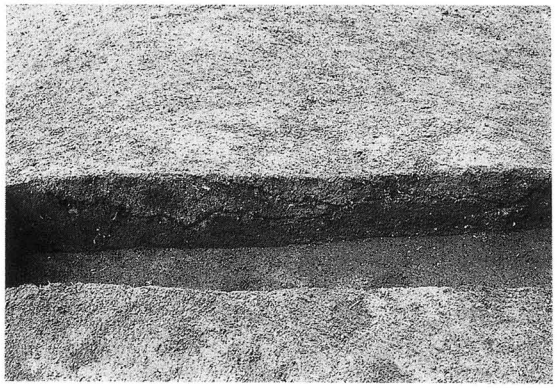
10号炉跡　平面



断面

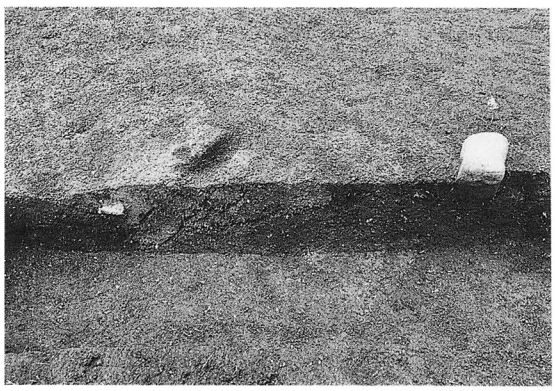


24号焼土遺構　平面



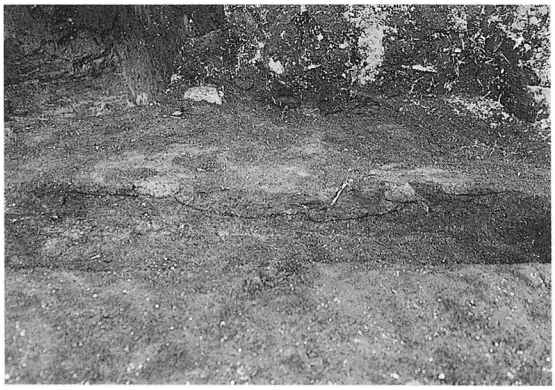
断面

25号焼土遺構　平面



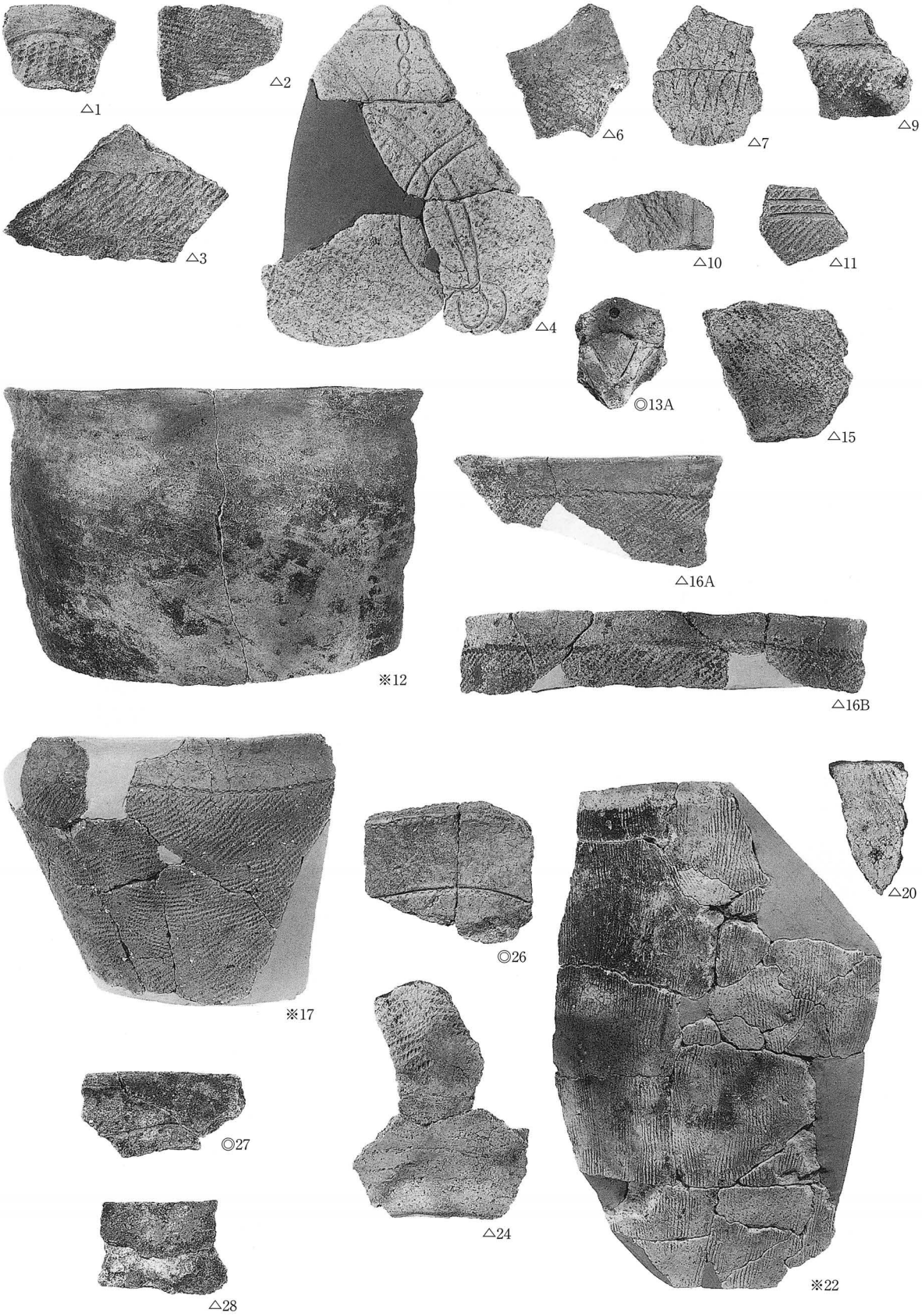
断面

57号焼土遺構　平面

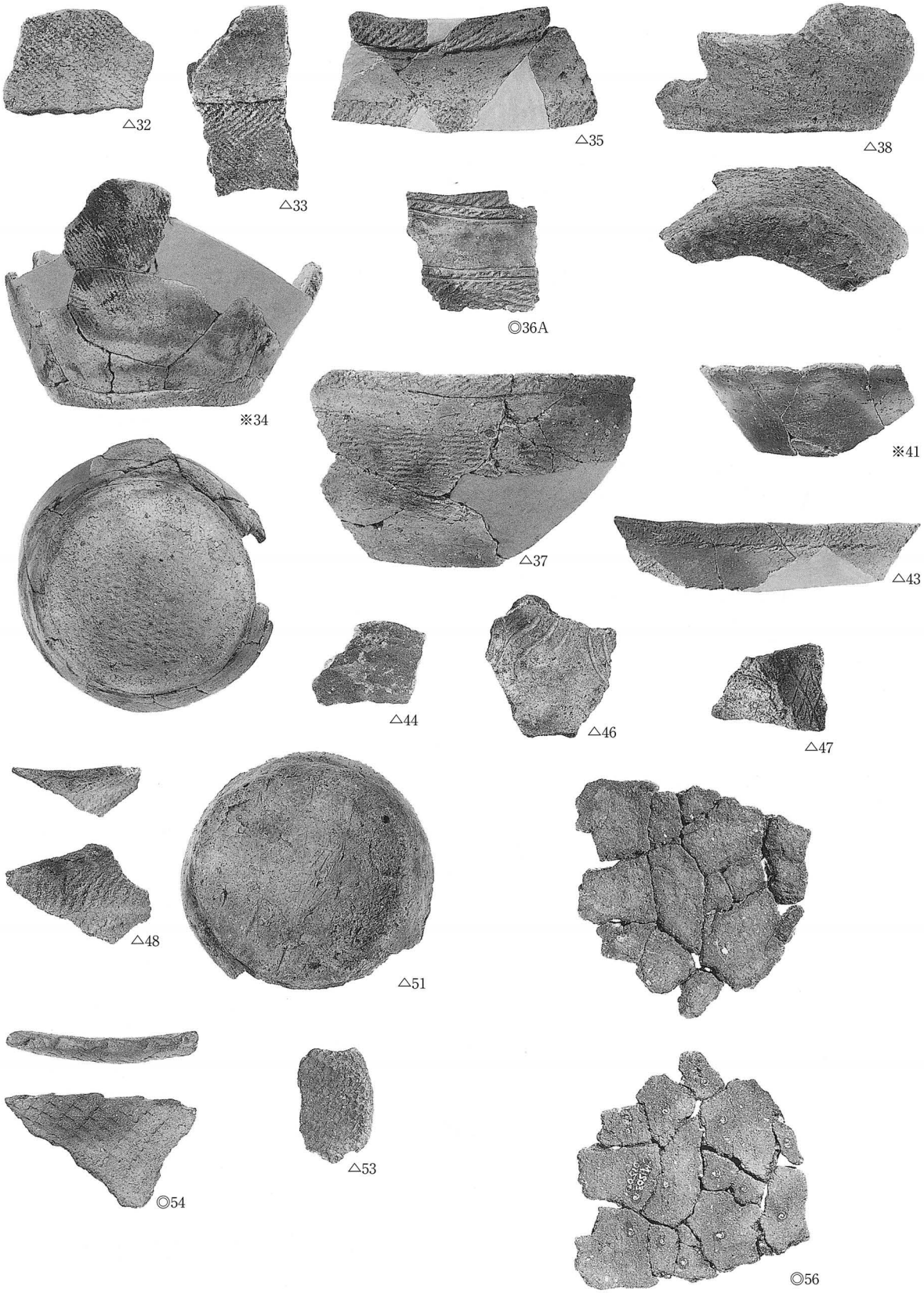


断面

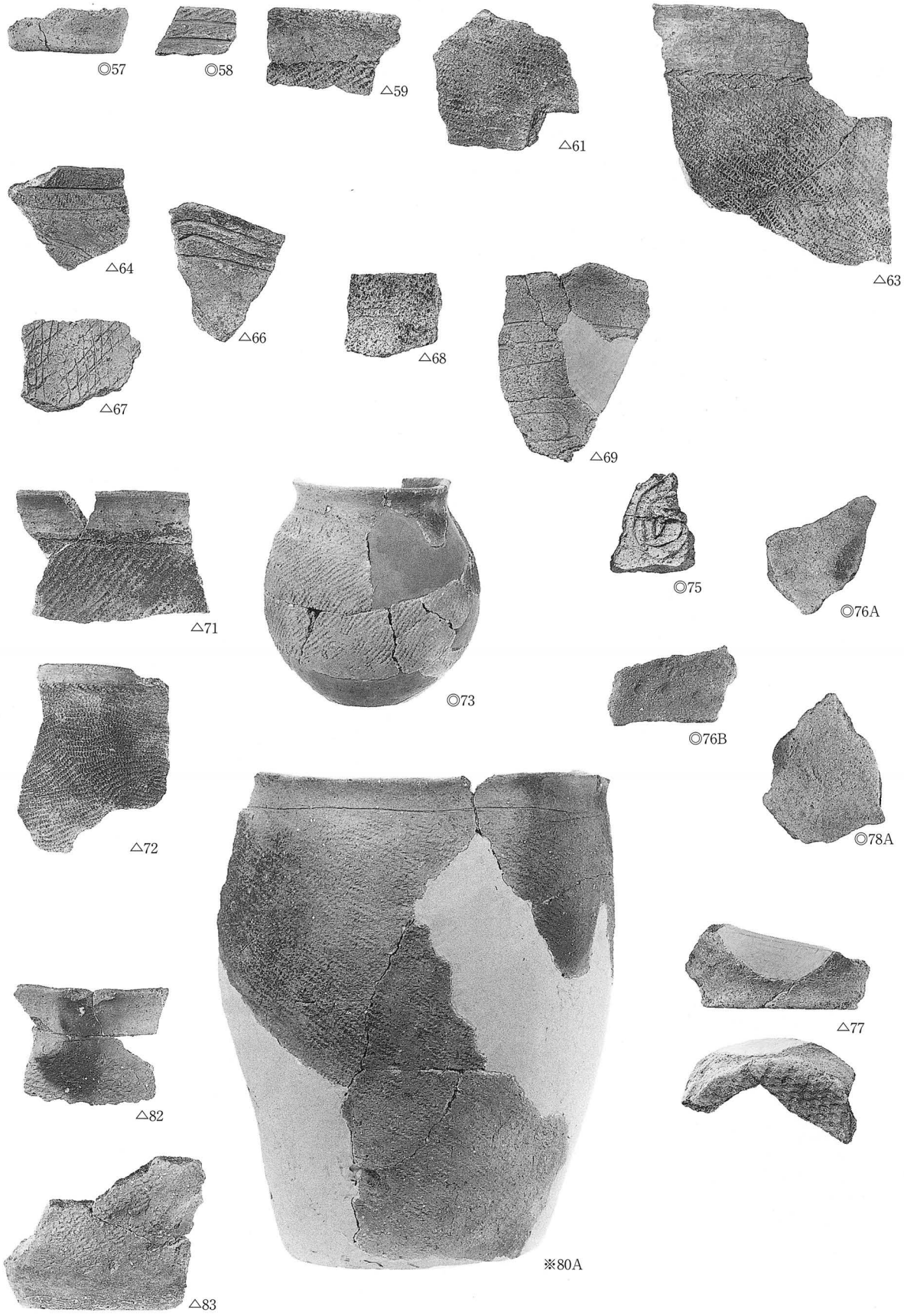
写真図版 17　焼土遺構・炉跡（2）




写真図版 18　遺構内出土遺物（土器①）




写真図版 19　遺構内出土遺物（土器②）



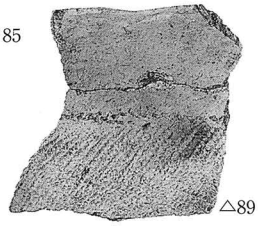

写真図版 20　遺構内出土遺物（土器③）

△84

※85

△86

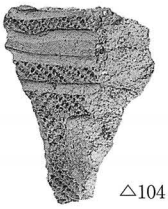
△90


△89

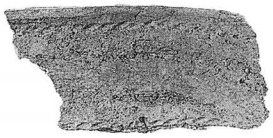
△91

△94

△95


△104

△105

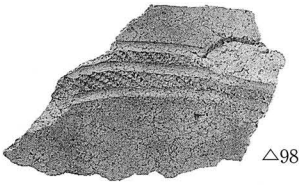

△96

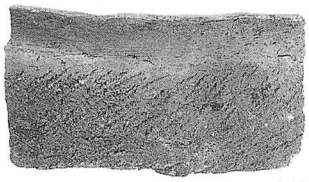
△97

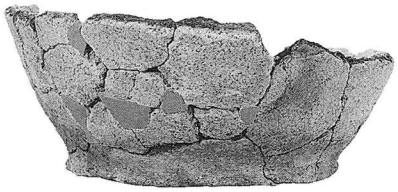
△100

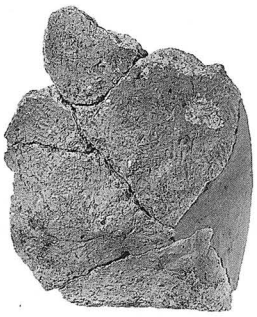
△107

◎106


△98

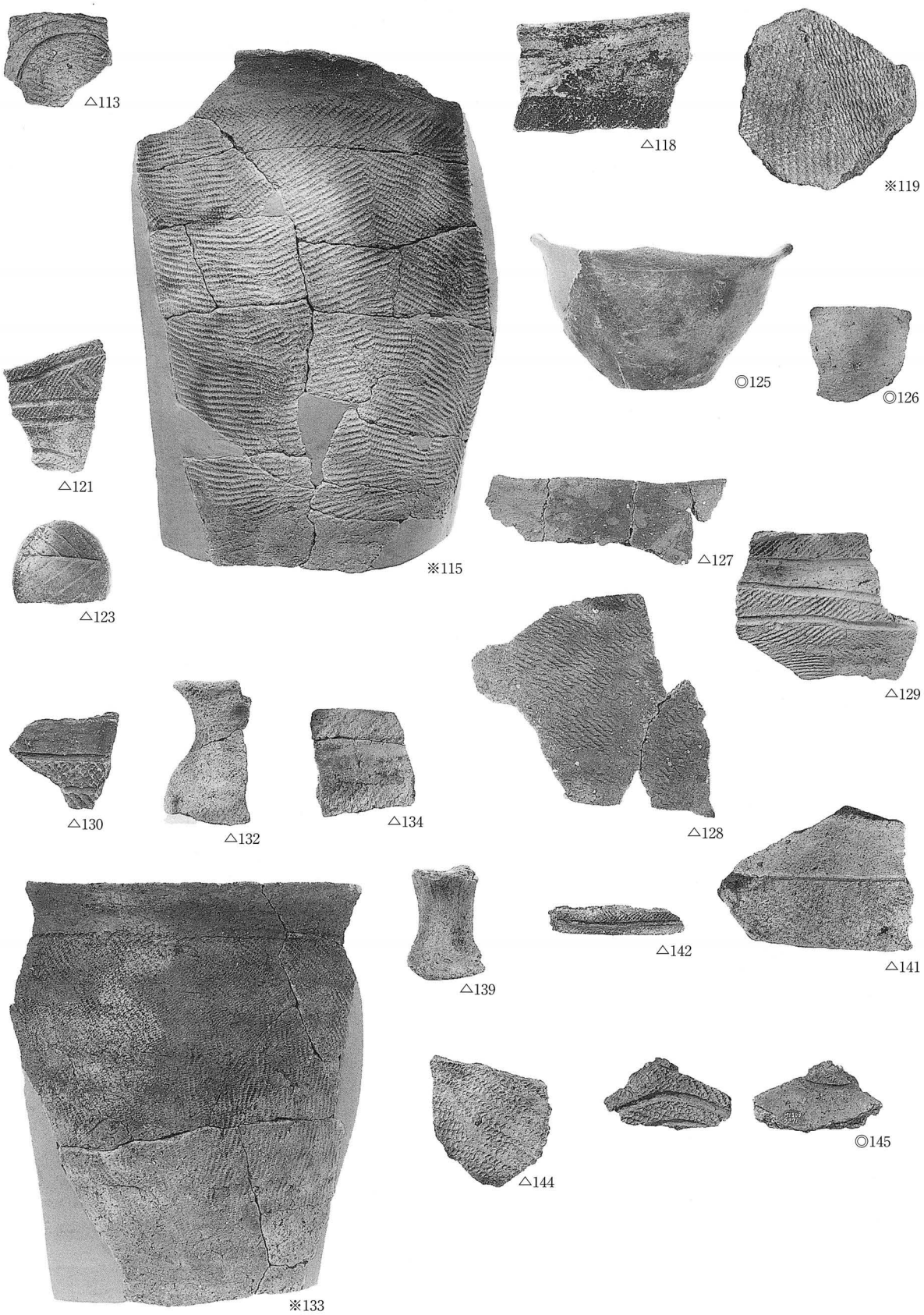

△108


※110


△112

△111

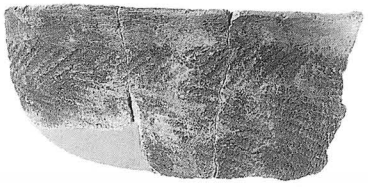
写真図版21　遺構内出土遺物（土器④）



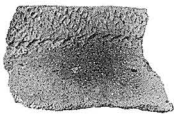

写真図版 22　遺構内出土遺物（土器⑤）

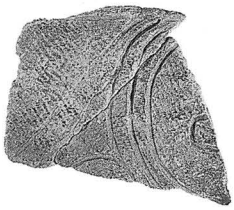
△146

△147


△152

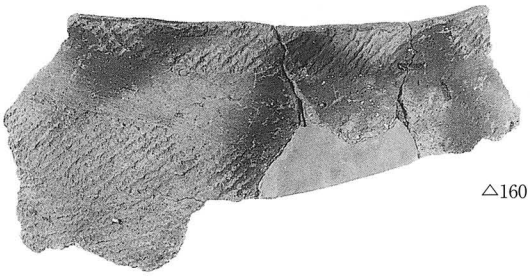
△153

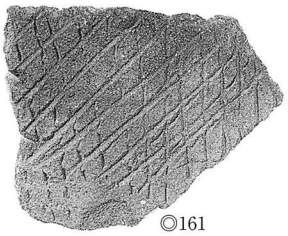

△150

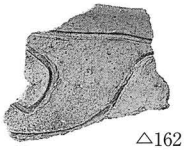

△154

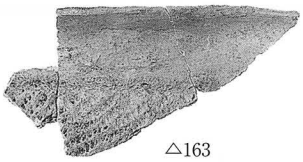
△156

△151

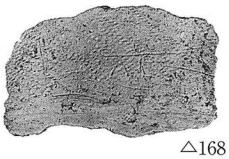

△160


◎161


△162


△163

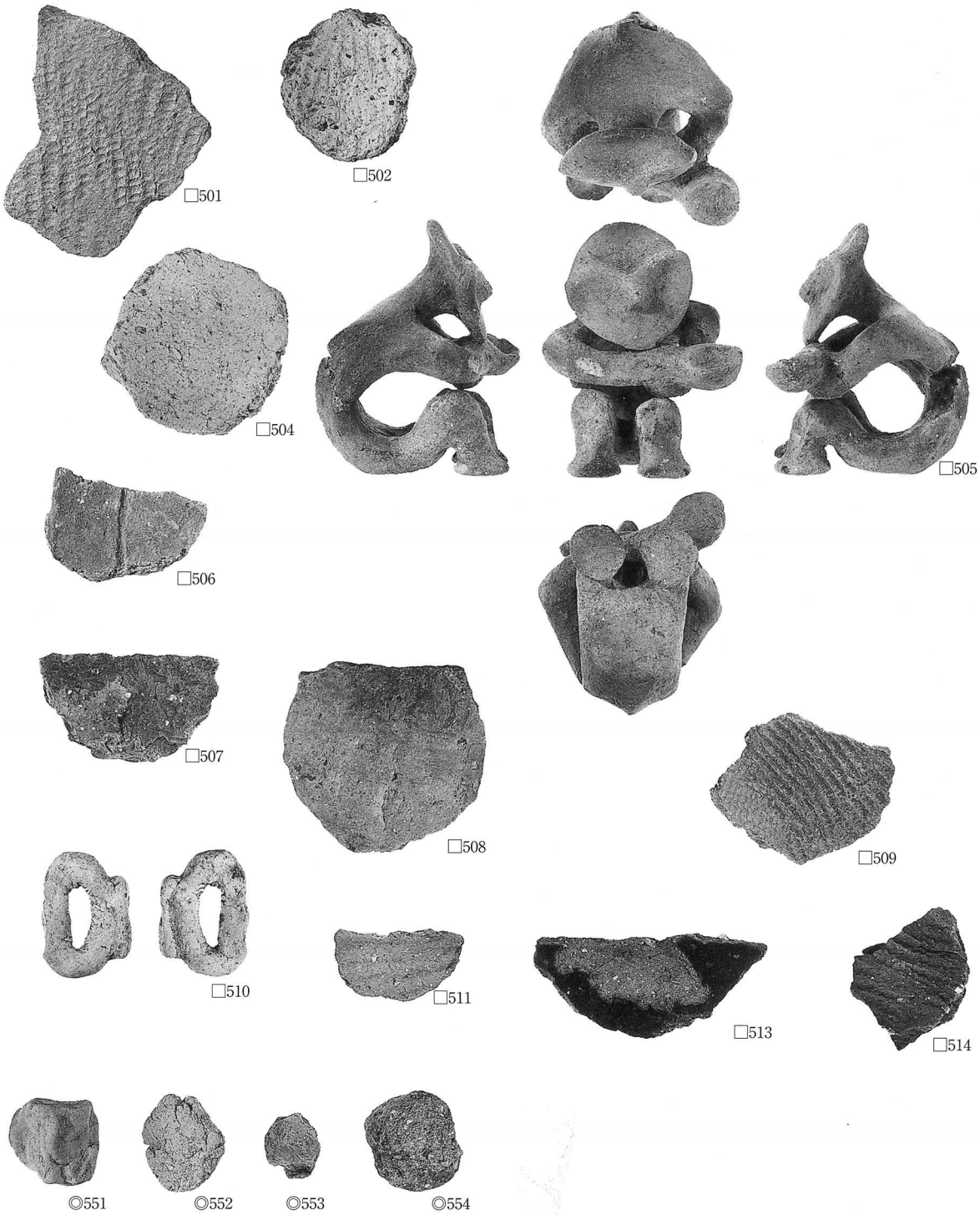
◎165


△168

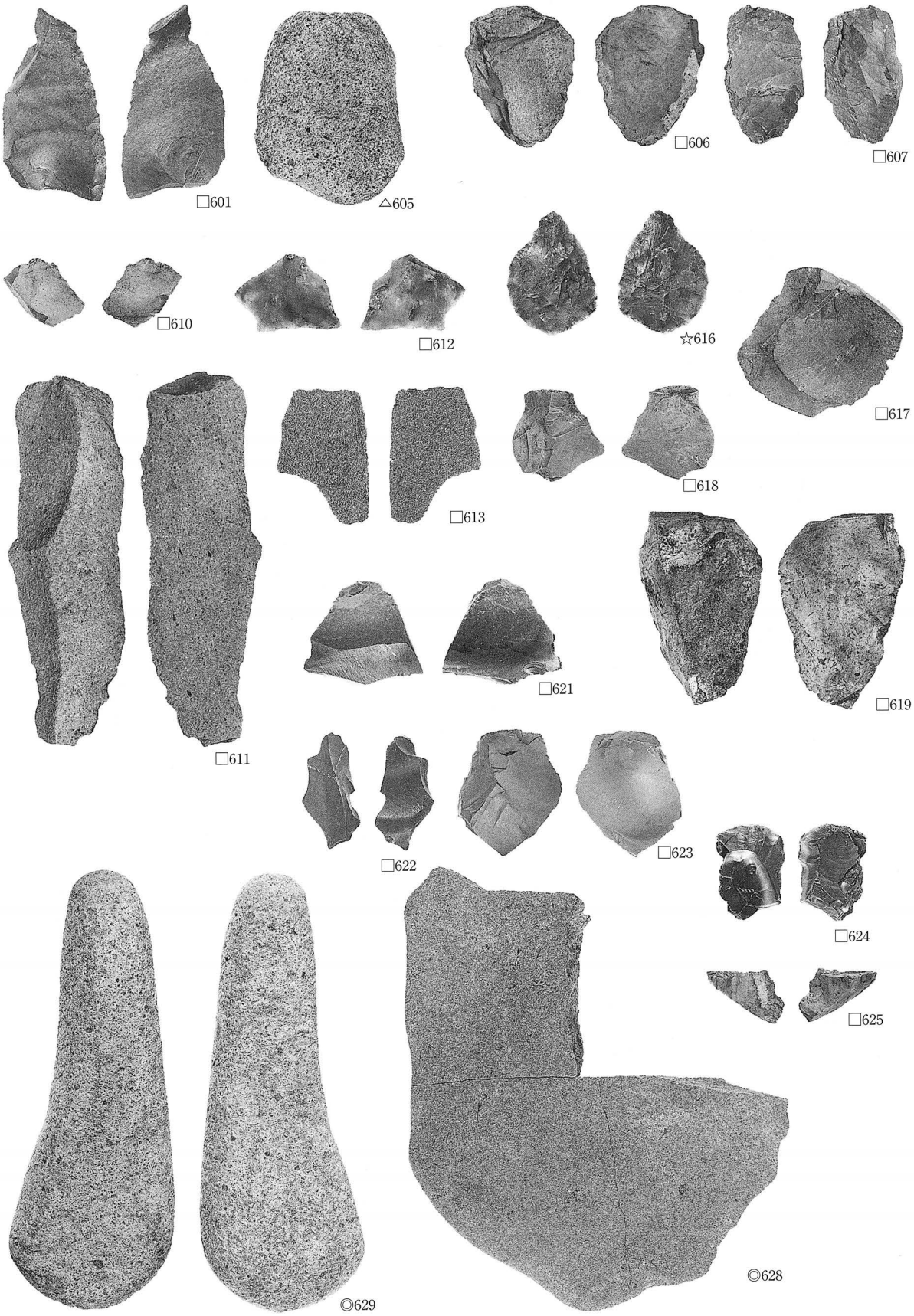
△166

△167

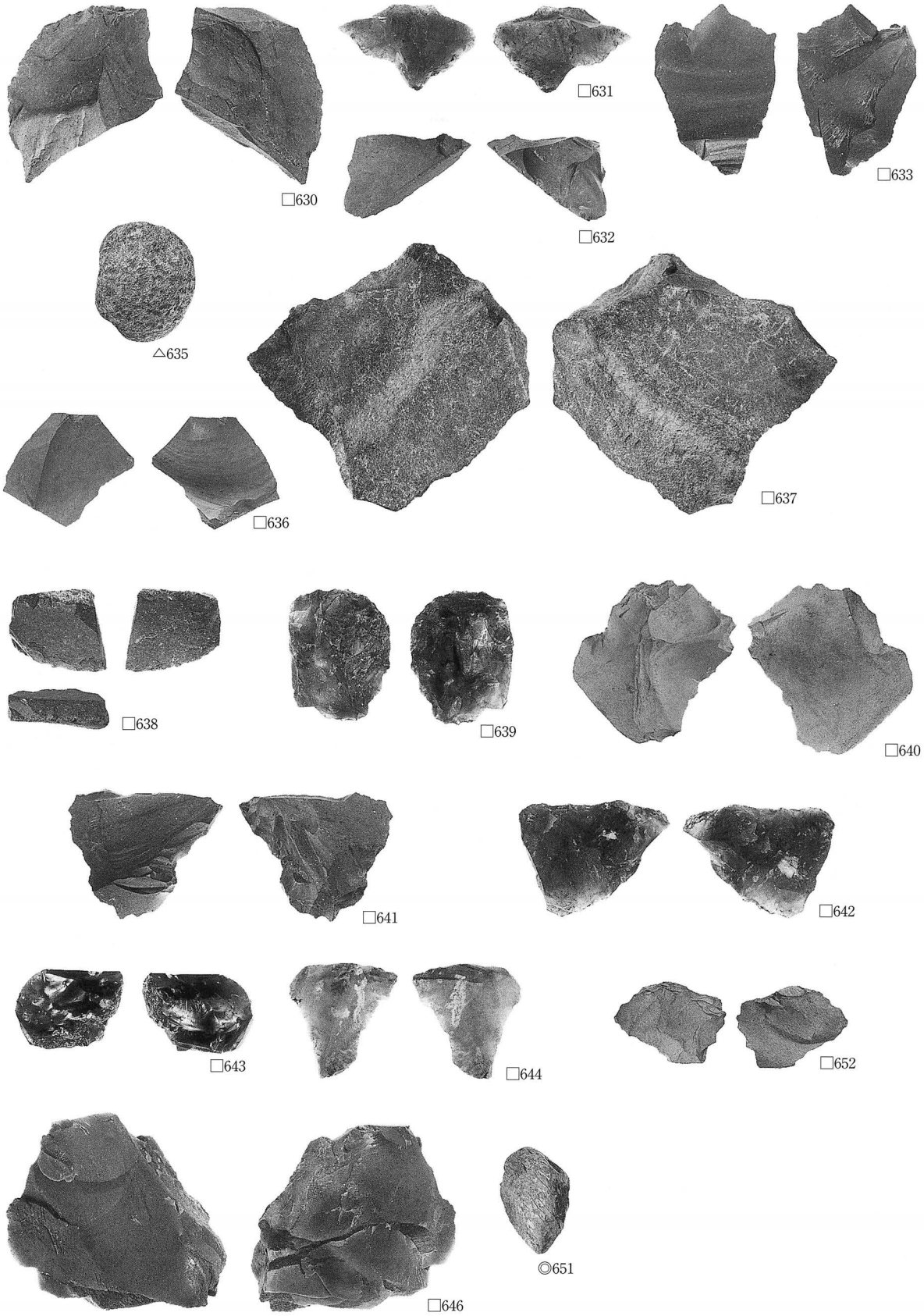
写真図版 23　遺構内出土遺物（土器⑥）



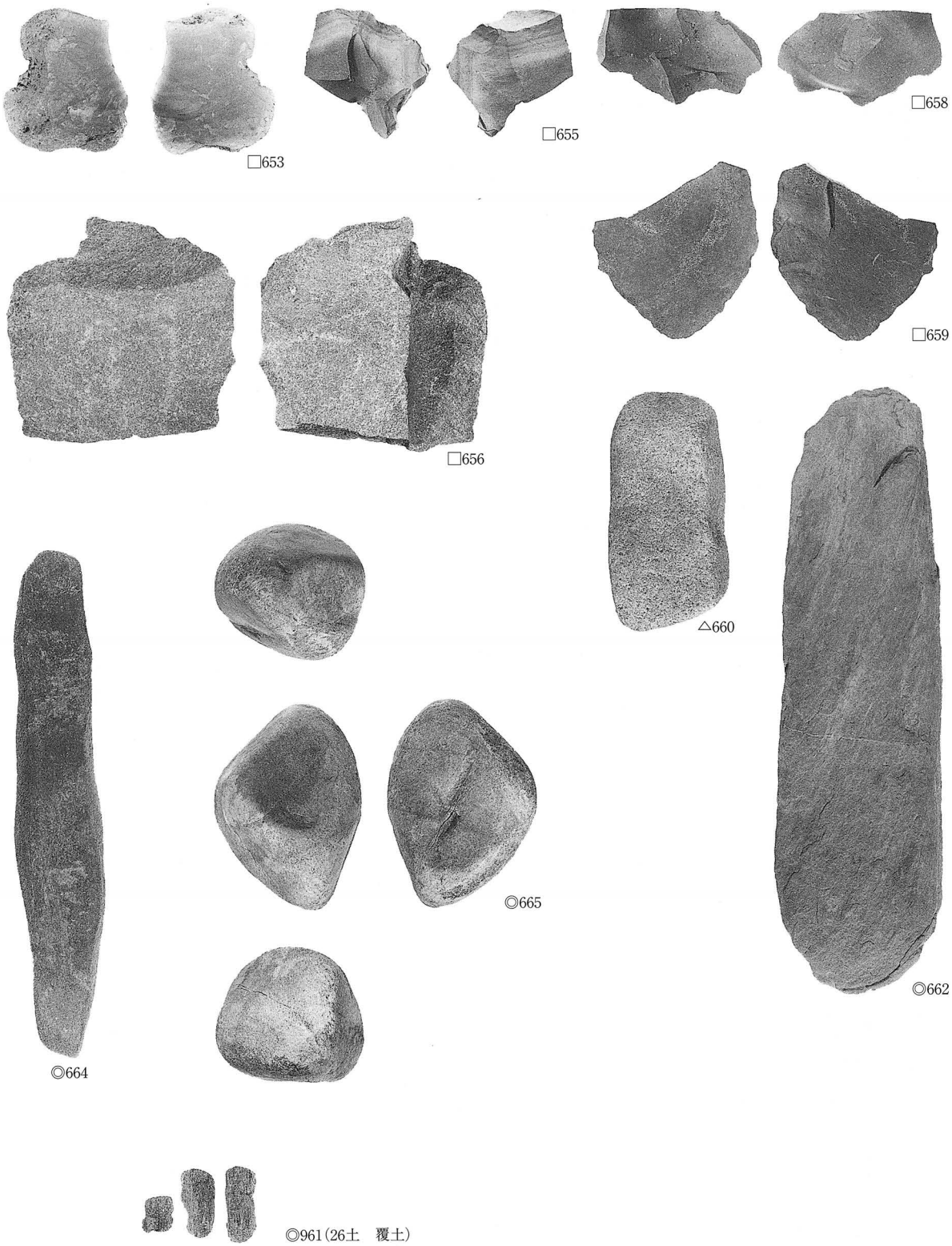

写真図版24　遺構内出土遺物（土製品・焼成粘土塊）



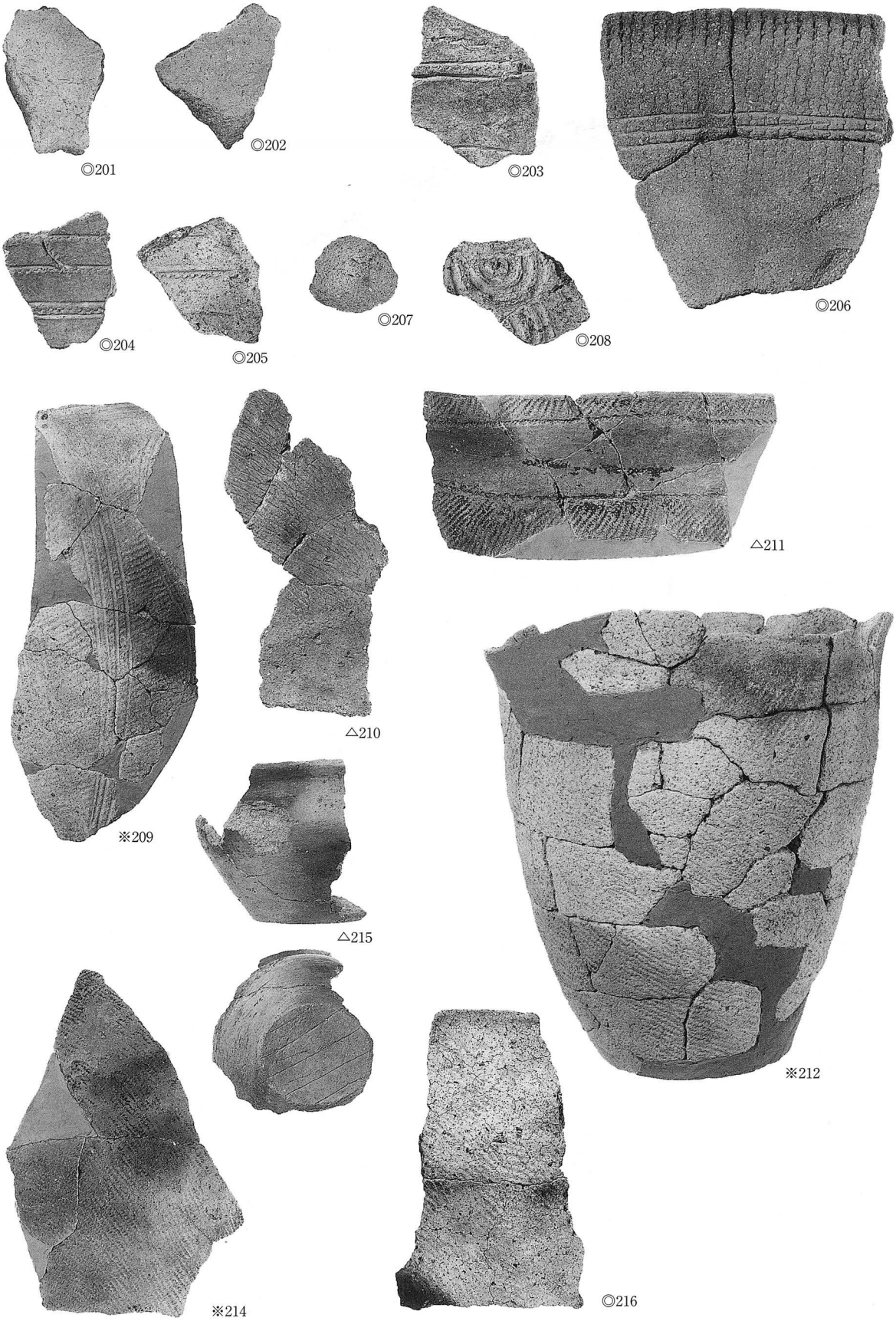

写真図版 25　遺構内出土遺物（石器①）



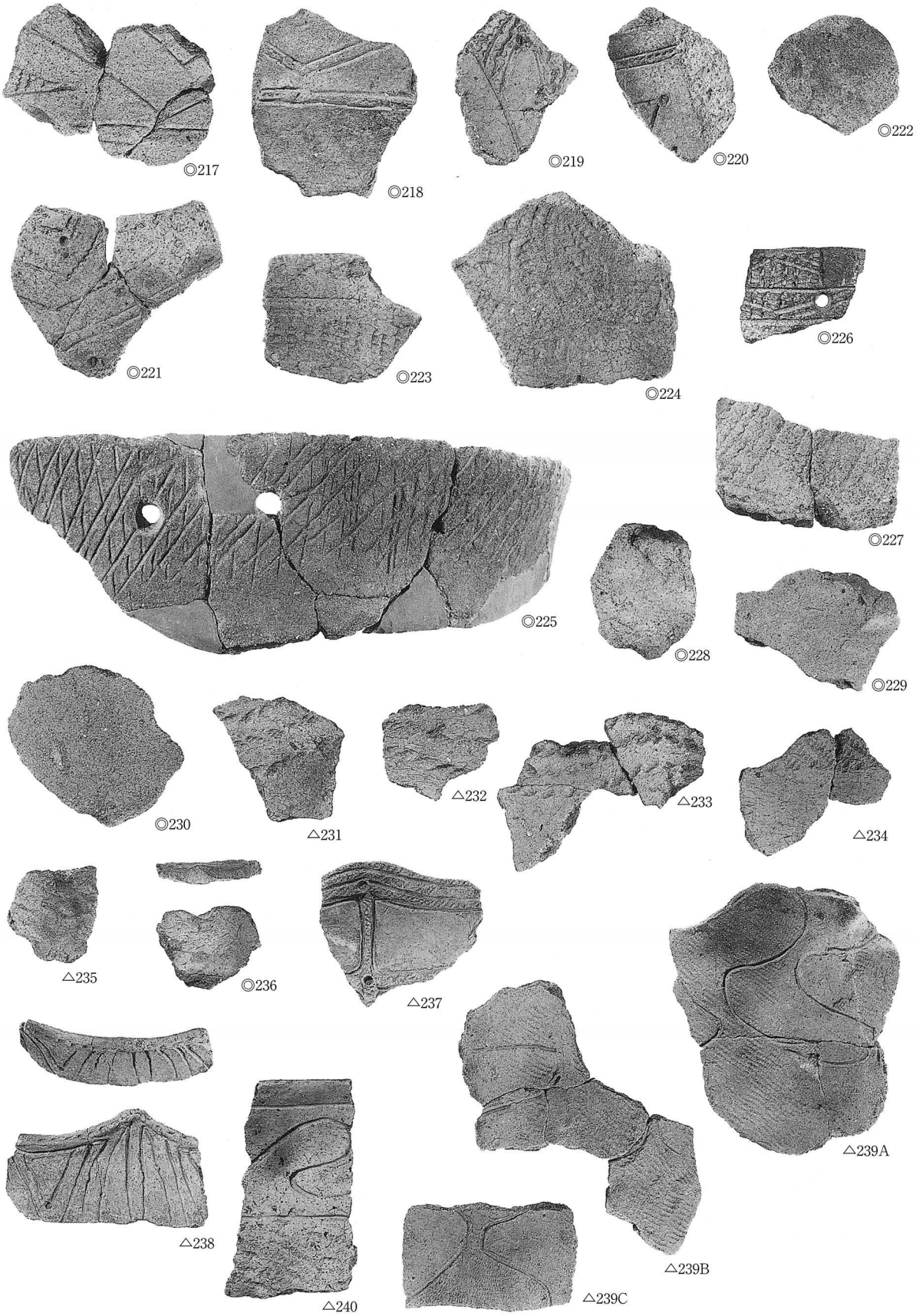

写真図版 26　遺構内出土遺物（石器②）



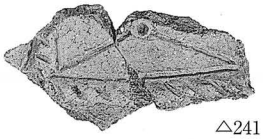

写真図版27　遺構内出土遺物（石器③・自然遺物）




写真図版 28　遺構外出土遺物（土器①）




写真図版 29　遺構外出土遺物（土器②）

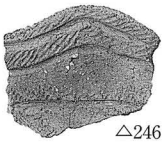

△241

△242

△243

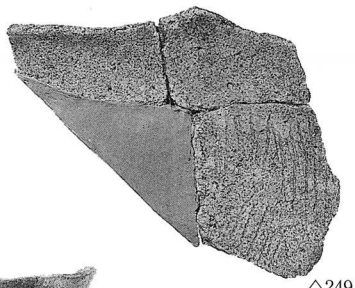
△244

△245

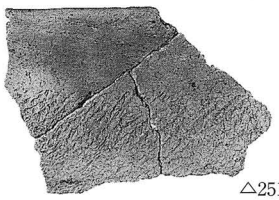

△246

△247

◎248


△249

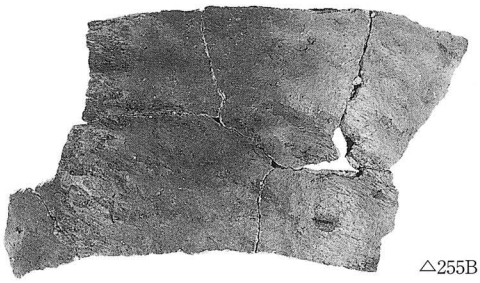
△250


△251

△252

◎254

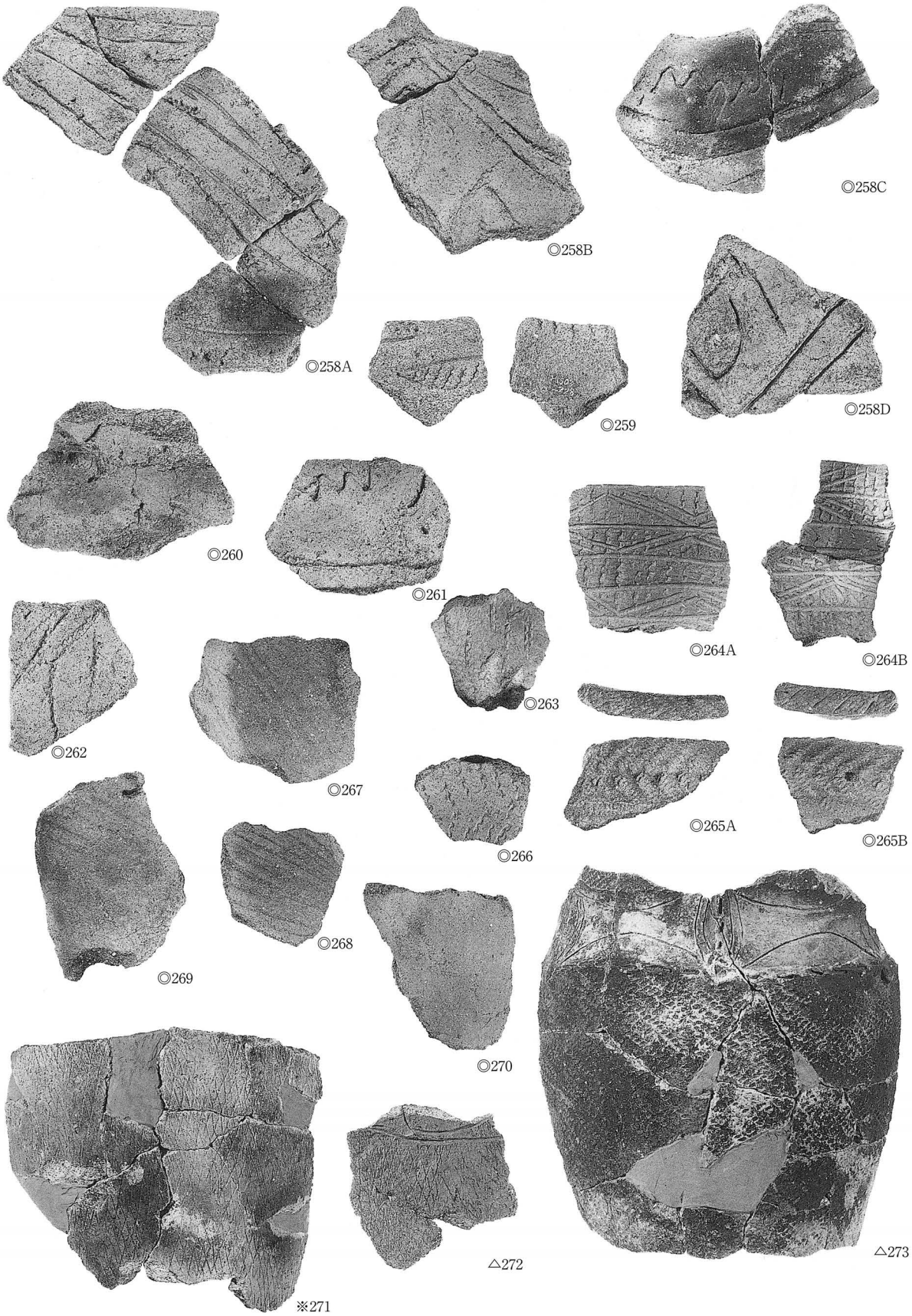
△255A


△255B

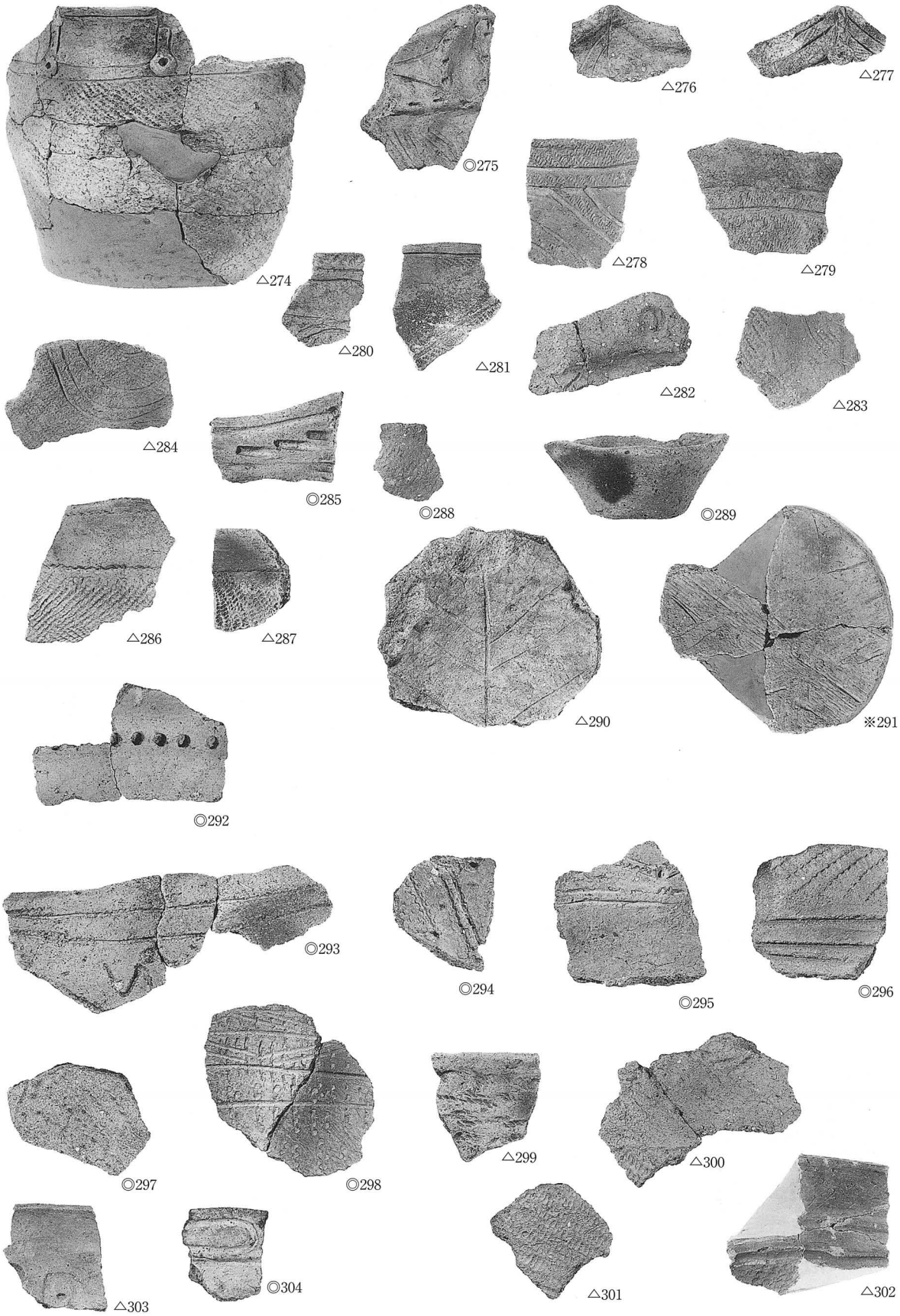
△256

◎257

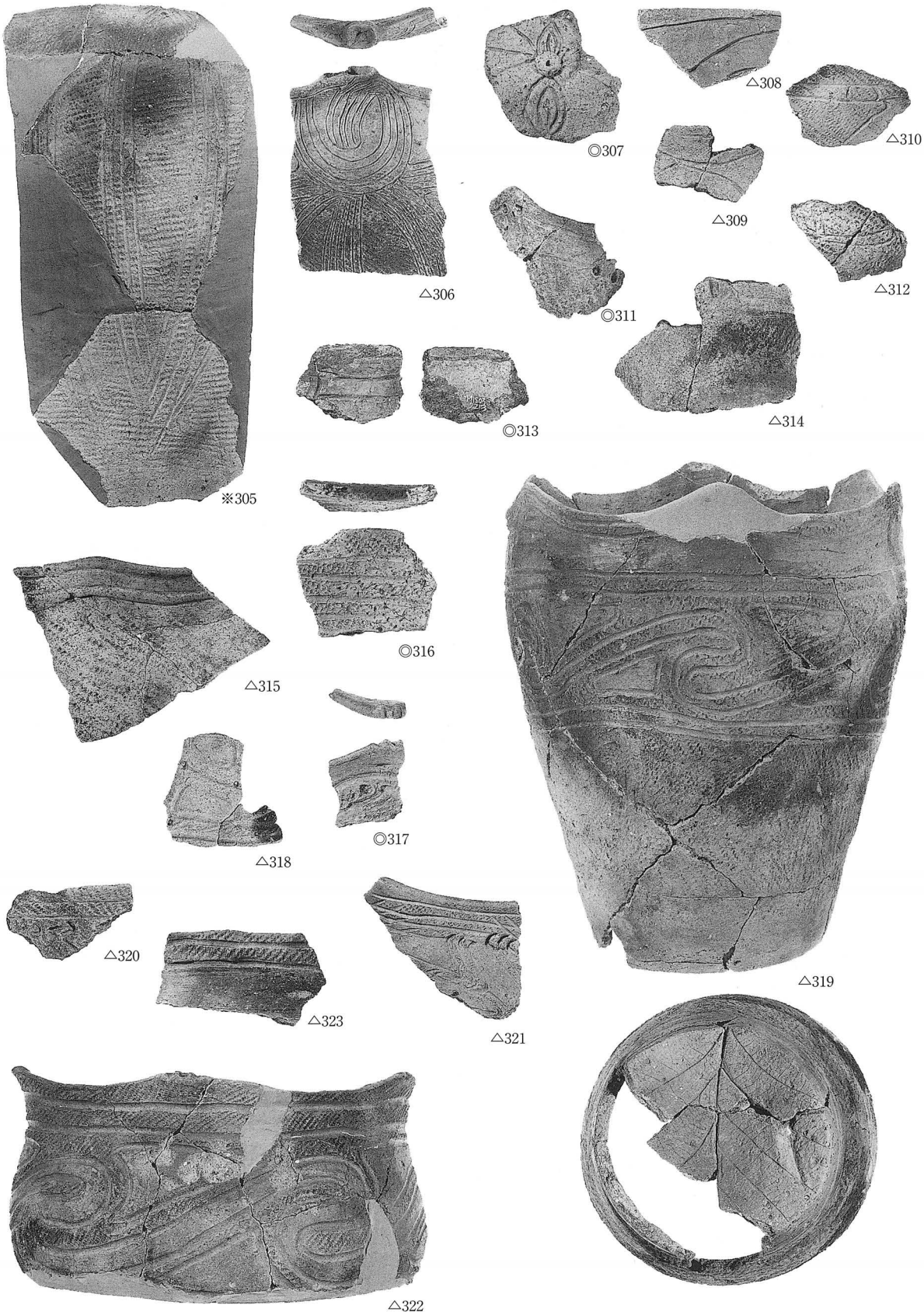
写真図版 30　遺構外出土遺物（土器③）



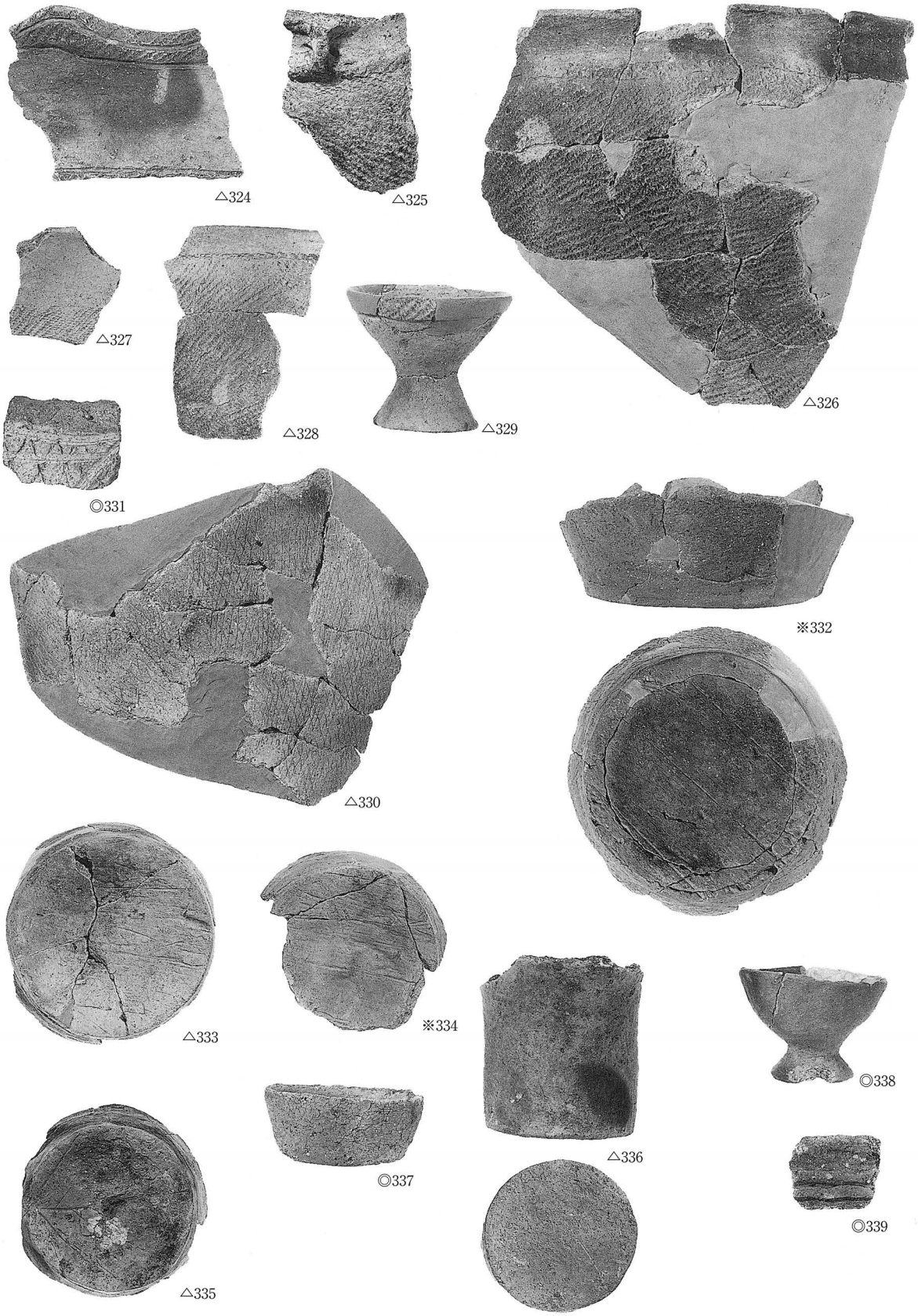

写真図版 31　遺構外出土遺物（土器④）



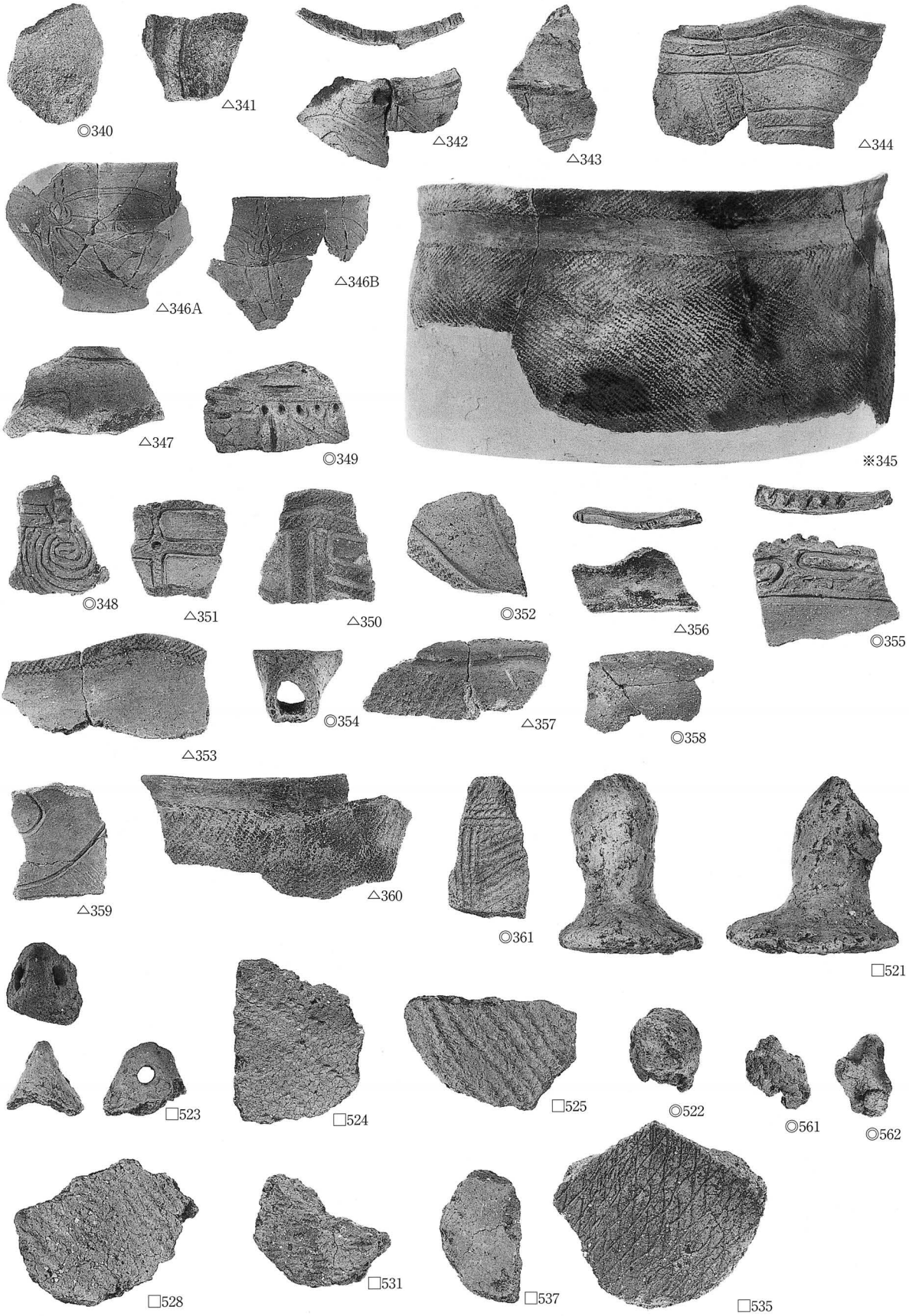

写真図版 32　遺構外出土遺物（土器⑤）



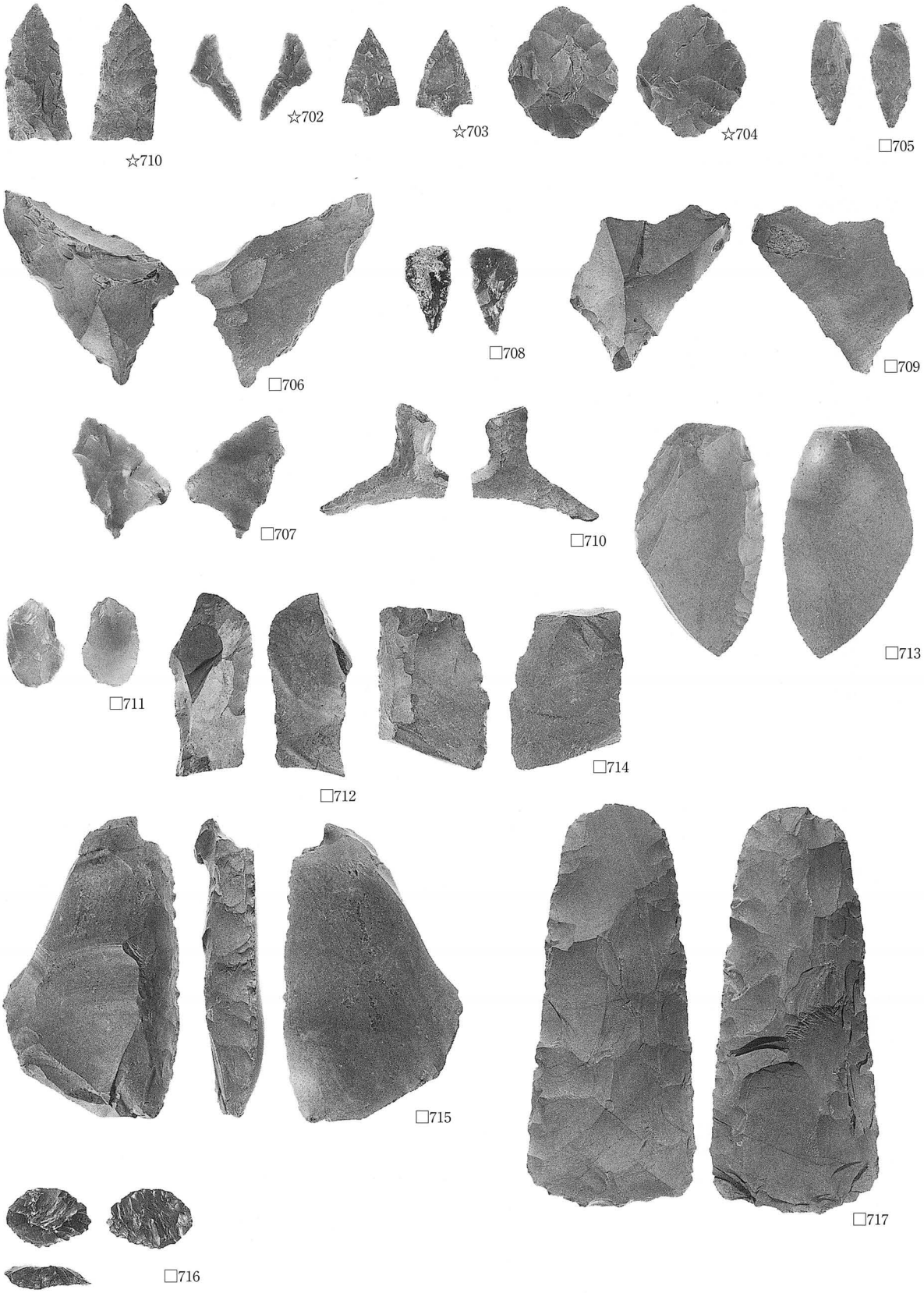

写真図版 33　遺構外出土遺物（土器⑥）



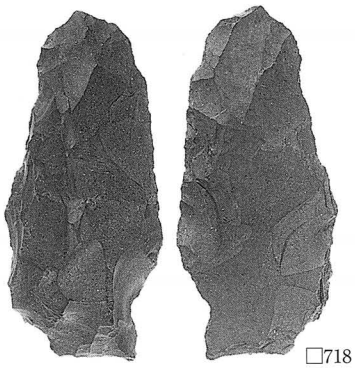

写真図版 34　遺構外出土遺物（土器⑦）

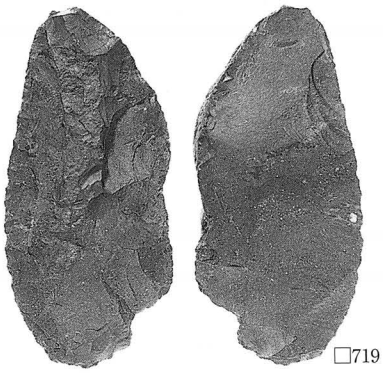


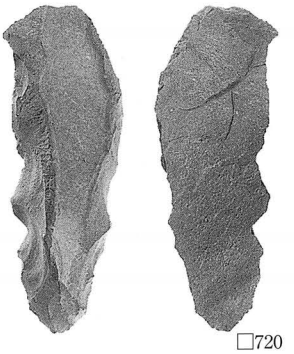

写真図版 35　遺構外出土遺物（土器⑧・土製品・焼成粘土塊）

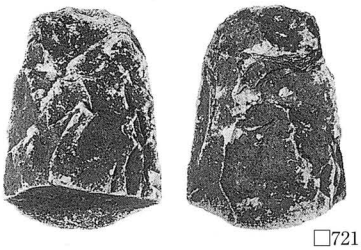



写真図版 36　遺構外出土遺物（石器①）

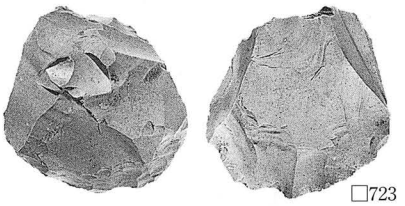

□718

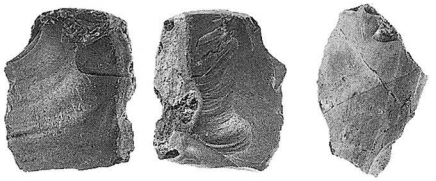

□719


□720

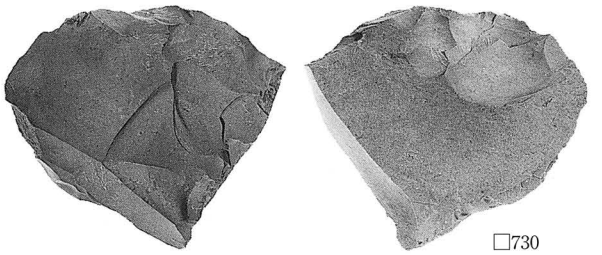

□721

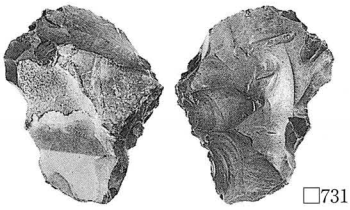
□722

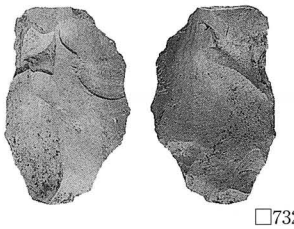

□723


□728

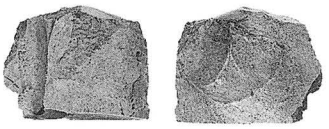
□729

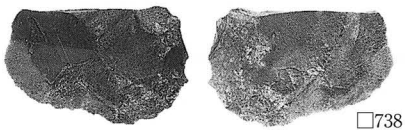

□730


□731

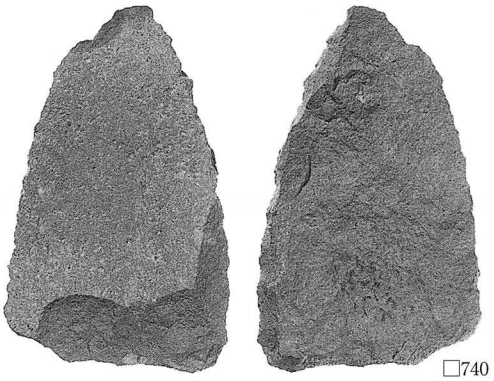

□732

□733

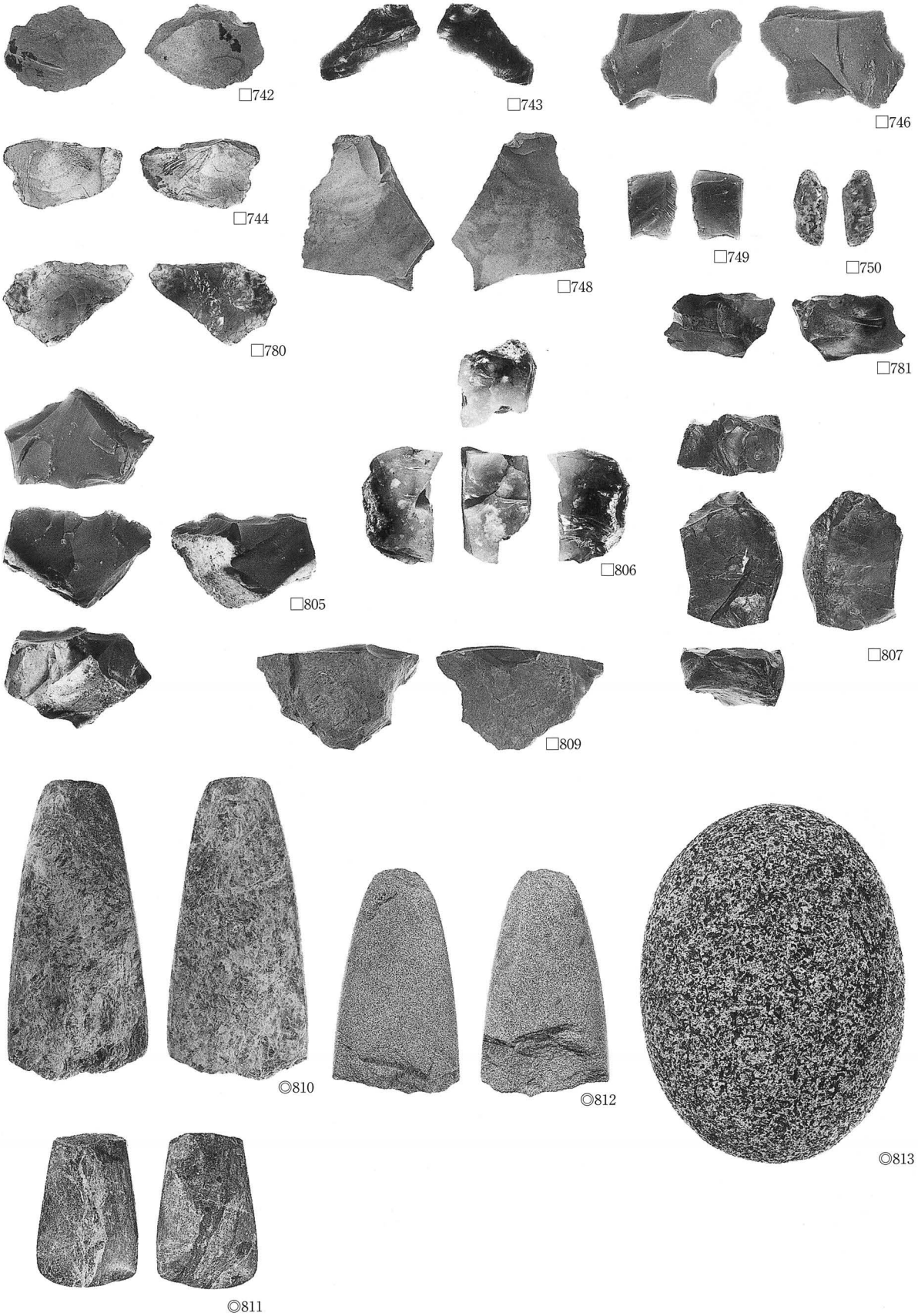

□734


□738

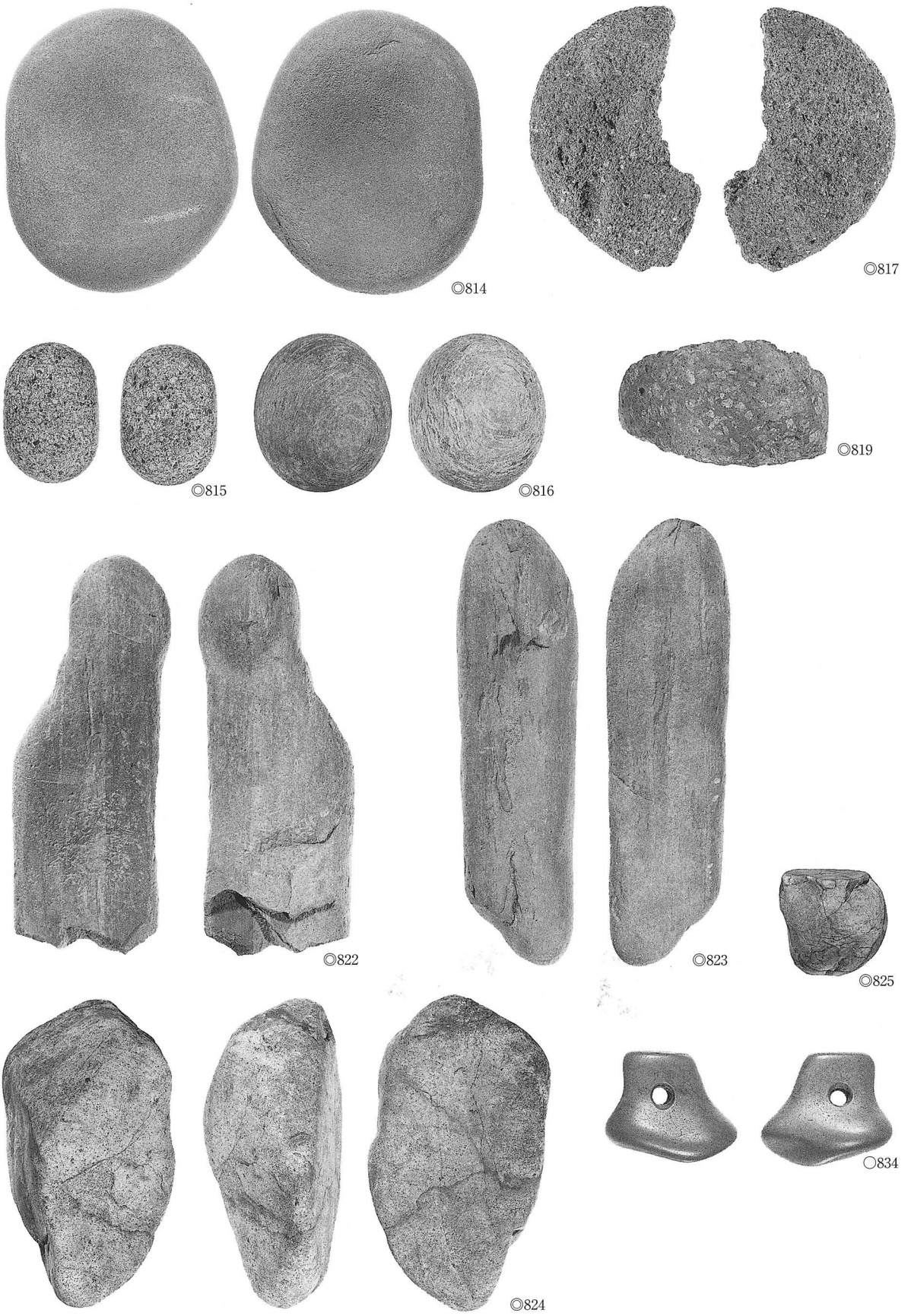
□735


□740

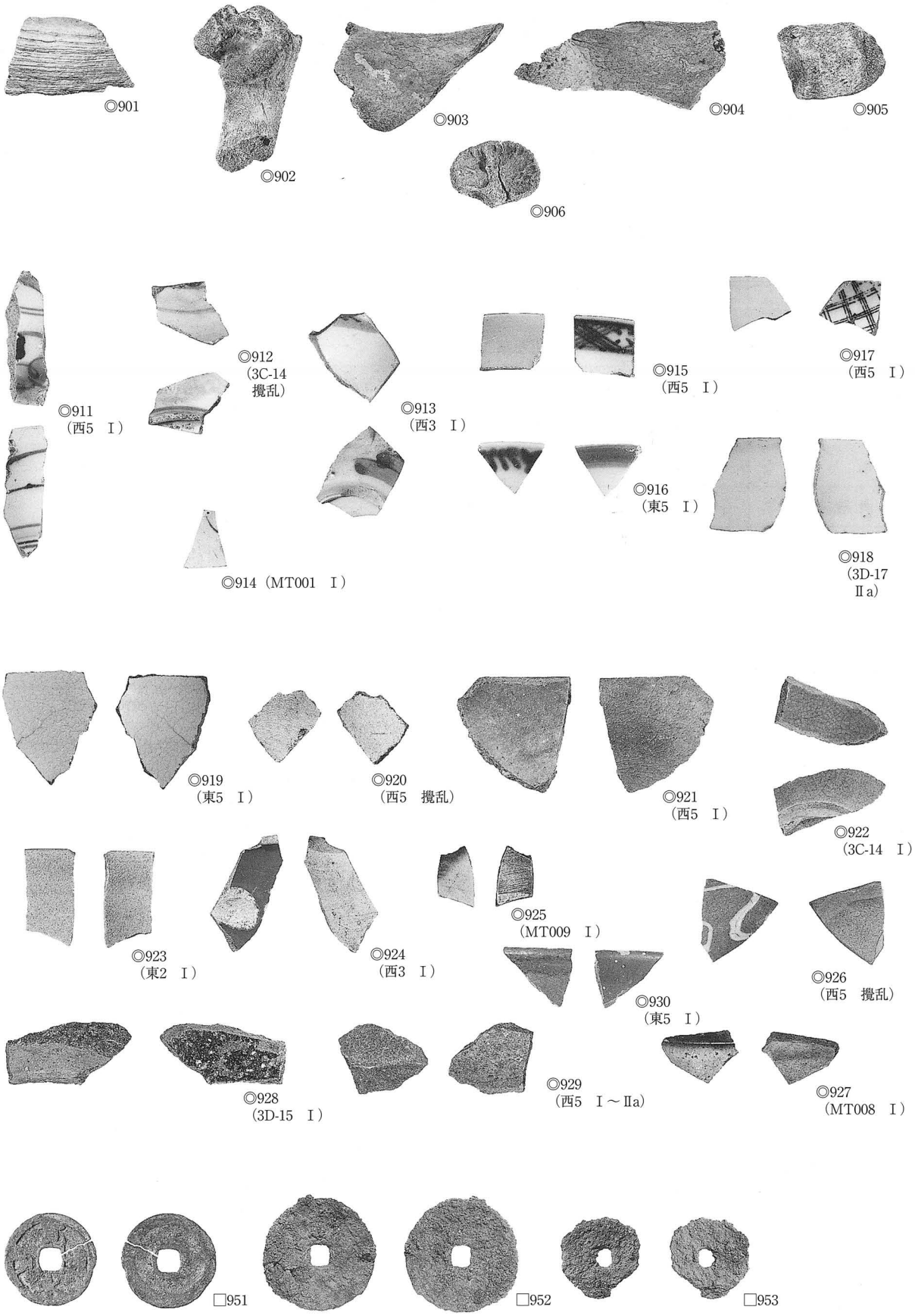
写真図版 37　遺構外出土遺物（石器②）




写真図版 38　遺構外出土遺物（石器③）




写真図版 39　遺構外出土遺物（石器④・石製品）




写真図版 40　遺構外出土遺物（自然遺物・陶磁器・銭貨）

# 報告書抄録

| | |
|---|---|
| ふりがな | めおといしそでこやいせきはっくつちょうさほうこくしょ |
| 書名 | 夫婦石袖高野遺跡発掘調査報告書 |
| 副書名 | 遠野第二ダム建設事業関連遺跡発掘調査 |
| 巻次 | |
| シリーズ名 | 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書 |
| シリーズ番号 | 第461集 |
| 編著者名 | 北村　忠昭 |
| 編集機関 | (財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター |
| 所在地 | 〒020－0853　岩手県盛岡市下飯岡第11地割185番地　TEL019－638－9001 |
| 発行年月日 | 西暦2004年12月10日 |

| ふりがな<br>所収遺跡名 | ふりがな<br>所在地 | コード<br>市町村 | コード<br>遺跡番号 | 北緯<br>°′″ | 東経<br>°′″ | 調査期間 | 調査面積 | 調査原因 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 夫婦石袖高野遺跡（めおといしそでこやいせき） | 岩手県遠野市遠野町第31地割字女男石16－1（いわてけんとおのしとおのちょうだいちわりあざめおといし） | 03208 | ME55-1057 | 39度18分51秒 | 141度31分58秒 | 2003.09.01～2003.11.04 | 1,000㎡ | 「遠野第二ダム建設事業」に伴う緊急発掘調査 |
| | | | | 世界測地系 | | | | |

| 所収遺跡名 | 種別 | 主な時代 | 主な遺構 | 主な遺物 | 特記事項 |
|---|---|---|---|---|---|
| 夫婦石袖高野遺跡 | 集落跡 | 縄文時代 | 住居状遺構１棟<br>土坑45基<br>焼土遺構６基<br>炉跡２基 | 縄文土器（早期～後期〔後期初頭～後期前葉主体〕）、土製品、焼成粘土塊、石器、石製品、自然遺物（炭化種実、炭化物） | 縄文時代早期中葉の常世式、大寺式と類似する土器の出土。 |
| | | 中世以降 | | 陶磁器、銭貨、自然遺物（貝、獣骨、炭化種実） | |

# 平成16年度　(財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター職員

| | | | |
|---|---|---|---|
| 所長 | 相原康二 | 副所長 | 平野允苗 |

［管理課］

| | | | |
|---|---|---|---|
| 管理課長 | 韮沢正吾 | 嘱託 | 高橋清助 |
| 課長補佐 | 小田島宏道 | 〃 | 常泉治美 |
| 主任主査 | 中嶋賢一 | 〃 | 伊藤滋子 |
| 主事 | 猿橋幸子 | | |

［調査第一課］

| | | | |
|---|---|---|---|
| 課長 | 三浦謙一 | 文化財調査員 | 丸山浩治 |
| 課長補佐 | 高橋義介 | 〃 | 八木勝枝 |
| 文化財専門員 | 金子昭彦 | 〃 | 米田寛 |
| 文化財調査員 | 水上明博 | 〃 | 北田勲 |
| 〃 | 阿部勝則 | 〃 | 島原弘征 |
| 〃 | 杉沢昭太郎<br>(柳之御所支援派遣) | 〃 | 村田淳 |
| | | 期限付調査員 | 石崎高臣 |
| 〃 | 溜浩二郎 | 〃 | 立花裕 |
| 〃 | 村上拓 | 〃 | 菅野梢 |
| 〃 | 戸根貴之 | 〃 | 新井田えり子 |

［調査第二課］

| | | | |
|---|---|---|---|
| 課長 | 佐々木清文 | 文化財調査員 | 鈴木裕明 |
| 主幹兼課長補佐 | 中川重紀 | 〃 | 林勲 |
| 文化財専門員 | 小山内透<br>(県教委研修派遣) | 〃 | 新妻伸也 |
| | | 〃 | 星雅之 |
| 〃 | 金子佐知子 | 〃 | 丸山直美 |
| 〃 | 濱田宏 | 〃 | 村木敬 |
| 〃 | 羽柴直人 | 〃 | 西澤正晴 |
| 文化財調査員 | 吉田充 | 〃 | 北村忠昭 |
| 〃 | 早坂淳 | 〃 | 福島正和 |
| 〃 | 小松則也 | 〃 | 川又晋 |
| 〃 | 阿部徳幸 | 〃 | 須原拓 |
| 〃 | 窓岩伸吾 | 〃 | 中村絵美 |
| 〃 | 亀澤盛行 | 期限付調査員 | 小針大志 |

(6月末退職)

岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第461集

# 夫婦石袖高野遺跡発掘調査報告書

## 遠野第二ダム建設事業関連遺跡発掘調査

印刷　平成16年12月 3 日
発行　平成16年12月10日

発行　(財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター
〒020－0853　岩手県盛岡市下飯岡11地割185番地
TEL　(019) 638－9001
FAX　(019) 638－8563

印刷　株式会社サトーライン
〒020－0842　岩手県盛岡市湯沢10地割73番4号
TEL　(019) 637－5505

©(財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター 2004